キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書2

－普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡・普天間下原第二遺跡・普天間石川原遺跡－

平成27（2015）年3月

沖縄県立埋蔵文化財センター

序

本報告書は、米軍の海軍病院建設に伴う記録保存調査として、沖縄県立埋蔵文化財センターが平成21～22年度に実施した普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡・普天間下原第二遺跡・普天間石川原遺跡の発掘調査成果をまとめたものです。

これらの遺跡は、宜野湾市字普天間に所在し、普天満宮、普天満山神宮寺の西側に広がる遺跡群です。旧普天間集落は、第二次世界大戦前には沖縄本島北部と南部を結ぶ交通の要所であったとともに、多くの公共施設が置かれ、また、各地から普天満宮及び普天満山神宮寺への参拝者が訪れることで賑わいを見せていました。

しかしながら、集落すべてが第二次世界大戦中に米軍に接収され、戦後はキャンプ瑞慶覧内の住宅地区として使用されていました。

今回の調査では、縄文時代、グスク時代、近世～近代の時期の遺構や遺物が確認されました。

なかでも近世～近代の遺構や遺物が主体を占めており、これらのものからは当時の生活の様相がうかがえます。

本報告書が、学術研究などの資料として活用されるとともに、地域の文化・歴史学習、文化財保護の普及等の一助になれば幸いです。

最後となりましたが、現地調査及び資料整理にあたり、多大な御協力を賜りました宜野湾市教育委員会をはじめとした関係機関並びに関係各位の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

平成27（2015）年3月

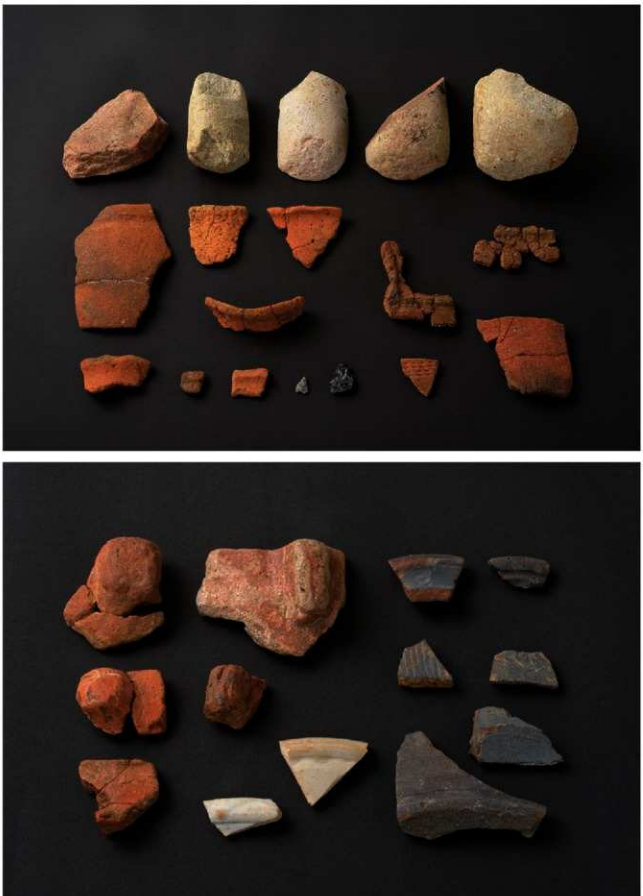
沖縄県立埋蔵文化財センター
所　長　　下地　英輝

巻頭図版 1　Ⅲ・Ⅳ地区調査状況　上：Ⅲ地区　遺構完掘状況（北西から）
下：Ⅳ地区　遺構検出及び完掘状況（東から）

巻頭図版２　Ⅴ・Ⅵ地区調査状況　上：Ⅴ地区　遺構完掘状況（北から）
下：Ⅵ地区　５地点　遺構完掘状況（南から）

巻頭図版３　Ⅲ・Ⅳ地区調査状況　上：Ⅲ地区　SD24　完掘状況（西から）
下：Ⅳ地区　SK54　完掘状況（北西から）

巻頭図版４　Ⅵ地区調査状況　上：４地点　完掘状況（東から）
下：４地点　SL1 炭面　検出状況（南東から）



巻頭図版５　Ⅲ～Ⅵ地区出土遺物　上：縄文時代の出土遺物　下：グスク時代の出土遺物

巻頭図版６　Ⅲ～Ⅵ地区出土遺物　上：近世～近代の遺構出土遺物１　下：近世～近代の遺構出土遺物２

例　言

1　本報告書は、沖縄県宜野湾市字普天間（キャンプ瑞慶覧内）に所在する普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡・普天間下原第二遺跡・普天間石川原遺跡における米軍の海軍病院建設に伴う記録保存を目的とした緊急発掘調査の成果をまとめたものである。

2　本調査は、沖縄防衛局からの委託を受け、沖縄県立埋蔵文化財センターが平成21年度及び平成22年度に現地調査、平成22～26年度に資料整理を実施した。

3　本報告は平成21年度及び平成22年度調査分の約16,700㎡について行う。

4　地図データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものを使用している。

5　航空写真は、宜野湾市教育委員会から提供を受けたものに加筆し、使用している。

6　本報告で使用している座標は、世界測地系の第Ⅸ系である。

7　土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局　監修「新版標準土色帖」を使用した。

8　本書の編集は、当センター職員の協力を得て、金城貴子、具志堅清大が行った。執筆は次の通りである。

知念隆博　第1章、第2章第2節、第3章第1節、第4章第1節
金城貴子　第2章第1節、第3章第1～3節、第4章第1節・同第2節第3項・同第4節、第6章
具志堅清大　第1章、第4章第2節第1～2、4項・同第3節第1～4項、第6章
パリノ・サーヴェイ　第5章

9　本書に掲載された写真撮影は、現地調査状況を新垣力、知念隆博が行い、遺物を矢舟章浩、伊佐えりなが行った。

10　現地調査で得られた遺物、実測図及び写真等の記録は、全て沖縄県立埋蔵文化財センターにて保管している。

目　次

序
巻頭図版
例言

第１章　調査に至る経緯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　第１節　調査に至る経緯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　第２節　調査体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第２章　遺跡の位置と環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　第１節　遺跡の立地と環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　第２節　歴史的環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第３章　調査経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　第１節　調査の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　第２節　発掘調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
　第３節　資料整理作業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

第４章　調査の成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
　第１節　基本層序 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
　第２節　Ⅲ・Ⅳ地区の遺構と遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
　　第１項　縄文時代の遺構及び遺構内出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
　　第２項　グスク時代の遺構及び遺構内出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
　　第３項　近世～近代の遺構及び遺構内出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
　　第４項　包含層出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
　第３節　Ⅴ・Ⅵ地区の遺構と遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
　　第１項　縄文時代の遺構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
　　第２項　グスク時代の遺構及び遺構内出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
　　第３項　近世～近代の遺構及び遺構内出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
　　第４項　包含層出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
　第４節　自然遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115

第５章　自然科学分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120

第６章　総括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129

引用・参考文献 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132
報告書抄録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136

図目次

第１図　沖縄本島の位置 ・・・・・・・・・・ 5
第２図　周辺の遺跡 ・・・・・・・・・・・・ 6
第３図　グリッド配置図 ・・・・・・・・・・ 8
第４図　Ⅲ・Ⅳ地区セクション図化箇所 ・・・ 14
第５図　Ⅲ地区　北壁・東壁 ・・・・・・・・ 15
第６図　Ⅴ・Ⅵ地区セクション図化箇所 ・・・ 17
第７図　Ⅵ地区　１・４・６地点セクション図 18
第８図　Ⅵ地区　２・３地点セクション図 ・・ 20
第９図　Ⅵ地区　５地点セクション図 ・・・・ 21
第10図　調査区全体図（１～Ⅵ地区）・・・・・ 23
第11図　縄文時代の遺構１（Ⅳ地区）・・・・・ 25
第12図　縄文時代の遺構２（Ⅳ地区）・・・・・ 26
第13図　縄文　出土遺物１（Ⅳ地区）・・・・・ 30
第14図　縄文　出土遺物２（Ⅳ地区）・・・・・ 31
第15図　グスク時代の遺構１（Ⅲ地区）・・・・ 33
第16図　グスク時代の遺構２（Ⅲ地区）・・・・ 34
第17図　グスク　出土遺物（Ⅲ地区）・・・・・ 34
第18図　区画配置図（１～Ⅳ地区）・・・・・・ 36
第19図　近世～近代の遺構１（Ⅲ・Ⅳ地区）・・ 37
第20図　近世～近代の遺構２（Ⅲ・Ⅳ地区）・・ 38
第21図　近世～近代の遺構３（Ⅲ・Ⅳ地区）・・ 39
第22図　近世～近代の遺構４（Ⅲ・Ⅳ地区）・・ 42
第23図　近世～近代の遺構５（Ⅲ・Ⅳ地区）・・ 43
第24図　近世～近代の遺構６（Ⅲ・Ⅳ地区）・・ 44
第25図　近世～近代の遺構７（Ⅲ・Ⅳ地区）・・ 45
第26図　近世～近代の遺構出土遺物１
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 59
第27図　近世～近代の遺構出土遺物２
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 60
第28図　近世～近代の遺構出土遺物３
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 61
第29図　近世～近代の遺構出土遺物４
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 62
第30図　近世～近代の遺構出土遺物５
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 63
第31図　近世～近代の遺構出土遺物６
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 64
第32図　近世～近代の遺構出土遺物７
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 65
第33図　近世～近代の遺構出土遺物８
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 66
第34図　近世～近代の遺構出土遺物９
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 67
第35図　近世～近代の遺構出土遺物10
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 68
第36図　近世～近代の遺構出土遺物11
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 69
第37図　近世～近代の遺構出土遺物12
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 70
第38図　近世～近代の遺構出土遺物13
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 71
第39図　近世～近代の遺構出土遺物14
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 72
第40図　近世～近代の遺構出土遺物15
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 73
第41図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物１
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 90
第42図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物２
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 91
第43図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物３
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 92
第44図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物４
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 93
第45図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物５
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・ 94
第46図　縄文時代の遺構（Ⅵ地区）・・・・・・ 99
第47図　グスク時代の遺構１（Ⅴ地区）・・・ 100
第48図　グスク時代の遺構２（Ⅵ地区）・・・ 101
第49図　グスク　出土遺物（Ⅴ地区）・・・・ 101
第50図　近世～近代の遺構１（Ⅴ地区）・・・ 104
第51図　近世～近代の遺構２（Ⅵ地区）・・・ 105
第52図　近世～近代の遺構３（Ⅵ地区）・・・ 106
第53図　近世～近代の遺構４（Ⅵ地区）・・・ 107
第54図　近世～近代の遺構出土遺物１
（Ⅵ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
第55図　近世～近代の遺構出土遺物２
（Ⅵ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
第56図　包含層（Ⅲ層）出土遺物（Ⅵ地区）・ 115

図版目次

巻頭図版１　Ⅲ・Ⅳ地区調査状況
上：Ⅲ地区　遺構完掘状況（北西から）
下：Ⅳ地区　遺構検出及び完掘状況（東から）
巻頭図版２　Ⅴ・Ⅵ地区調査状況
上：Ⅴ地区　遺構完掘状況（北から）
下：Ⅵ地区　５地点　遺構完掘状況（南から）
巻頭図版３　Ⅲ・Ⅳ地区調査状況
上：Ⅲ地区　SD２４　完掘状況（西から）
下：Ⅳ地区　SK５４　完掘状況（北西から）
巻頭図版４　Ⅳ地区調査状況
上：４地点　完掘状況（東から）
下：４地点　SL１炭面検出状況（南東から）
巻頭図版５　Ⅲ～Ⅳ地区出土遺物
上：縄文時代の出土遺物　下：グスク時代の出土遺物
巻頭図版６　Ⅲ～Ⅳ地区出土遺物
上：近世～近代の遺構出土遺物１
下：近世～近代の遺構出土遺物２
図版１　調査箇所と遺跡範囲図・・・・・・・・ 9
図版２　Ⅵ地区　１・４・６地点壁面・・・・・ 19
図版３　縄文時代の遺構１（Ⅳ地区）・・・・・ 27
図版４　縄文時代の遺構２（Ⅳ地区）・・・・・ 28
図版５　縄文　出土遺物１（Ⅳ地区）・・・・・ 30
図版６　縄文　出土遺物２（Ⅳ地区）・・・・・ 32
図版７　グスク　出土遺物（Ⅲ地区）・・・・・ 34
図版８　グスク時代の遺構（Ⅲ地区）・・・・・ 35
図版９　近世～近代の遺構１（Ⅲ地区）・・・・ 46
図版10　近世～近代の遺構２（Ⅲ地区）・・・・ 47
図版11　近世～近代の遺構３（Ⅲ地区）・・・・ 48

図版 12　近世～近代の遺構 4 （Ⅳ地区）・・・・ 49
図版 13　近世～近代の遺構 5 （Ⅳ地区）・・・・ 50
図版 14　近世～近代の遺構出土遺物 1
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
図版 15　近世～近代の遺構出土遺物 2
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
図版 16　近世～近代の遺構出土遺物 3
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
図版 17　近世～近代の遺構出土遺物 4
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
図版 18　近世～近代の遺構出土遺物 5
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
図版 19　近世～近代の遺構出土遺物 6
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
図版 20　近世～近代の遺構出土遺物 7
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
図版 21　近世～近代の遺構出土遺物 8
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
図版 22　近世～近代の遺構出土遺物 9
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
図版 23　近世～近代の遺構出土遺物 10
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
図版 24　近世～近代の遺構出土遺物 11
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
図版 25　近世～近代の遺構出土遺物 12
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
図版 26　近世～近代の遺構出土遺物 13
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
図版 27　包含層 （Ⅱ・Ⅲ層） 出土遺物 1
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
図版 28　包含層 （Ⅱ・Ⅲ層） 出土遺物 2
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
図版 29　包含層 （Ⅱ・Ⅲ層） 出土遺物 3
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
図版 30　包含層 （Ⅱ・Ⅲ層） 出土遺物 4
（Ⅲ・Ⅳ地区）・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
図版 31　グスク　出土遺物 （Ⅴ地区）・・・・ 101
図版 32　グスク時代の遺構 1 （Ⅴ・Ⅵ地区）・ 102
図版 33　グスク時代の遺構 2 （Ⅴ・Ⅵ地区）・ 103
図版 34　近世～近代の遺構 1 （Ⅴ・Ⅵ地区）・ 108
図版 35　近世～近代の遺構 2 （Ⅴ・Ⅵ地区）・ 109
図版 36　近世～近代の遺構 3 （Ⅴ・Ⅵ地区）・ 110
図版 37　近世～近代の遺構出土遺物 1 （Ⅵ地区）113
図版 38　近世～近代の遺構出土遺物 2 （Ⅵ地区）114
図版 39　包含層 （Ⅲ層） 出土遺物 （Ⅵ地区）・ 115
図版 40　脊椎動物遺体 1 ・・・・・・・・・ 116
図版 41　脊椎動物遺体 2 ・・・・・・・・・ 117
図版 42　脊椎動物遺体 3 ・・・・・・・・・ 118
図版 43　脊椎動物遺体 4 ・・・・・・・・・ 119
図版 44　花粉化石・植物珪酸体・種実遺体・炭化材
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 127
図版 45　土壌薄片 ・・・・・・・・・・・・ 128
図版 46　昭和 20 年撮影航空写真調査箇所重ね図134

表 目 次

第 1 表　縄文　遺構出土遺物観察一覧 （Ⅳ地区） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
第 2 表　縄文　遺物出土状況 （Ⅳ地区） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
第 3 表　グスク　遺物出土状況 （Ⅲ地区） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
第 4 表　近世～近代の遺構埋土所見一覧 （Ⅲ・Ⅳ地区） a ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
第 4 表　近世～近代の遺構埋土所見一覧 （Ⅲ・Ⅳ地区） b ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
第 5 表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧 （Ⅲ・Ⅳ地区） a ～ h ・・・・・・・・・・・・・・ 51 ～ 58
第 6 表　包含層 （Ⅱ・Ⅲ層） 出土遺物観察一覧 （Ⅲ・Ⅳ地区） a ～ c ・・・・・・・・・・・・・・ 87 ～ 89
第 7 表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧 （Ⅵ地区） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 111
第 8 表　貝生息地類型・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
第 9 表　動物遺存体種名一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
第 10 表　分析試料および分析項目一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
第 11 表　放射性炭素年代測定結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
第 12 表　暦年較正結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123
第 13 表　花粉分析結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123
第 14 表　植物珪酸体分析・灰像分析結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123
第 15 表　微細物分析結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 124
第 16 表　炭化材同定結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 124
第 17 表　Ⅲ～Ⅵ地区遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135

<付属ＣＤ所収データ一覧>

第 18 表　近世～近代の遺構 (SD) 遺物出土状況 (Ⅲ地区)
第 19 表　近世～近代の遺構 (SD) 遺物出土状況 (Ⅳ地区)
第 20 表　近世～近代の遺構 （SK） 遺物出土状況 （Ⅲ・Ⅳ地区）
第 21 表　近世～近代の遺構 （SP･SX） 遺物出土状況 （Ⅲ･Ⅳ地区）
第 22 表　包含層 （Ⅱ･Ⅲ層） 遺物出土状況 （Ⅲ･Ⅳ地区）
第 23 表　遺物出土状況 （Ⅴ地区）
第 24 表　遺物出土状況 （Ⅵ地区）
第 25 表　貝類遺体出土状況 1 （巻貝）
第 26 表　貝類遺体出土状況 2 （二枚貝）
第 27 表～第 43 表　自然遺物出土状況 （Ⅲ～Ⅵ地区）
第 10 図　調査区全体図 （Ⅰ～Ⅵ地区）

第１章　調査に至る経緯

第１節　調査に至る経緯

平成８年12月の沖縄に関する特別行動委員会（SACO）の最終報告にて、キャンプ桑江内の海軍病院をキャンプ瑞慶覧内に建設することが合意され、加えてキャンプ桑江内及びキャンプ瑞慶覧内の米軍住宅を統合し、住宅用地の一部を返還されることも合意された。

海軍病院の移設候補地として、普天満宮西側の米軍住宅地域が挙がった。当地は普天間フィールー丘陵古墓群、普天間グスクンニー遺跡等の遺跡が確認されていたが、住宅地域については、試掘調査等はなされておらず、未確認の状況であった。そのため、平成10年に沖縄県教育委員会（以下、県教委）により、18箇所試掘調査を行った結果、広く普天間古集落遺跡、普天間石川原遺跡等が広がることが確認された。

それから暫くの間、海軍病院建設に関する調整等はなされず、平成16年に入り沖縄防衛局（当時は那覇防衛施設局、平成19年９月より沖縄防衛局）より平成16年５月12日付けで宜野湾市教育委員会（以下、市教委）へ埋蔵文化財の有無の照会が行われた。市教委から、市の事務規模を超える事案であることから、県教委に依頼したいとの報告があり、県教委は承諾し、その後の調整は県教委と市教委が同席して行うこととなった。平成16年７月27日付けで沖縄防衛局より県教委へ「埋蔵文化財の取扱い等の協議」が届き、平成16年７月30日付けで県教委より試掘調査を実施していくことの回答を行っている。これより試掘調査が開始され、平成16年度は病院本体部分を中心に89箇所で調査を行い、平成17年度からは市教委も試掘調査に加わり、県教委が48箇所、市教委が43箇所実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地に加え、新たな埋蔵文化財包蔵地も確認した。

しかし、平成16・17年度に実施した試掘調査は病院本体及び関連施設に限定したものであり、その他の施設、造成、給排水施設等の工事による影響を把握できない状況であることが確認された。そのため、平成18年度に海軍病院建設予定地全体の状況を把握するための試掘調査箇所の見直しを行い、その結果、新たに約480箇所の試掘調査が必要となった。平成18年度は県教委が157箇所、市教委が199箇所実施し、全域で周知の埋蔵文化財包蔵地を確認するとともに、新たな埋蔵文化財包蔵地も確認した。

平成19年度の県教委が68箇所試掘調査を実施し、広範囲で周知の埋蔵文化財包蔵地と古墓を確認し、海軍病院建設予定地全域の試掘調査を完了した。

試掘調査により新たに確認された埋蔵文化財包蔵地については、沖縄防衛局が市教委を経由して県教委へ平成19年３月28日付けで遺跡発見通知を提出し、平成19年４月４日付けで、新たに普天間後原第二遺跡、普天間下原第二遺跡が周知の埋蔵文化財包蔵地として取り扱われることとなった。

一方、試掘調査により周知の埋蔵文化財包蔵地が確認されてきたことから、試掘調査完了前に沖縄防衛局、県教委、市教委は病院建設予定地の変更について調整を行った。しかし、変更できないとの沖縄防衛局の見解から、記録保存調査についての調整も行うこととなった。

沖縄防衛局から県教委及び市教委へ、病院本体範囲の記録保存調査について平成18年度及び平成19年度の実施要望があったが、県教委及び市教委は、試掘調査が終了していない段階で記録保存調査の期間及び経費の算出はできないこと、工事設計図と試掘調査結果の調整ができていないこと、広い面積の調査を実施するための体制が整っていないことから平成20年度以降実施する方向で調整を行った。

平成19年度に経費、期間、県教委と市教委の調査範囲分担等を行い、平成20年度に調査実施できるように進めていき、平成19年11月20日付けで沖縄防衛局より市教委を経て埋蔵文化財発掘の通知が県教委に届き、平成19年11月29日付けで県教委より市教委を経て沖縄防衛局へ回答を行い、正式に記録保存調査を実施することとなった。

平成20年３月28日付けで、沖縄防衛局、県教委、市教委の３者で「キャンプ瑞慶覧内海軍病院建設予定地区　埋蔵文化財に関する協定書」を交わし、平成20年度から調査を実施した。

平成21年度は、平成21年6月1日付けで沖縄防衛局と県教委は発掘調査に関する契約を締結し、平成21年7月28日より調査を実施した。調査終了後は平成22年3月30日付けで沖縄県立埋蔵文化財センターから県教育庁文化課あて報告し、平成22年3月15日付けで県教育長より宜野湾警察署長へ埋蔵文化財発見の通知を行っている。

平成22年度は、平成22年5月31日付けで沖縄防衛局と県教委は契約を締結し、平成22年8月12日より調査を実施した。調査終了後は、平成23年3月30日付けで沖縄県立埋蔵文化財センターから県教育庁文化課あて報告し、平成23年3月31日付けで県教育長より宜野湾警察署長へ埋蔵文化財発見の通知を行った。

その後、平成22年度以降の調査について定められていなかったことから、平成22年3月31日付けで、沖縄防衛局、県教委、市教委の3者で協定書に係る「覚書」を交わし、発掘調査が平成25年度末まで、資料整理が平成27年度末まで期間が延長となった。さらに平成26年11月21日付け「覚書」により資料整理が平成28年度末まで期間が延長となった。

第2節　調査体制

本報告の普天間古集落遺跡の発掘調査は、平成21・22年度に現地での発掘作業、平成21～26年度にかけて資料整理及び報告書作成を行った。実施体制は以下のとおりである。

事業主体　沖縄県教育委員会
教育長　金武正八郎（平成21～22年度）、大城　浩（平成23～24年度）、諸見里　明（平成25～26年度）

事業所管　沖縄県教育庁文化課（平成21～22年度）、文化財課（平成23～26年度）
課長　大城　慧（平成21～22年度）、長堂嘉一郎（平成23～24年度）、新垣悦男（平成25年度）、嘉数　卓（参事兼課長：平成26年度）
副参事　島袋　洋（平成23～24年度）
記念物班長　島袋　洋（平成21～22年度）、盛本　勲（平成23～25年度）、金城亀信（平成26年度）
担当　久高　健（指導主事：平成21～22年度）、瀬戸哲也（主任：平成21年度）、上地　博（主任専門員：平成22年度）、田場直樹（指導主事：平成23年度）長嶺　均（主任専門員：平成23～26年度）、知念隆博（主任専門員：平成26年度）

事業実施　沖縄県立埋蔵文化財センター
所長　玉栄　直（参事兼所長:平成21年度）、守内泰三（平成22年度）、大城　慧（平成23年度）、崎濱文秀（平成24年度）、下地英輝（平成25～26年度）
副参事　島袋　洋（平成25～26年度）
総務班長　嘉手苅　勤（平成21～22年度）、荻堂治邦（平成23～24年度）、新垣勝弘（平成25～26年度）
担当　村吉由美子（主任:平成21年度）、本永　恵（主査:平成21～22年度）、玉寄秀人（主査:平成22年度）、恩河朝子（主査：平成22～23年度）、西島康二（主査：平成23～25年度）、比嘉　睦（主任：平成26年度）
調査班長　金城亀信（平成21～25年度）、盛本　勲（平成26年度）
担当　知念隆博（主任：平成21～23年度、主任専門員：平成24～25年度）、新垣　力（主任：平成21～26年度）、上原欣信（指導主事:平成21年度）、片桐千亜紀（主任:平成21年度）、金城貴子（専門員:平成22～23年度、主任:平成24～26年度）、具志堅清大（専門員（臨任）：平成24年度、専門員：平成25～26年度）

文化財調査嘱託員（平成 21 ～ 26 年度）

新垣有一郎、伊藝由希、池原悠貴、井上奈々、岩元さつき、内間真吾、大城　歩、大屋匡史、翁長圭乃子、具志堅清大、新屋敷小春、菅原沙香、瑞慶覧長順、玉城　綾、當山奈央、徳嶺里江、仲程勝哉、仲嶺真太、長嶺　優、波木基真、比嘉優子、又吉幸嗣、宮城明恵、宮里知恵、山口こずえ、山城　勝

埋蔵文化財資料整理嘱託員（平成 21 ～ 26 年度）

赤嶺恵子、赤嶺雅子、安里綾子、新垣裕子、新垣利津代、伊藝由希、池原直美、石嶺敏子、市川里恵、伊藤恵美利、伊禮若菜、殷　侖平、上地由紀子、上原作美、上原園子、上原美穂子、小渡直子、荻堂さやか、喜屋武朋子、金城政史、久貝裕子、具志みどり、久田慎子、久保田有美、幸地麻美、崎原美智子、後田多昌代、城間千鶴子、平良貴子、高橋弘治、高良三千代、田中章子、玉城照美、玉城実子、玉寄智恵子、知念　愛、津多　恵、津波古彩乃、當山哲也、仲宗根めぐみ、中山まり、西原健二、比嘉孝子、比嘉登美子、比嘉なおみ、東仲千夏、譜久村泰子、又吉志麻子、又吉純子、又吉利文、宮城友香、目島直美、屋我尚子、矢舟章浩、山城美奈、山城由紀子、與儀みなみ、吉村綾子

資料整理作業員

新垣みどり、上地由紀子、具志良子、津田　恵、桃原りずむ、照屋葉史、屋我尚子、赤嶺恵子、島袋久美子、謝花恵子

事務補助員　安里綾子、酒井若葉、下地麻利恵、城間裕子、杉山弘美、砂川美樹、嵩原美千代、立津尚美、仲村綾乃、名幸さと子、花城咲子、普天間しげ美、松元珠理、安井美和

業務委託　発掘調査支援業務　㈱イーエーシー、㈱アーキジオ、㈱イビソク
自然科学分析　㈱パリノ・サーヴェイ

調査指導及び協力者（所属等は当時のもの）

和田敬悟・呉屋義勝・豊里友哉・仲村健・森田直哉・伊藤圭（宜野湾市教育委員会）、堀内秀樹・追川吉生（東京大学埋蔵文化調査室）、野上建紀（有田町歴史民俗資料館）、成田涼子（豊島区教育委員会）

第２章　遺跡の位置と環境

第１節　遺跡の立地と環境

海軍病院建設予定地である宜野湾市は、沖縄本島の中部西海岸にあり、北は北谷町、北東は北中城村、東は中城村、東南は西原町、南は浦添市に隣接し、西は東シナ海に面している。総面積は、19.37㎢で、東西に約6.1㎞、南北に約5.2㎞とやや長方形をなしている。地形をみると、海岸から内陸部に向かって雛壇状を呈しており、標高３～30mの海岸低地、標高30～40mの石灰岩段丘、標高50～90mの石灰岩段丘、標高90m以上の高位段丘の４つの海岸段丘から形成されている。海軍病院建設予定地は第３面に当たる標高50～90mの段丘上に位置し、大半が琉球石灰岩層から成る。この琉球石灰岩の段丘縁には洞穴と湧泉が点在している。本市を流れる河川は、浦添市・西原町との境界に比屋良川、北谷町・北中城村・中城村との境界に普天間川がある。

宜野湾市普天間に位置する海軍病院建設予定地内の標高は約50～90mで、今調査範囲には普天間古集落遺跡、普天間後原第二遺跡、普天間下原第二遺跡、普天間石川原遺跡が広がり、またその周辺には、普天間洞穴遺跡、普天間グスクンニー遺跡、普天間フィールー丘陵古墓群、普天間稲嶺屋取古集落、普天間グスクンニー古墓群など、多くの遺跡が確認されている。

第２節　歴史的環境

普天間には、琉球八社の一つである普天満宮及び神宮寺が所在しており、『絵図郷村帳』等に「寺ふてま村」とあり、古くから集落の中心であり、村の名前の由来になっていたことが分かる。琉球王国時代には国王も普天満宮を参詣する行事があり、その際に参道として利用された宜野湾並松は、1932年に一部が国の天然記念物に指定された。

普天間古集落遺跡が所在する字普天間は、当初は中城間切であったが、1671年（康熙10年）に中城間切、北谷間切、浦添間切から13村を分割及び新設した１村を併せて宜野湾間切を新設する際に宜野湾間切に編入された。

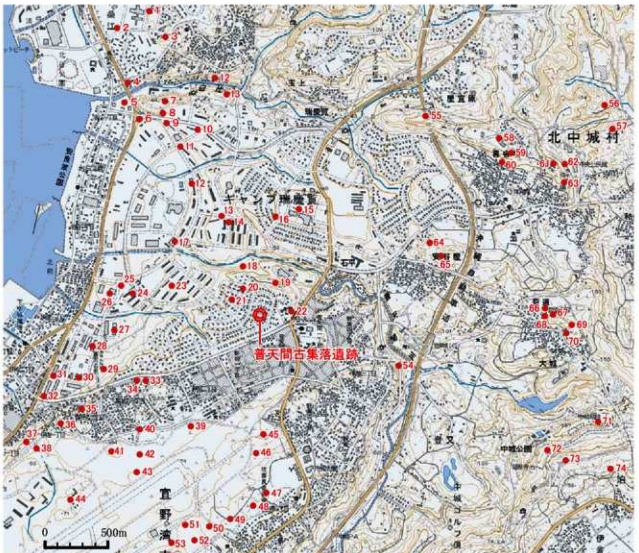
第二次世界大戦前の普天間には、中頭地方事務所、中頭教育会館、農事試験場、郵便局等の官公庁が設置され、また、宜野湾並松は首里・那覇方面と中北部を結ぶ交通の要所地であったため、街道沿いに商店、旅館、飲食店、写真店等が並び本島中部の政治経済の中心地となっていた。

しかし、第二次世界大戦にて集落は灰塵に帰し、さらに米軍に接収され、現在はキャンプ瑞慶覧として使用され、旧集落の面影は僅かに普天満宮と神宮寺が残っているだけである。

遺跡は普天間古集落遺跡に隣接して、普天間フィールー古墓群、普天間下原第二遺跡、普天間後原第二遺跡、普天間宮洞穴遺跡、普天間グスクンニー遺跡、普天間石川原遺跡がある。米軍基地内ということから、調査を円滑に行うことは難しいが、これまでの調査で、縄文時代から近代までの遺構、遺物が得られている。そのことから、長い間、人々が生活してきたことが明らかとなってきている。

モンゴル
MONGOLIA
ロシア連邦
RUSSIAN FEDERATION
ウラジオストク Vladivostok
朝鮮民主主義人民共和国
NORTH KOREA
北京 Beijing
平壌 Pyongyang
ソウル Seoul
大韓民国
SOUTH KOREA
東京 Tokyo
博多 Hakata
中華人民共和国
CHINA
日本
JAPAN
上海 Shanghai
東中国海
EAST CHINA SEA
那覇 Naha
沖縄
OKINAWA
台北 Taipei
太平洋
PACIFIC OCEAN
台湾
TAIWAN
香港 Hong Kong
南中国海
SOUTH CHINA SEA
フィリピン諸島
PHILIPPINES
マニラ Manila
0
500
1000km
120°
130°
140°
40°
30°
20°
10°

第１図　沖縄本島の位置



この背景地図データは、国土地理院の電子国土 Web システムから配信されたものである。

〈周辺遺跡の凡例〉

1. 伊地差久原古墓
2. 前原古島 B 遺跡
3. 前原古墓群
4. 池グスク
5. 白比川河口遺物散布地
6. 北谷番所址
7. 北谷城遺跡群
8. 北谷城第7遺跡
9. 塩川原遺跡
10. 玉代勢原遺跡
11. 長老山遺物散布地
12. 東表原遺跡
13. 大道原 A 遺跡
14. 大道原 B 遺跡
15. 伊波川原遺跡
16. 横嵩原遺跡
17. 稲千原遺跡
18. 普天間グスクンニー遺跡
19. 普天間フィールー丘陵古墓群
20. 普天間下原第二遺跡
21. 普天間石川原遺跡
22. 普天満宮洞穴遺跡
23. 安仁屋トゥンヤマ遺跡
24. 新城下原遺跡
25. 新城下原第二遺跡
26. 安仁屋原遺跡
27. 喜友名下原第三遺跡
28. 伊佐後原第二遺跡
29. 喜友名下原第一遺跡
30. 伊佐後原第一遺跡
31. 伊佐前原第二遺跡
32. 伊佐前原第一遺跡
33. 喜友名貝塚
34. 喜友名グスク遺跡
35. 喜友名前原第一遺跡
36. 伊佐上原遺跡 E 地点
37. 大山岳之佐久原第三遺跡
38. 大山岳之佐久原第一遺跡
39. 上原濡原遺跡
40. 喜友名東原ヌバタキ遺跡
41. 喜友名前原第三遺跡
42. 喜友名東原第三遺跡
43. 喜友名東原第二遺跡
44. 神山黒数原古墓群
45. 野嵩タマタ原遺跡
46. 新城東原遺跡
47. 上原同原遺跡
48. 上原仲毛原遺跡
49. 仲原同原遺跡
50. 赤道シキロー流域古墓群
51. 赤道渡呂寒原古墓群
52. 赤道渡呂寒原屋取古集落
53. 赤道渡呂寒原洞穴遺跡
54. 野嵩ウガンヌカタ遺跡
55. ヒニグスク
56. 前田原 B 遺跡
57. 前田原 A 遺跡
58. 甲斐川原遺跡
59. 喜舎場上原遺物散布地
60. 喜舎場御嶽遺物散布地
61. 仲順原貝塚
62. 仲順原遺跡
63. 仲順原遺物散布地
64. 若松遺跡
65. 安谷屋グスク
66. 荻堂貝塚
67. 大城グスク
68. 荻道遺跡
69. ミーグスク
70. 大城遺跡
71. 中城城跡
72. 古島原遺跡
73. 古島原散布地
74. 泊原散布地

第２図　周辺の遺跡

第３章　調査経過

第１節　調査の方法

今回報告を行うのは、平成 21 ～ 22 年度に実施した発掘調査成果のうち、Ⅲ地区～Ⅵ地区についてである。調査範囲は、沖縄防衛局から提示された病院本体部分の工事範囲に基づき、平成 21 年度はⅢ地区、Ⅳ地区、Ⅴ地区、平成 22 年度はⅥ地区及びⅦ地区を設定した。

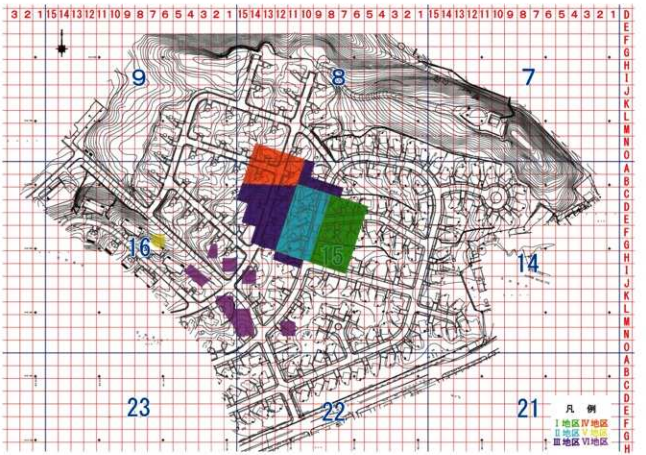
グリッドは、試掘調査時に当てはめたものを本調査でも使用した。設定方法は、普天間飛行場内の調査で設定されているグリッドを延長し、新たにグリッド番号を追加した。基本となる座標（X：31,000、Y：26,500　日本測地系）は世界測地系への移行前に設定されたため、日本測地系となっている。グリッドは第Ⅰ区画、第Ⅱ区画の２段階に分けており、第Ⅰ区画を 300 ｍメッシュ、第Ⅱ区画を 20 ｍメッシュで区切っている。第Ⅰ区画はキャンプ瑞慶覧の宜野湾市区域を１～ 33 に分割設定し、第Ⅱ区画はさらに細かく東から西へ１～ 15、北から南へＡ～０を設定している。グリッドの名称は、第Ⅰ区画、第Ⅱ区画を組合せ、15-Ａ１、16-F14 等としており、今回調査の第Ⅰ区画は 15 及び 16 となっている。

調査は初めに、磁気探査と表土掘削を行った。磁気探査は、水平探査を実施した結果、調査範囲全域に異常点が確認され、確認探査は 300 点以上となった。確認探査時の掘削により、米軍住宅建設時の埋設管等が地下に縦横に広がることが分かり、埋設管等設置時の掘削による撹乱が広がることを確認した。表土掘削は、重機により行い、撹乱土、造成土及び近世～近代の遺物包含層までを掘削した。

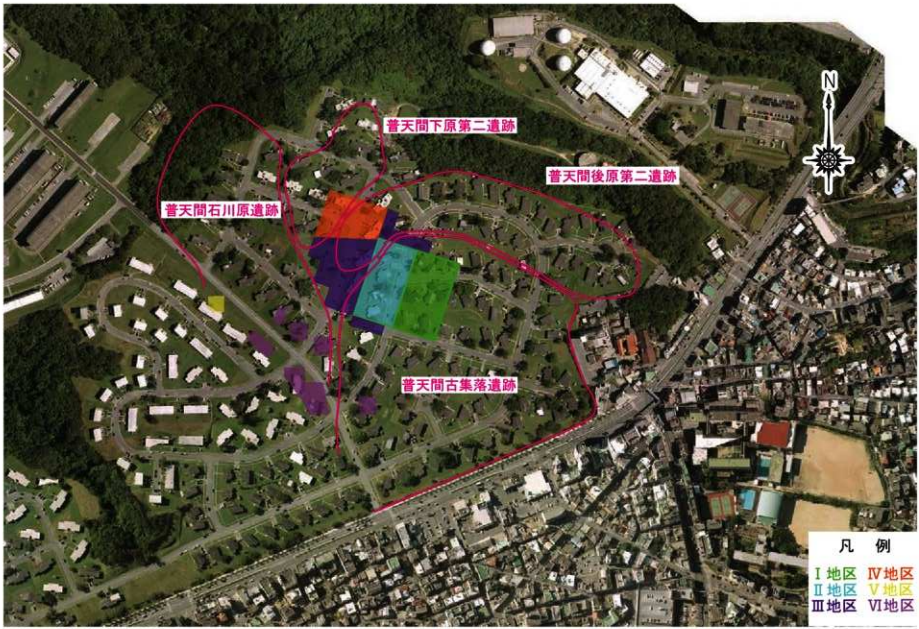
表土掘削後は、作業員の手作業による包含層掘削と遺構検出に移り、高所作業車からの遺構検出写真撮影後に遺構別の調査を行った。調査の工程については、調査面積が広大であること、さらに平成 21 年度からは病院本体（平成 20 年度調査範囲）の建設工事が着手され、工事と発掘調査が同時並行で進められることになったため、安全管理の面からⅢ地区及びⅣ地区については沖縄防衛局及び工事請負業者との調整の上、便宜的に３つの地点に分割して調査を行った。Ⅲ地区は、北側を１地点、西側を３地点、南側を２地点とし、Ⅳ地区については東側を先行調査区、北西側を北西調査区、南西側を南西調査区とした。遺構個々の調査は規模や時期に合わせ、半裁や４分割による調査を行った。遺構数が多かったため、検出時及び完掘状況の平面図作成は測量機器を用いて行い、断面図作成は基本的に人手により行った。人手による実測より効率が良いと考えられる場合は、写真測量も実施した。

写真撮影は遺構個々の検出状況及び完掘状況を白黒フィルム、カラーリバーサルフィルム、デジタルカメラを用いて行い、高所作業車を使用しての遺構検出状況及び完掘状況を撮影した。

10
9
8
7
6
17
16
15
14
13
24
23
22
21
凡 例
Ⅰ地区 Ⅳ地区
Ⅱ地区 Ⅴ地区
Ⅲ地区 Ⅵ地区
第Ⅰ区画：300mメッシュ
第Ⅱ区画：20mメッシュ


9
8
7
16
15
14
23
22
21
凡 例
Ⅰ地区 Ⅳ地区
Ⅱ地区 Ⅴ地区
Ⅲ地区 Ⅵ地区

第３図　グリッド配置図



図版１　調査箇所と遺跡範囲図

第２節　発掘調査

Ⅲ地区～Ⅵ地区の発掘調査経過について、地区別にまとめる。

（Ⅲ地区）

発掘作業は平成21年７月22日から平成22年２月15日まで行った。調査は、１地点：15-A10・11、同B９～11、同Ｃ７～11、２地点：同H11～13、同I11・12、３地点：同C11～15、同D11～15、同E12～15、同F12～15、同G12～15、同H13の３つの地点に分けて実施した。調査面積は7,700㎡である。経過については以下に概略を記す。

平成21年

７月：地中の不発弾有無確認のため、磁気探査を行い、危険物がないと判断できた箇所より重機を使用して表土掘削を行った。また、水道及び仮設事務所設置を行う等の現場環境整備を進めた。

８月：表土掘削を行い、８月４日より人力による調査区壁面清掃作業を実施。続けて遺構検出作業に取り掛かった。途中、台風の影響により作業を行えない日もあったが、８月21日に１地点の遺構検出の写真撮影を行った。その後、15-B８～10、同Ｃ７～10グリッドを中心に遺構の掘下げを行った。

９月：引き続き１地点で検出した遺構の掘下げを進めるとともに、３地点東側における表土掘削作業に取り掛かった。９月18日には１地点の遺構完掘写真撮影を行った。

10月：３地点東側の遺構検出作業を進め、10月９日に高所作業車による遺構検出写真撮影を行った。その後15-C・D11・12、同E・F・G12～13グリッドを中心に遺構の掘削を行うとともに、３地点の西側における表土掘削及び遺構検出作業を行った。

11月：11月５日には３地点東側の遺構完掘写真撮影した後、Ⅲ層土内の遺構検出に取り掛かった。３地点西側では、遺構検出作業を進め、11月27日に高所作業車による遺構検出写真撮影を行い、その後遺構の掘削を進めた。

12月：３地点東側では、Ⅲ層土内の遺構検出及び掘削を進め、３地点西側では引き続き遺構掘削を行った。さらに２地点では磁気探査を行い、年内の作業を終了した。

平成22年

１月：２地点は表土掘削を１月19日に遺構検出写真撮影を行った。また、３地点東側はⅢ層の掘削を続け、西側では引き続き遺構の掘下げを進めた。１月27日には２地点及び３地点西側の遺構完掘写真撮影を行った。１月29日に３地点東側の調査が終了した。

２月：２地点及び３地点西側にて残存するⅢ層の掘削作業及び記録作成等を進め、２月15日に本調査区の全ての発掘調査が終了した。

（Ⅳ地区）

発掘作業は平成21年８月19日から平成22年１月13日まで行った。調査は、先行調査区：15-A10・11、同B10～12、同C11・12、北西調査区：同O13・14、同A11～15、同B11～13、南西調査区：同B11～15、同C12～15の３つの地点に分けて実施した。調査面積は4,600㎡である。経過については以下に概略を記す。

平成21年

８月：先行調査区より、不発弾有無確認のための磁気探査を行い、危険物がないと判断できた箇所から重機を使用して表土掘削を行った。また、水道及び仮設事務所設置を行う等の現場環境整備を進めた。

９月：表土掘削を進めるとともに、表土掘削が終わった箇所から人力による遺構検出作業に取り掛かった。９月29日に高所作業車による先行調査区の遺構検出写真撮影を行った。

10月：先行調査区では遺構の掘削を進め、北西調査区では表土掘削を開始した。10月15日には先行調査区の遺構完掘写真及び北西調査区の遺構検出写真撮影を高所作業車を使用して行った。また、南西調査区における表土掘削についても開始した。

11月：北西調査区は遺構の掘削、南西調査区は遺構検出作業を進めた。11月５日には北西調査区の遺構

完掘写真及び南西調査区の遺構検出写真撮影を高所作業車を使用して行った。その後、南西調査区での遺構の掘削を進めた。本調査区の一部では、Ⅲ層の広がりが確認されたため、確認トレンチを設けて掘削を行った。11月27日には遺構完掘写真及び一部で遺構検出作業が残っていた箇所の遺構検出写真撮影を行った。

12月：引き続き遺構の掘削を進めながら、Ⅲ層の確認掘削が残っていた箇所における掘削作業を進めた。12月10日には高所作業車を使用して遺構完掘写真撮影を行った。その後はⅢ層の確認掘削を続けつつ、調査区壁面の記録作成等を行い、年内の作業を終了した。

平成22年

1月：引き続き残存するⅢ層の確認掘削及び記録作成等を行い、1月13日に本調査区の全ての発掘調査が終了した。

（Ⅴ地区）

発掘作業は平成22年2月5日から平成22年3月11日まで行った。調査区は16-F 6・7、同G 6・7調査面積は400㎡である。経過については以下に概略を記す。

平成22年

2月：磁気探査及び表土掘削を行うとともに、水道及び仮設事務所設置等の現場環境整備を進めた。2月16日からは人力による遺構検出作業及び調査区の壁面清掃作業を進め、2月23日に遺構検出写真撮影を行った。写真撮影終了後からは遺構の掘削に取り掛かった。

3月：引き続き遺構の掘削を進め、3月4日に高所作業車による遺構完掘写真撮影を行った。その後、調査区壁面の記録作成等を行い、調査完了となった。

（Ⅵ地区）

発掘作業は平成22年8月15日から平成23年2月25日まで行った。調査は、1地点:16-G 2・3、同H 2・3、2地点：同H 1・2、I 1・2、3地点：15-I14・15、同 J14・15、4地点：15-M11・12、同N11・12、5地点：16-K 1・2、15-L14・15、16-L 1・2、15-M14・15、16-M 1、15-N14・15、16-N 1、6地点：16-I 3・4、同J 3・4の6か所について実施した。調査面積は4,000 ㎡である。経過については以下に概略を記す。

平成22年

7月：水道及び仮設事務所設置等の現場環境整備を進めた。

8月：1地点及び2地点より、不発弾有無確認のための磁気探査を行い、危険物がないと判断できた箇所から重機を使用して表土掘削を行った。8月26日からは人力による遺構検出作業や調査区壁面清掃作業を実施した。続けて遺構検出作業に取り掛かった。

9月：9月3日には高所作業車による1地点及び2地点の遺構検出写真撮影を行い、その後は検出した遺構の掘下げを進め、9月22日に遺構完掘写真撮影を行った。また、9月後半以降からは4地点の磁気探査及び重機による表土掘削を開始し、表土掘削終了した後は、人力による遺構検出作業を行った。

10月：10月8日に4地点の遺構検出写真撮影を行い、その後は遺構の掘削を進めた。さらに、3地点の磁気探査及び重機による表土掘削を開始し、表土掘削の終了した箇所より人力による遺構検出作業を進めた。

11月：11月4日には3地点の遺構検出写真、9日には3地点の遺構完掘写真、16日には4地点の遺構完掘写真撮影を行った。並行して、5地点及び6地点での磁気探査を開始し、先に6地点より重機による表土掘削を行った。

12月：12月8日より6地点における人力による遺構検出作業に取り掛かり、10日に遺構検出写真撮影を行い、その後、遺構の掘削を進めた。12月中頃から5地点の表土掘削に取り掛かり、全範囲の表土掘削が終わって、年内の作業を終了した。

平成23年

1月：6地点は引き続き遺構の掘削を行い、1月7日に遺構完掘写真撮影を行った。5地点は11日より人力による遺構検出作業に取り掛かり、14日に遺構検出写真撮影を行った。その後、遺構の掘削を進め、26日に遺構完掘写真撮影を行った。5地点ではⅢ層の広がりが確認されたため、続けてⅢ層の掘削を行った。

2月：Ⅲ層掘削後の遺構検出作業を続けた後、2月4日に遺構検出写真撮影を行い、22日に遺構完掘写真撮影を行った。その後、調査区壁面の記録作成等を行い、調査完了となった。

第3節　資料整理作業

資料整理は平成22年度から実施した。まず出土遺物の洗浄から始め、注記等を中心に進めた。続いて平成23年度より、遺物の分類、接合作業、実測用遺物の抜出しを行い、平成24・25年度に実測図の作成、トレース、写真撮影等を行った。

これらの作業と並行して、遺構図等のトレースを進めた後、発掘現場で撮影した写真と併せてレイアウト作成を行った。遺構については、その数が多く、また密な箇所も多かったため、他の遺構との関連に注意しながら検討する必要があり、整理には多くの時間を要した。

平成26年度は、原稿執筆及び報告書全体のレイアウトを取りまとめ、本調査報告書を刊行した。

第４章　調査の成果

第１節　基本層序

今調査における層序は、基本的に平成20年度瑞慶覧病院地区に係る文化財発掘調査成果に基づく層序を踏襲している。以下に調査区別に土層の堆積状況について報告する。

層序

Ⅰ層：表土・造成土。沖縄戦中に米軍に接収され、造成されたときの層。調査区全体に広がる。層中に土器、石器、中国産陶磁器、沖縄産陶器等の多種多様な遺物を含む。このことから、普天間ハウジング建築の際に敷地内から土砂が集められ造成されたものと考えられる。

Ⅱ層：暗褐色砂質土（10YR3/4）で、米軍接収以前の耕作土及び地表面と思われる。近世～近代の遺物を包含し、調査区全体に広がる。数層に細分可能である。遺物は沖縄産陶器を中心として、本土産陶磁器、中国産陶磁器等を含む。この層中、又は地山（島尻マージ）及びⅢ層との境に近世～近代の遺構が確認できる。土色が灰オリーブ色及び暗オリーブ色の箇所もある。

Ⅲａ層：黒褐色砂質シルト（10YR3/2）で、迫地地形に該当する箇所に部分的に分布する。数層に細分可能で、上方から下方へと粘質が強くなり、中に３～５㎜の炭化物、焼土、黄褐色土粒を含む。一部では水分、マンガン及び鉄分の影響により色調が変化している。全体的に根跡若しくは貫入があり、その中には褐灰色の土が入る。遺物はグスク土器、石器を確認している。

Ⅲｂ層：黒褐色砂質シルト（10YR2/3）で、Ⅲａ層とⅢｃ層より明るく、区別ができる。
Ⅲａ層と同様の分布であり、中に３～５㎜の炭化物、焼土、黄褐色土粒を含む。Ⅲａ層より粘質が強い。

Ⅲｃ層：暗褐色砂質シルト（10YR3/4）で、Ⅲａ層と同様の分布である。上方から下方へと粘質が強くなると共に砂質も強くなる。層中にマンガンを含む。根跡若しくは貫入に入っている土は、上方は褐灰色と黄褐色が混ざるが、下方にいくに従い黄褐色が強くなり、最後は黄褐色土のみとなる。

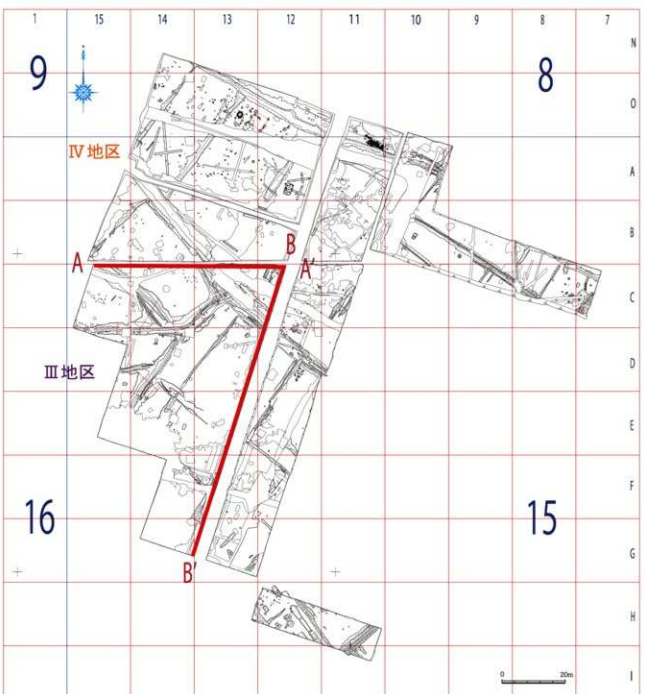
Ⅳ層：地山。褐色シルト（10YR4/4）又は暗褐色シルト（10YR3/4）で、粘質が強い層と砂質が強い層に分けることができる。全体的にマンガンを含む。基盤の琉球石灰岩に接する箇所は、他の部分より黒味が強く、暗褐色を呈する。多くの遺構は、Ⅰ～Ⅲ層とこの層の境で確認されている。

（Ⅲ・Ⅳ地区）

本調査区における層序については、Ⅲ地区の北壁及び東壁における堆積状況を示す。

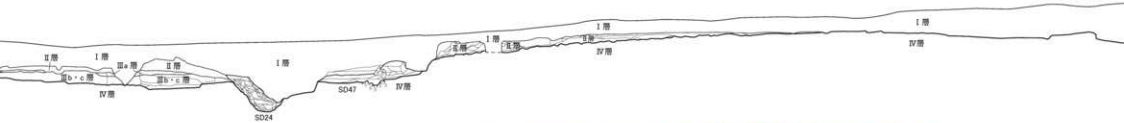
Ⅲ地区の北壁（A－A'）の層序は、Ⅰ～Ⅳ層まで確認されている。Ⅱ層はほぼ北壁全体にみられ、東側で厚くなる。層厚は約10～40cmである。また、Ⅲ層は東側で確認されており、層厚は約5～25cmある（第5図）。Ⅲ層は小さい谷又は窪みに集まって形成された層の可能性が考えられる。

東壁（B－B'）の層序についてもⅠ～Ⅳ層まで確認され、南側は大きく撹乱を受けている。Ⅱ層は約5～40cmの厚さで堆積している。Ⅲ層については約5～50cmと、一部（C12グリッド付近）で厚く堆積している状況が確認された（第5図）。



第4図　Ⅲ・Ⅳ地区セクション図化箇所

東 壁



（Ⅴ・Ⅵ地区）

本調査区の層序については、Ⅵ地区の１～６地点における堆積状況を示す。

Ⅵ地区の１地点は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ層が確認されている。Ⅱ層の厚さは40cmである（第７図）。

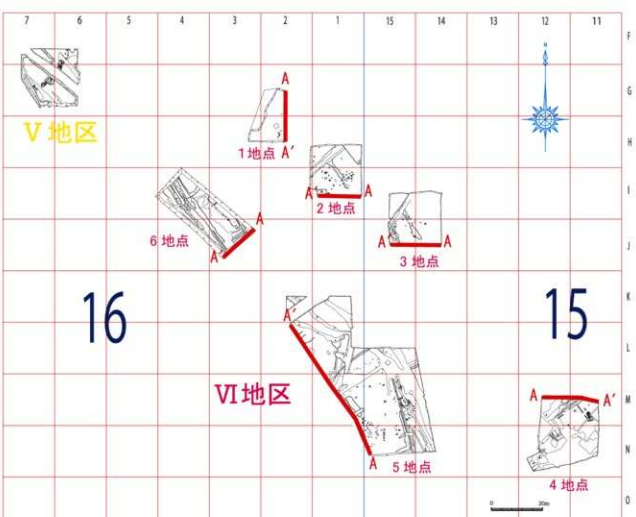
同２地点は、Ⅰ～Ⅳ層まで確認されている。Ⅲ層は約15～40cmと厚く堆積している（第８図）。

同３地点は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ層が確認されているが、全体的に大きく撹乱を受けており、僅かにⅡ層が約５～25cm残る他、２つの溝跡が確認されるのみである（第８図）。

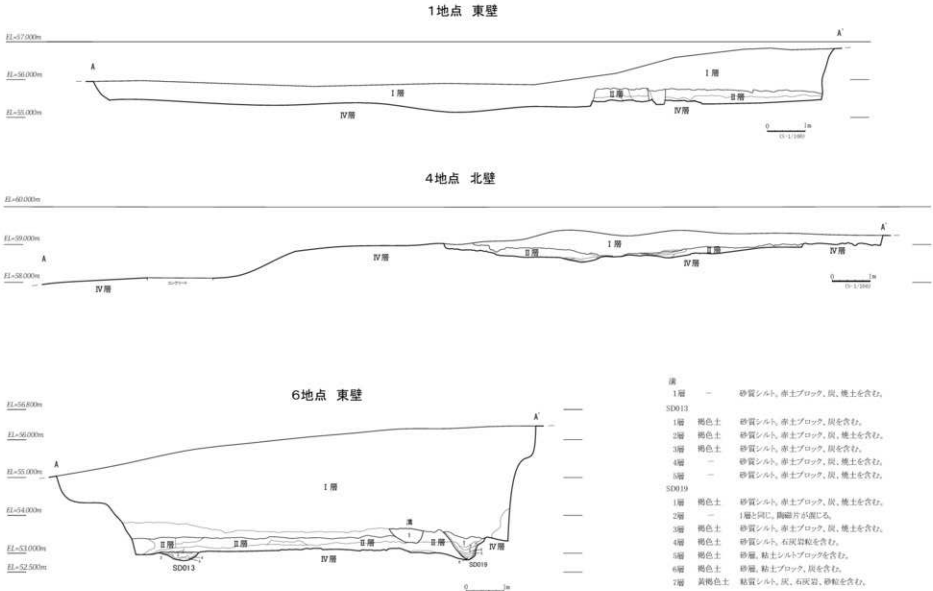
同４地点についても、Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ層が確認されているが、大きく撹乱を受けており、Ⅱ層は約５～25cmと残りは良くない（第７図）。

同５地点は、Ⅰ～Ⅳ層まで確認されている。特に15-N15、16-M１グリッドにてⅢ層が確認されており、層厚は15～60cmと厚く堆積する箇所もみられる（第９図）。

同６地点は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ層が確認されており、全体的に大きく撹乱を受けているが、Ⅱ層が約40～60cm残る他、２つの溝跡が確認されている（第７図）。



第６図　Ⅴ・Ⅵ地区セクション図化箇所



溝

1層	—	砂質シルト。赤土ブロック、炭、焼土を含む。
SD013		
1層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
2層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭、焼土を含む。
3層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
4層	—	砂質シルト。赤土ブロック、炭、焼土を含む。
5層	—	砂質シルト。赤土ブロック、炭、焼土を含む。
SD019		
1層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭、焼土を含む。
2層	—	1層と同じ。褐鉄片が混じる。
3層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭、焼土を含む。
4層	褐色土	砂質シルト。石灰岩粒を含む。
5層	褐色土	砂層。粘土ブロックを含む。
6層	褐色土	砂層。粘土ブロック、炭を含む。
7層	黄褐色土	粘質シルト。炭、石灰岩、砂粒を含む。

第７図　Ⅵ地区　１・４・６地点セクション図

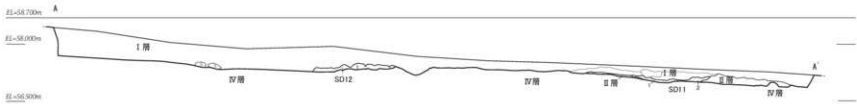
Ⅵ地区　1地点　東壁

Ⅵ地区　4地点　北壁

Ⅵ地区　6地点　東壁

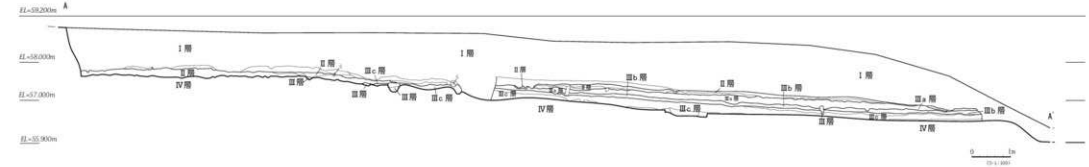
図版２　Ⅵ地区　１・４・６地点壁面

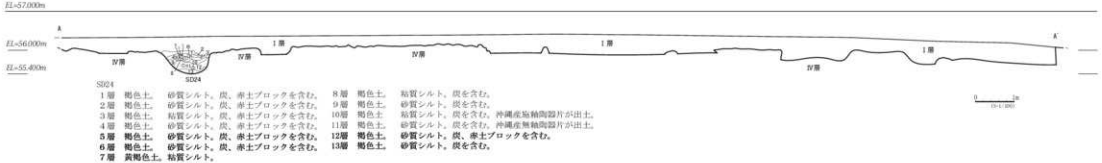
3地点 南壁



SD11
1層　褐色土。粘質シルト。焼土を含む。
2層　褐色土。粘質シルト。焼土を含む。
SD12
1層　褐色土。砂質シルト。焼土を含む。

第８図　Ⅵ地区　２・３地点セクション図





SD24

1層　褐色土。　砂質シルト。炭、赤土ブロックを含む。
2層　褐色土。　砂質シルト。炭、赤土ブロックを含む。
3層　褐色土。　粘質シルト。炭、赤土ブロックを含む。
4層　褐色土。　砂質シルト。炭、赤土ブロックを含む。
5層　褐色土。　砂質シルト。炭、赤土ブロックを含む。
6層　褐色土。　砂質シルト。炭、赤土ブロックを含む。
7層　黄褐色土。粘質シルト。
8層　褐色土。　粘質シルト。炭を含む。
9層　褐色土。　砂質シルト。炭を含む。
10層　褐色土。　粘質シルト。炭を含む。沖縄産須恵器片が出土。
11層　褐色土。　砂質シルト。炭を含む。沖縄産無釉陶器片が出土。
12層　褐色土。　砂質シルト。炭、赤土ブロックを含む。
13層　褐色土。　砂質シルト。炭を含む。

9
8
16
15
Ⅳ地区
Ⅲ地区
Ⅴ地区
Ⅵ地区
Ⅰ・Ⅱ地区
1 地点
2 地点
3 地点
4 地点
5 地点
6 地点
区画 1
区画 2
区画 3
区画 4
区画 5
区画 6
区画 7
区画 8
区画 9
区画 10
区画 11
区画 12
区画 13
区画 14
区画 15
区画 16
区画 17
区画 18
区画 19
区画 20
区画 21
区画 22
区画 23
区画 24
区画 25
道1
道2
道3
道4
道5
道6
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N

第２節　Ⅲ・Ⅳ地区の遺構と遺物

Ⅲ・Ⅳ地区は普天間下原第二遺跡、普天間後原第二遺跡を中心に、一部普天間古集落遺跡、普天間石川原遺跡に調査区がまたがる範囲で、縄文時代、グスク時代、近世～近代の遺構が確認されている。以下、時期ごとの遺構及び遺構内出土遺物、包含層出土遺物についての概要を述べる。

第１項　縄文時代の遺構及び遺構内出土遺物

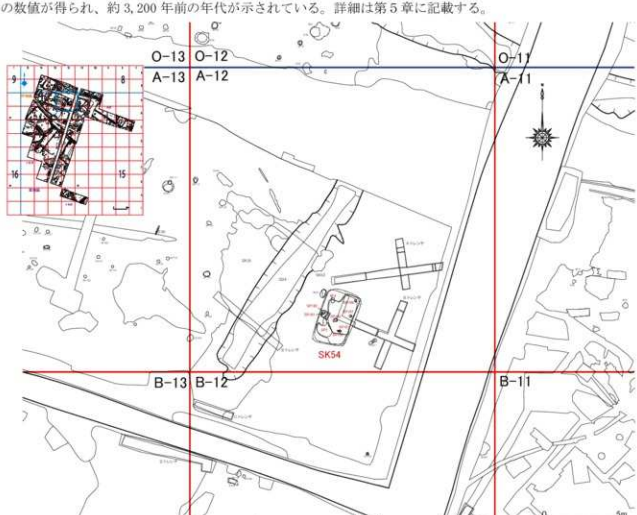
縄文時代の遺構は、Ⅳ地区A12グリッドより竪穴状の遺構（SK54）が確認されている。

竪穴状の遺構（SK54）は平面形3.5m×2.2mの長方形状のプランを呈する。掘方は鍋底状で深さは25～30cmである。埋土は暗褐色砂質シルトで炭や石灰質砂粒、赤色粒が混ざる。床面は北東側で不定形な形に一段掘り込まれ、落ち込む形状となっている。遺構内にはピット、焼土面がみられる。

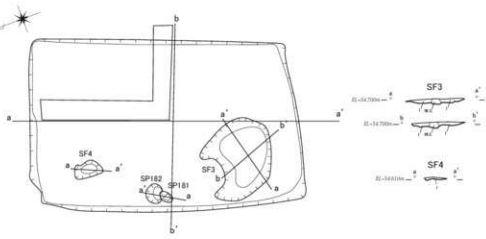
ピットは床面に７基確認されており、長径は20～30cm前後で深さ10～20cmと浅いものが主体であるが、一段掘り込まれた範囲外にあるSP181・182は深さ54cmで他のピットとは性格が異なる可能性がある。焼土面（SF３・４）は遺構内の西側にあり、深さ５～６cmと浅いが、SF３上面では土器、石器が出土している。規模が大きいSF３は炉の可能性がある。

遺構内からは縄文時代後期の点刻線文系の土器や石器が出土している。山形口縁の伊波式が主体的で、口縁を突帯により区画する資料（第13図１・２）もある。遺物点数などについては第２表に示す。

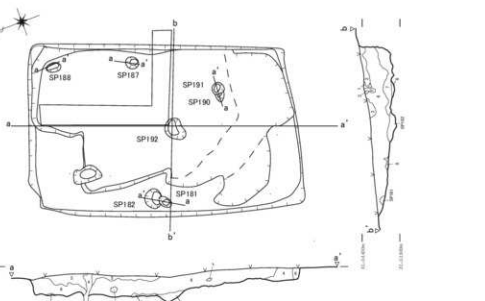
また、SK54より採取された炭化材の放射性炭素年代測定を実施した結果、3,259±26BP～3,230±27BPの数値が得られ、約3,200年前の年代が示されている。詳細は第５章に記載する。



第11図　縄文時代の遺構１（Ⅳ地区）



SK54 焼土検出状況



SK54 床面検出状況

SK54
1層 褐色土　砂質シルト。暗褐色土、炭、礫を含む。
2層 暗褐色土 砂質シルト。褐色土、炭を含む。
3層 暗褐色土 砂質シルト。炭を含む。
4層 暗褐色土 砂質シルト。褐色土、礫、地土粒を含む。
5層 褐色土　砂質シルト。暗褐色土、礫が混じる。
6層 暗褐色土 砂質シルト。褐色土、炭、礫を少量含む。
7層 暗褐色土 砂質シルト。赤土ブロック、炭、礫、赤色粒を少量含む。
8層 暗褐色土 粘質シルト。7層より赤土ブロック多く含む。

SP181
1層 褐色土 粘質シルト。炭を含み、特に赤土ブロックが多い。

SP182
1層 暗褐色土 砂質シルト。赤土ブロックを含む。
1-1層 褐色土 粘質シルト。炭を含む。
2層 褐色土 粘質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
3層 褐色土 粘質シルト。マンガンを含み、特に赤土ブロックが多い。

SP187
1層 暗褐色土 粘質シルト。炭を含み、特に赤土ブロックが多い。

SP188
1層 暗褐色土 粘質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
2層 暗褐色土 粘質シルト。炭を含み、特に赤土ブロックが多い。

SP190
1層 暗褐色土 粘質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
2層 暗褐色土 粘質シルト。赤土ブロック、炭が少量含む。

SP191
1層 褐色土 粘質シルト。赤土ブロック、炭を含む。

SF3
1層 暗赤褐色土 粘質シルト。赤土ブロック、炭を含み、特に地土が多い。
中央部に地土塊（暗赤褐色）。

SF4
1層 黒褐色土 粘質シルト。赤土ブロック、炭を含み、特に地土が多い。

第 12 図　縄文時代の遺構 2（Ⅳ地区）

SK54　焼土面検出状況（北西から）

SK54　床面検出状況（北西から）

SK54　遺物出土状況（北西から）

図版３　縄文時代の遺構１（Ⅳ地区）

SK54　断面（南から）

SK54　断面（北から）

SP181・182　半裁断面（東から）

SP187　半裁断面（西から）

SF3　断面（南から）

SK54　土器出土状況（西から）

SK54　石器出土状況（北西から）

SK54　調査状況

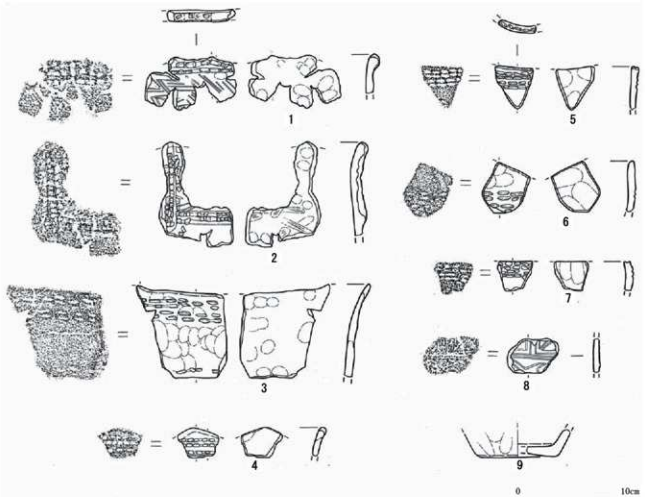
図版４　縄文時代の遺構２（Ⅳ地区）

第１表　縄文　遺構出土遺物観察一覧（Ⅳ地区）

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（ｃｍ） 口径（長軸）	底径（短軸）	器高（厚さ）	観察事項	地区	出土地
第13図 図版５	1	土器	鉢	口縁部	—	—	—	山形口縁。口縁に突帯貼り付けで口唇～突帯に押引文。突帯以下沈線文を充填。内外面ナデ調整で内面に指頭痕。胎土は外面褐色・内面赤褐色の泥質で非常に脆い。混入物に粗砂粒、石英、チャートを多量に含む。２と同一個体。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-2
	2	土器	鉢	口縁部	—	—	—	山形口縁。口縁に縦位・横位突帯貼り付けで突帯に押引文。１と同一個体と考えられ、突帯の区画内に沈線文を充填。胎土・混入物は１に同じ。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-2
	3	土器	鉢	口縁部	—	—	—	山形口縁。外面に連点文。内外面ナデ調整で内外面に指頭痕。胎土は橙色の砂質で脆い。混入物に粗砂粒、石英を多量に含む。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-66
	4	土器	鉢	口縁部	—	—	—	山形口縁。外面に連点文。内外面ナデ調整で内外面に指頭痕。胎土は赤褐色の砂質で脆い。混入物に粗砂粒、石英、チャートを多量に含む。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-41
	5	土器	鉢	口縁部	—	—	—	平口縁で口唇部平坦。口唇および外面に連点文。内外面ナデ調整で内面に指頭痕。胎土は外面褐色・内面黄褐色の砂質で脆い。混入物に粗砂粒、石英、チャート、赤色粒を多量に含む。	Ⅳ	A12　SK54 D-31
	6	土器	鉢	胴部	—	—	—	山形口縁。外面に連点文。内外面ナデ調整で内外面に指頭痕。胎土は褐色の砂質で脆い。混入物に粗砂粒、石英、チャートを多量に含む。	Ⅳ	A12　SK54 2層　D-76
	7	土器	鉢	口縁部	—	—	—	平口縁で口唇部平坦。外面に連点文。内外面ナデ調整で内面に指頭痕。胎土は黄褐色の砂泥質で脆い。混入物に粗砂粒、石英を多量に含む。	Ⅳ	A12　SK54 D-36
	8	土器	鉢	胴部	—	—	—	外面に縦撫状文。胎土は赤褐色の砂泥質で脆い。混入物に粗砂粒、チャート、赤色粒を多量に含む。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-7
	9	土器	鉢	底部	—	7.2	—	平底。胎土は赤褐色の砂質で非常に脆い。混入物に粗砂粒、石英、チャート、黒色粒を多量に含む。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-54
第14図 図版６	10	石器	敲石	—	—	—	—	表裏側面に研磨調整による滑面、刃部縁辺に敲打痕。側面に抉りあり。重量520g。緑色岩。転用品か。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-4
	11	石器	敲石・磨石	—	—	—	—	下端部に敲打痕。重量293g。砂岩。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-3
	12	石器	磨石	—	—	—	—	縁辺に敲打痕。重量480g。砂岩。	Ⅳ	A12　SK54 5層
	13	石器	凹石	—	—	—	—	中央使用面は凹む。側面に敲打痕。重量820g。砂岩。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-1
	14	石器	砥石	—	—	—	—	表面に滑面。重量261g。砂岩。	Ⅳ	A12　SK54 4層　D-16

第２表　縄文　遺物出土状況（Ⅳ地区）

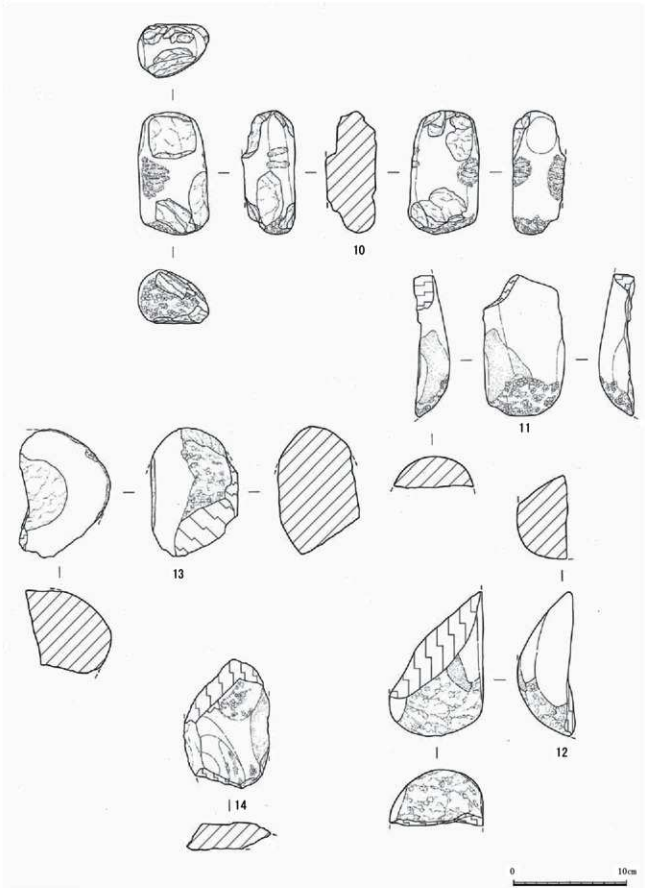
出土地点			種類・器種・部位	土器 鉢 口縁部	鉢 胴部	鉢 底部	器種不明 胴部	石器 敲石・磨石	凹石	砥石	石材	合計
Ⅳ地区	SK54	2層	D-35	1			1				1	4
	SK54	2層	D-35	1								1
	SK54		D-26		1							1
	SK54		D-18		4							4
	SK54		D-20				2					2
	SK54	3層	D-21								1	1
	SK54		D-22								1	1
	SK54		D-31	1								1
	SK54		D-36	1								1
	SK54		D-1						1			1
	SK54		D-2	2							1	3
	SK54		D-3					1				1
	SK54		D-4					1				1
	SK54		D-5	1								1
	SK54		D-7	1								1
	SK54		D-12								1	1
	SK54		D-14								1	1
	SK54	4層	D-15		1							1
	SK54		D-16							1		1
	SK54		D-24				1					1
	SK54		D-41	1								1
	SK54		D-49		1							1
	SK54		D-53		1							1
	SK54		D-54			1						1
	SK54		D-66	1								1
	SK54		D-68								1	1
	SK54		D-75								1	1
	SK54	5層		1				1				2
	SK54	Lトレンチ①	4層		1							1
	SK54	北東1/4	層不明	1	2						1	4
	SK54		層不明		2						1	4
	SF3		4層	D-1								1
合　計				12	14	1	4	3	1	1	10	46



SK54(Ⅳ)

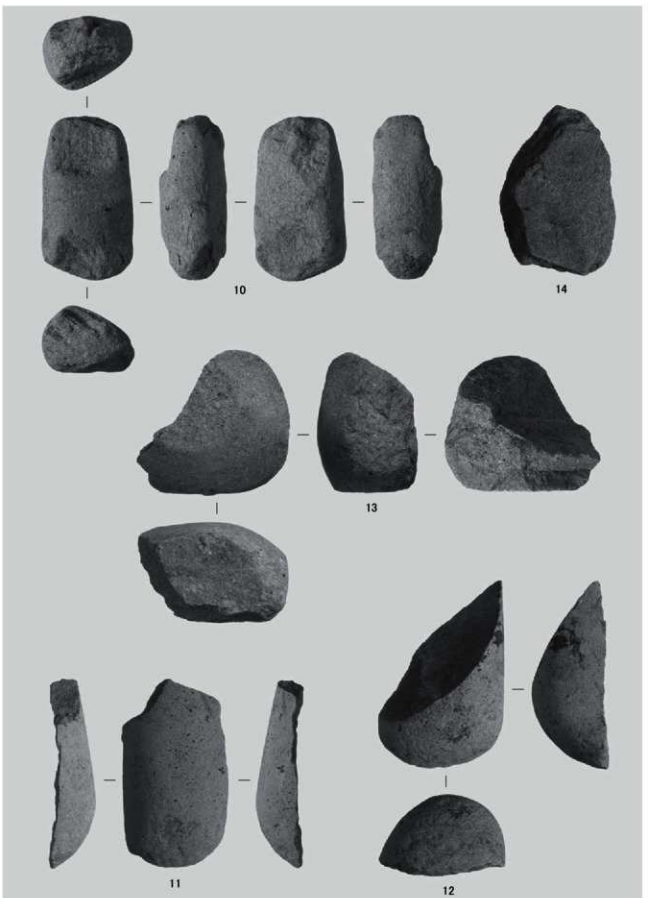
第 13 図　縄文　出土遺物 1　（Ⅳ地区）

図版 5　縄文　出土遺物 1（Ⅳ地区）



SK54(Ⅳ)

第14図　縄文　出土遺物２　（Ⅳ地区）



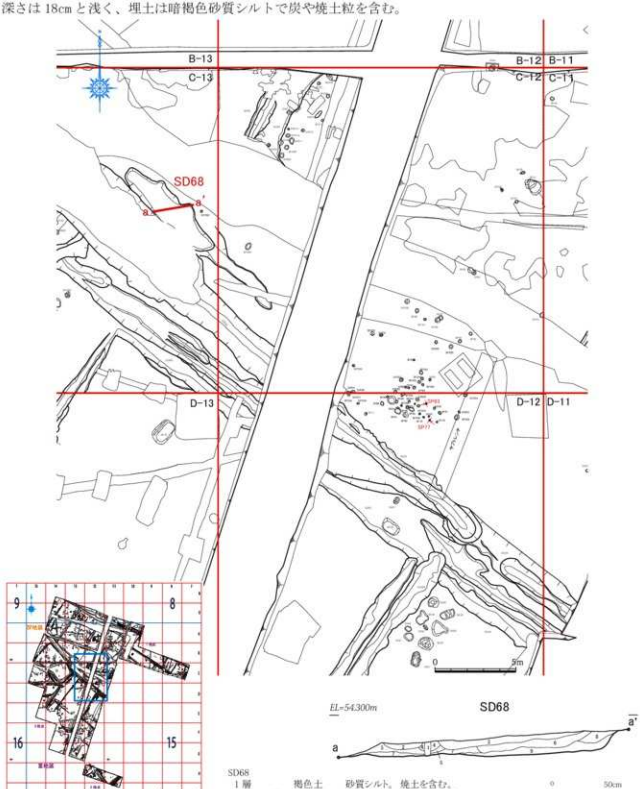
図版６　縄文　出土遺物２（Ⅳ地区）

第２項　グスク時代の遺構及び遺構内出土遺物

a　遺構

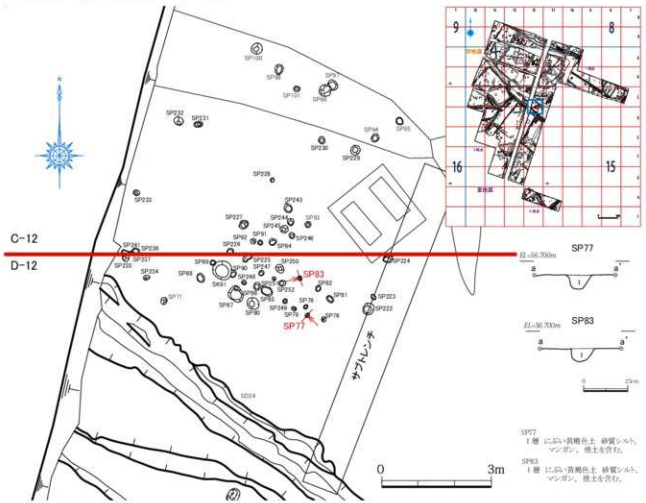
グスク時代の遺構は、ピット群、溝状遺構（SD68）が確認されている。

溝状遺構(SD68)はⅢ地区 C12･13 グリッドに位置し、北西－南東方向に延びる。幅 1.6m で全長 12m である。深さは 18cm と浅く、埋土は暗褐色砂質シルトで炭や焼土粒を含む。



第 15 図　グスク時代の遺構１（Ⅲ地区）

ピットは、Ⅲ・Ⅳ地区において近世の遺構と混在する形で検出されており、特にⅢ地区C12～D12グリッドやⅢ地区H12グリッドにおいてピット群のまとまりが認められる。平面形が円形・楕円形や不定形のものが確認されており、柱痕があり掘方が鍋底状となるものから、柱痕がなく掘方レンズ状となるものなどバリエーションがある。深さは殆どが浅く、堀立柱建物のプランとして認められるものは無かった。ピットからは土器片や石材が少量出土している。



第16図　グスク時代の遺構２（Ⅲ地区）

b　遺構内出土遺物

遺物は土器や石材が少量出土しており、第17図1のグスク土器は甕の口縁部片で平口縁である。内外面ナデ調整で内外面に指頭痕が残る。胎土は内外面黄褐色・断面黒褐色の泥質。混入物に砂粒を含む。Ⅲ地区C13グリッドSD68出土。

第３表　グスク　遺物出土状況（Ⅲ地区）

出土地	種類・器種・部位		土器 甕 口縁部	土器 甕 口縁部	土器 鉢 胴部	土器 器種不明 胴部	石材	合計
Ⅲ地区	D12 SP87 埋土						1	1
	D12 SP247 埋土						1	1
	H12 SP297 埋土				1			1
	H12 SP299 埋土					1		1
	H12 SP309 埋土			1				1
	D12 SK91 埋土				1	1		2
	C13 SD68 埋土		1		3	1	1	6
合計			1	1	5	3	3	13

第17図　グスク　出土遺物（Ⅲ地区）

図版7　グスク　出土遺物（Ⅲ地区）

SD68 検出状況（東から）

SD68 完掘状況（東から）

C12・D12 グリッド ピット群検出状況（西から）

図版８　グスク時代の遺構（Ⅲ地区）

第３項　近世～近代の遺構及び遺構内出土遺物

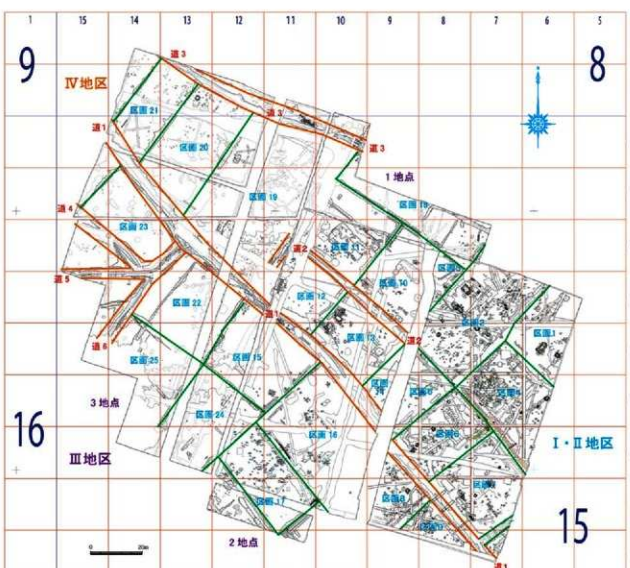
a　遺構

今回の調査で検出された遺構は、当該時期の遺構が主体を占める。主な遺構として、ピット、土坑、方形石組遺構、石敷遺構、溝跡、道跡、炉跡等があり、建物跡と考えられるものは１棟確認された。以下に遺構別に詳細を報告する。

溝跡は、軸が一定方向に延びる状況で検出されており、屋敷や畑等の区画を示すものと考えられる。また、前回調査時に確認された道跡と繋がるものもあり、これらは道跡と考えることができる。

今調査においては、前回調査時に想定された 17 の区画に連結する形で新たに区画を想定することができ、Ⅰ地区からⅣ地区までを合わせた調査区全体を全部で 25 の区画に分けられると想定した（第 18 図）。

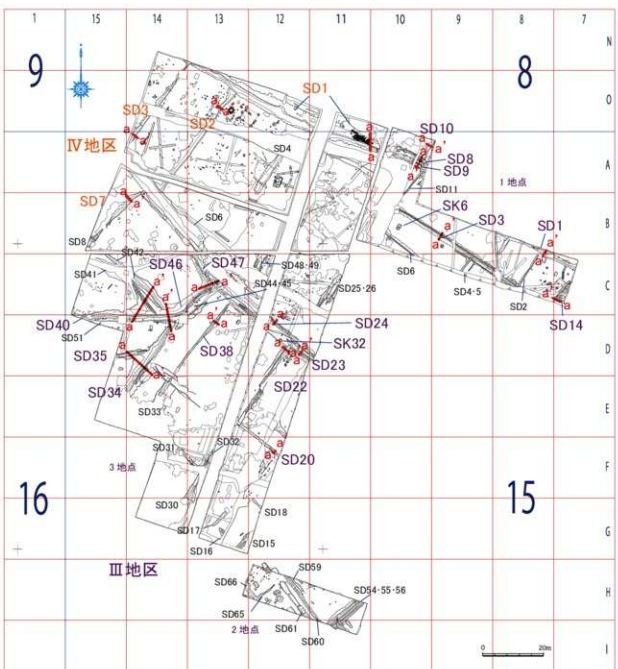
区画を示すと考えられる溝跡には SD ３、４・５、10、11、14、15、20、22、30、33、38、54・55・56、60、61（Ⅲ地区）、SD ２、３、４、７（Ⅳ地区）がある。SD ３、20、60、61（Ⅲ地区）は北西－南東方向に延び、その他は北東－南西方向に延びる。



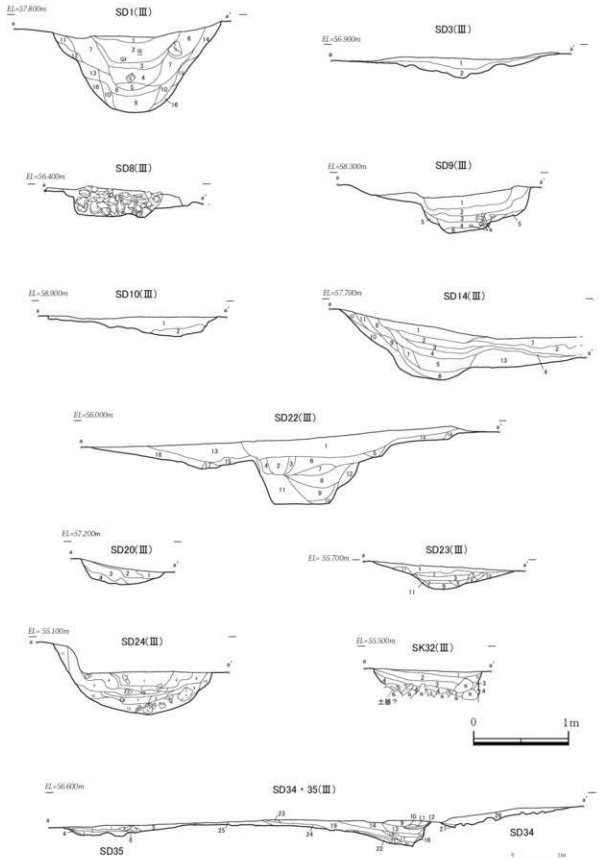
第 18 図　区画配置図（Ⅰ～Ⅳ地区）

道跡と考えられる遺構についても複数確認された。前回調査時に確認された道１・２に繋がる道跡が確認され、その他にも新たに３つの道跡を想定することができ、道跡は合わせて１～５までとなった（第 18 図）。これらは昭和 20 年に撮影された航空写真（図版 46）にみえる道と方向が一致していることより道跡と考えられる。

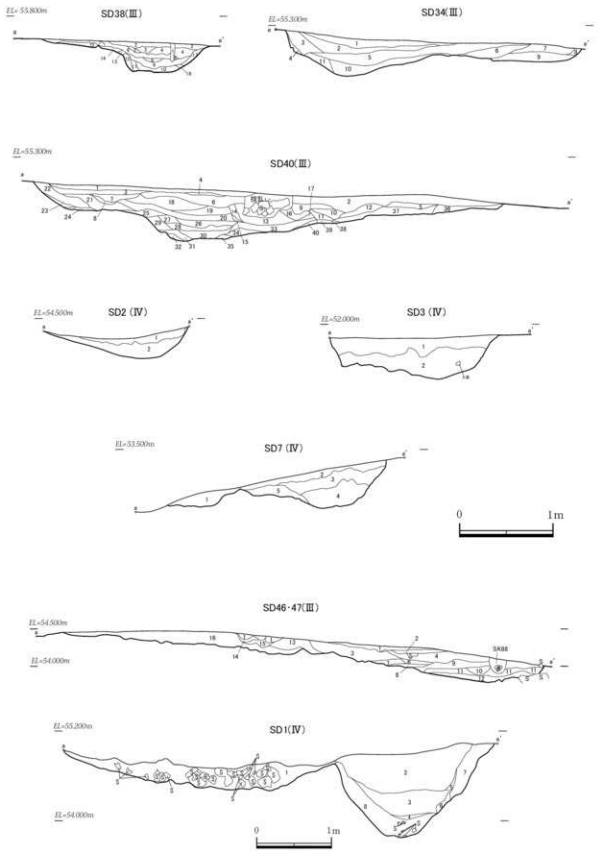
Ⅲ地区ではSD８、９、23、24、25・26、34、40・54、41、46、47、Ⅳ地区ではSD１が道跡と考えられる遺構である。そのうち、SD23･24･46･47（Ⅲ地区）が道１、SD25･26（Ⅲ地区）が道２、SD８・９（Ⅲ地区）・SD１（Ⅳ地区）が道３、SD41・42 が道４、SD40・51 が道５、SD34 を道６とした。



第 19 図　近世～近代の遺構１（Ⅲ・Ⅳ地区）



第 20 図　近世～近代の遺構 2（Ⅲ・Ⅳ地区）



第 21 図　近世～近代の遺構３（Ⅲ・Ⅳ地区）

第４表　近世～近代の遺構埋土所見一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）a

Ⅲ地区			
遺構	層序	色調	所見
SD1	1層	褐色土	焼土を含む。
	2層	褐色土	礫、炭、焼土を含む。
	3層	褐色土	炭、焼土を含む。
	4層	明褐色土	炭、焼土を含む。
	5層	褐色土	—
	6層	暗褐色土	—
	7層	にぶい黄褐色土	炭、焼土を含む。
	8層	褐色土	炭、焼土を含む。
	9層	黄褐色土	砂質シルト。炭、焼土を含む。
	10層	褐色土	炭を含む。
	11層	褐色土	炭、焼土を含む。
	12層	明褐色土	炭を含む。
	13層	褐色土	炭、焼土を含む。
	14層	にぶい黄褐色土	—
	15層	にぶい黄褐色土	焼土を含む。
	16層	褐色土	炭、焼土を含む。
SD3	1層	褐色土	炭、焼土を含む。
	2層	明褐色土	炭、焼土を含む。
SD8	—	—	—
SD9	1層	褐色土	礫、砂粒を含む。
	2層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、マンガンを含む。
	3層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、マンガン、礫を含む。陶器片が出土。
	4層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、マンガンを含む。
	5層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、マンガンを含む。
	6層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、マンガンを含む。
SD10	1層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	2層	褐色土	砂質シルト。マンガンを含む。
SD14	1層	褐色土	粘質シルト。
	2層	褐色土	粘質シルト。石灰岩粒を含む。
	3層	褐色土	粘質シルト。石灰岩粒を含む。
	4層	褐色土	粘質シルト。
	5層	褐色土	粘質シルト。
	6層	褐色土	粘質シルト。
	7層	褐色土	粘質シルト。
	8層	褐色土	砂質シルト。
	9層	褐色土	砂質シルト。
	10層	褐色土	砂質シルト。
	11層	褐色土	粘質シルト。
	12層	褐色土	粘質シルト。
	13層	褐色土	粘質シルト。
SD20	1層	褐色土	粘質シルト。マンガンを含む。
	2層	褐色土	粘質シルト。
	3層	褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、礫を含む。
	4層	褐色土	粘質シルト。
SD22	1層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭、礫を含む。
	2層	褐色土	粘質シルト。炭を含む。
	3層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
	4層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	5層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	6層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭、礫を含む。
	7層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
	8層	明褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、マンガンを含む。
	9層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを多く含む。
	10層	褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	11層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭、礫を含む。
	12層	明褐色土	砂質シルト。炭、礫を含む。
	13層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	14層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	15層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
	16層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	17層	明褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを多く含む。
	18層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
SD23	1層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	2層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	3層	褐色土	砂質シルト。マンガンを含む。
	4層	褐色土	砂質シルト。
	5層	褐色土	砂質シルト。炭を含む。
	6層	褐色土	砂質シルト。砂粒を多く含む。
	7層	褐色土	砂質シルト。
	8層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを多く含む。
	9層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭、礫を含む。
	10層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
	11層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
SD24	1層	褐色土	マンガン、砂粒を含む。
	2層	褐色土	粘質シルト。マンガン、砂粒を含む。
	3層	黄褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、マンガン、砂粒、石灰岩粒を含む。
	4層	褐色土	粘質シルト。マンガン、砂粒、石灰岩粒を含む。
	5層	褐色土	粘質シルト。マンガン、礫、石灰岩粒を含む。陶器片が出土。
	6層	黄褐色土	砂質シルト。マンガン、石灰岩粒を含む。
	7層	褐色土	粘質シルト。マンガン、石灰岩礫を含む。
	8層	褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、炭、砂粒を含む。
	9層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、砂粒を含む。
	10層	褐色土	粘質シルト。砂粒を含む。
	11層	褐色土	粘質シルト。マンガン、石灰岩粒を含む。
	12層	褐色土	砂質シルト。砂粒を含む。
	13層	褐色土	粘質シルト。マンガン、石灰岩礫を含む。沖縄産陶器が出土。
SD34	1層	褐色土	砂質シルト。炭を含む。
	2層	褐色土	砂質シルト。炭、焼土を含む。
	3層	褐色土	砂質シルト。炭を含む。
	4層	褐色土	砂質シルト。
	5層	褐色土	砂質シルト。
	6層	褐色土	砂質シルト。炭、焼土を含む。
	7層	褐色土	砂質シルト。
	8層	褐色土	砂質シルト。
	9層	褐色土	砂質シルト。
	10層	褐色土	砂質シルト。
	11層	褐色土	砂質シルト。
SD35 SD34	1層	褐色土	砂質シルト。
	2層	褐色土	砂質シルト。炭を含む。
	3層	褐色土	粘質シルト。炭を含む。
	4層	褐色土	粘質シルト。マンガンを含む。
	5層	褐色土	砂質シルト。焼土を含む。
	6層	褐色土	砂質シルト。炭を含む。
	7層	褐色土	砂質シルト。
	8層	褐色土	砂質シルト。
	9層	褐色土	砂質シルト。炭、礫を含む。
	10層	褐色土	砂質シルト。
	11層	明褐色土	砂質シルト。炭、焼土、砂粒を含む。
	12層	褐色土	砂質シルト。礫を含む。
	13層	褐色土	砂質シルト。マンガンを含む。
	14層	褐色土	砂質シルト。焼土を含む。
	15層	褐色土	砂質シルト。炭、焼土を含む。
	16層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
	17層	褐色土	粘質シルト。炭を含む。
	18層	褐色土	砂質シルト。
	19層	褐色土	粘質シルト。炭、焼土を含む。
	20層	褐色土	粘質シルト。
	21層	明褐色土	砂質シルト。マンガンを含む。
	22層	明褐色土	砂質シルト。
	23層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	24層	褐色土	砂質シルト。
	25層	褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、炭を含む。
	26層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、マンガンを含む。
	27層	黄褐色土	砂質シルト。
SK32	1層	褐色土	砂質シルト。
	2層	褐色土	砂質シルト。
	3層	褐色土	赤土ブロックを含む。
	4層	褐色土	赤土ブロックを含む。
	5層	褐色土	砂質シルト。石灰岩礫を含む。沖縄産陶器が出土。

第４表　近世～近代の遺構埋土所見一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）b

Ⅲ地区

遺構	層序	色調	所見
SD38	1層	褐色土	砂粒を含む。
	2層	褐色土	砂粒を含む。
	3層	褐色土	砂粒を含む。
	4層	褐色土	砂粒を含む。
	5層	褐色土	砂粒を含む。土器が出土。
	6層	褐色土	砂粒を含む。
	7層	褐色土	—
	8層	褐色土	砂粒を含む。
	9層	褐色土	炭を含む。
	10層	褐色土	炭、砂粒を含む。
	11層	褐色土	砂粒を含む。
	12層	褐色土	—
	13層	褐色土	—
	14層	褐色土	砂粒を含む。
	15層	褐色土	砂粒を含む。
	16層	褐色土	—
	17層	褐色土	—
SD40	1層	褐色土	焼土、砂粒、礫を含む。
	2層	褐色土	焼土、砂粒を含む。土器が出土。
	3層	褐色土	焼土を多く含む。
	4層	褐色土	焼土を含む。
	5層	褐色土	焼土、砂粒を含む。
	6層	褐色土	焼土を含む。
	7層	褐色土	焼土を含む。
	8層	褐色土	焼土を含む。
	9層	褐色土	焼土を含む。
	10層	褐色土	焼土を含む。
	11層	褐色土	焼土を含む。
	12層	褐色土	焼土を含む。
	13層	褐色土	—
	14層	褐色土	焼土を含む。
	15層	褐色土	焼土、砂粒、礫を含む。
	16層	褐色土	焼土、礫を含む。
	17層	褐色土	焼土を含む。
	18層	褐色土	焼土を含む。
	19層	褐色土	焼土を含む。
	20層	褐色土	焼土、砂粒を含む。
SD46 SD47	1層	黄褐色土	砂質シルト。炭を含む。
	2層	黄褐色土	砂質シルト。石灰岩粒を含む。
	3層	褐色土	砂質シルト。
	4層	褐色土	砂質シルト。石灰岩粒を含む。
	5層	黄褐色土	砂質シルト。石灰岩粒を含む。
	6層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、石灰岩粒を含む。
	7層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
	8層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
	9層	褐色土	砂質シルト。石灰岩粒を含む。
	10層	褐色土	砂質シルト。炭を含む。陶器片が出土。
	11層	黄褐色土	砂質シルト。
	12層	褐色土	砂質シルト。
	13層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
	14層	黄褐色土	砂質シルト。
	15層	褐色土	粘質シルト。
	16層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロックを含む。
SD40	21層	褐色土	炭、焼土、礫を含む。
	22層	褐色土	焼土を含む。
	23層	褐色土	炭、焼土を含む。
	24層	褐色土	—
	25層	褐色土	—
	26層	褐色土	焼土を含む。
	27層	褐色土	砂粒を含む。
	28層	褐色土	焼土、砂粒を含む。
	29層	褐色土	—
	30層	褐色土	炭、焼土を含む。
	31層	褐色土	砂粒を含む。
	32層	褐色土	—
	33層	褐色土	焼土を含む。
	34層	褐色土	炭、砂粒を含む。
	35層	褐色土	砂粒を含む。
	36層	褐色土	砂粒を含む。
	37層	褐色土	焼土、砂粒を含む。
	38層	褐色土	焼土を含む。
	39層	褐色土	焼土を含む。
	40層	褐色土	焼土を含む。

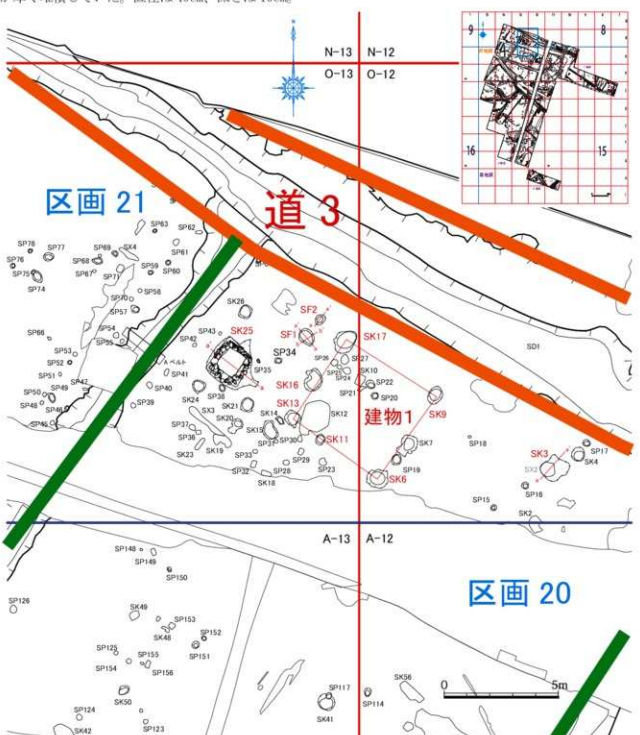
Ⅳ地区

遺構	層序	色調	所見
SD1	1層	—	撹乱。
	2層	—	撹乱。
	3層	—	撹乱。
	4層	褐色土	砂質シルト。
	5層	褐色土	粘質シルト。
	6層	褐色土	砂質シルト。石灰岩粒を含む。
	7層	褐色土	砂質シルト。石灰岩粒を含む。
	8層	褐色土	砂質シルト。赤土ブロック、石灰岩礫を含む。
SD2	1層	褐色土	赤土ブロック、炭、焼土を含む。
	2層	褐色土	赤土ブロック、炭、焼土を含む。
SD3	1層	褐色土	焼土、マンガンを含む。
	2層	褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、炭、焼土、マンガンを含む。
SD7	1層	褐色土	炭、石灰岩礫を含む。
	2層	褐色土	粘質シルト。炭、焼土、マンガンを含む。
	3層	褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、炭、焼土、マンガンを含む。
	4層	褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、炭、焼土、マンガンを含む。
	5層	褐色土	粘質シルト。赤土ブロック、炭、焼土、マンガンを含む。

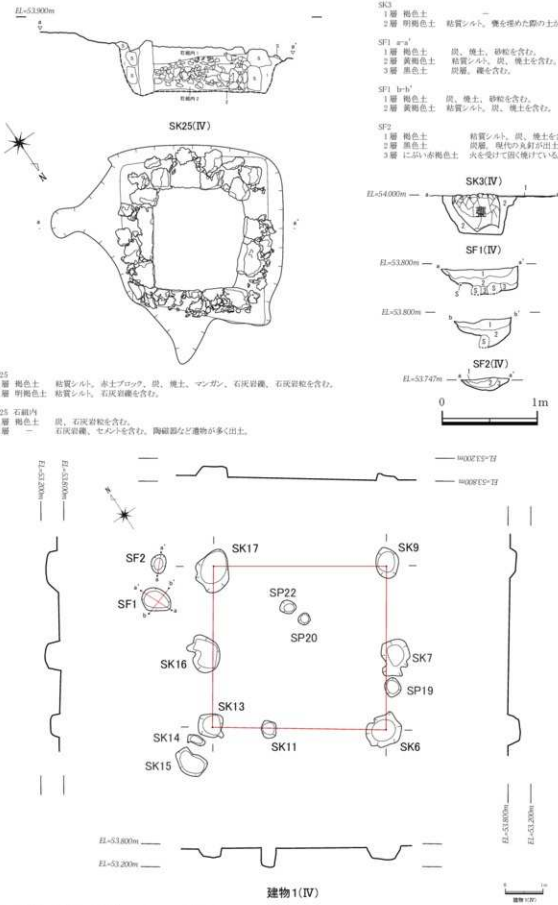
建物跡は１棟が確認された。建物１は６本柱の建物で、規模は約 4.5m × 4.2m あり、長方形を呈する。倉庫跡と考えられる。

方形石組遺構は少なく、１基が確認された。SK25 は約 160cm × 160cm、深さは 60cm で、20 ～ 60cm 大の石灰岩を四方に配置している。床面は地山直上に拳大の小礫を敷き、その上にモルタルで床を構築している。

炉跡は２基確認された。SF １は焼土が楕円形を描いて検出され、1/4 半裁の結果、壁面は火熱の影響による硬化や炭の付着がみられ、また床面についても炭層が厚く堆積していた。規模は約 75cm × 60cm、深さは約 20cm。SF ２は円形を呈し、半裁の結果、壁面上部が火熱の影響により赤味を帯びて硬化しており、炭層が厚く堆積していた。直径は 40cm、深さは 10cm。



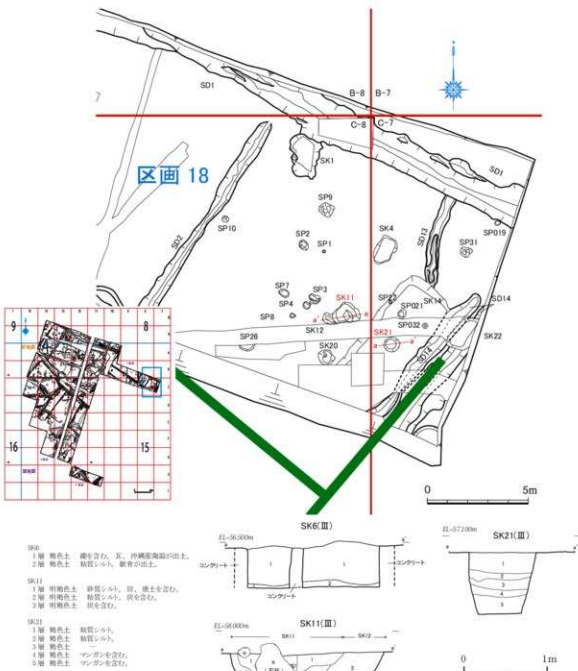
第 22 図　近世～近代の遺構４（Ⅲ・Ⅳ地区）



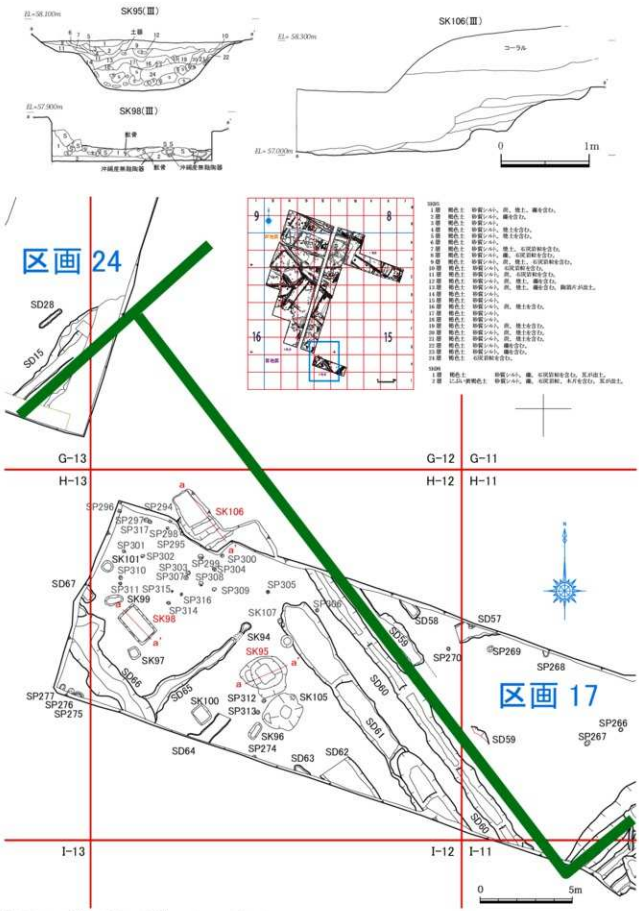
第 23 図　近世～近代の遺構５（Ⅲ・Ⅳ地区）

土坑は数多く確認された。SK21 のような床面が楕円形を呈するものや、SK95 のような床面が方形状を呈するものが多くみられた。SK21 は約 80cm × 78cm、深さは 75cm、SK95 は約 220cm × 210cm、深さは 60cm。SK11 は石灰岩の石柱の一部が残っていることより、本来は石柱からなる建物の柱穴であったものと考えられる。SK32 は床面に 5 ～ 15cm 大の石灰岩礫が集中して検出された。これは排水を良くするために意図的に入れた可能性が考えられる。規模は 130cm × 70cm、深さは 25cm。SK106 は階段状の段差を伴っており、少なくとも 3 段は確認される。SK 6 と SK98 は地山を方形状に掘り込んだ後、壁面及び床面をコンクリートで成形したものである。SK 6 は中に仕切りがある。規模は約 200cm × 120cm、深さは 45cm。SK98 の規模は約 220cm × 120cm、深さは 50cm。

ピットは数多く確認されており、屋敷跡に関連すると考えられるものもあるが、明確なプランを把握できるものは少なかった。



第 24 図　近世～近代の遺構 6（Ⅲ・Ⅳ地区）



第 25 図　近世～近代の遺構 7（Ⅲ・Ⅳ地区）

SD1 断面（東から）

SD3 断面（東から）

SD8 断面（西から）

SD9 断面（西から）

SD10 断面（南から）

SD14 断面（北から）

SD20 断面（東から）

SD22 断面（南から）

図版９　近世～近代の遺構１（Ⅲ地区）

SD23 断面（東から）

SD24・47 礫検出状況（北から）

SD34・35 断面（南東から）

SD34・35 断面（東から）

SD38 断面（北から）

SD46・47 断面（南東から）

SK6 内 半裁断面（東から）

SK6 内 完掘状況（東から）

図版 10　近世～近代の遺構 2（Ⅲ地区）

SK11・12 完掘状況（北から）

SK21　半裁断面（南から）

SK32　半裁断面（北から）

SK32　礫敷検出状況（北から）

SK95　半裁断面（東から）

SK98　半裁断面（西から）

SK98 内　完掘状況（西から）

SK106　完掘状況（東から）

図版 11　近世～近代の遺構３（Ⅲ地区）

SD1　断面（東から）

SD1　礫検出状況（西から）

SD2　断面（南西から）

SD3　断面（南西から）

SD7　断面（南西から）

SK3　半裁断面（南東から）

SK6　半裁断面（北から）

SK9　半裁断面（北東から）

図版 12　近世～近代の遺構 4（Ⅳ地区）

SK11　半裁断面（南東から）

SK13　半裁断面（南東から）

SK16　半裁断面（東から）

SK25 内　半裁断面（北から）

SK25　床面除去状況（北から）

SP19　半裁断面（東から）

SF1　1/4 半裁断面（北東から）

SF2　半裁断面（東から）

図版 13　近世～近代の遺構 5（Ⅳ地区）

b　遺構内出土遺物

遺構内出土遺物は、沖縄産施釉陶器、沖縄産無釉陶器が主体をなし、青磁、白磁、染付、色絵、瑠璃釉、褐釉磁器、中国産・タイ産褐釉陶器、本土産陶磁器、陶質土器、瓦質土器、カムィヤキ、土器、石製品、円盤状製品、金属製品、瓦、玉等、合計 11,534 点が出土した。ここでは代表的な 261 点について図化し、個々の所見は遺物観察表（第５表）でまとめる。また、第 18 ～ 21 表にて遺構ごとの遺物出土状況を示す。

第５表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）a

掲図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（cm） 口径 （長軸）	 底径 （短軸）	 器高 （厚さ）	観察事項	地区	出土地
第26図 図版14	1	染付	碗	底部	—	7.2	—	内底に蛇の目釉剥ぎ。福建広東系。	Ⅲ	B8 SD1 埋土
	2	染付	皿	口～底部	15.0	7.8	3.5	畳付露胎。素地は白色で緻密。内底に文様。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	3	染付	小杯	底部	—	—	—	透明釉を施釉。畳付露胎。外面に文様。畳付に砂粒が付着。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	4	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	7.1	—	全面に白化粧と透明釉を施釉。内底を白化粧を残し蛇の目。畳付を釉剥ぎ。素地は橙色で緻かい。	Ⅲ	B8 SD1 埋土
	5	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.4	—	灰褐色釉を施釉。内底、外底は無釉。素地は灰白色で緻かい。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	6	沖縄産 施釉陶器	碗	口～底部	13.2	6.4	6.3	全面に白化粧と透明釉を施釉。内底は白化粧を残し蛇の目。畳付を釉剥ぎ。素地は橙色で緻かい。外面に文様あり。内底にアルミナ付着。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	7	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	4.0	—	全面に透明釉を施釉後、内底を蛇の目釉剥ぎ。外底、畳付は無釉。素地は灰白色で緻かい。内底にアルミナ付着。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	8	沖縄産 施釉陶器	酒注	底部	—	8.2	—	外面白化粧後、透明釉を施釉。外底は無釉、素地は褐黄色で緻かい。外面に気泡と褐釉で施文。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	9	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	5.1	3.1	2.7	外面にのみ施釉を施釉。素地は灰色で緻かい。	Ⅲ	B8 SD1 埋土
	10	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	11.4	6.4	—	外面にのみ施釉を施釉し一部蛇の目釉剥ぎ。素地は橙色で緻かい。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	11	沖縄産 施釉陶器	蓋	摘み	5.8	—	—	外面にのみ施釉を施釉。素地は暗灰色で緻かい。内面は轆轤目明瞭。	Ⅲ	B8 SD1 埋土
	12	沖縄産 無釉陶器	皿	底部	—	4.2	—	素地は明橙色で緻密。一部に煤が付着。	Ⅲ	B8 SD1 埋土
	13	沖縄産 無釉陶器	鉢	底部	—	12.4	—	内面、外底はにぶい赤褐色で外面は褐色。素地は緻密。底部はヘラ削り。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	14	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	13.8	—	—	口縁部はきっく内湾。素地は橙色で緻かく雲母が含まれる。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	15	沖縄産 無釉陶器	壺耳	口縁部	—	—	—	逆L字状口縁。素地は暗赤褐色で緻密。外面に黄褐色の自然釉。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	16	沖縄産 無釉陶器	壺耳	口縁部	—	—	—	逆L字状口縁。櫛目は間隔密。素地は暗赤褐色で緻密。孔口あり。	Ⅲ	B8 SD1 埋土
	17	沖縄産 無釉陶器	壺耳	底部	—	14.6	—	櫛目は間隔密。素地は赤褐色で緻密。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
第27図 図版14	18	沖縄産 無釉陶器	壺耳	底部	—	8.8	—	櫛目は間隔密。素地は明赤褐色で緻密。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	19	沖縄産 無釉陶器	蓋	摘み	6.5	—	—	外面にのみ施釉。内面、外底付近は無釉。素地は褐赤褐色で緻かい。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	20	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	17.0	—	—	逆L字状口縁。素地は暗赤褐色で緻密。肩部にヘラで施文。口唇部に目痕。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	21	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	12.4	—	—	玉縁状口縁。素地は暗赤褐色で緻密。外面に沈線。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
第27図 図版15	22	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	12.5	—	—	口唇部が舌状に肥厚。素地は暗赤褐色で緻密。外面、内面の口縁付近にマンガン釉を施で施釉。	Ⅲ	B8 SD1 埋土
	23	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	9.3	—	素地は赤褐色で緻密。内面の轆轤目明瞭。	Ⅲ	C7 SD1 埋土
	24	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	21.8	—	素地は赤褐色で緻密。外面に沈線。	Ⅲ	C7 SD1 埋土

第5表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）b

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（cm）			観察事項	地区	出土地
					口径 （長軸）	底径 （短軸）	器高 （厚さ）			
第27図 図版15	25	石器	磨石	—	6.7	4.3	2.1	表面にわずかに磨面残る。砂岩。	Ⅲ	C7　SD1 埋土
	26	円盤状製品	—	—	5.4	5.3	1.4	素材は瓦で縁部を利用。重量47.2g。	Ⅲ	B8　SD1 埋土
	27	円盤状製品	—	—	6.1	5.2	1.0	素材は初期沖縄産無釉陶器。重量49.2g。	Ⅲ	B8　SD1 埋土
	28	本土産 近現代磁器	小杯	底部	—	2.2	—	底部以外に透明釉を施釉。素地は白色で緻密。外面の丸文。高足杯。	Ⅲ	B10　SD3 埋土
	29	沖縄産 施釉陶器	碗	口縁部	14.6	—	—	全面に白化粧後、透明釉を施釉。素地は暗青灰色で細かい。	Ⅲ	C8　SD3 埋土
	30	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.8	—	外面黒釉、内面灰黄色釉掛け分け。外底無釉、内底蛇の目釉剥ぎ。素地は灰色で細かい。内底に褐釉で丸文。	Ⅲ	C8　SD3 埋土
	31	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	3.4	—	外面黒釉、内面白化粧後に透明釉の釉掛け分け。内底蛇の目釉剥ぎ。素地は灰黄色で細かい。内底と畳付にアルミナ付着。	Ⅲ	C8　SD3 埋土
	32	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	3.6	—	全面に白化粧後、透明釉を施釉。外底は白化粧後釉剥ぎ，内底は白化粧を蛇の目釉剥ぎ。素地は灰色で緻密。内底と畳付にアルミナ付着。	Ⅲ	C9　SD3 埋土
	33	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	3.4	—	全面に白化粧後、透明釉を施釉。内底は蛇の目釉剥ぎ。外面を面取りを施す。素地は灰色で緻密。	Ⅲ	C8　SD3 埋土
	34	沖縄産 無釉陶器	椀	口縁部	5.0	—	—	素地は暗赤褐色で緻密。口縁部は外反。	Ⅲ	B10　SD3 埋土
	35	カムィヤキ	壺	口縁部	—	—	—	口縁部は外反。胎土は外面灰色、内面暗オリーブ灰色、断面赤褐色で微砂粒を含む。	Ⅲ	B10　SD3 埋土
	36	円盤状製品	—	—	5.3	4.7	1.0	素材は沖縄産無釉陶器。重量35.6g。	Ⅲ	C8　SD3 埋土
第28図 図版15	37	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.6	—	外面に釉垂れあり。内底無釉。素地は浅黄橙色で細かい。	Ⅲ	A10　SD8 埋土
	38	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	7.0	—	全面に白化粧後、透明釉を施釉。内底は白化粧を残し蛇の目釉剥ぎ。素地は黄橙色で細かい。	Ⅲ	A10　SD8 線層
	39	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	—	—	—	逆L字状口縁。素地は橙色で細かい。	Ⅲ	A10　SD8 埋土
	40	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	底部	—	9.0	—	櫛目は間隔密。素地は赤褐色で緻密。外面に成形痕あり。櫛目が摩耗している。	Ⅲ	A10　SD8 線層
	41	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	9.0	—	内面の轆轤痕明瞭。素地は鈍赤褐色で緻密。	Ⅲ	A10　SD8 埋土
	42	石器	磨石	—	9.1	8.0	4.2	表面にわずかに磨面残る。閃緑岩。	Ⅲ	A10　SD8 埋土
	43	玉	—	—	1.4	1.7	1.4	ガラス製丸玉。表面は劣化しざらざらしている。緑色。	Ⅲ	A10　SD8 線層
	44	円盤状製品	—	—	2.7	2.5	0.8	素材は沖縄産無釉陶器。重量7.2g。	Ⅲ	A10　SD8 埋土
第28図 図版16	45	青磁	碗	底部	—	5.9	—	焼成不良。外面の一部に釉薬が残る。素地は灰色～淡橙色で細かい。	Ⅲ	A10　SD8・9 埋土
	46	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	2.6	—	全面に白化粧後、透明釉を施釉。内底は白化粧を残し蛇の目釉剥ぎ。素地は灰橙色で細かい。外面に呉須と褐釉で花文を施文。畳付にアルミナ付着。	Ⅲ	A10　SD8・9 埋土
	47	染付	碗	底部	—	7.5	—	青白色釉を施釉後、高台を釉剥ぎ。内面は釉を回しかけ内底無釉。外面に褐釉で施文。福建・広東系。	Ⅲ	A10　SD9 埋土
	48	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.6	—	褐釉を外面は腰部まで施釉。内底は蛇の目釉剥ぎ。素地は淡橙色で細かい。	Ⅲ	A10　SD9 埋土
	49	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	8.1	4.1	4.1	全面に白化粧後、透明釉を施釉。内底は白化粧を残し蛇の目釉剥ぎ。素地は淡橙色で細かい。内底、畳付にアルミナ付着。	Ⅲ	A10　SD9 埋土
	50	沖縄産 施釉陶器	急須	底部	—	6.8	—	白化粧後、透明釉を施釉。外底無釉。円錐の脚3点。外底にアルミナ付着。	Ⅲ	A10　SD9 埋土
	51	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	6.8	5.0	2.8	口蓋端部まで透明釉を施釉。口蓋端部が若干反りあがる。素地は灰白色で緻密。撮み径2.0cm。	Ⅲ	A10　SD9 埋土
	52	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	11.4	—	素地は褐色。内外面ともに轆轤痕が明瞭。	Ⅲ	A10　SD9 埋土
	53	陶質土器	鍋	口縁部	17.8	—	—	素地は橙色。内外面ロクロナデ。口頸部は「く」の字状に折れる。口縁部に付く把手は破損。外面口縁部に煤が付着。	Ⅲ	A10　SD9 埋土
	54	陶質土器	火炉	底部	—	8.0	—	素地は橙色。内外面ロクロナデ。底部からの立ち上がりは逆「ハ」状に外傾する。	Ⅲ	A10　SD9 埋土
	55	円盤状製品	—	—	5.0	4.6	1.2	素材は明朝系瓦。重量37.8g。	Ⅲ	A10　SD9 埋土
第29図 図版16	56	白磁	小碗	口縁部	—	—	—	口唇部を釉剥ぎ。素地は白色で緻密。	Ⅲ	C7　SD14 埋土

第５表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）c

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（cm） 口径（長軸）	底径（短軸）	器高（厚さ）	観察事項	地区	出土地
第29図 図版16	57	白磁	小碗	底部	—	3.1	—	外底は露胎。素地は白色で緻密。	Ⅲ	C7 SD14 埋土
	58	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	7.2	—	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は灰白色。黒色粒を含む。	Ⅲ	C7 SD14 埋土
	59	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.4	—	内外面に黒釉を単掛け。外面下半部から外底まで露胎。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。素地は灰白色。	Ⅲ	C7 SD14 埋土
	60	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	—	—	素地は外面側は橙色、内面側は灰色を呈する。外面はナデ調整痕が明瞭。	Ⅲ	C7 SD14 埋土
	61	褐釉磁器	小碗	底部	—	4.8	—	外面に褐釉、内面は透明釉を施釉。素地は白色で緻密。	Ⅲ	F12 SD21 埋土
	62	染付	碗	底部	—	4.8	—	畳付は露胎。素地は灰白色で緻密。内底及び外面に文様あり。外底に「生」という銘あり。徳化窯産。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	63	本土産 近現代磁器	碗	口～底部	11.0	5.2	4.0	畳付は露胎。素地は白色で緻密。内外面に文様あり。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	64	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	5.8	—	外面の上半部に灰釉を施釉。内底に褐釉による丸文。内底及び畳付に砂粒が付着。素地は灰白色。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	65	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.2	—	内外面上半部まで黒釉を単掛け。外面下半部から外底まで露胎。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。高台脇にアルミナを塗布。素地は淡黄色。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	66	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	7.1	—	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は淡黄色。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	67	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	7.7	3.9	3.9	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は灰黄色。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	68	沖縄産 施釉陶器	瓶	底部	—	4.8	—	外面に褐釉を施釉。内面及び外底は露胎。内外面ともに轆轤痕が明瞭。素地は灰褐色。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	69	沖縄産 施釉陶器	急須	底部	—	11.0	—	内外面に黒釉を施釉。高台は露胎だが、外底に黒釉を施釉。内底は円状に釉剥ぎ。素地は浅黄橙色。アンピン。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
第29図 図版17	70	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	6.6	—	—	外面に灰釉、内面に白化粧＋透明釉。蓋縁部は露胎。鈕みは欠損。素地は淡黄色。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	71	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	—	8.5	—	内外面に褐釉を施釉。畳付は露胎。内底は釉剥ぎ。素地は灰黄色。	Ⅲ	C12 SD24 埋土
	72	沖縄産 施釉陶器	火取	底部	—	7.2	—	外面に褐釉を施釉。腰部以下は露胎。胴部及び腰部に数条の圏線。素地は浅黄色。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
第30図 図版17	73	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	口縁部	26.0	—	—	素地はにぶい赤褐色。口縁外側に広げ口唇部を平坦にする。口唇部に1条の沈線。内面に密に櫛目を施す。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	74	円盤状製品	—	—	4.7	4.6	1.1	素材は本土産磁器。重量28.5g。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	75	円盤状製品	—	—	5.0	4.8	1.3	素材は沖縄産無釉陶器。重量38.7g。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	76	円盤状製品	—	—	8.6	8.2	1.4	素材は明朝系瓦。重量107.5g。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	77	青銅製品	簪	—	—	—	—	カブ長1.5cm、竿長8.9cm、全長10.3cm。竿の断面形は六角形。重量4.3g。	Ⅲ	C13 SD24 埋土
	78	沖縄産 無釉陶器	鉢	底部	—	13.8	—	内外面の轆轤痕明瞭。素地は明赤褐色。	Ⅲ	C11 SD25 埋土
	79	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	10.0	—	素地はにぶい赤褐色。外面に自然釉がかかる。	Ⅲ	C11 SD25 埋土
	80	本土産 近現代磁器	小碗	口～底部	8.0	3.8	4.3	畳付は露胎。素地は白色で緻密。外面に圏の文様。銅版転写。	Ⅲ	C11 SD26 埋土
	81	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	12.2	7.3	3.4	外面に黒釉を施釉した後、蛇の目状に釉剥ぎ。内面は露胎。素地はにぶい黄橙色。	Ⅲ	C11 SD26 埋土
	82	円盤状製品	—	—	4.4	4.3	1.0	素材は沖縄産無釉陶器。重量26.8g。	Ⅲ	C11 SD26 埋土
	83	鉄製品	釘	—	6.3	0.8	0.3	頭部形は方形、軸断面方形、先端は方形。	Ⅲ	C11 SD26 埋土
	84	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	4.1	—	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。素地は灰白色。	Ⅲ	G13 SD29 埋土
	85	沖縄産 施釉陶器	壺	口縁部	11.0	—	—	内外面に褐釉を施釉。口唇部は釉剥ぎ。口縁部断面は方形状で、外側に広げる。素地は淡黄色。	Ⅲ	F14 SD31 埋土
	86	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	4.0	—	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。素地はにぶい黄橙色。	Ⅲ	E14 SD33 埋土
	87	沖縄産 施釉陶器	急須	口縁部	6.0	—	—	外面に呉須と褐釉による文様。素地は浅黄色。	Ⅲ	E14 SD33 埋土
	88	沖縄産 無釉陶器	火炉	口縁部	—	—	—	素地は褐色。肩部に数条の沈線。方形の横耳に上から穿孔。	Ⅲ	E14 SD33 埋土
	89	染付	散蓮華	口縁部	—	—	—	内面に文様。徳化窯産。	Ⅲ	D14 SD34 埋土

第５表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）d

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（cm） 口径（長軸）	底径（短軸）	器高（厚さ）	観察事項	地区	出土地
第30図 図版17	90	本土産磁器	蓋	—	—	—	—	外面に文様。端部は露胎。素地は白色で緻密。	Ⅲ	E14 SD34 埋土
	91	沖縄産施釉陶器	碗	口縁部	—	—	—	内外面に灰釉を単掛け。素地は灰黄色。	Ⅲ	D14 SD34 埋土
第31図 図版17	92	沖縄産施釉陶器	碗	底部	—	6.8	—	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は淡黄色。外面に呉須による文様あり。	Ⅲ	D14 SD34 埋土
	93	沖縄産施釉陶器	小碗	底部	—	4.0	—	内面に白化粧＋透明釉。外面に黒釉を掛け分け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は灰黄色。	Ⅲ	D14 SD34 埋土
	94	沖縄産施釉陶器	小杯	口～底部	3.3	1.6	1.9	内外面に透明釉を施釉。高台は露胎。外面口縁部下に稜をもつ。素地は淡黄色。	Ⅲ	E14 SD34 埋土
	95	沖縄産施釉陶器	壺	底部	—	9.4	—	内外面に黒釉を施釉。外面胴部下半から畳付は露胎。内底は円状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。素地は灰黄色。	Ⅲ	D14 SD34 埋土
第31図 図版18	96	陶質土器	火炉	胴部	—	—	—	素地は橙色。胴部に数条の沈線が巡る。	Ⅲ	D14 SD34 埋土
	97	円盤状製品	—	—	4.8	4.6	1.2	素材は沖縄産無釉陶器。重量39.8g	Ⅲ	D14 SD34 埋土
	98	円盤状製品	—	—	3.3	3.0	1.4	素材は明朝系瓦。側面は丁寧に研磨されている。重量17.0g。	Ⅲ	E14 SD34 埋土
	99	煙管	—	雁首	2.9	—	—	円形の雁首。接続部以外は施釉。火皿径1.4cm、接続部径1.8cm。	Ⅲ	D14 SD34 埋土
	100	沖縄産施釉陶器	小碗	底部	—	4.0	—	内面に白化粧＋透明釉。外面に黒釉を掛け分け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。内底に目跡あり（アルミナ付着）。畳付にアルミナを塗布。素地は灰白色。	Ⅲ	D14 SD35 埋土
	101	本土産近現代磁器	碗	口～底部	11.4	4.2	5.5	全面に緑色釉を施釉し、その上からさらに褐色の釉を一部に施す。外面に植物や果実の文様。畳付は露胎。素地は灰白色で緻密。	Ⅲ	E14 SD36 埋土
	102	本土産近現代磁器	小杯	口～底部	5.0	2.0	2.9	外面に呉須で渦巻き状に文様を描く。畳付は露胎。素地は白色で緻密。	Ⅲ	E14 SD36 埋土
	103	本土産近現代磁器	小碗	口～底部	8.7	3.0	3.8	口唇部に錆釉。外面に染色体文。内底にも文様あり。	Ⅲ	D13 SD38 埋土
	104	沖縄産施釉陶器	碗	底部	—	5.8	—	内底は蛇の目状に釉剥ぎ。内底に目跡あり（アルミナ付着）。畳付にアルミナを塗布。外面に呉須による文様。素地は灰黄色。	Ⅲ	D13 SD38 埋土
	105	沖縄産施釉陶器	碗	底部	—	6.2	—	内面に灰釉、外面に褐釉を掛け分け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。素地は浅黄色。	Ⅲ	D14 SD38 埋土
	106	沖縄産施釉陶器	碗	底部	—	6.3	—	内面に白化粧＋透明釉、外面に黒釉を掛け分け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。内底に目跡あり（アルミナ付着）。畳付にアルミナを塗布。素地は明黄褐色。	Ⅲ	D13 SD38 埋土
	107	沖縄産施釉陶器	碗	底部	—	6.3	—	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は淡黄色。外面に呉須による文様あり。	Ⅲ	C13 SD38 埋土
	108	沖縄産施釉陶器	鉢	口縁部	19.4	—	—	内面に白化粧＋透明釉、外面に灰釉を掛け分け。口唇部は平坦。素地は浅黄色。	Ⅲ	D13 SD38 埋土
	109	沖縄産施釉陶器	壺	底部	—	9.1	—	外面に褐釉を施釉。高台以下は露胎。素地は橙色。	Ⅲ	D13 SD38 埋土
	110	沖縄産無釉陶器	壺	口縁部	—	—	—	素地は明赤褐色。内面は轆轤痕が明瞭。	Ⅲ	C13 SD38 埋土
	111	沖縄産無釉陶器	壺	底部	—	14.8	—	素地は橙色。外面はロクロナデが明瞭。	Ⅲ	D13 SD38 埋土
	112	陶質土器	鉢	口縁部	—	—	—	素地は橙色。外面口縁部に沈線による波状文。内外面ロクロナデ。	Ⅲ	D13 SD38 埋土
第32図 図版18	113	瓦質土器	壺	口縁部	5.2	—	—	外面から内面口縁部まで灰色。素地は灰白色で細かい。微細な白色粒を含む。口唇部は平坦。口縁部下に稜をもつ。	Ⅲ	D13 SD38 埋土
	114	石器	磨石か	—	7.2	5.1	2.2	表裏面及び側面に磨面。緑色岩。重量152.4g。	Ⅲ	C13 SD38 埋土
	115	染付	碗	底部	—	6.2	—	畳付は露胎。高台に砂粒が大量に付着。内底を蛇の目状に釉剥ぎ。素地は灰白色で緻密。	Ⅲ	C14 SD40 埋土
	116	染付	碗	底部	—	7.2	—	高台は露胎。内底を釉剥ぎ。素地は白灰色で細かい。福建・広東系。	Ⅲ	D15 SD40 埋土
	117	沖縄産施釉陶器	碗	底部	—	6.2	—	内外面の上半部に灰釉を単掛け。フィガキー手法。素地は灰白色。	Ⅲ	C14 SD40 埋土
	118	沖縄産施釉陶器	小碗	底部	—	4.0	—	内面に白化粧＋透明釉、外面に黒釉を掛け分け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。素地は灰白色。	Ⅲ	C14 SD40 埋土
	119	沖縄産施釉陶器	小碗	口～底部	8.0	3.4	3.9	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は灰黄色。	Ⅲ	C15 SD40 埋土
	120	沖縄産無釉陶器	擂鉢	口縁部	—	—	—	口縁外側に広げ口唇部を平坦にする。素地は明赤褐色。内面に櫛目を施す。	Ⅲ	C14 SD40 埋土
	121	沖縄産無釉陶器	擂鉢	底部	—	9.8	—	素地は明赤褐色。内面に櫛目を密に施すが、浅い。	Ⅲ	D14 SD40 埋土
	122	陶質土器	蓋	摘み	—	—	—	素地は橙色。摘みは高台状。摘み径5.4cm。	Ⅲ	D14 SD40 埋土
	123	石製品	硯	—	—	6.2	1.4	裏面は縁から1cm幅を残して一段下がる。全体的に風化が著しい。石灰質砂岩（ニービ）。	Ⅲ	D14 SD40 埋土
	124	円盤状製品	—	—	4.0	3.4	0.9	素材は中国産褐釉陶器。重量16.2g。	Ⅲ	D15 SD40 埋土

第５表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）e

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	地区	出土地
					口径 （長軸）	底径 （短軸）	器高 （厚さ）			
第32図 図版18	125	円盤状製品	—	—	5.7	5.3	1.2	素材は沖縄産無釉陶器。重量47.5g。	Ⅲ	C14 SD40 埋土
	126	円盤状製品	—	—	5.2	5.1	1.3	素材は沖縄産無釉陶器。重量50.4g。	Ⅲ	D15 SD40 埋土
	127	煙管	—	雁首	—	—	—	火皿は欠損。首部上面は僅かに凹む。重量5.8g。	Ⅲ	D14 SD40 埋土
	128	青銅製品	簪	—	—	—	—	匙状。カブ長1.6cm、竿長10.6cm、全長12.0cm。竿の断面は六角形。重量9.5g。	Ⅲ	C14 SD40 埋土
	129	青銅製品	簪	—	—	—	—	耳掻き状。カブの断面は三日月形、頭は丸形、竿は六角形か。重量10.1g。	Ⅲ	D14 SD40 埋土
第32図 図版19	130	染付	碗	口縁部	—	—	—	口縁は外反。素地は白色で緻密。内面口縁部及び外面に文様あり。徳化窯産。	Ⅲ	C15 SD41 埋土
	131	染付	小碗	口縁部	—	—	—	口縁は外反。素地は白色で緻密。口唇部及び外面に文様あり。	Ⅲ	C15 SD42 埋土
	132	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	—	—	—	口唇部は舌状を呈する。素地は明赤褐色。	Ⅲ	C15 SD42 埋土
	133	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	底部	—	—	—	内面の櫛目は浅い。素地はにぶい赤褐色。外面から外底に自然釉。	Ⅲ	C15 SD42 埋土
第33図 図版19	134	染付	碗	底部	—	8.7	—	畳付から高台内まで露胎。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。素地は灰白色で緻密。黒色粒を含む。福建・広東系。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	135	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	5.6	—	外面上半部に灰釉、内面も灰釉か。内底を蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は橙色。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	136	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.6	—	内外面の上半部に灰釉を単掛け。フィガキー手法。高台に多量の砂粒が付着。素地は灰白色。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	137	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	4.0	—	外面に白化粧＋透明釉。畳付にアルミナを塗布。素地は灰オリーブ色。内底に呉須の花文。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	138	沖縄産 施釉陶器	瓶	底部	—	4.4	—	外面に白化粧＋透明釉。内面及び外底は露胎。素地は灰褐色。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	139	沖縄産 施釉陶器	酒注	底部	—	8.0	—	外面に白化粧＋透明釉。内面は露胎。畳付は幅広で内側に向かって傾斜する。素地は灰オリーブ～明黄褐色。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	140	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	6.8	5.2	—	外面に黒釉。素地は灰白色。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	141	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	口縁部	27.0	—	—	口縁外側に広げ口唇部に１条の沈線。素地は明赤褐色。内面上位より櫛目を施すが、櫛目は浅い。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	142	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	口縁部	—	—	—	内面口縁部下より櫛目を施す（７本単位）。素地はにぶい赤褐色。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	143	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	底部	—	10.8	—	櫛目を密に施す。素地は明赤褐色。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	144	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	12.0	—	内外面ともに轆轤痕が明瞭。素地は橙色。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	145	石器	磨石	—	—	—	1.8	表面及び側面に磨面。輝石デイサイト。重量34.9g。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	146	円盤状製品	—	—	4.8	4.6	1.1	素材は沖縄産無釉陶器。重量31.8g。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	147	鉄製品	三叉	—	21.7	—	—	基部内には木材が残っている。重量192.5g。	Ⅲ	C13 SD45 埋土
	148	染付	皿	底部	—	—	—	素地は白色で緻密。内底及び外面に文様あり。徳化窯産。	Ⅲ	C13 SD46 埋土
	149	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	8.5	3.7	4.1	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は灰オリーブ色。	Ⅲ	C13 SD46 埋土
	150	沖縄産 施釉陶器	瓶	底部	—	4.8	—	外面に褐釉。内面及び外底は露胎。素地は灰褐色。	Ⅲ	C13 SD46 埋土
	151	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	3.8	—	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は明黄褐色。外面に呉須と褐釉による文様。	Ⅲ	C13 SD46・47 埋土
	152	青磁	碗	底部	—	7.4	—	内外面に灰オリーブ釉を施釉。外底は露胎。素地は灰白色で細かい。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	153	白磁	碗	底部	—	7.7	—	外底は露胎。素地は灰白色で細かい。高台は低い。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	154	染付	碗	口～底部	15.8	6.8	7.8	内底及び畳付は露胎。素地は白色で緻密。外面に丸文。徳化窯産。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
第34図 図版19	155	本土産磁器	鉢	口縁部	—	—	—	素地は白色で細かい。内外面に文様あり。角鉢。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	156	色絵	碗	口～底部	12.6	6.1	6.3	外反口縁。畳付は露胎。素地は白色で緻密。外面の文様は剥落が著しい。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	157	本土産 近現代磁器	小碗	口～底部	7.7	3.0	3.5	畳付から外底にかけて露胎。素地は白色で緻密。クロム青磁。内外面に施釉された緑色釉は剥落が著しい。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	158	本土産 近現代磁器	小碗	口～底部	9.0	3.8	4.7	素地は白色で緻密。口唇部に錆釉。外面に文様。外底に銘あり。	Ⅲ	C13 SD47 埋土

第５表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）ｆ

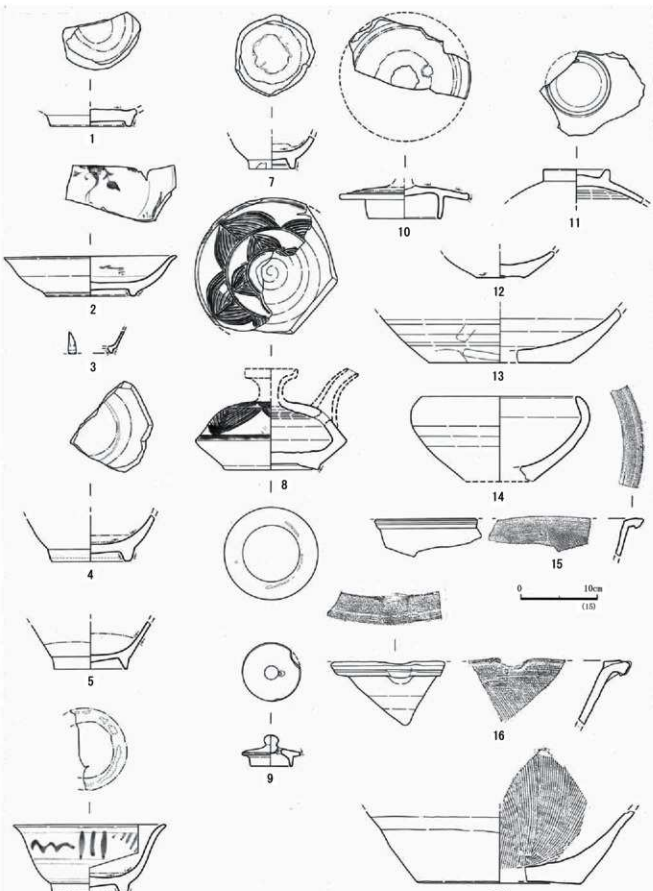
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	地区	出土地
					口径 (長軸)	底径 (短軸)	器高 (厚さ)			
第34図 図版20	159	本土産 近現代磁器	小杯	口～底部	7.5	2.8	3.0	高台からの立ち上がりは逆「ハ」の字状に外側に開く。畳付は露胎。素地は白色で緻密。高台に波状文。外底に「区」の銘あり。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	160	本土産 近現代磁器	皿	口～底部	20.8	9.0	3.6	素地は白色で緻密。蛇の目凹型高台皿。型紙絵付け。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	161	本土産 近現代磁器	蓋	—	7.3	6.0	2.7	内外面に透明釉を施すが、接地面は釉剥ぎ。素地は灰白色で細かい。外面に文様あり。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	162	外国産 褐釉陶器	壺	口縁部	14.6	—	—	内外面に褐釉を施釉。口縁部下部に稜をもつ。頸部は短い。素地は赤灰色で粗い。石英？、赤色・白色・黒色粒を含む。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	163	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.7	—	内外面の上半部に灰釉を単掛け。フィガキー手法。素地はにぶい橙色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	164	沖縄産 施釉陶器	碗	口～底部	14.3	6.7	7.2	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は淡黄色。外面に呉須と褐釉で花文３つ。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	165	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	8.2	3.6	4.3	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。素地は淡黄色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	166	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	9.1	4.1	4.4	内面に白化粧＋透明釉、外面に黒釉を掛け分け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は灰白色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	167	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	3.8	—	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は淡黄色。外面に発色の悪い呉須？による文様。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	168	沖縄産 施釉陶器	皿	底部	—	8.5	—	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は浅黄色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	169	沖縄産 施釉陶器	鉢	口縁部	28.8	—	—	内面に白化粧＋透明釉、外面に褐釉を掛け分け。口唇部は舌状を呈する。素地は灰黄色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
第35図 図版20	170	沖縄産 施釉陶器	鉢	底部	—	10.7	—	内面に白化粧＋透明釉、外面に褐釉を掛け分け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地はにぶい黄橙色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	171	沖縄産 施釉陶器	瓶	口縁部	8.2	—	—	外面から内面口縁下部まで白化粧＋透明釉。頸部の銅緑釉が掛かる箇所に何らかの剥離痕（耳痕か）がみられる。素地は灰白色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	172	沖縄産 施釉陶器	把手	—	—	—	—	素地は灰白色。呉須による文様が施される。アンビンの把手。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	173	沖縄産 施釉陶器	急須	口縁部	11.0	—	—	内外面に黒釉を施釉。口唇部から内面口縁部下にかけて露胎。素地は黄橙色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	174	沖縄産 施釉陶器	急須	口～底部	6.7	8.4	9.7	円錐状の脚が３点。外面に呉須による文様。素地はにぶい黄橙色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
第35図 図版21	175	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	21.4	—	—	口縁部を外側に広げる。素地はにぶい赤褐色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	176	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	27.4	—	—	素地は明赤褐色。外面口縁部にに２条の沈線が巡り、その下に沈線による波状文。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	177	沖縄産 無釉陶器	鉢	底部	—	12.8	—	素地はにぶい赤褐色。胴部は丸みをおびる。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	178	沖縄産 無釉陶器	鉢	底部	—	20.2	—	素地はにぶい赤褐色。内面は轆轤痕が明瞭。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	179	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	底部	—	8.8	—	櫛目を密に施す（８本単位）。内底は僅かに凹み、櫛目も浅い。素地は明赤褐色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	180	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	底部	—	13.0	—	櫛目を密に施す（９本単位）。内底は僅かに凹み、櫛目も浅い。素地は明赤褐色。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
第36図 図版21	181	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	10.0	—	—	内外面は褐色。素地は橙色。口唇部は平坦。頸部に２条の沈線が巡る。胴部は瓜状を呈する。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	182	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	13.2	—	—	素地は灰褐色。口縁部は方形を呈する。頸部が長め。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	183	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	33.4	—	—	素地はにぶい褐色。口唇部は平坦。口縁部に２条の沈線。胴上部に数条の沈線とその下に沈線の波状文と貼付した丸文。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	184	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	19.5	—	素地は暗赤褐色。内面は轆轤痕が明瞭。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
第36図 図版22	185	沖縄産 無釉陶器	甕	口～底部	41.0	—	—	口縁部を外側に広げる。素地は暗赤褐色。頸部に数条の沈線による区画内に沈線の波状文と貼付した丸文。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	186	ガラス製品	瓶	口～底部	2.3	5.2	8.5	瓶底に、上下に「0」と「a」のエンボスとその間に「AJINOMOTO」のエンボス。色調は透明。	Ⅲ	C13 SD47 埋土
	187	青銅製品	簪	—	—	—	—	匙状。カブ長1.1cm、竿長8.7cm、全長9.6cm。竿の断面は六角形。重量8.9g。	Ⅲ	C12 SD48 埋土
	188	白磁	小杯	口縁部	6.0	—	—	口縁部は僅かに外反。型成形。素地は白色で緻密。徳化窯産。	Ⅲ	H11 SD55 埋土
	189	沖縄産 施釉陶器	瓶	底部	—	6.5	—	外面に黒釉を施釉。高台は露胎。やや肩部が張る。素地は灰黄色。	Ⅲ	H11 SD56 埋土
	190	染付	皿	底部	—	7.8	—	畳付は露胎。素地は灰白色で緻密。内底に草花文。徳化窯産。	Ⅲ	H11 SD60 埋土
	191	沖縄産 施釉陶器	小杯	口～底部	4.0	1.8	2.2	内面から外面胴部下半にかけて透明釉を施釉。口唇部は舌状に尖る。外面胴部に３条の沈線。素地は灰白色で細かい。	Ⅲ	H11 SD60 埋土
	192	沖縄産 施釉陶器	瓶	口～底部	2.5	4.8	9.8	外面から内面口縁下部まで褐釉を施釉。外底は露胎。外面胴部に数条の沈線がみられる。素地は灰赤色。	Ⅲ	H12 SD60 埋土

第５表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）g

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（cm） 口径（長軸）	底径（短軸）	器高（厚さ）	観察事項	地区	出土地
第36図 図版22	193	石製品	—	—	—	7.7	1.6	表裏及び側面に滑面。側面には線状痕が残る。緑色千枚岩。	Ⅲ	H11　SD60 埋土
	194	円盤状製品	—	—	8.1	7.9	1.3	素材は沖縄産施釉陶器。重量130.7g。	Ⅲ	H12　SD60 埋土
	195	沖縄産 施釉陶器	碗	口～底部	11.0	6.1	6.6	内外面に白化粧＋透明釉。口唇部は釉剥ぎ。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。外面に呉須と飴釉による文様。素地は明黄褐色。	Ⅲ	H12　SD61 埋土
	196	沖縄産 施釉陶器	小杯	口～底部	3.2	1.8	1.9	内面から外面胴部下半にかけて透明釉を施釉。口唇部は舌状。器高に比して、高台径が大きめ。素地は灰白色で細かい。	Ⅲ	H12　SD61 埋土
第37図 図版22	197	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	10.4	8.7	3.2	外面に呉須と飴釉による文様。素地は黄褐色。撮み径2.2cm。	Ⅲ	H12　SD61 埋土
	198	煙管	—	雁首	—	—	—	円形の雁首。内外面に透明釉を施釉。火皿径1.4cm。	Ⅲ	H12　SD61 埋土
	199	青銅製品	簪	—	—	—	—	匙状。カブ長1.7cm、竿長10.2cm、全長11.3cm、竿の断面は六角形。重量9.5g。	Ⅲ	H12　SD61 埋土
	200	染付	碗	底部	—	6.3	—	畳付は露胎。素地は灰白色で細かい。外面に文様。内底及び外底に２条の圏線。徳化窯産。	Ⅳ	A10　SD1 6層
	201	染付	小碗	底部	—	3.0	—	畳付は露胎。素地は灰白色で緻密。外面に文様。	Ⅳ	A11　SD1 4～8層
	202	本土産 近現代磁器	皿	口～底部	11.1	6.4	2.3	畳付は露胎。素地は白色で緻密。口唇部は銹釉。内面に文様（青色）。銅版転写。	Ⅳ	012　SD1
第37図 図版23	203	本土産 近現代磁器	皿	口～底部	13.2	7.4	2.6	畳付は露胎。素地は白色で緻密。口唇部は銹釉。内面に文様（緑色）。銅版転写。	Ⅳ	A11　SD1 4～8層
	204	本土産 近現代磁器	瓶	底部	—	7.2	—	畳付は露胎。素地は灰白色で緻密。外面に文様。	Ⅳ	A11　SD1 4～8層
	205	本土産 近現代磁器	灯明具	口～底部	7.0	8.1	10.2	脚部内は露胎。素地は白色で緻密。	Ⅳ	013　SD1
	206	本土産陶器	水滴	口～底部	—	—	2.6	オリーブ色の釉薬を施釉。外底は露胎。素地は灰白色で細かい。上面に径0.4cmの小孔あり。	Ⅳ	013　SD1
	207	沖縄産 施釉陶器	碗	口～底部	15.4	7.3	6.8	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。素地は浅黄橙色。器表面は被熱を受けていると思われる。	Ⅳ	A12　SD1
	208	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	8.1	—	内面に黒釉、外面に白化粧＋透明釉を掛け分け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。素地は橙色。	Ⅳ	012　SD1
	209	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.2	—	内外面の上半部に灰釉を単掛け。フィガキー手法。高台及び内底に砂粒が多量に付着。素地は灰白色。	Ⅳ	A11　SD1 暗A・8層
	210	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.3	—	内外面の上半部に灰釉を単掛け。フィガキー手法。高台及び内底に砂粒が付着。素地は灰白色。	Ⅳ	A11　SD1 4～8層
	211	沖縄産 施釉陶器	碗	口～底部	12.6	5.7	6.0	内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。内外面に呉須による草花文。内底にも文様あり。素地は灰白色。	Ⅳ	013　SD1
	212	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	8.4	4.0	4.4	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は淡黄色。	Ⅳ	A11　SD1 4～8層
第38図 図版23	213	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	8.2	3.6	4.0	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は浅黄色。	Ⅳ	A11　SD1 暗A・8層
	214	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	8.1	3.6	4.1	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地はにぶい黄褐色。	Ⅳ	013　SD1
	215	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	7.8	4.2	5.4	内面に白化粧+透明釉、外面に暗オリーブ釉。外面に呉須と飴釉による文様。腰部に稜をもつ。畳付は露胎。素地は淡黄色。	Ⅳ	013　SD1
	216	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	25.3	—	—	素地は橙色。口唇部は平坦。胴上部に沈線の波状文。内外面ともに轆轤痕が明瞭。	Ⅳ	A11　SD1 4～8層
	217	沖縄産 無釉陶器	鉢	底部	—	14.2	—	素地は明赤褐色。内面は轆轤痕が明瞭。	Ⅳ	D11　SD1
	218	陶質土器	蓋	撮み	—	—	—	素地は橙色。撮みは高台状。撮み径5.5cm。	Ⅳ	012　SD1
	219	陶質土器	火炉	底部	—	10.2	—	素地は橙色。外底に渦巻き状の糸切り痕。	Ⅳ	012　SD1
	220	石製品	錘	—	8.2	5.3	—	表面に磨面。孔径0.5cm。珪長石。	Ⅳ	011　SD1 4～8層
	221	円盤状製品	—	—	2.9	3.1	1.2	素材は沖縄産施釉陶器。重量12.2g。	Ⅳ	013　SD1
	222	円盤状製品	—	—	3.8	3.4	0.8	素材は沖縄産無釉陶器。重量15.5g。	Ⅳ	A10　SD1 6層
第38図 図版24	223	円盤状製品	—	—	5.9	5.6	1.1	素材は沖縄産無釉陶器。重量43.4g。	Ⅳ	013　SD1
	224	円盤状製品	—	—	5.5	5.1	1.7	素材は明朝系瓦。重量52.3g。	Ⅳ	013　SD1
	225	円盤状製品	—	—	5.5	5.2	1.8	素材は明朝系瓦。重量63.0g。	Ⅳ	011　SD1 4～8層
	226	円盤状製品	—	—	5.6	4.7	1.2	素材は明朝系瓦。重量29.5g。	Ⅳ	A11　SD1 4～8層
	227	円盤状製品	—	—	5.9	5.4	1.2	素材は明朝系瓦。重量55.1g。	Ⅳ	A10　SD1 6層
	228	銭貨	寛永通宝	—	2.6	2.6	0.2	孔径0.6cm。重量3.6g。表面は風化が著しい。江戸時代。	Ⅳ	013　SD1

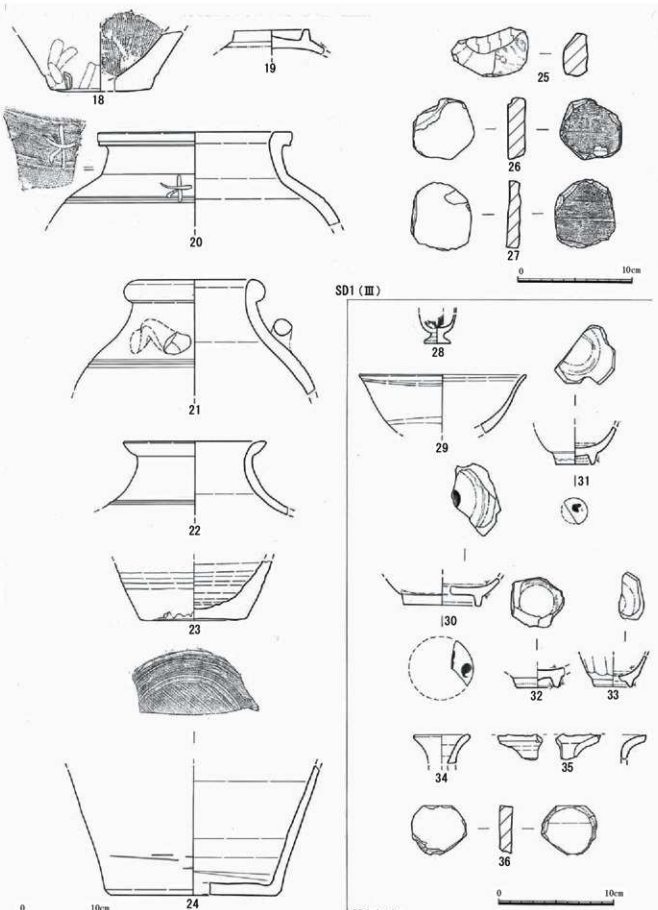
第５表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）h

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（ｃｍ）			観察事項	地区	出土地
					口径 （長軸）	底径 （短軸）	器高 （厚さ）			
第38図 図版24	229	鉄製品	小型容器？	口～底部	—	—	—	口縁部を折り曲げる。腰部に３か所円状の凹みがみられる。重量60.2g。	Ⅳ	A11　SD1 4～8層
	230	ガラス製品	瓶	口～底部	2.2	6.1	7.1	頸部に「サハラ香油」。瓶底に「１」のエンボス。色調は透明。	Ⅳ	O12　SD1
第39図 図版24	231	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.5	—	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は淡黄色。	Ⅳ	N14　SD3 1層
	232	円盤状製品	—	—	5.0	4.7	1.1	素材は沖縄産無釉陶器。重量38.2g。	Ⅳ	A14　SD3 畦E・2層
	233	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.2	—	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地はにぶい黄橙色。外面に呉須による文様。	Ⅳ	A12　SD4 Bトレンチ内
	234	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	3.9	—	内外面に白化粧＋透明釉。畳付にアルミナを塗布。素地はにぶい灰白色。外面に呉須による文様。	Ⅳ	A12　SD4 Bトレンチ内
	235	沖縄産 施釉陶器	酒注	底部	—	7.8	—	素地は暗褐色。器表面は滑らか。外面胴部下部に破損した突起がみられる。	Ⅳ	A12　SD4 1・2層
	236	円盤状製品	—	—	5.6	5.5	1.4	素材は明朝系瓦。重量51.2g。	Ⅳ	A12　SD4 1・2層
	237	銭貨	寛永通宝	—	2.3	2.3	0.2	孔径0.6cm。重量2.7g。江戸時代。	Ⅳ	A12　SD4 1・2層
	238	染付	碗	底部	—	—	—	素地は灰白色で緻密。外面腰部に蕉葉文、内底にも文様あり。景徳鎮窯。	Ⅳ	B13　SD6
	239	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	5.7	—	内外面の上半部に灰釉を掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は灰白色。	Ⅳ	B14　SD6
	240	沖縄産 無釉陶器	碗	底部	—	5.0	—	素地はにぶい赤褐色。外底は窪み底状を呈する。内外面ともに轆轤痕が明瞭。	Ⅳ	B14　SD6
	241	陶質土器	不明	底部	—	8.0	—	素地は橙色。高台は低め。	Ⅳ	B14　SD6
	242	本土産 近現代磁器	小杯	口～底部	5.8	2.0	2.8	外面に褐色の釉を施釉。内面は透明釉。高台形状が「忠」の漢字。外面口縁部に星印。内面には「海軍設営隊紀念」という文字の他、軍艦、日章旗、桜などの文様。	Ⅲ	B10　SK6 埋土
	243	沖縄産 施釉陶器	火取	口～底部	10.8	6.3	8.5	外面腰部まで白化粧＋透明釉。外面口縁部に呉須で文様。内面は露胎。素地は灰白色。	Ⅲ	B10　SK6 埋土
	244	沖縄産 施釉陶器	火炉	底部	—	8.8	—	外面腰部まで褐釉。外底にアルミナ付着。内面は露胎。素地は浅黄色。	Ⅲ	B10　SK6 埋土
	245	沖縄産 無釉陶器	壺	口～底部	12.4	19.3	—	素地は暗赤褐色。外面胴上部に数条の沈線及び左上から右下方向への斜位の線刻と「×」の線刻あり。	Ⅲ	B10　SK6 埋土
	246	沖縄産 無釉陶器	壺	口～底部	15.2	19.3	39.3	素地は暗赤褐色。胴下半部にマンガン釉？を塗布。底部付近の割れ目に漆喰を埋めて補修している。外面胴上部に縦位の一本線の線刻あり。横耳３つ貼付。	Ⅲ	C7　SK22 埋土
第39図 図版25	247	鉄製品	クワ	—	31.0	13.0	0.6	表面は錆化が著しい。重量1.5kg。	Ⅲ	C7　SK22 埋土
第40図 図版25	248	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.8	—	内外面に白化粧＋透明釉。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は浅黄色。	Ⅲ	D12　SK32 埋土
	249	沖縄産 施釉陶器	鉢	底部	—	10.1	—	内外面の上半部に灰白色の釉を施釉。高台及び内底は露胎。外面に褐釉による文様。素地は淡黄色。	Ⅲ	D12　SK32 埋土
	250	沖縄産 施釉陶器	碗	口～底部	13.7	6.7	7.1	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は明黄褐色。外面に呉須と褐釉で花文３つ。	Ⅲ	H12　SK95 埋土
	251	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	9.2	—	素地は橙色。外面は自然釉が掛かる。	Ⅲ	H12　SK95 埋土
	252	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	27.5	—	素地は赤褐色。外面胴上部に沈線。内面は轆轤痕が明瞭。	Ⅲ	H12　SK98 埋土
	253	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	—	—	素地は明赤褐色。内面は轆轤痕が明瞭。	Ⅲ	H12　SK106 埋土
	254	沖縄産 無釉陶器	甕	口縁部	38.0	—	—	素地はにぶい赤褐色。口縁部は外側へ広げ、口唇部は平坦。口縁部下に２条の沈線、その下に沈線の波状文と貼付した丸文。	Ⅲ	H12　SK106 埋土
	255	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	16.7	—	—	素地は明赤褐色。外面胴上部に「つ」状の線刻あり。横耳を貼付。	Ⅲ	C7　SK109 埋土
第40図 図版26	256	沖縄産 無釉陶器	甕	口～底部	50.4	27.1	68.0	素地は暗赤褐色。口唇部は平坦。口唇側面に２条の沈線。外面胴上部に沈線の波状文と貼付の丸文。	Ⅳ	O12　SK3 2層
	257	鉄製品	鍋	口～底部	21.8	18.1	0.4	全体的に錆化が著しい。重量2.1kg。	Ⅳ	O12　SK3 2層　カメ内
	258	本土産 近現代陶器	皿	口～底部	13.4	7.7	2.6	畳付は露胎。素地は白色で緻密。口唇部は錆釉。内面に文様（青色）。銅版転写。	Ⅳ	O13　SK25 1層
	259	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.0	—	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は浅黄橙色。外面に呉須による文様。	Ⅳ	O13　SK25 1層
	260	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	13.8	6.2	6.7	内外面に白化粧＋透明釉を単掛け。内底は蛇の目状に釉剥ぎ。畳付にアルミナを塗布。内底に目跡あり（アルミナ付着）。素地は灰白色。外面に呉須と褐釉で花文３つ。	Ⅳ	O13　SK25 1・2層
	261	ガラス製品	瓶	口～底部	1.7	2.5	6.4	胴部に「外用ヨードエキ」、「東京鈴木」のエンボス。色調は透明。	Ⅳ	O13　SK25 1・2層
図版26	262	土器	鉢	口縁部	—	—	—	胎土は外面明赤褐色・内面にぶい褐色の砂質で脆い。混入物に粗砂粒、石英、赤色粒を含む。	Ⅳ	C15　SP168 埋土
	263	土器	鉢	口縁部	—	—	—	胎土は内外面ともに赤褐色の砂質。混入物に粗砂粒、石英を含む。	Ⅳ	H12　SP297 埋土

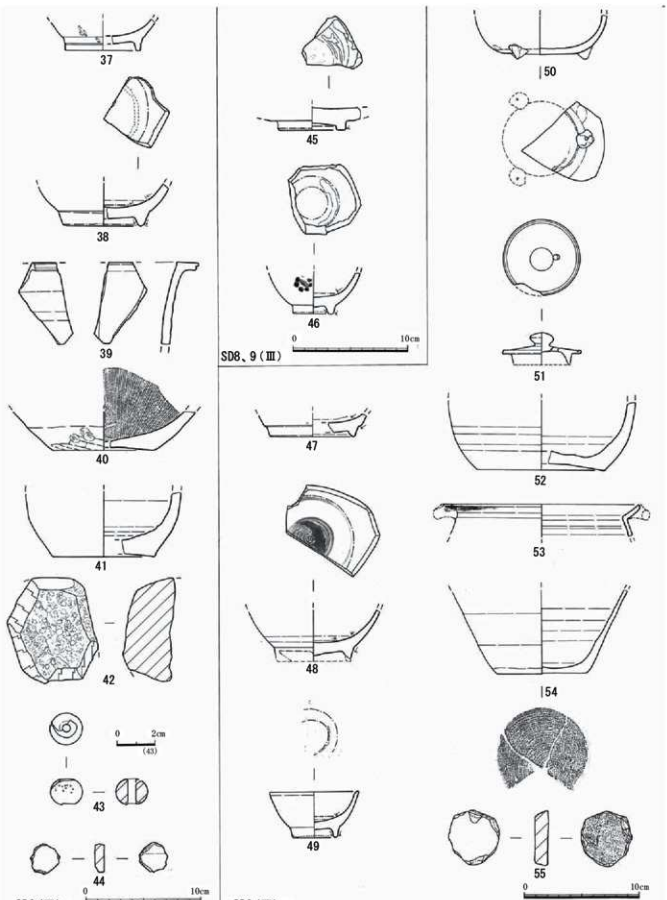


SD1(Ⅲ)

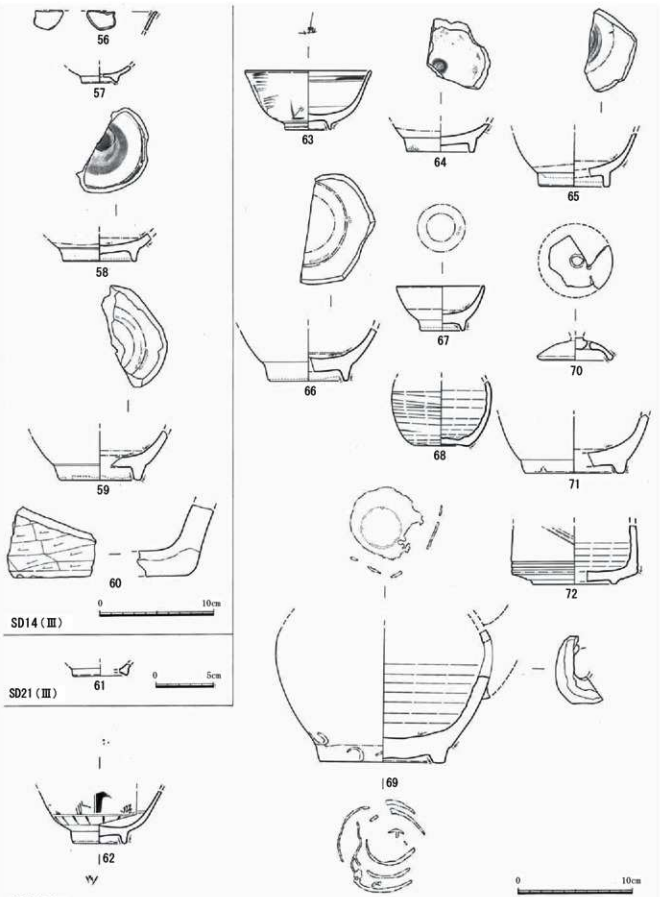
第 26 図　近世～近代の遺構出土遺物 1　(Ⅲ・Ⅳ地区)



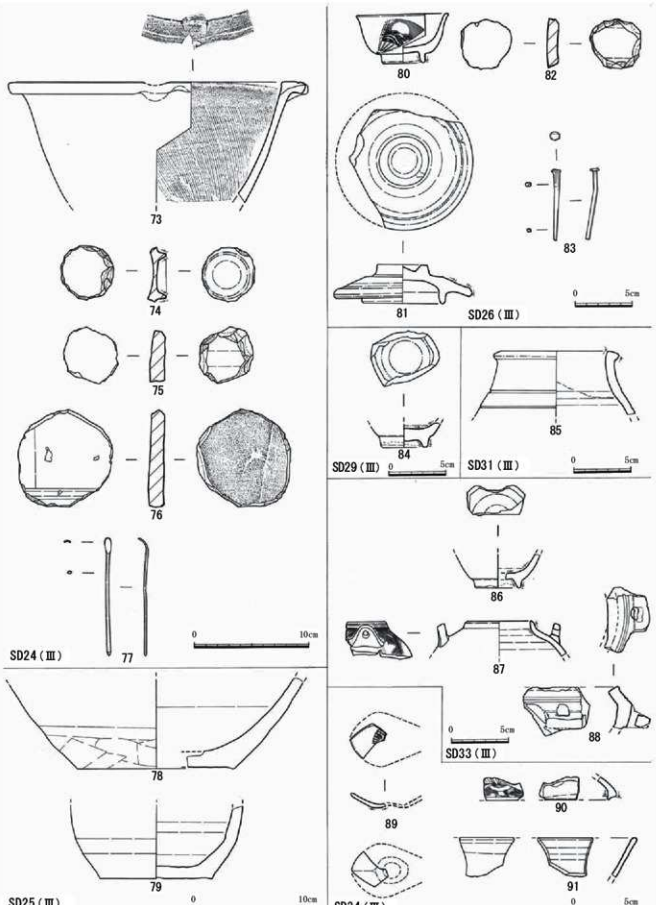
第 27 図　近世～近代の遺構出土遺物２　（Ⅲ・Ⅳ地区）



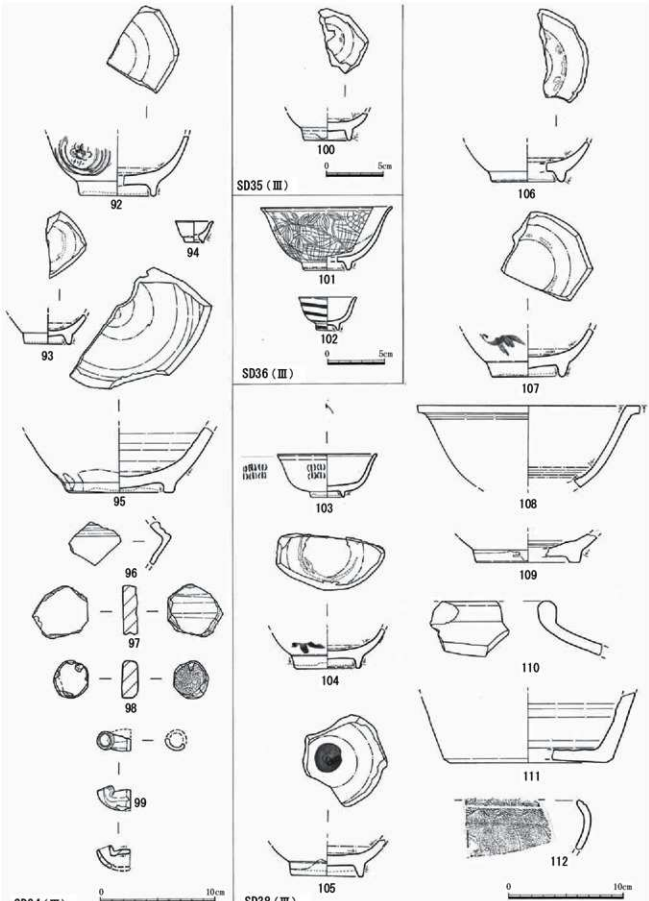
第 28 図　近世～近代の遺構出土遺物３　（Ⅲ・Ⅳ地区）



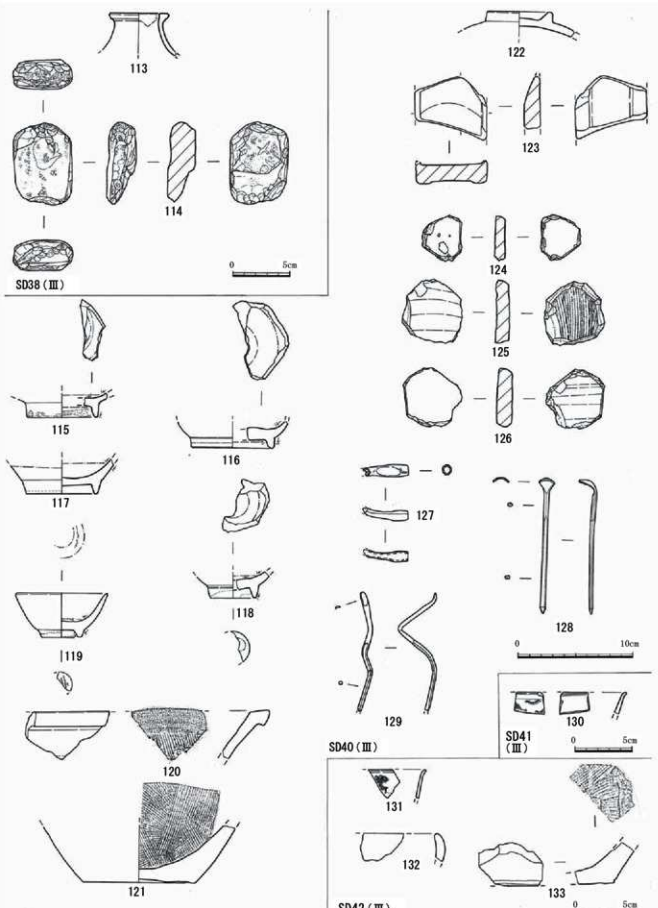
第 29 図　近世～近代の遺構出土遺物４　（Ⅲ・Ⅳ地区）



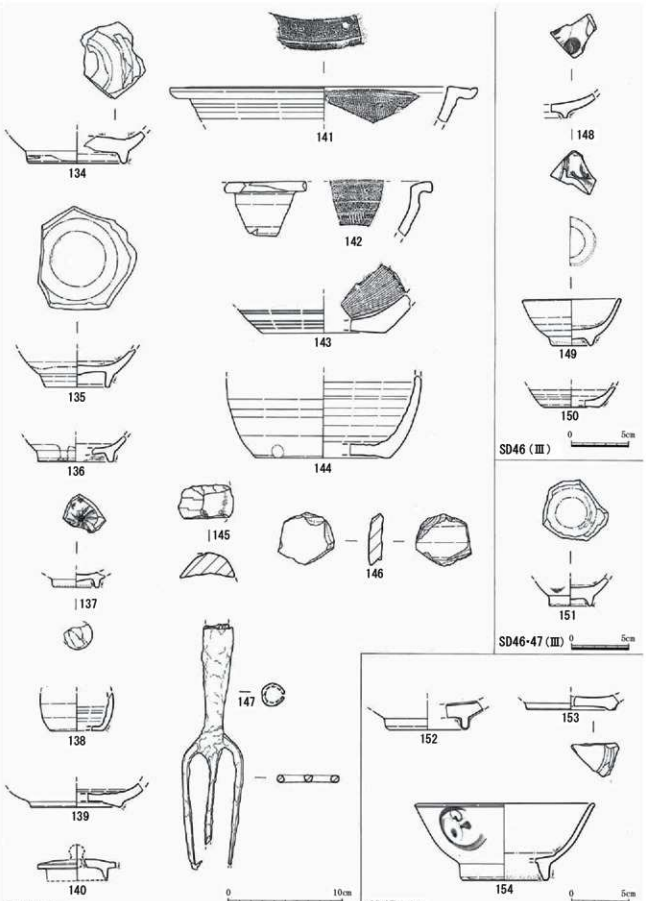
第 30 図　近世～近代の遺構出土遺物５　（Ⅲ・Ⅳ地区）



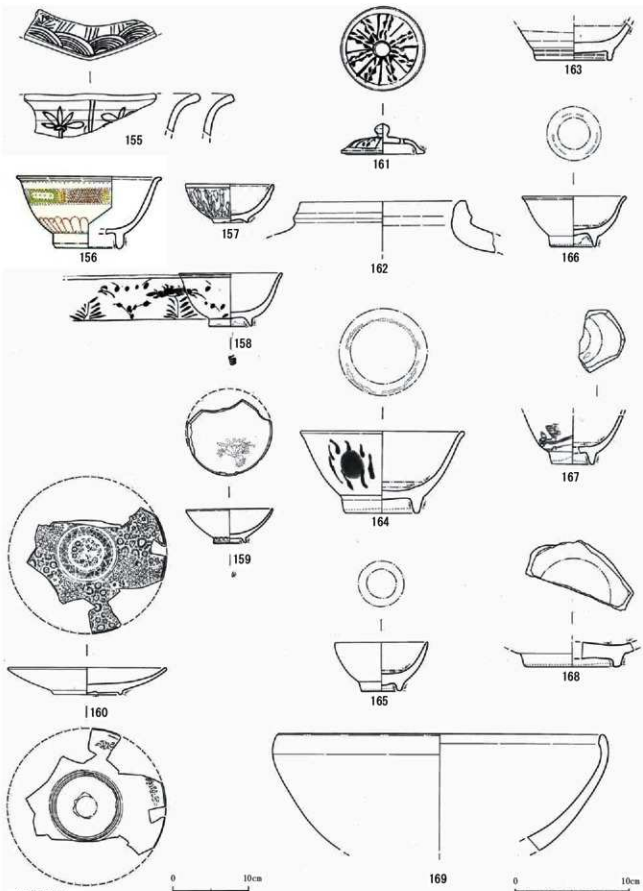
第 31 図　近世～近代の遺構出土遺物６　（Ⅲ・Ⅳ地区）



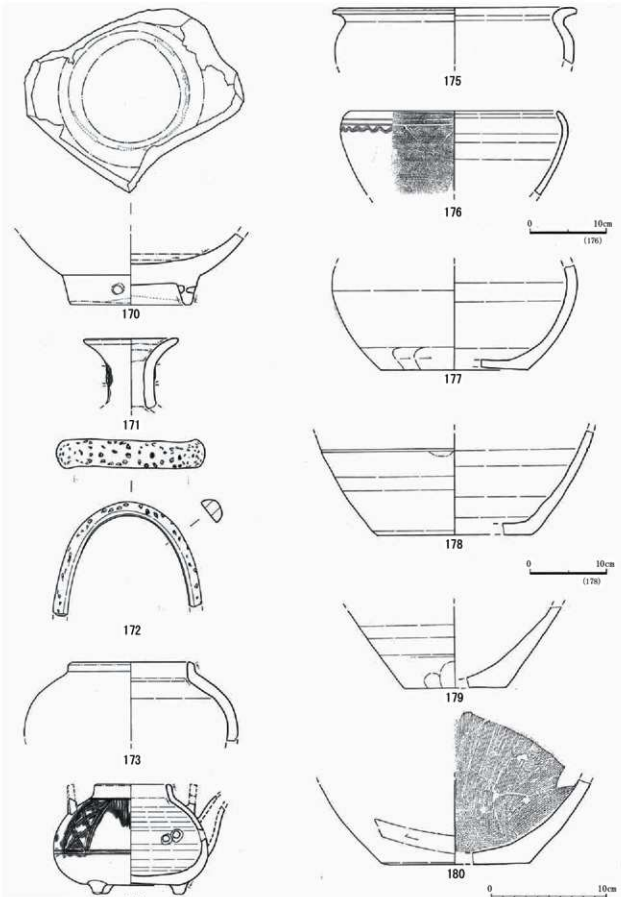
第 32 図　近世～近代の遺構出土遺物 7　（Ⅲ・Ⅳ地区）



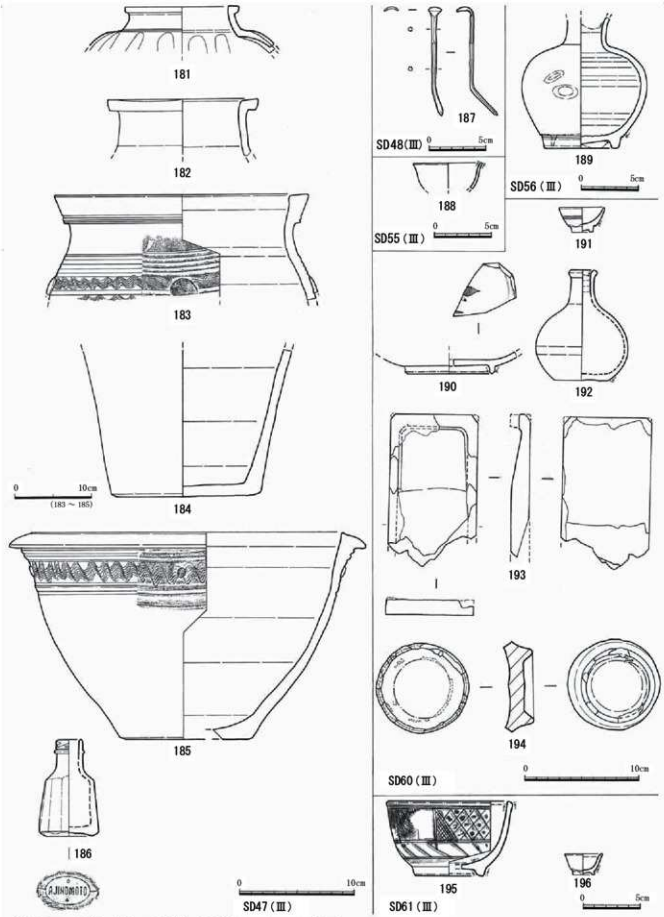
第 33 図　近世～近代の遺構出土遺物８　（Ⅲ・Ⅳ地区）



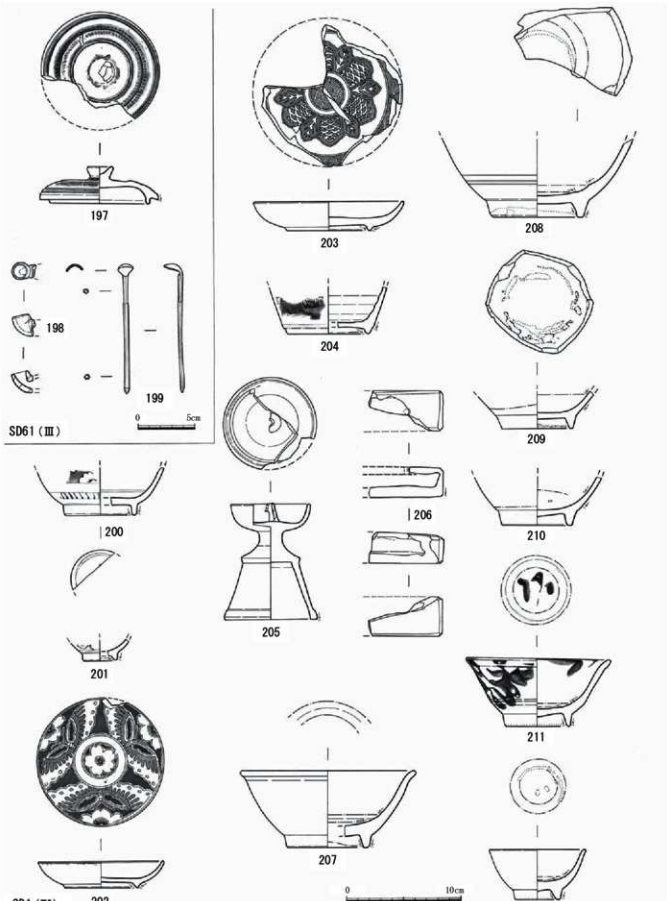
第 34 図　近世～近代の遺構出土遺物９　（Ⅲ・Ⅳ地区）



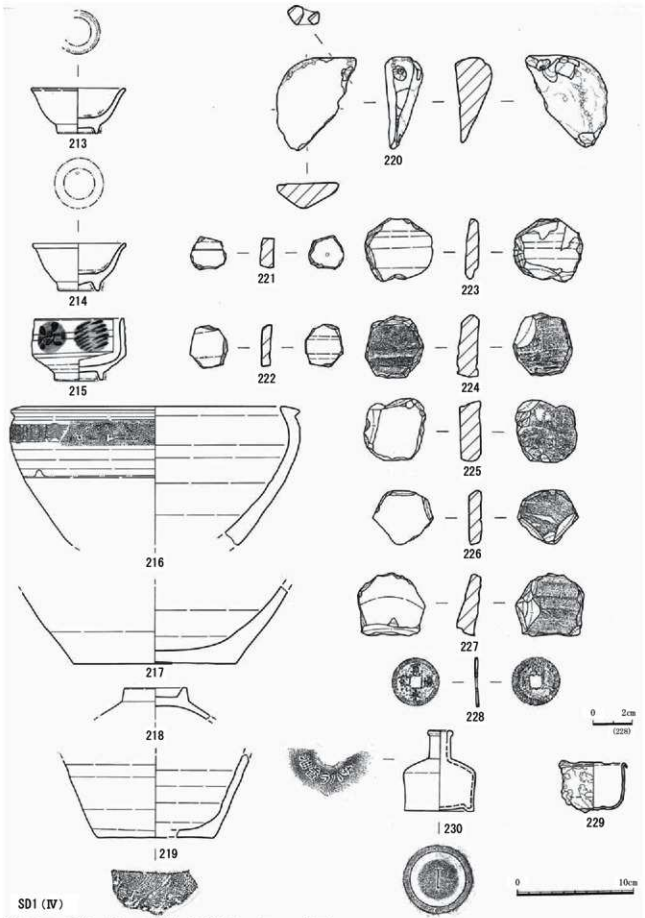
第 35 図　近世～近代の遺構出土遺物 10 （Ⅲ・Ⅳ地区）



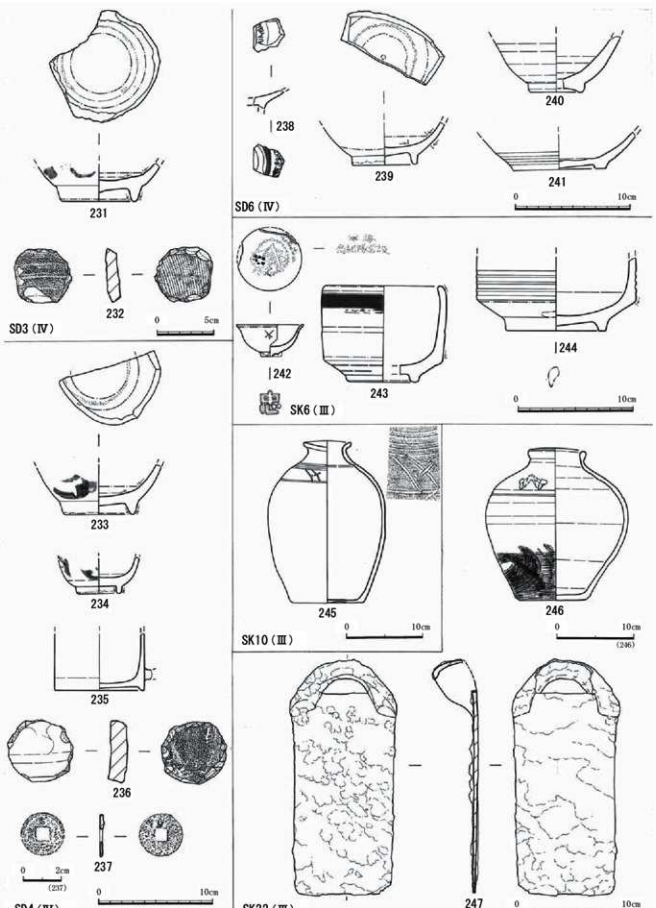
第 36 図　近世～近代の遺構出土遺物 11　（Ⅲ・Ⅳ地区）



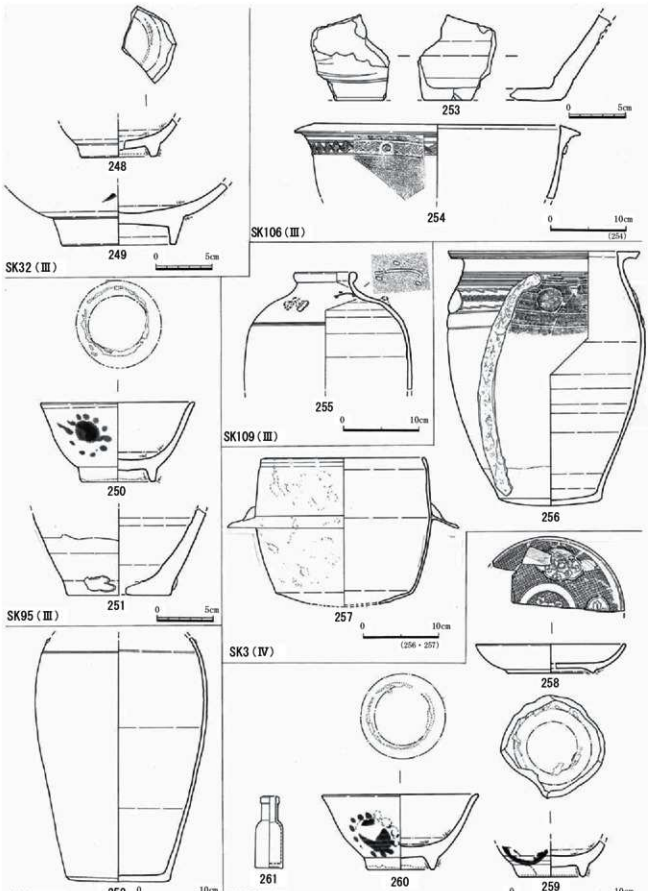
第 37 図　近世～近代の遺構出土遺物 12 （Ⅲ・Ⅳ地区）



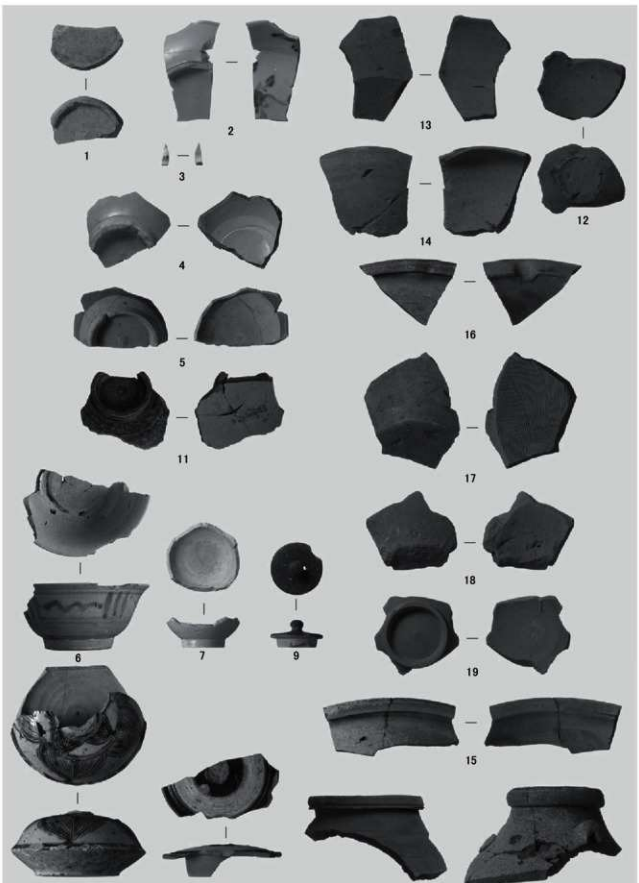
第 38 図　近世～近代の遺構出土遺物 13 （Ⅲ・Ⅳ地区）



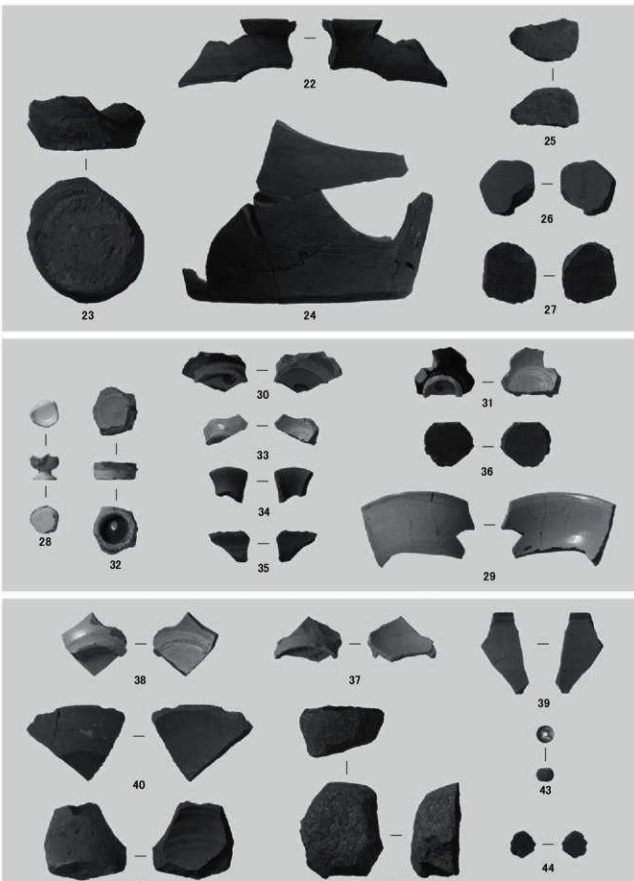
第 39 図　近世～近代の遺構出土遺物 14 （Ⅲ・Ⅳ地区）



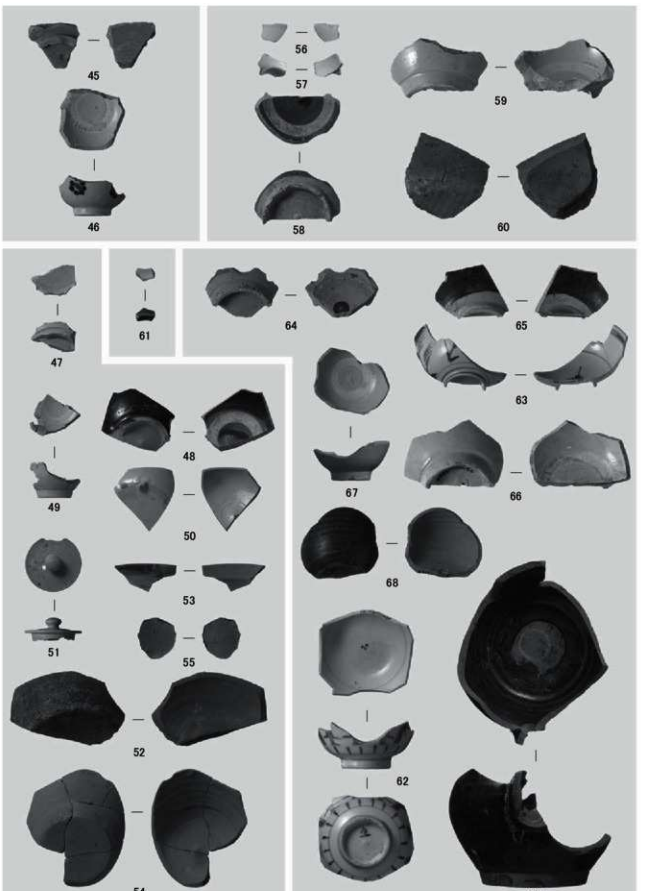
第 40 図　近世～近代の遺構出土遺物 15　（Ⅲ・Ⅳ地区）



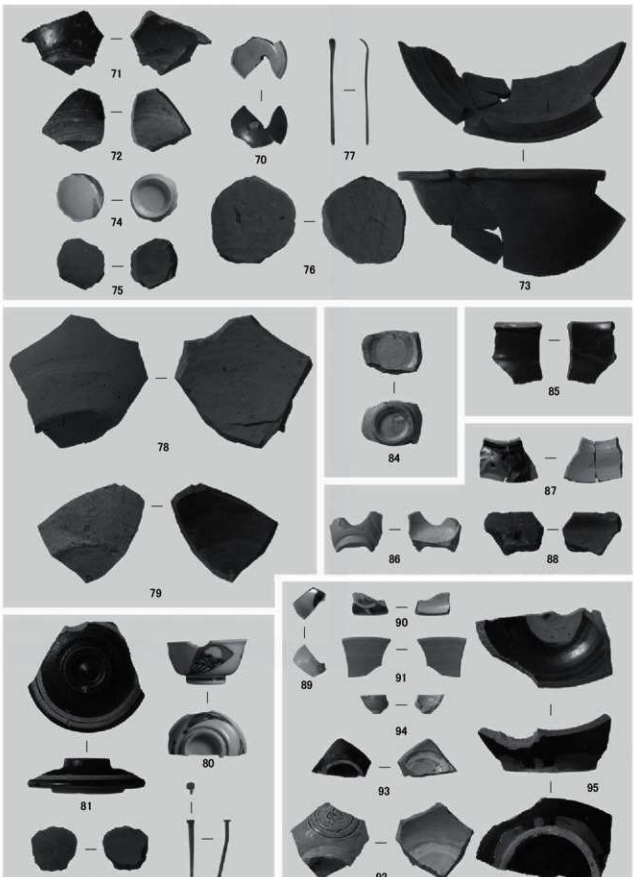
図版 14　近世～近代の遺構出土遺物 1（Ⅲ・Ⅳ地区）



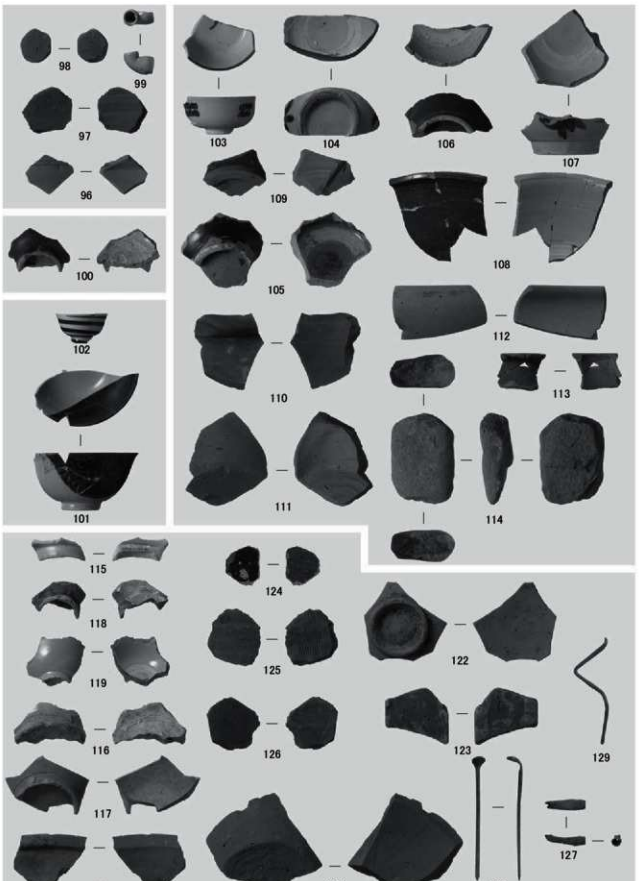
図版 15　近世～近代の遺構出土遺物２（Ⅲ・Ⅳ地区）



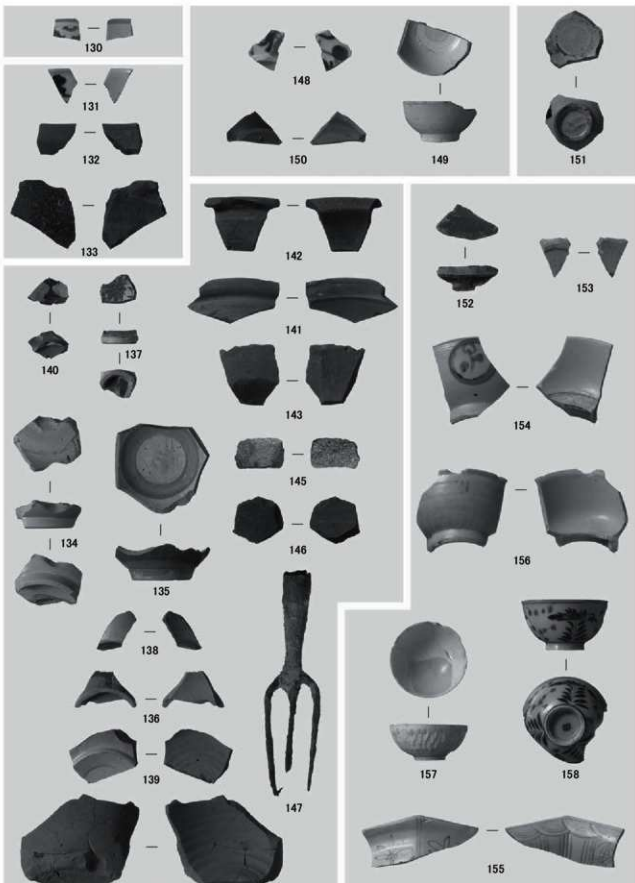
図版 16　近世～近代の遺構出土遺物３（Ⅲ・Ⅳ地区）



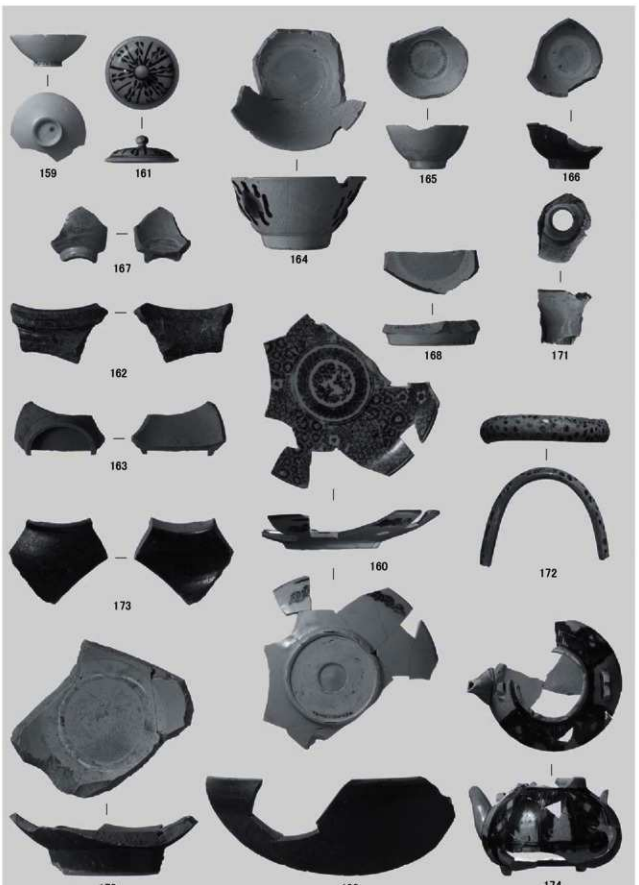
図版 17　近世～近代の遺構出土遺物４（Ⅲ・Ⅳ地区）



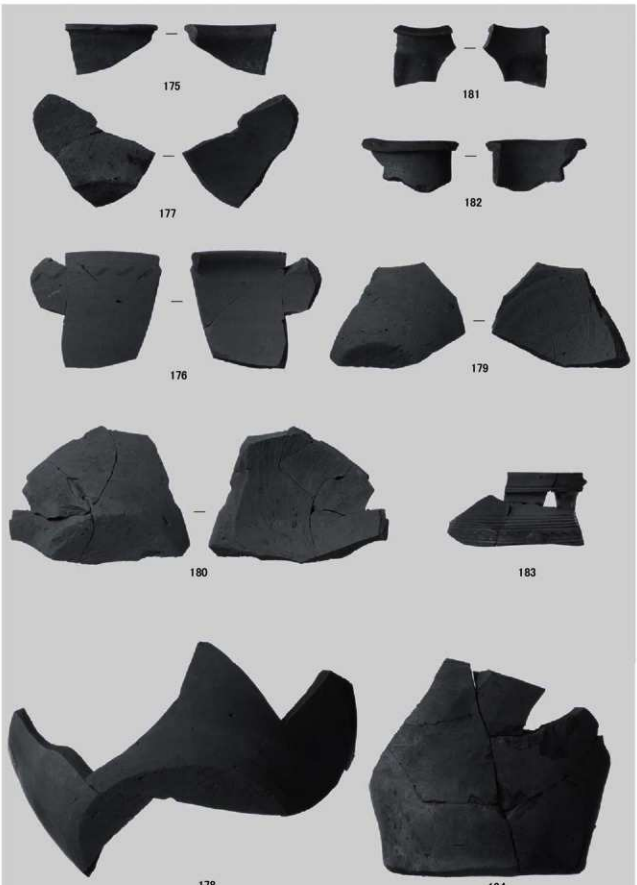
図版 18　近世～近代の遺構出土遺物５（Ⅲ・Ⅳ地区）



図版 19　近世～近代の遺構出土遺物６（Ⅲ・Ⅳ地区）

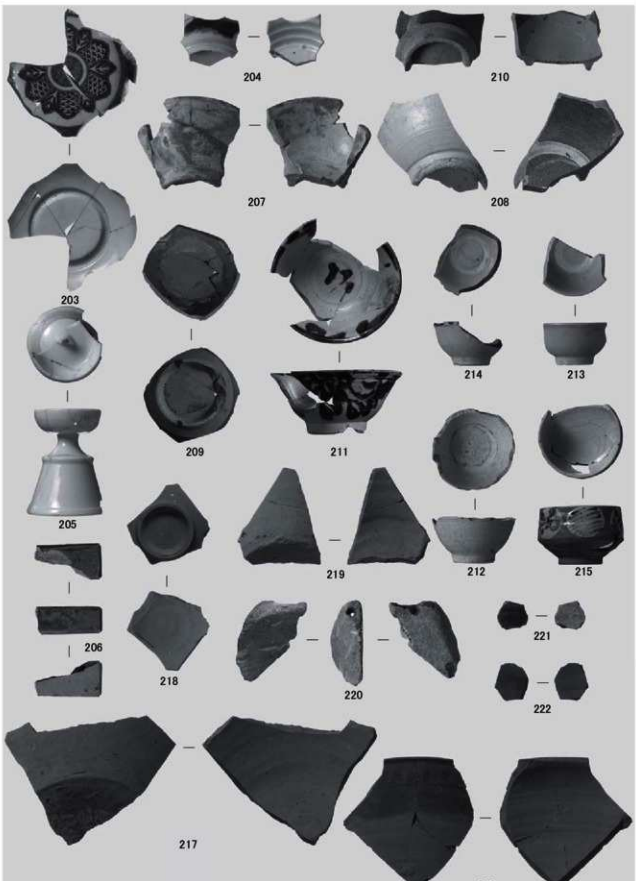


図版 20　近世～近代の遺構出土遺物 7（Ⅲ・Ⅳ地区）

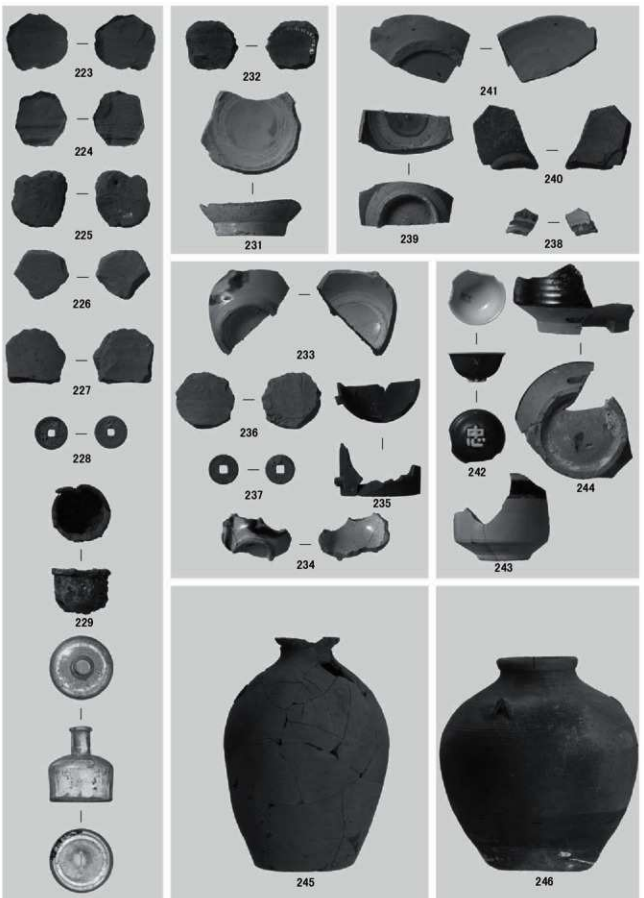


図版 21　近世～近代の遺構出土遺物８（Ⅲ・Ⅳ地区）

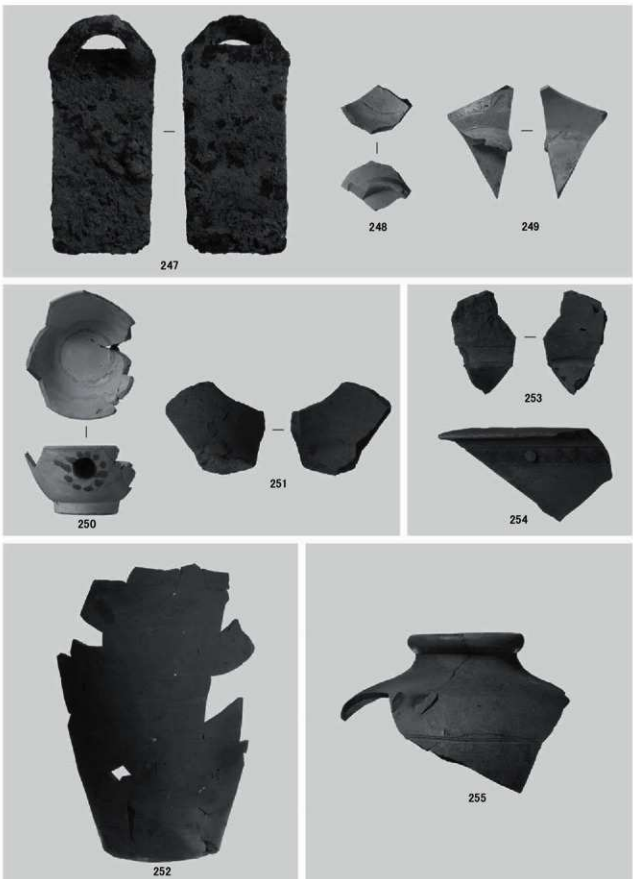
図版 22　近世～近代の遺構出土遺物９（Ⅲ・Ⅳ地区）



図版 23　近世～近代の遺構出土遺物 10（Ⅲ・Ⅳ地区）



図版 24　近世～近代の遺構出土遺物 11（Ⅲ・Ⅳ地区）



図版 25　近世～近代の遺構出土遺物 12（Ⅲ・Ⅳ地区）

図版 26　近世～近代の遺構出土遺物 13（Ⅲ・Ⅳ地区）

第 4 項　包含層出土遺物

包含層からの遺物出土は総数 2750 点である。遺物の種類としては、近世～近代のⅡ層からは青磁、白磁、染付、青磁染付、瑠璃釉、褐釉陶器、本土産陶磁器、沖縄産施釉陶器、沖縄産無釉陶器、土器、陶質土器、瓦質土器、カムィヤキ、瓦、円盤状製品、石器、石材、煙管、銭貨、青銅製品、鉄製品、ガラス製品などである。主体は沖縄産施釉陶器の碗、沖縄産無釉陶器の壺、擂鉢などである。

縄文時代～グスク時代のⅢ層からは、縄文時代の遺物としては晩期の肥厚口縁系土器、黒曜石製・チャート製の石鏃、磨石・敲石が出土している。グスク時代の遺物は中国産玉縁口縁白磁碗やカムィヤキ、グスク土器、滑石製石鍋など、縄文～グスク時代の遺物が混在してみられる。図示および写真撮影した遺物の特徴については、観察表（第 6 表）に記す。

第6表　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）a

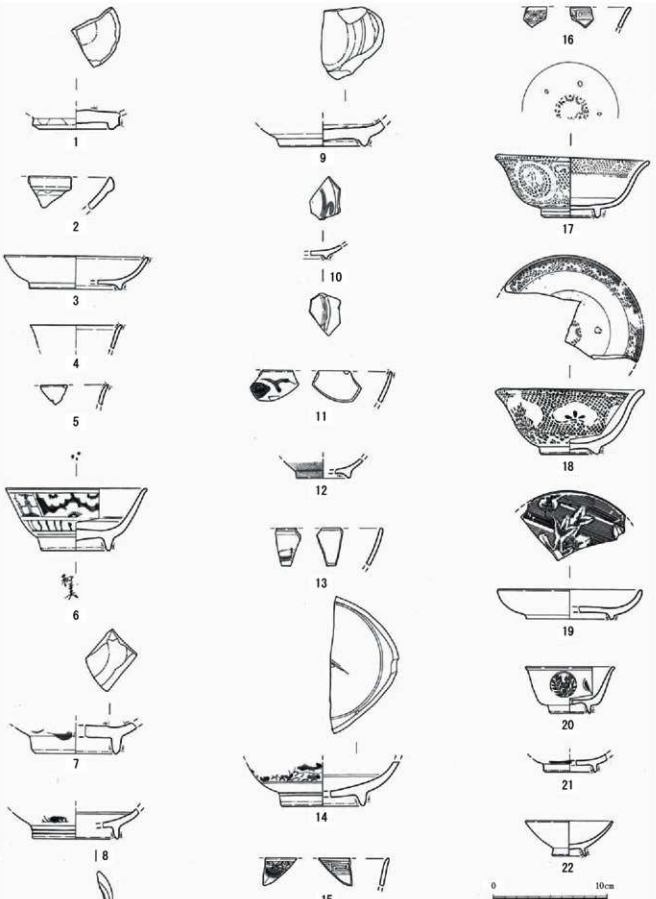
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（cm） 口径（長軸）	底径（短軸）	器高（厚さ）	観察事項	地区	出土地
第41図 図版27	1	青磁	碗	底部	—	6.6	—	内底蛇の目釉剥ぎ。畳付は露胎。素地は鈍橙色で緻密。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
	2	白磁	碗	口縁部	—	—	—	玉縁口縁。素地は灰白色で緻密。	Ⅲ	D11　Ⅲ層
	3	白磁	皿	口～底部	12.6	8.0	2.9	口禿と畳付は釉剥ぎ。素地は白色で緻密。徳化窯産。	Ⅲ	H13　Ⅱ層
	4	白磁	小碗	口縁部	8.0	—	—	口禿釉剥ぎ。素地は白色で緻密。徳化窯産。	Ⅲ	C10　Ⅱ層
	5	白磁	小碗	口縁部	—	—	—	口禿釉剥ぎ。素地は白色で緻密。徳化窯産。	Ⅲ	D12　Ⅱ層
	6	染付	碗	口～底部	12.4	6.0	5.5	畳付露胎。素地は白色で緻密。外面に花文＋寿字文。外底に「和美」銘。徳化窯産。	Ⅲ	D12　Ⅱ層
	7	染付	碗	底部	—	7.8	—	内底蛇の目釉剥ぎ。畳付露胎。素地は白色で緻密。外面に丸文か。徳化窯産。	Ⅲ	I11　Ⅱ層
	8	染付	碗	底部	—	7.6	—	畳付露胎。素地は白色で緻密。外面に文様。	Ⅲ	G12　Ⅱ層
	9	染付	碗	底部	—	7.6	—	明灰色釉を施釉。内底蛇の目釉剥ぎ。畳付露胎。素地は灰白色で緻密。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
	10	染付	皿	底部	—	—	—	畳付露胎。素地は白色で緻密。内底に文様。畳付に砂目付着。	Ⅲ	C12　Ⅱ層
	11	染付	小碗	口縁部	—	—	—	口禿釉剥ぎ。畳付露胎。素地は白色で緻密。外面に文様。	Ⅳ	B11　Ⅱ層
	12	瑠璃釉	小碗	底部	—	4.6	—	外面は瑠璃釉。素地は灰白色で緻密。	Ⅲ	B8　Ⅱ層
	13	本土産磁器	碗	口縁部	—	—	—	素地は白色で緻密。外面に文様。	Ⅲ	C15　Ⅱ層
	14	本土産磁器	碗	底部	—	7.2	—	畳付露胎。素地は白色で緻密。外面に花唐草文。畳付に砂目付着。	Ⅲ	I11　Ⅱ層
	15	本土産磁器	小碗	口縁部	—	—	—	素地は白色で緻密。外面に草花文、内面に雷文。	Ⅲ	C12　Ⅱ層
	16	本土産磁器	小碗	口縁部	—	—	—	素地は白色で緻密。外面に草花文、内面に雷文。	Ⅲ	C11　Ⅱ層
	17	本土産 近現代磁器	碗	口～底部	13.5	5.2	5.5	畳付を釉剥ぎ。素地は灰白色で緻密。型紙摺りで鶴丸文。内底に目跡。	Ⅲ	C7　Ⅱ層
	18	本土産 近現代磁器	碗	口～底部	13.0	5.2	5.8	畳付を釉剥ぎ。素地は灰白色で緻密。型紙摺りで草花文。内底に目跡。	Ⅲ	C8　Ⅱ層
	19	本土産 近現代磁器	皿	口～底部	12.6	7.6	2.6	畳付を釉剥ぎ。素地は灰白色で緻密。銅版転写で草文。	Ⅲ	D12　Ⅱ層
	20	本土産 近現代磁器	小碗	口～底部	7.8	3.5	4.1	畳付を釉剥ぎ。素地は灰白色で緻密。外面に丸文。	Ⅲ	I11　Ⅱ層
	21	本土産 近現代磁器	小碗	底部	—	4.6	—	畳付を釉剥ぎ。素地は灰白色で緻密。外面に文様。	Ⅲ	C9　Ⅱ層
	22	本土産 近現代磁器	小杯	口～底部	7.6	3.0	3.1	畳付を釉剥ぎ。素地は白色で緻密。無文。	Ⅲ	C7　Ⅱ層
第42図 図版27	23	本土産 近現代磁器	小碗	口～底部	8.1	3.7	4.7	畳付を釉剥ぎ。素地は白色で緻密。外面に草花文。	Ⅲ	H12　Ⅱ層
	24	本土産 近現代磁器	小杯	底部	—	—	—	素地は白色で緻密。軍杯で内底に日章旗。	Ⅲ	H12　Ⅱ層
	25	磁器（近現）	人形	—	—	—	—	透明釉を施釉。素地は白色で緻密。下端部欠損。人物座像。	Ⅲ	H12　Ⅱ層
	26	本土産陶器	皿	底部	—	5.0	—	内面に銅緑色釉かけ蛇の目釉剥ぎ。外底露胎。素地は灰白色で緻密。肥前・内野山産。	Ⅲ	H13　Ⅱ層
	27	近代陶器	急須	底部	—	6.4	—	外底露胎。素地は白色で緻密。	Ⅲ	H12　Ⅱ層
	28	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.4	—	灰釉を内外胴下部まで施釉。素地は灰色で細かい。内底と畳付にアルミナ付着。	Ⅲ	C8　Ⅱ層
	29	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	7.0	—	飴釉を内外胴下部まで施釉。素地は灰白色で細かい。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
	30	沖縄産 施釉陶器	碗	口～底部	13.8	6.4	6.6	全面に白化粧と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を釉剥ぎ。素地は淡黄色で細かい。	Ⅲ	H12　Ⅱ層
	31	沖縄産 施釉陶器	碗	口～底部	13.4	6.0	7.6	全面に白化粧と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を釉剥ぎ。素地は淡黄色で細かい。	Ⅲ	H11　Ⅱ層
第42図 図版28	32	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.3	—	全面に白化粧と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を釉剥ぎ。素地は灰黄色で細かい。外面に文様。	Ⅲ	C8　Ⅱ層
	33	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	5.8	—	全面に白化粧と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を釉剥ぎ。素地は鈍黄色で細かい。	Ⅲ	C9　Ⅱ層
	34	沖縄産 施釉陶器	皿	口縁部	12.4	—	—	素地は灰白色で細かい。外面に砂多量付着。	Ⅲ	C7　Ⅱ層
	35	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	7.7	3.4	3.7	全面に白化粧と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を釉剥ぎ。素地は灰白色で細かい。	Ⅲ	C15　Ⅱ層
	36	沖縄産 施釉陶器	小碗	底部	—	3.5	—	外面茶色釉、内面透明釉を掛け分け。畳付を釉剥ぎ。素地は白色で細かい。	Ⅲ	C7　Ⅱ層

第６表　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）b

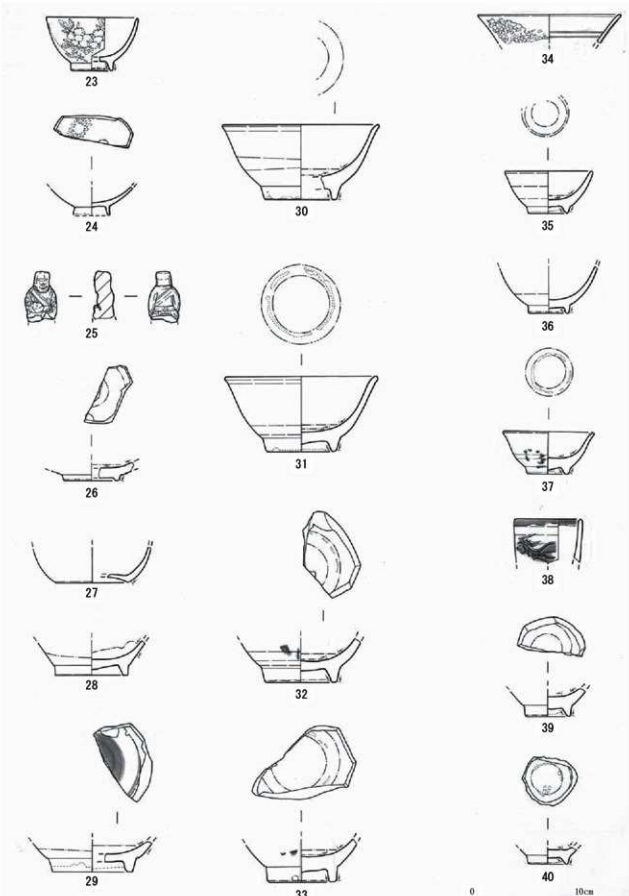
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（cm）			観察事項	地区	出土地
					口径 （長軸）	底径 （短軸）	器高 （厚さ）			
第42図 図版28	37	沖縄産 施釉陶器	小鉢	底部	8.0	3.8	3.7	全面に白化粧土と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を輪剥ぎ。素地は灰白色で緻かい。外面に丸文。	Ⅲ	D12　Ⅱ層
	38	沖縄産 施釉陶器	小鉢	口縁部	6.0	—	—	外面は褐色釉、素地は灰色で緻密。外面に魚文か。	Ⅲ	D12　Ⅱ層
	39	沖縄産 施釉陶器	小鉢	底部	—	4.0	—	全面に白化粧土と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を輪剥ぎ。素地は灰黄色で緻かい。	Ⅲ	B9　Ⅱ層
	40	沖縄産 施釉陶器	小鉢	底部	—	3.4	—	全面に白化粧土と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を輪剥ぎ。素地は灰黄色で緻かい。	Ⅲ	C13　Ⅱ層
第43図 図版28	41	沖縄産 施釉陶器	小鉢	底部	—	3.8	—	全面に白化粧土と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を輪剥ぎ。素地は灰黄色で緻かい。	Ⅲ	C12　Ⅱ層
	42	沖縄産 施釉陶器	鉢	口縁部	—	—	—	く字状口縁。外面鉄釉、内面白化粧後透明釉を掛け分け。素地は淡黄色で緻かい。	Ⅲ	G12　Ⅱ層
	43	沖縄産 施釉陶器	急須	底部	—	10.6	—	全面に白化粧後、透明釉を施釉、内底釉剥ぎで外底露知。素地は淡黄色で緻かい。外面に兵頭を掛ける。円錐状脚。	Ⅲ	B11　Ⅱ層
	44	沖縄産 施釉陶器	酒注	底部	—	7.8	—	透明釉を施釉、内外底は露知。素地は灰白色で緻かい。	Ⅲ	B10　Ⅱ層
	45	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	6.1	4.1	2.7	透明釉を外面の甲蓋端部まで施釉。素地は灰白色で緻密。摘みに0.3cmの孔。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
	46	沖縄産 施釉陶器	蓋	—	5.8	4.4	—	鉄釉を外面の甲蓋端部まで施釉。素地は灰色で緻かい。	Ⅲ	C14　Ⅱ層
	47	沖縄産 施釉陶器	壺	底部	—	8.6	—	外面鬼釉を施釉、内面無釉。素地は橙色で緻かい。	Ⅲ	D12　Ⅱ層
	48	沖縄産 施釉陶器	火取	口縁部	10.8	—	—	全面白化粧後、口径部～外面透明釉を施釉、口径部外側は兵頭による文様。素地は淡黄色で緻かい。	Ⅲ	H12　Ⅱ層
	49	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	口縁部	25.5	—	—	逆L字状口縁。櫛目は間隔密。素地は赤褐色で緻密。口径上部に沈線。	Ⅲ	G12　Ⅱ層
	50	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	口縁部	30.0	—	—	逆L字状口縁。櫛目は間隔密。素地は赤褐色で緻密。口径上部に沈線。	Ⅲ	C8　Ⅱ層
	51	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	底部	—	12.0	—	外面横整底明線。櫛目は間隔密。素地は赤褐色で緻密。	Ⅲ	B11　Ⅱ層
	52	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	底部	—	10.8	—	櫛目は間隔密。素地は赤褐色で緻密。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
	53	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	底部	—	9.0	—	櫛目は間隔密。外面オリーブ黒色で素地は褐赤褐色で緻密。	Ⅲ	B10　Ⅱ層
第44図 図版28	54	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	14.2	—	—	逆L字状口縁。素地は赤褐色で緻密。	Ⅲ	G12　Ⅱ層
第44図 図版29	55	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	9.9	—	—	逆L字状口縁。素地は黒褐色で緻密。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
	56	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	6.6	—	内面輪轆底明線。器色は内面灰色、素地は赤褐色で緻密。	Ⅲ	D12　Ⅱ層
	57	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	7.4	—	内面輪轆底明線。器色は内面灰色、素地は赤褐色で緻密。外面に沈線。	Ⅲ	C7　Ⅱ層
	58	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	—	—	内面輪轆底明線。器色は外面赤灰色、素地は赤褐色で緻密。外面に沈線。	Ⅲ	H11　Ⅱ層
	59	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	11.6	—	—	玉縁状口縁。素地は褐赤褐色で緻密。	Ⅲ	C9　Ⅱ層
	60	沖縄産 無釉陶器	壺	底部	—	17.6	—	内面輪轆底明線。器色は外面黒灰色、素地は赤褐色で緻密。	Ⅲ	C9　Ⅱ層
	61	沖縄産 無釉陶器	甕	口縁部	—	—	—	口縁を方形状に肥厚。素地は暗赤褐色で緻密。口縁肥厚部に沈線。	Ⅲ	D12　Ⅱ層
	62	沖縄産 無釉陶器	甕	口縁部	—	—	—	逆L字状口縁。素地は褐赤褐色で緻密。胴上部に沈線+波状文。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
	63	沖縄産 無釉陶器	火炉	口縁部	—	—	—	くの字口縁で上面縦三葉形、方形の横耳貼り付け。器色は外面黒灰色、素地は褐赤褐色で緻密。	Ⅲ	C7　Ⅱ層
	64	陶質土器	鉢	口縁部	21.4	8.5	10.5	内湾口縁。素地は橙色で緻質。外面口縁部に沈線+波状文。	Ⅲ	C7　Ⅱ層
	65	陶質土器	鍋	口縁部	—	—	—	くの字状口縁。素地は橙色。	Ⅲ	D12　Ⅱ層
	66	土器	鉢	口縁部	—	—	—	肥厚口縁。粕土は暗色で泥質。混入物に微砂粒を含む。施弧で製画あばた状。	Ⅲ	H12　Ⅲ層
	67	土器	鉢	口縁部	13.0	—	—	肥厚口縁。粕土は橙色で砂質。混入物に微砂粒、石英を多量含む。	Ⅲ	C12　Ⅲ層
	68	土器	鉢	口縁部	—	—	—	肥厚口縁。粕土は黄褐色で砂質。混入物に微砂粒、石英、チャートを含む。	Ⅲ	D12　SK90 埋土 B-11
	69	土器	鉢	口縁部	—	—	—	肥厚口縁。粕土は橙色で砂質。混入物に微砂粒、石英、チャートを含む。	Ⅲ	C12　Ⅲ層
	70	土器	鉢	口縁部	—	—	—	肥厚口縁。粕土は赤褐色で砂質。混入物に微砂粒と大粒の石英含む。	Ⅲ	C12　Ⅲ層
	71	土器	鉢	口縁部	—	—	—	くの字状口縁か。粕土は橙色で泥質。混入物に微砂粒と黒色粒物含む。	Ⅲ	H12　Ⅲ層
第45図 図版29	72	土器	鉢	口縁部	12.0	—	—	肥厚口縁。粕土は赤褐色で砂質。混入物に微砂粒、石英、チャート含む。	Ⅲ	C12　Ⅲ層

第６表　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物観察一覧（Ⅲ・Ⅳ地区）c

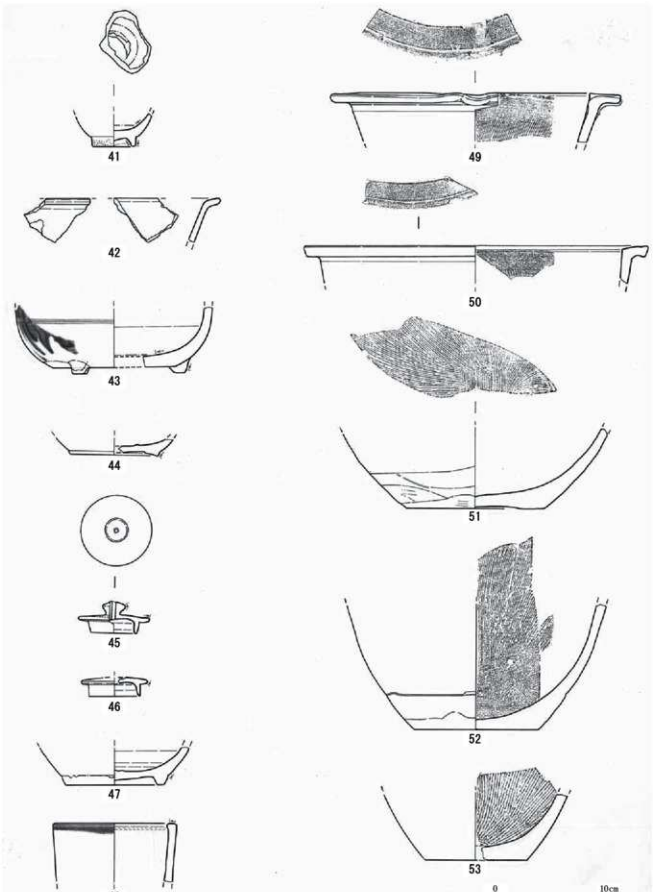
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（cm） 口径 （長軸）	底径 （短軸）	器高 （厚さ）	観察事項	地区	出土地
第45図 図版29	73	土器	鉢	口縁部	—	—	—	肥厚口縁。内面に指頭痕残る。胎土は明褐色で砂質。混入物に微砂粒、石英含む。	Ⅲ	C12　Ⅲ層
	74	土器	鉢	口縁部	—	—	—	肥厚口縁。内面に縦位の沈線か。胎土は橙色で泥質。混入物の微砂粒が剥落し器面あばた状。	Ⅲ	C12　Ⅲ層
	75	土器	鉢	口縁部	—	—	—	直口口縁。胎土は赤褐色で砂質。混入物に微砂粒と黒色鉱物、ガラス質粒含む。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
	76	土器	鉢	底部	—	—	—	平底。胎土は赤褐色で泥質。混入物に微砂粒、石英、チャート、赤色粒含む。	Ⅲ	C12　Ⅲ層
	77	グスク土器	鍋	口縁部	—	—	—	方形の縦耳を貼り付け。口唇部を平坦に成形。胎土は赤褐色の泥質で、赤色粒や微砂粒を含む。	Ⅲ	H12　Ⅲ層
	78	グスク土器	鍋	口縁部	—	—	—	方形の縦耳を貼り付け。口唇部を平坦に成形。胎土は赤褐色の泥質で、赤色粒や微砂粒を含む。	Ⅲ	C13　Ⅲ層
	79	グスク土器	鍋	口縁部	—	—	—	口唇部を平坦に成形。胎土は赤褐色の泥質で、赤色粒や微砂粒を含む。	Ⅲ	G13　Ⅲ層
	80	グスク土器	鍋	口縁部	—	—	—	口唇部を平坦に成形。胎土は橙色の泥質で、微砂粒を含む。	Ⅲ	C12　Ⅲ層
第45図 図版30	81	グスク土器	鍋	口縁部	—	—	—	鍔状突帯を貼り付け。口唇部を平坦に成形。胎土は赤褐色の泥質で、滑石が混入されるほか、微砂粒を含む。	Ⅲ	H12　Ⅲ層
	82	グスク土器	鍋	底部	—	—	—	平底。胎土は外面褐色、内面赤褐色で砂質。混入物に微砂粒、石英含む。	Ⅳ	B14　Ⅲ層
	83	カムィヤキ	壺	口縁部	8.2	—	—	玉縁状口縁。胎土は内外面灰色、断面赤褐色で微砂粒を含む。	Ⅲ	C15　Ⅱ層
	84	カムィヤキ	壺	口縁部	—	—	—	断面三角形状の口縁。胎土は内外面灰色、断面赤褐色で微砂粒を含む。	Ⅲ	H12　Ⅲ層
	85	カムィヤキ	壺	胴部	—	—	—	胴部片。胎土は外面灰色、内面で褐色で微砂粒を含む。	Ⅲ	B10　Ⅱ層
	86	カムィヤキ	壺	胴部	—	—	—	胴部片。外面叩き目、内面当て具痕。胎土は内外面灰色、断面赤褐色で微砂粒を含む。	Ⅲ	I11　Ⅱ層
	87	カムィヤキ	壺	底部	—	7.6	—	胎土は内外面青灰色、断面赤褐色で微砂粒を含む。	Ⅲ	C9　Ⅱ層
	88	カムィヤキ	壺	底部	—	—	—	内面同転ナデによる回凸明瞭。胎土は外面オリーブ黒色、内面青灰色、断面赤褐色で微砂粒を含む。	Ⅲ	H12　Ⅲ層
	89	石器	石鏃	—	—	—	—	無茎で基部に抉りがある。縁辺部細かい剥離。重量4.7g。チャート。	Ⅲ	H12　Ⅲ層
	90	石器	石鏃	—	—	—	—	無茎で基部はやや直線状。縁辺部細かい剥離。重量0.5g。黒曜石。	Ⅲ	H12　Ⅲ層
	91	石器	敲石・磨石	—	—	—	—	縁辺に敲打痕。重量200.3g。砂岩。	Ⅲ	E12　Ⅱ層
	92	石器	磨石	—	—	—	—	磨石の破片で表面使用痕。重量344.1g。砂岩。	Ⅲ	G13　Ⅲ層
	93	石器	磨石	—	—	—	—	磨石の側面破片で、磨面と敲打痕。重量73.2g。砂岩。	Ⅲ	D11　Ⅲ層
	94	滑石製品	石鍋	口縁部	—	—	—	滑石製の石鍋。方形の縦耳を持つ。口唇部は平坦。内外面にノミ調整痕。重量61.5g。	Ⅲ	H12　Ⅲ層
	95	円盤状製品	—	—	4.2	3.8	1.0	素材は沖縄産無軸陶器片。重量25.8g。	Ⅲ	C15　Ⅱ層
	96	円盤状製品	—	—	4.9	5.3	1.2	素材は沖縄産無軸陶器片。重量38.4g。	Ⅲ	E12　Ⅱ層
	97	銭貨	寛永通宝	—	2.5	2.5	0.1	新寛永。重量2.9g。	Ⅲ	C14　Ⅱ層
	98	銭貨	寛永通宝	—	2.5	2.5	0.2	新寛永。重量2.8g。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
図版30	99	ガラス製品	瓶	口～底部	2.5	6.0	17.1	色調は透明。外面に「NO DEPOSIT NO RETURN」「NOT TO BE REFILLED」、底面に「12」文字、王冠栓。	Ⅲ	G13　Ⅱ層
	100	ガラス製品	瓶	口～底部	1.1	1.4	2.9	色調は茶。ネジ栓。	Ⅲ	C13　Ⅱ層
	101	ガラス製品	瓶	口～底部	1.5	2.5	2.9	色調は透明。栓はキャップか。	Ⅲ	G12　Ⅱ層



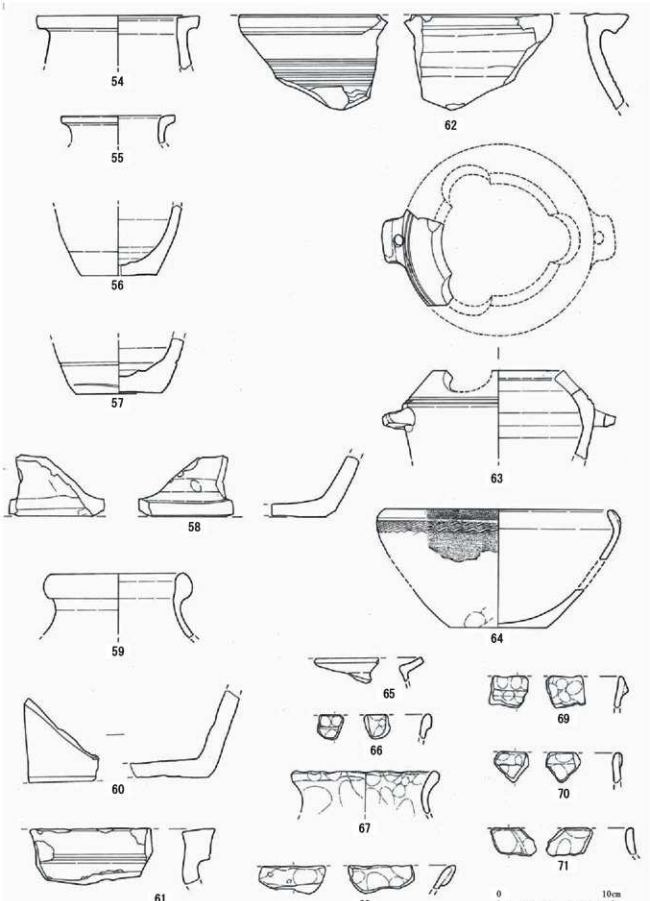
第 41 図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物 1（Ⅲ・Ⅳ地区）



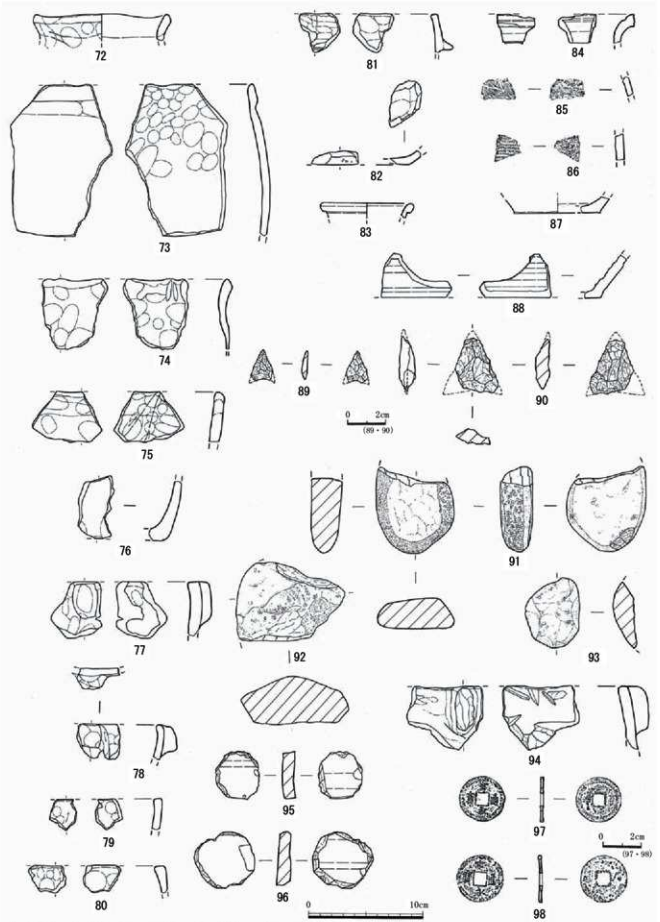
第 42 図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物２（Ⅲ・Ⅳ地区）



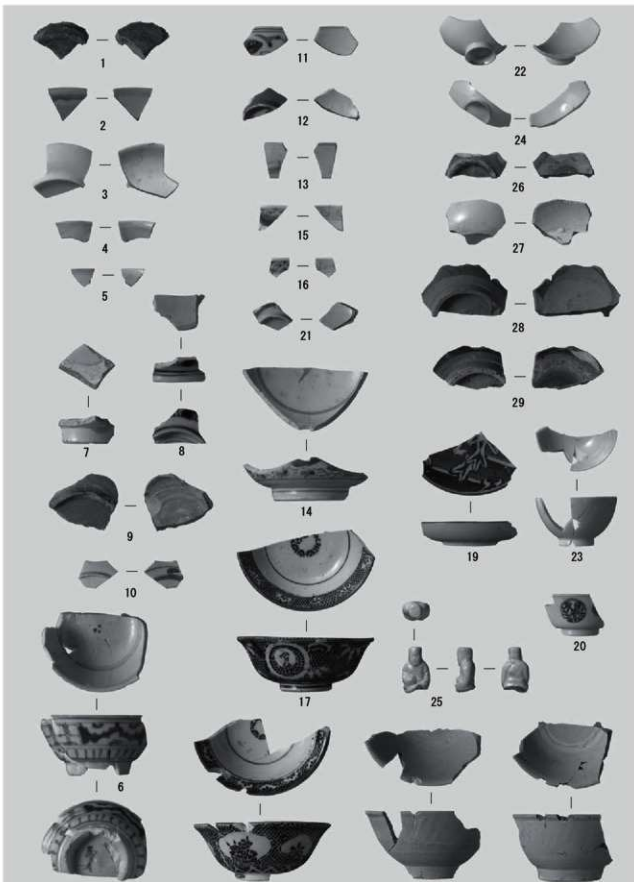
第 43 図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物３（Ⅲ・Ⅳ地区）



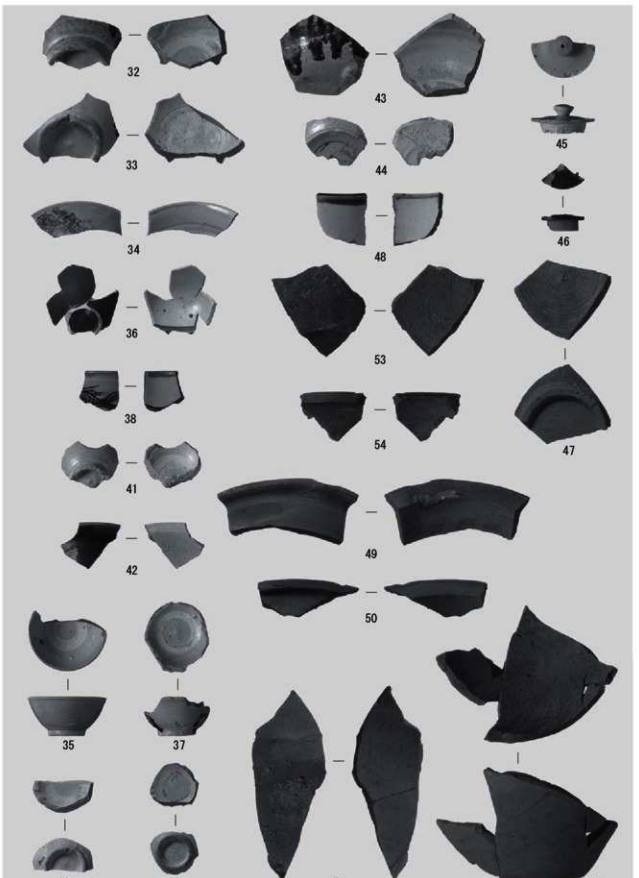
第 44 図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物 4（Ⅲ・Ⅳ地区）



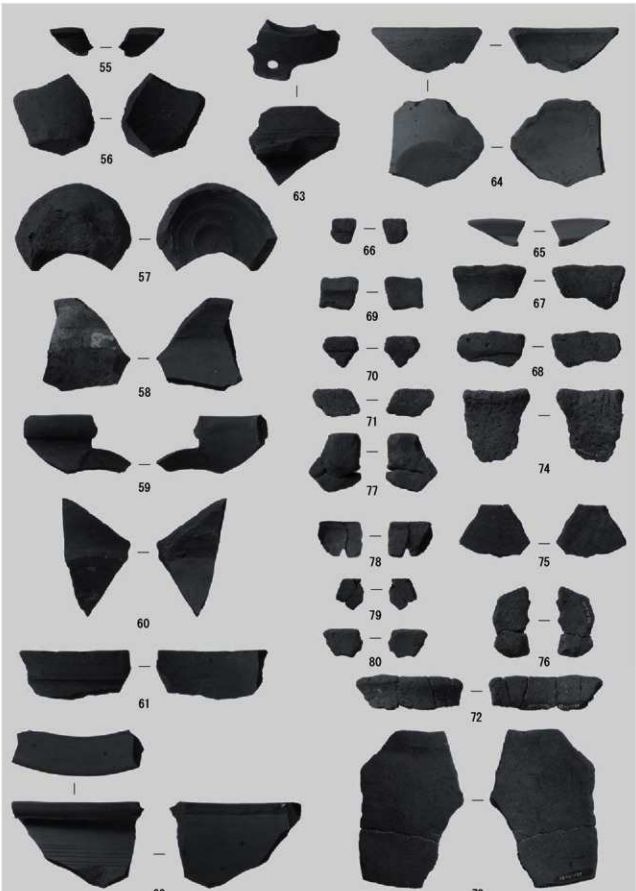
第 45 図　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物５（Ⅲ・Ⅳ地区）



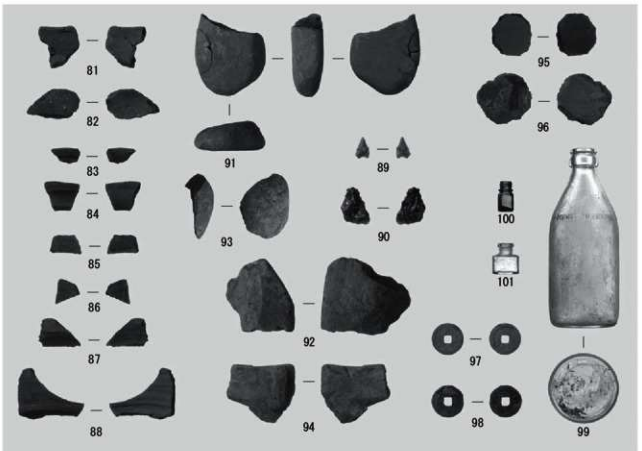
図版 27　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物 1（Ⅲ・Ⅳ地区）



図版 28　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物２（Ⅲ・Ⅳ地区）



図版 29　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物３（Ⅲ・Ⅳ地区）



図版 30　包含層（Ⅱ・Ⅲ層）出土遺物 4 （Ⅲ・Ⅳ地区）

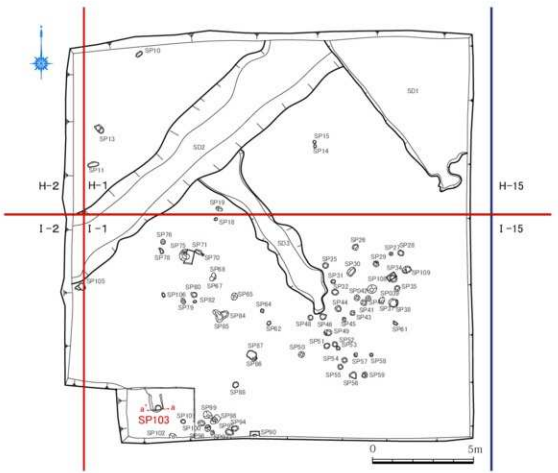
第３節　Ⅴ・Ⅵ地区の遺構と遺物

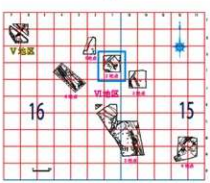
第Ⅴ・Ⅵ地区は普天間石川原遺跡を中心として、一部普天間古集落遺跡に調査区がまたがる範囲で、縄文時代、グスク時代、近世～近代の遺構が確認されている。以下、時期ごとの遺構及び遺構内出土遺物、包含層出土遺物についての概要を述べる。

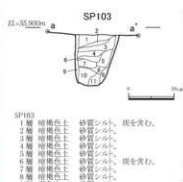
第１項　縄文時代の遺構

縄文時代の遺構は、Ⅵ地区２地点Ｉ１グリッドにて土坑が確認されている。

土坑（SP103）は深く落ち込む形状の遺構で、深さ 56cm でマージを掘り込む。遺物は出土していないが、キャンプ瑞慶覧内の縄文時代後期～晩期の遺跡から検出されるもので、Ⅰ・Ⅱ地区で類例がある。







VI地区　2地点　SP103（北から）

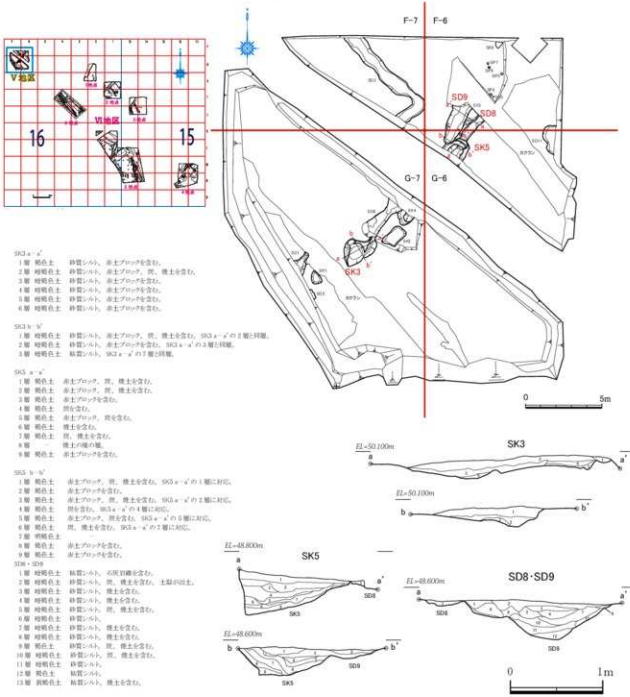
第 46 図　縄文時代の遺構（Ⅵ地区）

第２項　グスク時代の遺構及び遺構内出土遺物

グスク時代の遺構は、ピット群、土坑、溝状遺構が確認されている。

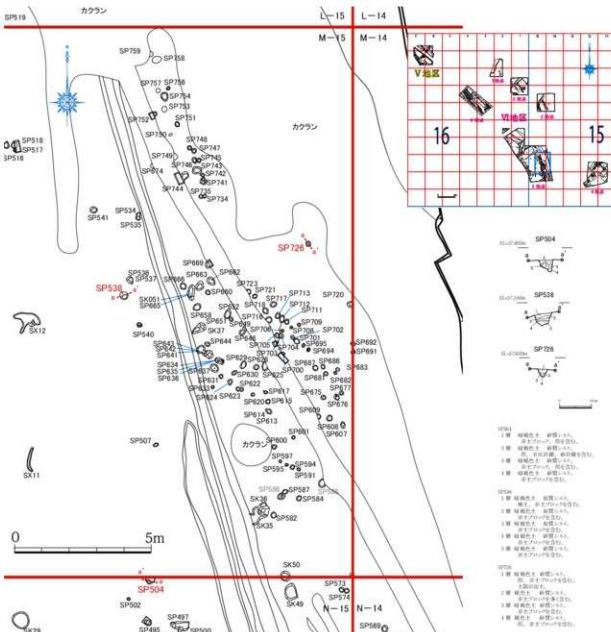
土坑はＶ地区 G6 グリッドにて SK ３と SK ５が確認されている。SK ３は長軸 2.3m・短軸 1.2m の不定形な遺構で、深さは 22cm でレンズ状掘方である。埋土は暗褐色砂質シルトで炭粒や赤色粒、マージブロックを含む。遺物は土器片や石材が出土している。SK ５は中央畔により全形が判然としないが、後述する溝状遺構の一部の可能性がある。

溝状遺構（SD ８・９）はＶ地区 G6 グリッドに位置し、北東－南西方向に延びSK ５に切られる形となる。SD ８は幅 0.4m・全長 1.3m・深さ 5cm、SD ９は幅 1.1m・全長 2.0m・深さ 39cm である。埋土は暗褐色砂質シルトで炭や赤色粒を含む。遺物は SD8 からは焼土、SD ９からは土器・石材が少量出土している。

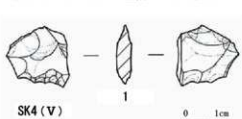


第 47 図　グスク時代の遺構１（Ｖ地区）

ピットは、Ⅵ地区で近世～近代の遺構と混在する形で検出されており、特にⅥ地区５地点 M15 グリッド（２面目）にピット群のまとまりが認められる。埋土は暗褐色砂質シルトで、深さは殆どが浅く、掘立柱建物のプランとして認められるものは無い。ピットからはグスク土器の胴部片や石材が少量出土しており、SP504からは砂岩が出土している。遺物は、土器や石材が遺構内から出土しているが小破片のものが殆どであった。遺物の数量など詳細は集計表（第 23・24 表）に記載する。第 49 図１はチャート製のスクレイパーである。表面方向からの二次加工により下端部に刃部。重量 1.3 ｇ。Ⅴ地区 G6 グリッド SK4 １層から出土。



第 48 図　グスク時代の遺構２（Ⅵ地区）



第 49 図　グスク　出土遺物（Ⅴ地区）

図版 31　グスク　出土遺物（Ⅴ地区）

VI地区　5地点　グスク時代ピット群完掘状況（南から）

VI地区　5地点　グスク時代ピット群完掘状況（東から）

図版 32　グスク時代の遺構 1（V・VI地区）

V地区 SD8・9 断面（北東から）

V地区 SD8・9 完掘状況（北東から）

V地区 SK3 1/4 半裁断面（東から）

V地区 SK3 遺物出土状況（南西から）

V地区 SK5 1/4 半裁断面（南東から）

V地区 SK5 1/4 半裁状況（北から）

VI地区 SP504 半裁断面（北東から）

VI地区 SP538 半裁断面（南から）

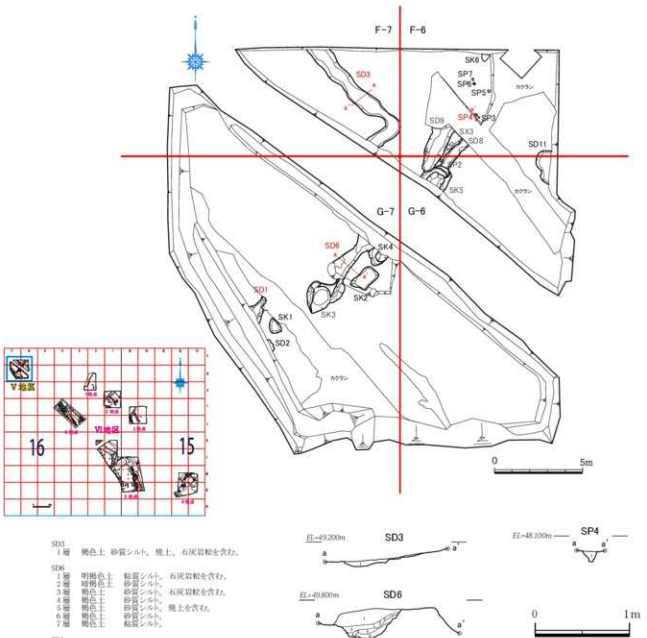
図版 33 グスク時代の遺構 2（V・VI地区）

第３項　近世～近代の遺構及び遺構内出土遺物

a　遺構

当該時期の遺構が主体的に検出されており、ピット、土坑、溝状遺構、窯跡などの古集落に関連する遺構と考えられるものがある。

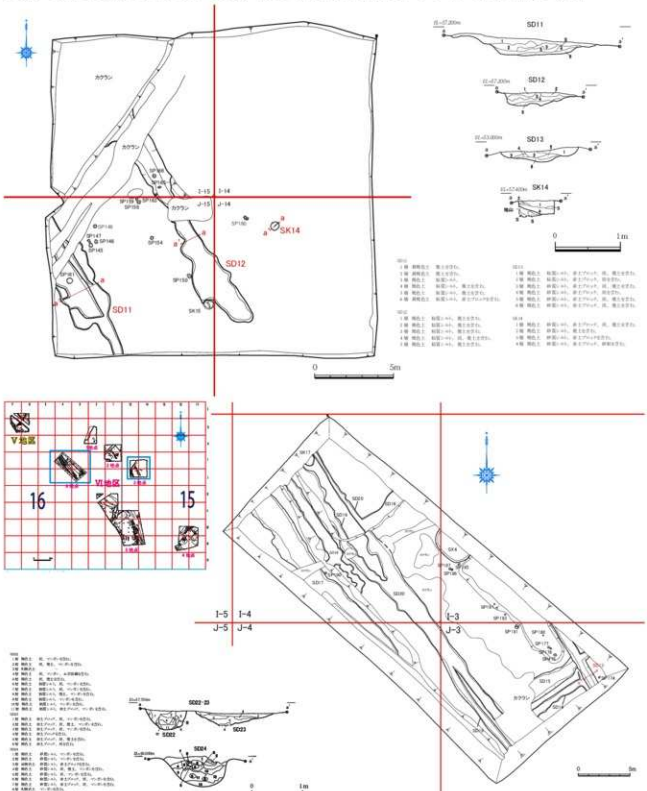
溝状遺構はⅤ・Ⅵ地区で複数検出されている。これまでのⅠ～Ⅳ地区の調査より、軸が一定方向に延びる状況で検出されていることから、屋敷や畑の区画を示すものと考えられる。検出された溝状遺構の殆どが浅く、ここでは残りが良いものを中心に報告する。SD11・12（Ⅵ地区３地点 I15・J15グリッド）は北西－南東方向に平行して延びる。SD22・23（Ⅵ地区５地点 M15・N15 グリッド）も北西－南東方向に延び、SD23 は北東－南西方向に曲がる。SD24（Ⅵ地区５地点 L1 グリッド）は底から石列が検出されている。検出された溝状遺構の多くが北西－南東方向あるいは北東－南西方向に延び、Ⅰ～Ⅳ地区における区画や道の配置する方



第 50 図　近世～近代の遺構１（Ⅴ地区）

向と対応する。またⅥ地区６地点のSD19・20については、昭和20年米軍撮影写真と調査区重ね図（図版46）の状況から北西－南東方向へ続く道跡の可能性がある。

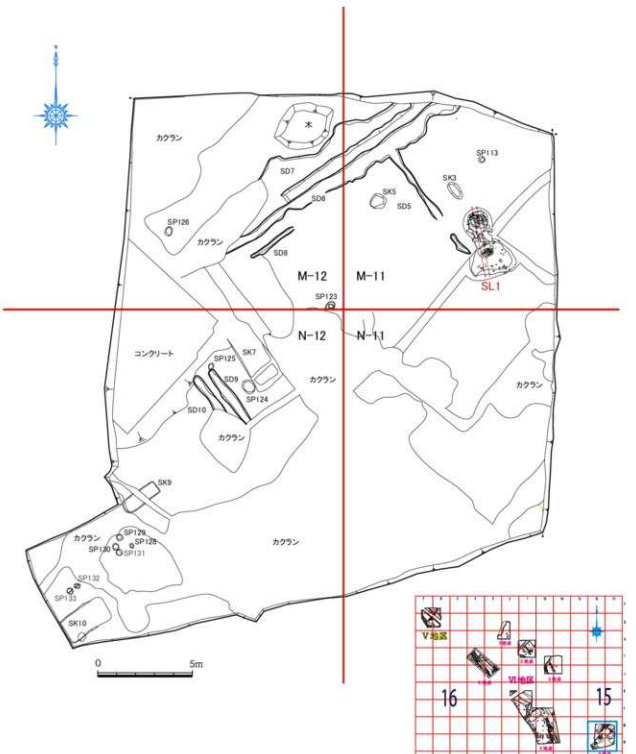
ピットは多数検出された。その多くは屋敷跡に関連するものと考えられるが、明確な建物プランは認められなかった。土坑もピットに次いで多く、SK14（Ⅵ地区３地点 J14 グリッド）は底が岩盤となる。



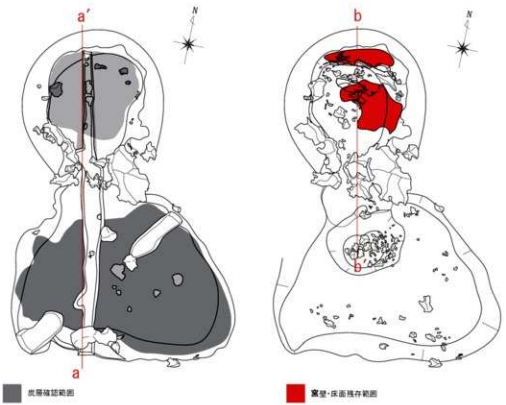
第 51 図　近世～近代の遺構２（Ⅵ地区）

窯跡（SL 1）はⅥ地区 4 地点 H2 グリッドで検出されている。燃焼部は円形で、燃えカスを焚口から掻き出す灰原部分は不定形に掘り込み、焚口部分は岩盤を削り構築している。燃焼部の壁面は火熱により赤みを帯びる。燃焼部と灰原には炭層が検出された。焚口部分は土坑（SK16）が掘り込まれており、灰原での作業に関連するものと考えられる。

また、SL 1 より採取された炭化材の放射性炭素年代測定を実施した結果、270 ± 20BP ～ 230 ± 20BP の数値が得られ、17 ～ 18 世紀代の年代が示されている。その詳細については第 5 章自然科学分析の頁にて報告する。



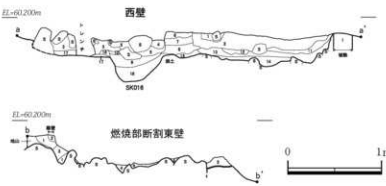
第 52 図　近世～近代の遺構 3（Ⅵ地区）



SL1

SL1 a-a′
1層 赤褐色土　焼壁。
2層 褐色土　炭、地土を含む。
3層 褐色土　粘質シルト。炭、地土、石灰岩礫を含む。
4層 褐色土
5層 明褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。
6層 褐色土　地土を含む。
7層 褐色土　粘質シルト。地土を含む。
8層 褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。
9層 暗褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。
10層 明褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。
11層 褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。
12層 褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。
13層 黒色土　炭層。
14層 褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。
15層 褐色土　粘質シルト。地土を含む。
16層 暗褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。
17層 褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。
18層 褐色土　粘質シルト。炭、地土を含む。

SL1 b-b′
1層 暗赤褐色土　粘質シルト。地山の土が被熱し、変色。
2層 暗赤褐色土　〃
3層 極暗赤褐色土　〃
4層 暗赤褐色土　粘質シルト。
5層 暗赤褐色土　〃



第 53 図　近世～近代の遺構 4（Ⅵ地区）

Ⅵ地区　5 地点　遺構完掘状況　1 面目（南から）

Ⅵ地区　6 地点　遺構完掘状況（北西から）

図版 34　近世～近代の遺構 1 （Ⅴ・Ⅵ地区）

Ⅴ地区　SD1　完掘状況（北東から）

Ⅴ地区　SD3　断面（西から）

Ⅴ地区　SD6　断面（北東から）

Ⅴ地区　SD6　完掘状況（北東から）

Ⅵ地区　3地点　SD11　断面（北西から）

Ⅵ地区　3地点　SD12　断面（北西から）

Ⅵ地区　5地点　SD24　石列検出状況（北東から）

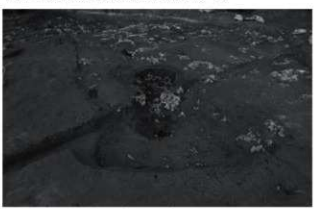
Ⅵ地区　5地点　SD22・23 断面（北から）

図版 35　近世～近代の遺構 2（Ⅴ・Ⅵ地区）

Ⅵ地区　6地点　SD13　断面（西から）

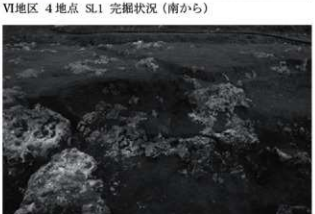
Ⅵ地区　6 地点　SD13　完掘状況（北西から）

Ⅵ地区　4地点　SL1　炭面検出状況（南から）



Ⅵ地区　4 地点　SL1　完掘状況（南から）

Ⅵ地区　4地点　SL1　断面（東から）



Ⅵ地区　4 地点　SL1　窯壁断割（西から）

Ⅵ地区　4地点　SL1 内　SK16 半裁断面（西から）

Ⅵ地区　3地点　SK14 半裁断面（北西から）

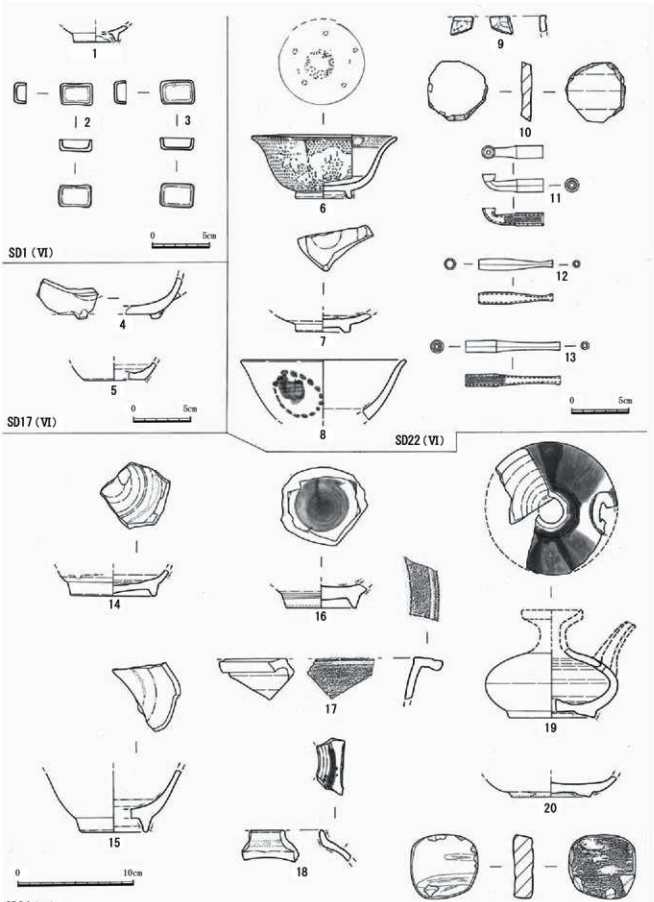
図版 36　近世～近代の遺構３（Ⅴ・Ⅵ地区）

b　遺構内出土遺物

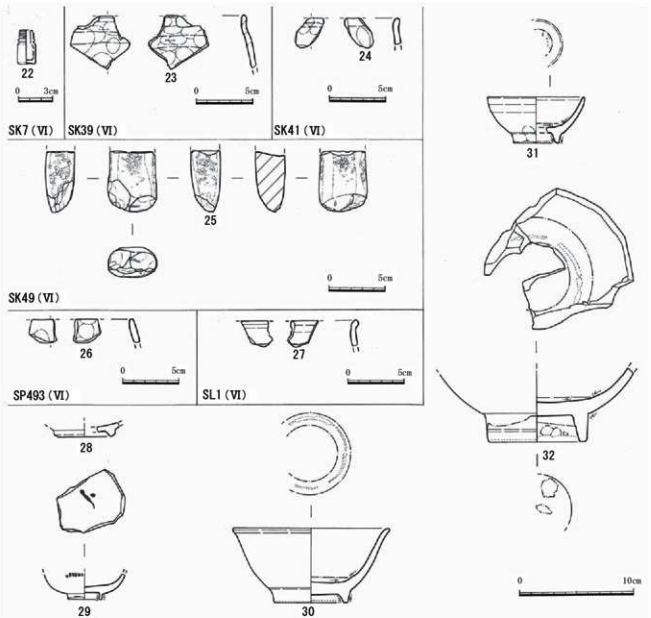
遺構内出土遺物は、沖縄産施釉陶器、沖縄産無釉陶器が主体をなし、青磁、白磁、染付、本土産陶磁器、陶質土器、瓦質土器、カムィヤキ、土器、石製品、円盤状製品、金属製品、瓦等、合計678点が出土した。ここでは代表的な32点について図化し、個々の所見は遺物観察表（第7表）でまとめる。

第7表　近世～近代の遺構出土遺物観察一覧（Ⅵ地区）

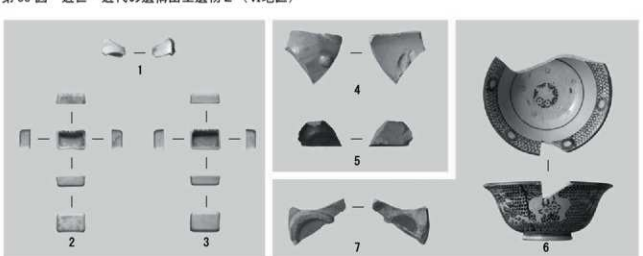
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	法量（cm） 口径（長軸）	底径（短軸）	器高（厚さ）	観察事項	地区	出土地
第54図 図版37	1	白磁	小杯	底部	—	3.9	—	外底は露胎。素地は灰白色で緻密。畳付に砂目付着。徳化窯産。	Ⅵ	H1 SD1 埋土
	2	本土産 近現代磁器	小皿 (絵の具皿)	口～底部	2.8	2.3	1.0	無釉。素地は灰白色で緻密。内面に水色塗料付着。	Ⅵ	H1 SD1 埋土
	3	本土産 近現代磁器	小皿 (絵の具皿)	口～底部	2.9	2.4	1.0	無釉。素地は灰白色で緻密。内面に青色塗料付着。2より底部の面取り丁寧。	Ⅵ	H1 SD1 埋土
	4	沖縄産 施釉陶器	急須	底部	—	—	—	外底は露胎。素地は白色で緻密。外面に花唐草文。円錐の胴。	Ⅵ	I4 SD17 埋土
	5	沖縄産 施釉陶器	小壺	底部	—	5.2	—	外面に暗褐色釉を施釉。外底と内底露胎。素地は灰色で緻密。	Ⅵ	I4 SD17 埋土
	6	本土産 近現代磁器	碗	口～底部	12.7	4.9	5.6	畳付露胎。素地は灰白色で緻密。型紙摺。内底に目跡。	Ⅵ	M15 SD22 埋土
	7	本土産陶器	碗	底部	8.4	4.7	1.7	内面に銅緑色釉かけ蛇の目釉剥ぎ。外底露胎。素地は白色で緻密。肥前・内野山窯。	Ⅵ	M15 SD22 埋土
第54図 図版38	8	沖縄産 施釉陶器	碗	口縁部	14.4	—	—	全面に白化粧と透明釉を施釉。素地は灰黄色で細かい。外面に丸文。	Ⅵ	M15 SD22 埋土
	9	グスク土器	鍋	口縁部	—	—	—	口唇部を平坦に成形。胎土は赤褐色の泥質で、赤色粒や微砂粒を少量含む。	Ⅵ	M15 SD22 埋土
	10	円盤状製品	—	—	5.8	5.7	0.9	素材は沖縄産無釉陶器胴部片。重量36.8g。	Ⅵ	N15 SD22 埋土
	11	煙管	青銅	雁首	—	—	—	青銅製。側面に接合部、長さ5.3cm、羅宇接続部1.1cm、火皿1.1cm、重量14.8g。羅宇残存で接合のために先端部を削り調整。13と組み合わせか。	Ⅵ	N15 SD22 埋土
	12	煙管	青銅	吸口	—	—	—	青銅製。側面に接合部、長さ6.5cm、羅宇接続部0.9cm、吸口径0.7cm、重量15.7g。	Ⅵ	M15 SD22 埋土
	13	煙管	青銅	吸口	—	—	—	青銅製。側面に接合部、長さ8.3cm、羅宇接続部1.0cm、吸口径0.8cm、重量15.7g。羅宇残存で接合するために先端部を削り調整。11と組み合わせか。	Ⅵ	N15 SD22 埋土
	14	白磁	碗	底部	—	7.5	—	内外底は露胎。素地は灰白色で緻密。福建・広東産か。	Ⅵ	SD24 埋土
	15	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.0	—	全面に白化粧と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を釉剥ぎ。素地は橙色で細かい。内底にアルミナ痕。	Ⅵ	SD24 埋土
	16	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	—	6.1	—	素地は鈍橙色で細かい。高台に沈線。	Ⅵ	SD24 埋土
	17	沖縄産 無釉陶器	擂鉢	口縁部	—	—	—	逆L字状口縁。素地は赤褐色で緻密。口唇上部に沈線。	Ⅵ	SD24 埋土
	18	沖縄産 施釉陶器	急須	口縁部	—	—	—	全面に白化粧後、透明釉を施釉。口唇部～内面口縁部まで釉剥ぎ。素地は黄橙色で細かい。外面に線彫りによる文様。	Ⅵ	SD24 埋土
	19	沖縄産 施釉陶器	酒器	底部	—	7.4	—	外面白化粧後、透明釉を施釉。畳付釉剥ぎ。素地は鈍黄色で細かい。外面に呉須と鉛釉を掛ける。	Ⅵ	SD24 埋土
	20	沖縄産 施釉陶器	壺	底部	—	6.8	—	内外面黒釉を施釉。素地は黄褐色で細かい。畳付にアルミナ付着。	Ⅵ	SD24 埋土
	21	円盤状製品	瓦	—	5.9	5.7	1.7	素材は瓦片。重量66.2g。	Ⅵ	SD24 埋土
第55図 図版38	22	ガラス製品	瓶	口～底部	1.2	1.6	3.0	色調は茶。ネジ栓。	Ⅵ	N12 SK7 埋土
	23	グスク土器	鍋	口縁部	—	—	—	胎土は外面赤褐色・内面鈍黄褐色の泥質で、微砂粒を少量含む。内外面に指頭痕みられる。	Ⅵ	M15 SK39 埋土
	24	土器	壺	口縁部	—	—	—	口縁若干肥厚する。胎土は褐色の泥質。混入物に粗砂粒、石英、赤色粒を多量に含む。	Ⅵ	M15 SK41 埋土
	25	石器	石斧	—	—	—	—	柱状形の石斧。身の中央から頭部は欠損。中央及び両側面に敲打調整。刃部はつぶれる。重量98.3g。緑色岩。	Ⅵ	M15 SK49 埋土
	26	グスク土器	鉢	口縁部	—	—	—	胎土は鈍黄褐色の泥質で、微砂粒を少量含む。内外面に指頭痕みられる。	Ⅵ	N15 SP493 埋土
	27	沖縄産 無釉陶器	瓶	口縁部	—	—	—	口縁部は方形状。素地は暗褐色で緻密。	Ⅵ	M11 SL1 埋土
	28	白磁	皿	底部	—	5.4	—	全面に灰オリーブ色釉施釉。素地は灰白色で緻密。畳付に砂目付着。	Ⅵ	L15 SX9 埋土
	29	本土産磁器	小碗	底部	—	3.0	—	全面施釉後に畳付を釉剥ぎ。素地は灰白色で緻密。外面及び内底に染色体文。	Ⅵ	L15 SX9 埋土
	30	沖縄産 施釉陶器	碗	口～底部	13.8	6.6	6.5	全面に白化粧と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を釉剥ぎ。素地は淡黄色で細かい。内底と畳付に重ね焼きのアルミナ付着。	Ⅵ	L15 SX9 埋土
	31	沖縄産 施釉陶器	小碗	口～底部	8.6	4.0	4.1	全面に白化粧と透明釉を施釉後、内底を蛇の目、畳付を釉剥ぎ。素地は淡黄色で細かい。	Ⅵ	L15 SX9 埋土
	32	沖縄産 施釉陶器	鉢	底部	—	8.8	—	外面黒釉、内面褐釉掛け分け。内底蛇の目釉剥ぎ。素地は灰黄色で細かい。内底と畳付にアルミナ付着。	Ⅵ	L15 SX9 埋土
図版38	33	青銅製品	ボタン	—	—	—	—	青銅製で脚付き。径1.9cm、重量4.3g。	Ⅵ	N12 SK11 埋土
	34	青銅製品	ボタン	—	—	—	—	青銅製で脚付き。径1.9cm、重量4.7g。	Ⅵ	N12 SK11 埋土
	35	ナイフ	—	—	全長 21.8	—	柄厚み 0.7	デザートナイフ。柄に「E. S.」、刃部に「ONEIDA STAINLESS」文字。ステンレス製。重量90.1g。	Ⅵ	N12 SK11 埋土
	36	碍子	—	—	—	—	—	階状白磁の碍子。底面～孔内無釉。径4.9cm、孔径0.8cm、重量106.5g。	Ⅵ	N12 SK11 埋土



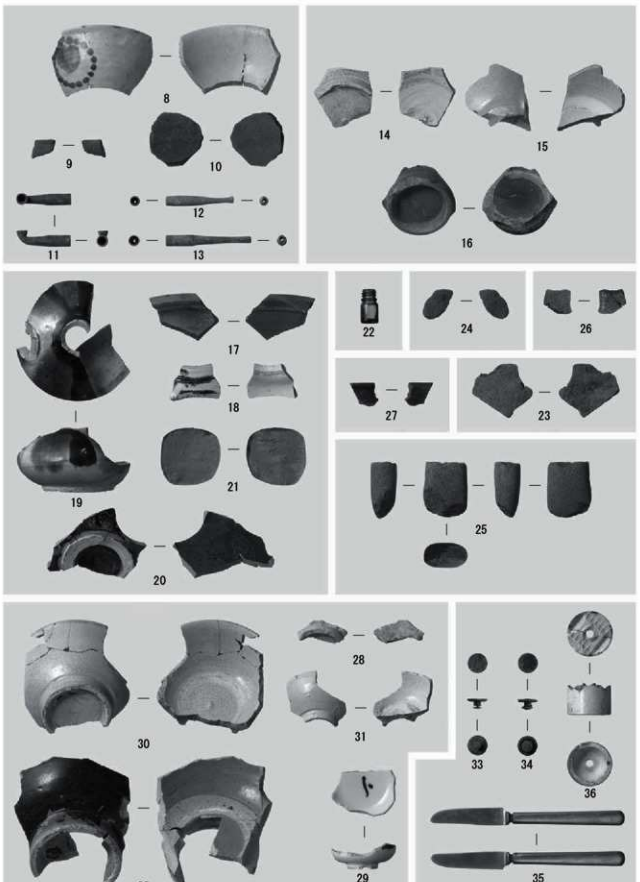
第 54 図　近世～近代の遺構出土遺物 1（VI地区）



第 55 図　近世～近代の遺構出土遺物 2 （VI地区）



図版 37　近世～近代の遺構出土遺物 1 （VI地区）

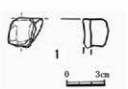


図版 38　近世～近代の遺構出土遺物２（Ⅵ地区）

第４項　包含層出土遺物

包含層からの遺物出土は総数 200 点である。遺物の種類としては、近世～近代のⅡ層からは、染付や本土産陶磁器、沖縄産施釉陶器、沖縄産無釉陶器、陶質土器、土器、カムィヤキ、瓦、銭貨、ガラス製品などが出土する。縄文時代～グスク時代のⅢ層からは、縄文土器、グスク土器、中国産白磁、石材など、縄文～グスク時代の遺物が混在して出土する。

第 56 図 1 はグスク土器の口縁部片である。方形の縦耳を貼り付けで口唇部は平坦に成形する。胎土は赤褐色の泥質で、赤色粒や微砂粒を少量含む。Ⅵ地区Ⅲ層出土である。



第 56 図　包含層（Ⅲ層）出土遺物（Ⅵ地区）

図版 39　包含層（Ⅲ層）出土遺物（Ⅵ地区）

第４節　自然遺物

１．貝類遺体

今回の調査では、貝類遺体も出土している。詳細については、巻貝類は第 25 表、二枚貝類は第 26 表にまとめ、付属の CD-ROM 内に所収した。

２．脊椎動物遺体

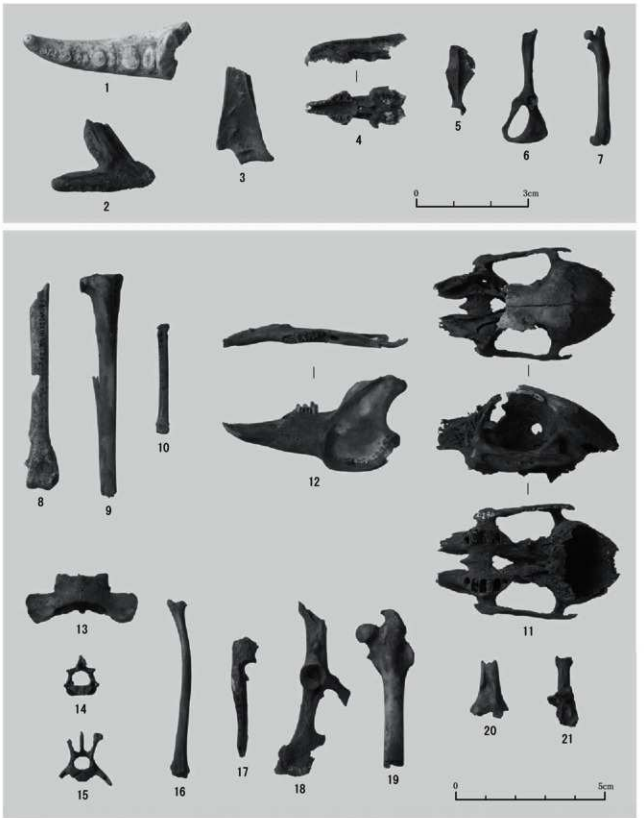
今回の調査では、脊椎動物遺体も出土しており、節足動物の他、魚類、鳥類、哺乳類（人骨含む）等が確認されている。詳細については、第 27 ～ 43 表にまとめ、付属の CD-ROM 内に所収した。

第８表　貝生息地類型

外洋～内湾	水深	底質
Ⅰ 外洋・サンゴ礁域	0 潮間帯上部（Ⅰではノッチ、Ⅲではマングローブ）	a 岩盤
Ⅱ 内湾・転石地域	1 潮間帯中・下部	b 転石
Ⅲ 河口干潟・マングローブ域	2 亜潮間帯上縁部（Ⅰではイノー）	c 岩礁混、砂泥混、砂底
	3 干潟（Ⅰにのみ適用）	d マングローブ植物上
	4 礁斜面およびその下面	e 淡水の流入する礫底
Ⅳ 淡水域	5 止水	
	6 流水	
Ⅴ 陸域	7 陸内	
	8 陸内・林縁部	
	9 林縁部	
	10 海浜部	
Ⅵ その他	11 打ち上げ物	
	12 化石	

第９表　動物遺存体種名一覧

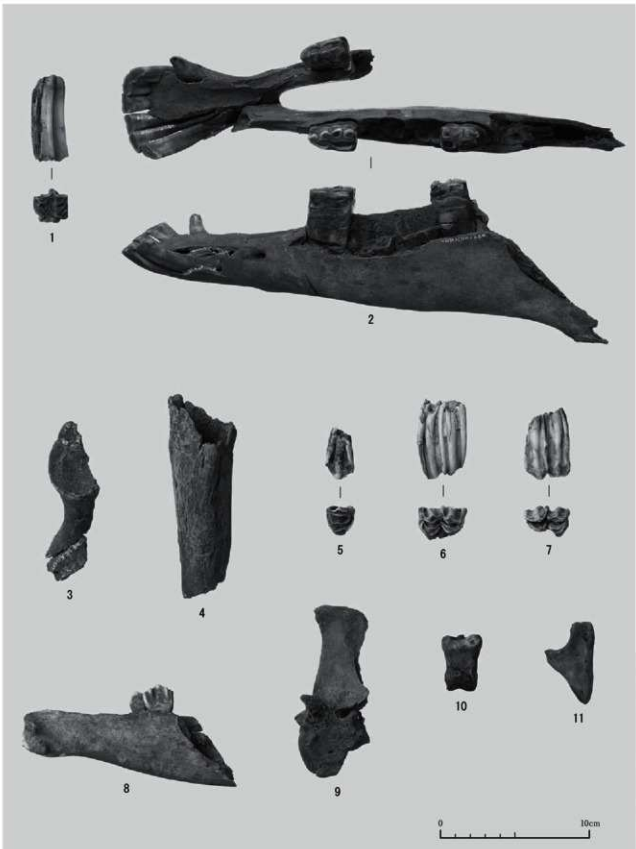
節足動物門	Phylum ARTHROPODA	哺乳綱	Class Mammalia
軟甲亜綱	Subclass Malacostraca	ウサギ目（重歯目）	Order Lagomorpha
十脚目	Order Decapoda	ウサギ科	Family Leporidae
科・属不明	Fam.et gen.Indet	属・種不明	Gen.et sp. Indet
		齧歯目	Order Rodentia
脊椎動物門	Phylum VERTEBRATA	ネズミ科	Family Muridae
硬骨魚綱	Class Osteichthyes	属・種不明	Gen.et sp. Indet
スズキ目	Order Perciformes	ネコ科	Family Felidae
フエフキダイ科	Family Lethrinidae	ネコ	*Felis catus*
ハマフエフキ	*Lethrinus nebulosus*	奇蹄目	Order Perissodactyla
		ウマ科	Family Equidae
鳥綱	Class Aves	ウマ	*Equus caballus*
キジ目	Order Galliformes	偶蹄目	Order Artiodactyla
キジ科	Family Phasianidae	イノシシ科	Family Suidae
ニワトリ	*Gallus gallus var. domesticus*	ブタ	*Sus scrofa var. domesticus*
科・属不明	Fam.et gen.Indet	ウシ科	Family Bovidae
		ウシ	*Bos taurus*
		ヤギ	*Capra hircus*



図版 40　脊椎動物遺体 1

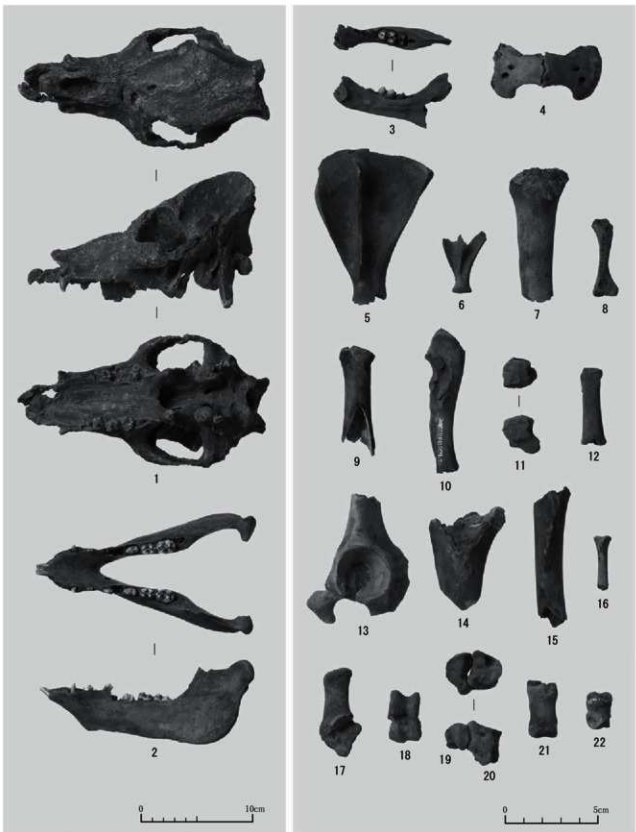
上：カニ　1. 可動指　**サカナ**　2. フエフキダイ科ハマフエフキ 左 前上顎骨　**ニワトリ**　3. 左 烏口骨　**ジネズミ類**　4. 左右 上顎骨　**家ネズミ**　5. 右 肩甲骨　6. 右 寛骨　7. 左 大腿骨

下：ネコ　8. 左 上腕骨　9. 右 脛骨　10. 左 中足骨Ⅲ　**ウサギ**　11. 左右 頭頂骨～上顎骨　12. 左 下顎骨 下顎大切歯-$P_{3,2,3,4}M_1$　13. 環椎　14. 軸椎　15. 腰椎　16. 左 橈骨　17. 右 尺骨　18. 右 寛骨　19. 左 大腿骨　20. 右 脛骨　21. 右 踵骨



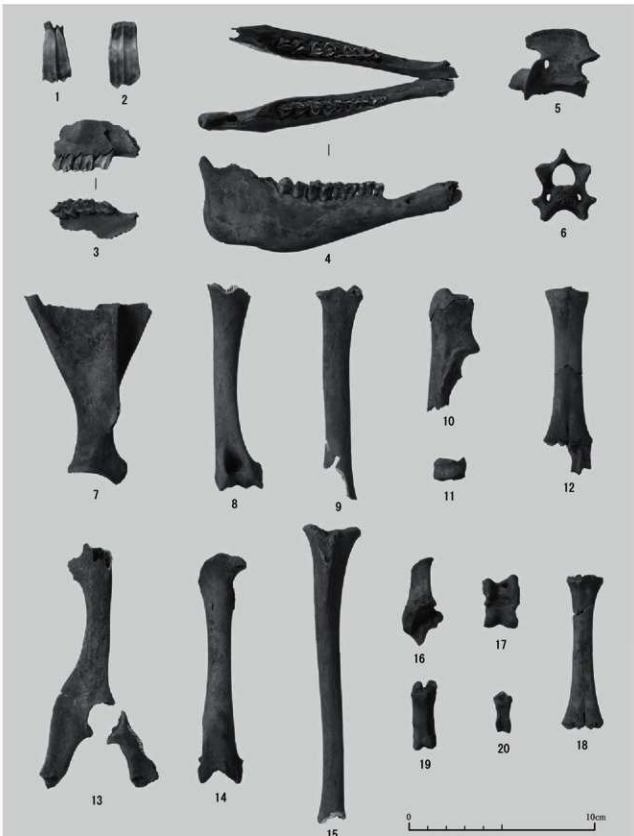
図版 41　脊椎動物遺体 2

ウマ　1. 左 上顎骨 M^2　2. 左右 下顎骨 左 :$I^{1,2,3}CP^{2,3,4}M^{1,2}$ 右 :$I^{1,2,3}$ キズあり　3. 右 寛骨　4. 左 脛骨　**ウシ**　5. 左 上顎骨 P^3　6. 左 上顎骨 M^1　7. 右 上顎骨 M^2　8. 右 下顎骨 $P_{2,3}$　9. 胸椎 キズあり　10. 右 中節骨　11. 左 末節骨



図版 42　脊椎動物遺体 3

ブタ　1. 左右 頭頂骨～上顎骨 左 :$CM^{1,2}$ 右 :$Cdm^{3,4}M^{1,2}$　2. 左右 下顎骨 左 :$I_1CP_{1,2,4}M_{1,2}$ 右 :$I_1CP_{1,2,4}M_{1,2}$　3. 右 下顎骨 $dm_{3,4}$ 幼　4. 環椎　5. 左 肩甲骨　6. 左 肩甲骨 幼 キズあり　7. 左 上腕骨 8. 左 上腕骨 幼　9. 右 橈骨　10. 左 尺骨　11. 左 中間手根骨　12. 左 中手骨Ⅳ　13. 左 寛骨　14. 左 大腿骨　15. 左 脛骨　16. 右 脛骨 幼　17 左 踵骨　18. 右 距骨　19. 右 中心足根骨　20. 右 第4足根骨　21. 右 基節骨　22. 右 中節骨



図版 43　脊椎動物遺体 4

ヤギ　1. 右 上顎骨 M^2　2. 左 上顎骨 M^3　3. 右 上顎骨 $P^{2,3,4}$　4. 左右 下顎骨 左：$\langle I_1 \rangle dm_{3,4}M_{1,2}$ 右：$\langle I_1 \rangle dm_{2,3,4}M_{1,2}$　5. 軸椎　6. 頸椎　7. 右 肩甲骨　8. 右 上腕骨　9. 左 橈骨　10. 右 尺骨　11. 左 橈側手根骨　12. 右 中手骨　13. 右 寛骨　14. 右 大腿骨　15. 左 脛骨　16. 左 踵骨　17. 左 距骨　18. 左 中足骨　19. 左 基節骨　20. 左 中節骨

第５章　自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

キャンプ瑞慶覧は、沖縄本島中部の中央に位置し、沖縄市、宜野湾市、北谷町、北中城村にまたがって所在する。上原（2000）、宜野湾市教育委員会（2006）などを参考にすると、宜野湾市域では、南東側が比較的平坦な中位段丘Ⅱ面（標高 80 ～ 50m）、北西側は海岸低地および低位段丘面Ⅲ面（標高 8 ～ 5m）となっており、その間を北西方向に丘陵斜面、低位段丘Ⅰ面（標高 40 ～ 30m）、低位段丘Ⅱ面（標高 20 ～ 10m）が階段上に連なっている。

本報告では、平成 21、22 年度の海軍病院建設予定地発掘で検出された遺構を対象に、遺跡の評価を行う上での資料を得ることを目的として、放射性炭素年代測定、花粉分析、植物珪酸体分析、灰像分析、微細物分析、炭化材同定、土壌薄片作成鑑定を実施する。

Ⅰ．遺構の自然科学分析

1. 試料

試料は、Ⅳ地区（平成 21 年度）より検出された SK054、SK059、およびⅥ地区（平成 22 年度）より検出された SL001 の 3 遺構より採取されている。

Ⅳ地区の SK054、SK059 は、調査所見によるといずれも縄文時代の遺構と推定されている。この 2 つの遺構は、SK54 直下より SK59 が検出するが、同一の遺構と確認されている。

試料は、SK054 の 5 層より 1 点（試料番号 171）、SK059 の 3 層より 2 点（試料番号 224, 225）採取された土壌試料である。

Ⅵ地区の SL001 は、近世のサトウキビの搾汁を煮詰めるための窯とされ、炭化物試料 2 点（遺物番号 108, 111）、炉内の炭化物を含む土壌ブロック 1 点（遺物番号 118）、被熱面と地山層を含む土壌ロック 1 点（遺物番号 125）である。

これらの土壌試料、土壌より抽出された炭化物、炭化物試料を対象に、放射性炭素年代測定 5 点、花粉分析 1 点、植物珪酸体分析 1 点、灰像分析 1 点、微細物分析 2 点、炭化材同定 3 点、土壌薄片作成鑑定 1 点を実施する。分析試料および分析項目一覧を第 10 表に示す。

第 10 表　分析試料および分析項目一覧

調査区	遺構名	層位	試料番号 遺物番号	年代	花粉	珪酸体	灰像	微細物	炭化材	薄片	備考
Ⅳ地区	SK054	5層	171	1							
	SK059	3層	224	1	1	1		1			
	SK059	3層	225	1							
Ⅵ地区	SL001		遺物番号108	1					1		取り上げ番号①
	SL001		遺物番号111						1		取り上げ番号④
	SL001	炉内	遺物番号118	1			1	1	1		取り上げ番号6
	SL001		遺物番号125							1	被熱面と地山層
				5	1	1	1	2	3	1	

1)年代：放射性炭素年代測定、花粉：花粉分析、珪酸体：植物珪酸体分析、灰像：灰像分析
微細物：微細物分析、炭化材：炭化材同定、薄片：土壌薄片作成鑑定

2. 分析方法

(1) 放射性炭素年代測定

土壌や根など目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをピンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。その後 HCl により炭酸塩等酸可溶成分を除去、NaOH により腐植酸等アルカリ可溶成分を除去、HCl によりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去を行う（酸・アルカリ・酸処理）。

この試料をパイコール管に入れ、1g の酸化銅（Ⅱ）と銀箔（硫化物を除去するため）を加えて、管内を真空にして封じきり、500℃（30 分）850℃（2 時間）で加熱して CO_2 を発生させる。

液体窒素と液体窒素＋エタノールの温度差を利用し、真空ラインにてCO_2を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO_2と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650℃で10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。

化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした^{14}C-AMS専用装置（NEC Pelletron 9SDH-2）を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局（NIST）から提供されるシュウ酸（HOX-Ⅱ）とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に$^{13}C/^{12}C$の測定も行うため、この値を用いて$\delta^{13}C$を算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代（BP）であり、誤差は標準偏差（One Sigma;68%）に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0(Copyright 1986-2014 M Stuiver and PJ Reimer)を用い、誤差として標準偏差（One Sigma）を用いる。

(2) 花粉分析

試料約10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛，比重2.3）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス（無水酢酸9：濃硫酸1の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉（1973）、中村（1980）、藤木・小澤（2007）、三好ほか（2011）等を参考にする。

結果は、同定・計数結果の一覧表として表示する。

(3) 植物珪酸体分析・灰像分析

植物体の葉や茎に存在する植物珪酸体は、珪化細胞列などの組織構造を呈している。植物体が土壌中に取り込まれた後は、ほとんどが土壌化や撹乱などの影響によって分離し単体となる。しかし、植物が燃えた後の灰には組織構造が珪化組織片などの形で残されている場合が多い（例えばパリノ・サーヴェイ株式会社，1993など）。そのため、珪化組織片の産状により当時の燃料材などの種類が明らかになると考えられる。

SL001の遺物番号118試料には、灰などが含まれると思われる炭化物と土壌が混在していた。そこで、植物珪酸体分析と同様の方向を用いて、植物珪酸体や灰像の分離・濃集を試みた。

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム，比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、近藤（2010）の分類を参考に同定し、計数する。

(4) 微細物分析

土壌試料から炭化物を可能な限り壊さず回収するために、以下の方法を実施する。

1) 水洗前抽出

試料を常温乾燥後、肉眼観察で確認された炭化種実や炭化材等の遺物を抽出する。

2) 水洗

乾燥後の試料を、水を満たした容器に投入し、容器を傾けて浮いた炭化物を粒径0.5mmの篩に回収する。容器内の残土に水を入れて軽く攪拌し、容器を傾けて炭化物を回収する作業を炭化物が浮かなくなるまで繰り返す（20回程度）。残土を粒径0.5mmの篩を通して水洗する。篩内の試料を粒径別に常温乾燥させる。

3) 抽出同定

水洗乾燥後の試料を双眼実体顕微鏡下で観察する。ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体や炭化材（主に径 4mm 超）などの遺物を抽出する。抽出物と分析残渣は、個数または重量、一部は最大径を求めて結果を一覧表で示し、容器に入れて保管する。

種実遺体の同定は、現生標本および石川（1994）、中山ほか（2000）、鈴木ほか（2012）などを参考に実施し、部位別に個数を数えて結果を一覧表で示す。

(5) 炭化材同定

試料を自然乾燥させた後、木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本と比較して種類（分類群）を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東（1982）を参考にする。

(6) 土壌薄片作成鑑定

薄片観察は、試料を 0.03 mmの厚さに研磨して薄片にし、顕微鏡下で観察すると、構成する鉱物の大部分は透光性となり、鉱物の性質・組織などが観察できるようになるということを利用している。

薄片を作成するために試料をダイヤモンドカッターにより 22 × 30 × 15mm の直方体に切断して薄片用のチップとする。そのチップをプレパラートに貼り付け、# 180 ～ #800 の研磨剤を用いて研磨機上で厚さ 0.1mm 以下まで研磨する。さらに、メノウ板上で # 2500 の研磨剤を用いて正確に 0.03mm の厚さに調整する。プレパラート上で薄くなった薄膜状の試料の上にカバーガラスを貼り付け観察用の薄片とする。薄片は偏光顕微鏡下において観察する。

3. 結果

(1) 放射性炭素年代測定

同位体効果による補正を行った測定結果を第 11 表に、暦年較正結果を第 12 表に示す。試料の測定年代（補正年代）は、SK054 のL字トレンチ南北ライン北側西壁5層が 3,260 ± 30BP、SK059 の南東1/4 南壁3層が 3,230 ± 30BP、SK059 北西 1/4　3層が 3,250 ± 30BP、SL001 遺物番号 108 が 230 ± 20BP、SL001 遺物番号 118 が 270 ± 20BP の値を示す。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5,568 年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い（^{14}C の半減期 5,730 ± 40 年）を較正することである。暦年較正は、CALIB 7.0.1 のマニュアルにしたがい、1 年単位まで表された同位体効果の補正を行った年代値を用いて行う。暦年較正は北半球の大気中炭素に由来する較正曲線を用い、測定誤差σ、2 σ 双方の値を計算する。σ は統計的に真の値が 68% の確率で存在する範囲、2 σ は真の値が 95% の確率で存在する範囲である。また、表中の相対比とは、σ、2 σ の範囲をそれぞれ 1 とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。較正された暦年代は、将来的に暦年較正曲線等

第 11 表　放射性炭素年代測定結果

番号	遺構名　層名/遺物番号	試料の質	補正年代 BP	δ 13C (‰)	測定年代 BP	Code No.
1	SK054　5層	炭化材	3,260±30	−26.29±0.23	3,280±30	IAAA-142158
2	SK059　3層	炭化材	3,230±30	−26.84±0.29	3,260±30	IAAA-142159
3	SK059　3層	炭化材	3,250±30	−29.01±0.22	3,310±30	IAAA-142160
4	SL001　遺物番号108	炭化材	230±20	−12.81±0.21	30±20	IAAA-142161
5	SL001　遺物番号118	炭化材	270±20	−26.77±0.22	300±20	IAAA-142162

1)年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用。
2)BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。
3)付記した誤差は、測定誤差σ(測定値の68%が入る範囲)を年代値に換算した値。

第 12 表　暦年較正結果

番号	遺構名 層名 遺物番号	補正年代 (BP)		暦年較正年代(cal)			相対比	Code No.
1	SK054 L字トレンチ 南北ライン 北側西壁 5層	3,259± 26	σ	cal BC 1,606 － cal BC 1,583	cal BP 3,555 － 3,532	0.289		
				cal BC 1,558 － cal BC 1,554	cal BP 3,507 － 3,503	0.049		
				cal BC 1,545 － cal BC 1,500	cal BP 3,494 － 3,449	0.663		IAAA-142158
			2σ	cal BC 1,614 － cal BC 1,495	cal BP 3,563 － 3,444	0.943		
				cal BC 1,477 － cal BC 1,458	cal BP 3,426 － 3,407	0.057		
2	SK059 南東1/4 南壁3層	3,230± 27	σ	cal BC 1,527 － cal BC 1,492	cal BP 3,476 － 3,441	0.555		
				cal BC 1,482 － cal BC 1,453	cal BP 3,431 － 3,402	0.445		
			2σ	cal BC 1,606 － cal BC 1,583	cal BP 3,555 － 3,532	0.068		IAAA-142159
				cal BC 1,559 － cal BC 1,553	cal BP 3,508 － 3,502	0.010		
				cal BC 1,546 － cal BC 1,433	cal BP 3,495 － 3,382	0.922		
3	SK059 北西1/4 3層	3,246± 26	σ	cal BC 1,600 － cal BC 1,585	cal BP 3,549 － 3,534	0.153		
				cal BC 1,534 － cal BC 1,495	cal BP 3,483 － 3,444	0.678		
				cal BC 1,477 － cal BC 1,458	cal BP 3,426 － 3,407	0.169		IAAA-142160
			2σ	cal BC 1,610 － cal BC 1,575	cal BP 3,559 － 3,524	0.180		
				cal BC 1,565 － cal BC 1,449	cal BP 3,514 － 3,398	0.820		
4	SL001 遺物番号 108	230± 22	σ	cal AD 1,650 － cal AD 1,666	cal BP 300 － 284	0.586		
				cal AD 1,784 － cal AD 1,795	cal BP 166 － 155	0.414		
			2σ	cal AD 1,643 － cal AD 1,675	cal BP 307 － 275	0.562		IAAA-142161
				cal AD 1,768 － cal AD 1,771	cal BP 182 － 179	0.004		
				cal AD 1,777 － cal AD 1,799	cal BP 173 － 151	0.378		
				cal AD 1,941 － cal AD 1,950	cal BP 9 － 0	0.057		
5	SL001 遺物番号 118	272± 22	σ	cal AD 1,529 － cal AD 1,543	cal BP 421 － 407	0.246		
				cal AD 1,634 － cal AD 1,658	cal BP 316 － 292	0.754		
			2σ	cal AD 1,522 － cal AD 1,575	cal BP 428 － 375	0.375		IAAA-142162
				cal AD 1,626 － cal AD 1,665	cal BP 324 － 285	0.604		
				cal AD 1,784 － cal AD 1,795	cal BP 166 － 155	0.021		

1)計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.0.1(Copyright 1986-2014 M Stuiver and PJ Reimer)を使用。
2)計算には表に示した丸める前の値を使用している。
3)1桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、1桁目を丸めていない。
4)統計的に真の値が入る確率はσは68%、2σは95%である。
5)相対比は、σ、2σのそれぞれを1とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。

の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1年単位で表された値を記す。

測定誤差をσとして計算させた結果、SK054のL字トレンチ南北ライン北側西壁5層がcalBP3,555-3,449、SK059の南東1/4南壁3層がcalBP3,476-3,402、SK059の北西1/4 3層がcalBP3,549-3,407、SL001の遺物番号108がcalAD1,650-1,795、SL001の遺物番号118がcalAD1,529-1,658である。

(2) 花粉分析

結果を第13表に示す。SK059の試料番号224からは、花粉化石がほとんど検出されず、わずかに本本花粉のヒマラヤスギ属と不明花粉が、それぞれ1個体検出されるにすぎない。ただし、この2個体とも保存状態が良好であること、ヒマラヤスギ属（可能性としてヒマラヤスギ）は、明治時代以降に日本に持ち込まれていることから、いずれも現生植物の混入と推測される。

第 13 表　花粉分析結果

種　類	SK059 3層 224
木本花粉	
ヒマラヤスギ属	1
不明花粉	
不明花粉	1
シダ類胞子	
シダ類胞子	2
合　計	
木本花粉	1
草本花粉	0
不明花粉	1
シダ類胞子	2
合計(不明を除く)	3

第 14 表　植物珪酸体分析・灰像分析結果

種　類	SK059 3層 224	SL001 炉内 遺物番号118
イネ科葉部短細胞珪酸体		
不明	－	19
合　計		
イネ科葉部短細胞珪酸体	0	19
イネ科葉身機動細胞珪酸体	0	0
合　計	0	19

(3) 植物珪酸体分析・灰像分析

結果を第 14 表に示す。SK059 の試料番号 224 では、植物珪酸体は 1 個体も検出されない。

SL001 の遺物番号 118 では、植物珪酸体がわずかに検出されるものの、保存状態が悪く、表面に多数の小孔（溶食痕）が認められる。検出された植物珪酸体は短細胞珪酸体のみであり、分類群を明確に出来ない不明である。

(4) 微細物分析

結果を第 15 表に示す。SK059 の試料番号 224 は、試料のほぼ全量 900g から、炭化材が 0.2g（最大 4.7mm）と、炭化材主体の微細片（粒径 2 ～ 0.5mm）が 0.2 g 、砂礫類主体が 12.0g 確認された。

SL001 の遺物番号 118 は、試料のほぼ全量 140g から、日当たりの良い場所に生育する二年草のトウダイグサの種子の破片が 4 個（0.001g 未満，最大 1.2mm）同定された他に、不明炭化物が 0.02g、炭化材が 0.6g（最大 6.9mm）、炭化材主体が 0.3g、砂礫類主体が 6.8g、炭化していない植物片が 0.1g 確認された。ただし、トウダイグサと植物片は炭化していないことから、後代の混入と判断される。

第 15 表　微細物分析結果

分類群	SK059 3層 224	SL001 炉内 遺物番号118	備考
種実			
トウダイグサ 種子(破片)	–	4	0.001g未満,最大1.2mm
不明炭化物	–	0.02	乾燥重量(g)
炭化材	4.7	6.9	最大径(mm)
4mm以上	–	0.05	乾燥重量(g)
4-2mm	0.17	0.54	乾燥重量(g)
炭化材主体(2-0.5mm)	0.16	0.30	乾燥重量(g)
砂礫類主体	11.96	6.80	乾燥重量(g)
非炭化植物片	–	0.09	乾燥重量(g)
分析量	900	140	重量(g)

(5) 炭化材同定

結果を第 16 表に示す。炭化材は、全てイネ科に同定された。解剖学的特徴等を記す。

・イネ科 (Gramineae)

横断面では、2 対 4 個の道管の外側に師部細胞があり、これらを厚壁の繊維細胞（維管束鞘）が囲んで維管束を形成する。維管束は、維管束は柔組織中に散在し、不斉中心柱をなす。

第 16 表　炭化材同定結果

遺構名	層位	遺物番号	備考	状態	種類
SL001		遺物番号108	取り上げ番号①	破片	イネ科
SL001		遺物番号111	取り上げ番号④	破片	イネ科
SL001	炉内	遺物番号118	取り上げ番号6	破片	イネ科

(6) 土壌薄片作成鑑定

偏光顕微鏡下において焼成の状況について観察記載を行った。鏡下における量比は、薄片上の観察面全体に対して、多量（＞50%）、中量（20 ～ 50%）、少量（5 ～ 20%）、微量（＜ 5%）およびきわめて微量（＜ 1%）という基準で目視により判定した。代表的な個所については下方ポーラーおよび直交ポーラー下において写真撮影を行い、写真図版として添付した。以下に鏡下観察結果を述べる。

SL001 の遺物番号 125 は、極細粒砂～中粒砂サイズの砕屑片を少量程度含む砂混じり粘土である。鉱物片は、石英が主体となっており、斜長石、白雲母、黒雲母、緑簾石、不透明鉱物などを伴う。岩片としては脈石英がきわめて微量認められる。基質は褐色粘土鉱物や水酸化鉄から構成され、褐色を示すが、試料表面部は赤味を帯びた濃褐色となっている。

基質に散在する水酸化鉄は、試料表面付近において赤味が強くなっており、褐色粘土鉱物も赤味を増している（図版 45-1）。これに対し、試料表面から 1.5cm 以上の深部では赤味はなく、褐色を呈している（図版 45-2）。試料表面部における赤色化は、水酸化鉄が焼成により赤鉄鉱化したことによる変化とみられる。

4. 考察

(1) SK054 および SK059

縄文時代の遺構とされる SK054 および SK059 より採取された炭化材について、その年代観を検討するため放射性炭素年代測定を実施した。測定を行った 3 点は、ほぼ同様な値で、財団法人沖縄県文化振興会編(2003)を参考とすると共に縄文時代後期に相当する。調査所見において指摘された、2 つの遺構が同一のものであるということに調和した結果である。

SK059 の 3 層（試料番号 224）において花粉分析、植物珪酸体分析、微細物分析を実施した結果、花粉化石は現生の混入と推測されるものしか確認されず、植物珪酸体や種実遺体などは 1 個体も検出されなかった。花粉やシダ類胞子は、一般的に堆積した場所が常に酸化状態にあるような場合、酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている（中村, 1967; 徳永・山内, 1971; 三宅・中越, 1998 など）。植物珪酸体も、亜熱帯湿潤気候下では、堆積物中で珪酸分を含む無機成分の溶脱作用が起こるとされており（松井, 1988）、湿潤な土壌や土壌温度が高い堆積物で植物珪酸体の風化の度合いが高いとされている（近藤, 1988）。SK059 の 3 層は、遺構覆土の中でも地山直上に痕跡的に残されている程度であり、人為的な埋積あるいは自然堆積後に擾乱・削剥されている可能性が想定される。よって、埋積過程あるいは埋積後に好気的環境に曝されていた可能性が高く、花粉や植物珪酸体、種実遺体などの植物化石が、消失した可能性がある。

なお、微細物分析の結果からは、炭化材が検出された。炭化材は、当時の本遺跡周辺域の森林に生育していた樹種に由来することが推定され、人為的に火を受けていることが指摘される。

(2) SL001

近世の窯跡とされる SL001 では、燃料材や灰、食糧残渣などの検出の可能性が想定された。

回収された炭化材の年代は、暦年較正年代（測定誤差 σ ）をもとにすると、遺物番号 108 が 17 世紀中頃～18 世紀後半を示し、遺物番号 118 は、16 世紀前半～17 世紀中頃の値を示す。一方、測定誤差を 2 σ とした場合は、試料番号 108 が基点の 1,950 年を含んだ範囲となるなど、年代値が示す範囲も広がるものとなる。今後も継続的な調査によるデータの比較などが望まれる。

灰像分析の結果では、炉内の遺物番号 118 から、分類群の特定が困難な植物珪酸体がわずかに検出されたに過ぎない。微細物分析の結果からは、後代の混入と推測されるトウダイグサ科の種子以外では炭化材が検出された。炭化材は、SK059 の 3 層（試料番号 224）よりも多く含まれていることから、窯跡とされる遺構の性格を反映している。炭化材同定を実施した、遺物番号 108, 111, 118 は、いずれも小片で、元の形状等は不明であるが、全てイネ科に同定された。イネ科は、ササ、ヨシ、エノコログサ等の草本類の他、稈が木質化するタケ亜科も含まれる。また、調査の所見は、サトウキビの搾汁を煮詰めるための窯である可能性があることから、サトウキビも候補となる。今回の試料については、植物珪酸体や炭化材の組織で種類を特定することはできなかったが、今後、現生の標本との比較をもとに継続的な調査が望まれる。

一方、SL001 の被熱面および地山層より採取された遺物番号 125 では、試料の表面部で酸化鉄の赤味が強くなっており、褐色粘土鉱物も赤味を増している。このことから、被熱部と見られる試料表面部における赤色化は、水酸化鉄が焼成により赤鉄鉱化したことによる変化とみられる。水酸化鉄は、普通 270 ～ 325℃程度の焼成を受けると脱水し、赤鉄鉱へ変化することが知られている（吉木, 1959）。したがって、SL001 遺構の土壌表面は、270 ～ 325℃程度以上の焼成を被ったものと推測される。

参考文献

藤木利之・小澤智生，2007，琉球列島産植物花粉図鑑．アクアコーラル企画，155p.

宜野湾市教育委員会，2006，宜野湾市文化財保護資料　第65集　平成17年度：キャンプ瑞慶覧　需要文化財保存整備基本想作成業務報告書．宜野湾市教育委員会，76p.

石川茂雄，1994，原色日本植物種子写真図鑑．石川茂雄図鑑刊行委員会，328p.

近藤錬三，1988，植物珪酸体（Opal Phytolith）からみた土壌と年代．ペドロジスト，日本ペドロジー学会，32，189-203.

近藤錬三，2010，プラント・オパール図譜．北海道大学出版会，387p.

松井　健，1988，土壌地理学序説，築地書館株式会社，316p.

三宅　尚・中越信和，1998，森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態．植生史研究，6，日本植生史学会，15-30.

三好教夫・藤木利之・木村裕子，2011，日本産花粉図鑑．北海道大学出版会，824p.

中村　純，1967，花粉分析．古今書院，232p.

中村　純，1980，日本産花粉の標徴　Ⅰ　Ⅱ（図版）．大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第12，13集，91p.

中山至大・井之口希秀・南谷忠志，2000，日本植物種子図鑑（2010年改訂版）．東北大学出版会，678p.

財団法人沖縄県文化振興会 編，2003，沖縄県史　各論編　第二巻　考古，沖縄県教育委員会，662p

パリノ・サーヴェイ株式会社，1993，自然科学分析からみた人々の生活（1）．慶應義塾藤沢校地埋蔵文化財調査室編「湘南藤沢キャンパス内遺跡 第1巻 総論」，慶應義塾，347-370.

島地　謙・伊東　隆夫，1982，図説木材組織．地球社，176p.

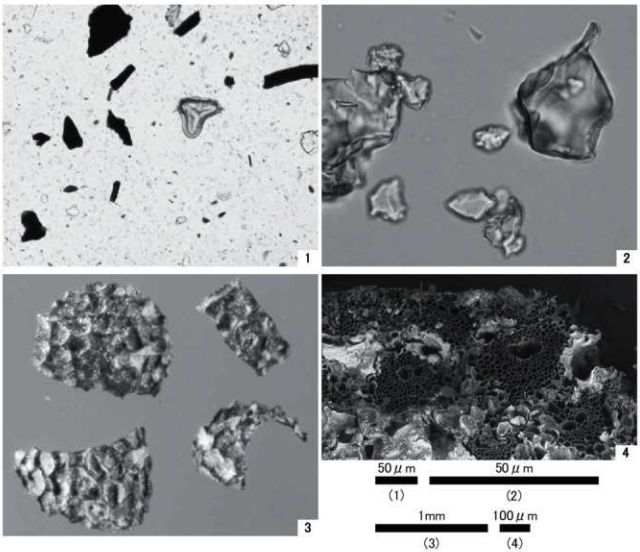
島倉巳三郎，1973，日本植物の花粉形態．大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第5集，大阪市立自然科学博物館，60p.

鈴木庸夫・高橋　冬・安延尚文，2012，ネイチャーウォッチングガイドブック 草木の種子と果実－形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実632種－．誠文堂新光社，272p.

徳永重元・山内輝子，1971，花粉・胞子．化石の研究法，共立出版株式会社，50-73.

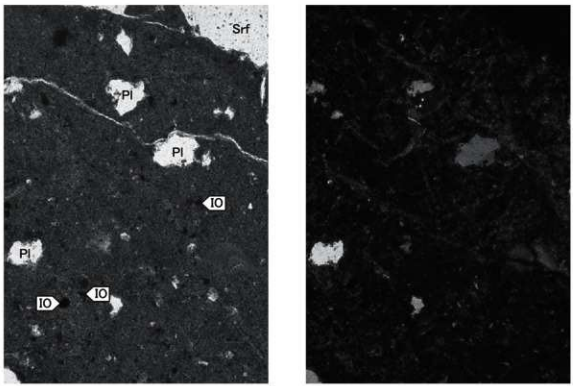
上原冨士男，2000，宜野湾市の地形・地質・水．宜野湾市史　第9巻　資料編8　自然．宜野湾市教育委員会，55-124.

吉木文平，1959，鉱物工学．技報堂，710p.

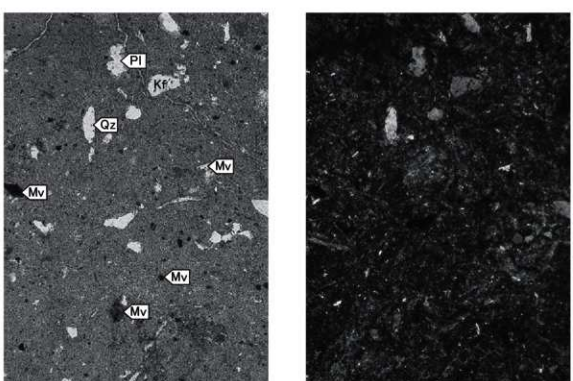


1．花粉分析プレパラート内の状況(SK059 3層:224)
2．植物珪酸体分析プレパラート内の状況(SL001 炉内:遺物番号118)
3．トウダイグサ 種子(SL001 炉内:遺物番号118)
4．イネ科　横断面(SL001:遺物番号111)

図版 44　花粉化石・植物珪酸体・種実遺体・炭化材



1. 被熱部(SL001;遺物番号125)



2. 非被熱部(SL001;遺物番号125)

Qz:石英. Kf:カリ長石. Pl:斜長石. Mv:白雲母. IO:酸化鉄. IH:水酸化鉄.
Srf:試料表面.
写真左列は下方ポーラー、写真右列は直交ポーラー下。

0.2mm

図版 45　土壌薄片

第６章　総括

平成21･22年度に実施した海軍病院移設に伴うⅢ～Ⅵ地区の発掘調査は、平成20年調査区のⅠ・Ⅱ地区より北～南西側の範囲を対象とした。普天間古集落遺跡、普天間後原第二遺跡、普天間下原第二遺跡、普天間石川原遺跡に調査区がまたがる範囲での調査であった。今回は調査区の位置関係および遺跡にかかる範囲の関係から、大きくⅢ・Ⅳ地区とⅤ・Ⅵ地区に分けて成果をまとめた。

本章では、まずⅢ・Ⅳ地区とⅤ・Ⅵ地区の成果について再整理を行い、平成20年に調査したⅠ・Ⅱ地区の調査成果も踏まえ、当該遺跡群について概観し本報告の総括とする。

遺跡の立地

普天間古集落遺跡、普天間後原第二遺跡、普天間下原第二遺跡、普天間石川原遺跡は標高約55mの段丘上に展開しており、東側には標高約90ｍの弓状を呈する丘陵斜面、北側は標高約20～30ｍの低位段丘で普天間川が流れる。一帯は琉球石灰岩層から成り、この琉球石灰岩の段丘縁には洞穴と湧泉が点在している。

時代を遡ると、まず縄文時代の後期から晩期にかけて生活空間が形成され、その後11～12世紀頃のグスク時代に生活空間が形成されるようになる。当該遺跡では埋没谷内黒色層が確認されており、かつて遺跡一部には谷状の地形があったことが想定されている。この埋没谷内黒色層が堆積した時期については不明であるが、当該層における植物珪酸体分析ではイネ属の機動細胞珪酸体がわずかに見られ、この層位が稲作に関連する層であった可能性が報告されていることから、グスク時代以後の農耕に関連する堆積層の可能性もある。12世紀以後は人々の生活の痕跡は一旦途絶えるが、近世～近代には普天間古集落の形成とともに、集落の一部は耕作地して利用され、沖縄戦以後は米軍基地へ接収されていった。

Ⅲ・Ⅳ地区

第Ⅲ・Ⅳ地区は普天間下原第二遺跡、普天間後原第二遺跡を中心として、普天間古集落遺跡、普天間石川原遺跡の一部に調査区がまたがる範囲となっており（図版１）、縄文時代、グスク時代、近世～近代の遺構が確認されている。

縄文時代

縄文時代の遺構は、竪穴状の遺構（SK54）がⅣ地区において検出されている。SK54は平面形3.5m×2.2mの長方形状のプランを呈する。床面は北東側で不定形な形に一段掘り込まれ、落ち込む形状となっている。遺構内にはピット、焼土面（SF３・４）がみられ、規模が大きいSF３は炉の可能性がある。遺構内からは縄文時代後期の点刻線文系の土器や石器が出土しており、山形口縁の伊波式が主体的な様相を示す。SK54より採取された炭化材の放射性炭素年代測定からは約3,200年前の年代が示されている。

このような竪穴状の遺構は隣接する平成20年Ⅰ・Ⅱ地区でも確認されている（Ⅰ地区SK19及びⅡ地区SI１）。ともに縄文時代晩期の肥厚口縁系の土器が出土している点でSK54より時期が下るが、Ⅱ地区SI１とは素掘りの床面にピットを配する点で遺構の形態が類似する。またⅠ・Ⅱ地区では深さ１m以上と、深く落ち込む形状の土坑が検出されているが、Ⅲ・Ⅳ地区では確認されなかった。

縄文時代の遺物としては、縄文時代後期の点刻線文系の土器や晩期の肥厚口縁系土器、石鏃、磨石・敲石類、凹石、砥石等が出土している。この中で、黒曜石製・チャート製の石鏃は縄文時代～グスク時代の包含層であるⅢ層からの出土である。

グスク時代

グスク時代の遺構は、ピット群、溝状遺構（SD68）が確認されている。

ピットは、Ⅲ・Ⅳ地区において近世の遺構と混在する形で検出され、Ⅲ地区C12～D12グリッドやⅢ地区H12グリッドにおいてピットのまとまりが認められる。ピットの殆どが浅く、堀立柱建物のプランとして認められるものは無かった。ピットからは土器片や石材が少量出土している。

溝状遺構（SD68）はⅢ地区C12・13グリッドで、ピット群のまとまり北西側に位置し、北東－南西方向に延びる。遺構の性格やピット群との関係については不明である。

グスク時代の遺物は、グスク土器を中心に中国産玉縁口縁白磁、カムィヤキ、滑石製石鍋など11～12世紀代の遺物が出土している。グスク土器は石鍋模倣土器を主体に、鍔状突帯をもつ滑石混入土器もみられる。滑石製石鍋はグスク土器のモデルとなった製品で、器面にノミ痕がみられる。遺物の殆どがⅢ層からの出土であるが、遺構の年代の指標を示すものと考えられる。

近世～近代

近世～近代の遺構は、ピット、土坑、方形石組遺構、井戸、石敷遺構、溝跡、道跡、炉跡、窯跡等様々な遺構が検出されている。当該時期の遺構が最も多く、本遺跡における主体をなしている。

ピットは多く検出され、屋敷跡に関係するピットもあると考えられるが、明確な建物プランを確認することができなかった。

建物跡についてはⅣ地区にて1棟確認された。6本柱の建物で、規模は約4.5m×4.2m、長方形を呈する。倉庫跡と考えられる。

建物1は6本柱の建物と考えられ、中心に約30cm×35cmの石灰岩柱を添えるものである。規模は1間×1間（3.4m×3.4m）で方形を呈する。建物5は石灰岩の石柱からなる4本柱の建物と考えられる。規模は1間×1間（4.3m×4.3m）で、方形を呈し、前者より規模が大きい。どのような施設かについては今後の課題である。

土坑についても数多く確認された。素掘りのものでは、床面が楕円形を呈するものや、床面が方形状を呈するものが多くみられた。これらは廃棄土坑と考えられる。中には、溝内に掘り込まれた土坑もあり、その一部には、床面に礫が集中している土坑もみられた。これは排水を良くするために礫を意図的に入れ込んだことが考えられる。

方形石組遺構については、前回調査では複数確認されたが、今調査では1基の確認にとどまった。20～60cm大の石灰岩を四方に配置し、床面は地山直上に拳大の小礫を敷き、その上にモルタルを施して構築している。これまでの調査で確認された方形石組遺構と共通した造りとなっている。

炉跡はⅣ地区から2基確認された（SF1・2）。2基は隣接しており、平面形は楕円形または円形を呈し、壁面は火熱の影響による硬化や炭の付着がみられた。また、床面には炭層が厚く堆積していた。Ⅲ・Ⅳ地区全体の遺構密度を考えると、炉跡は非常に少ないと言える。

溝跡は、軸が一定方向に延びる状況で検出され、その多くは北西－南東方向に延びるものと、北東－南西方向に延びるものに大別される。これらは屋敷や畑等の区画を示すものの他、道跡と考えられるものである。特筆されるのは、今調査において見つかったこれらの遺構は、前回調査時に確認された区画の溝や道跡と繋がる状況で見つかったことである。区画の溝においては、前回調査時に想定された17の区画に連結する形で新たに全部で25の区画に分けられることが想定できた（第18図）。

道跡と考えられる遺構についても、前回調査時に確認された道1・2に繋がる道跡の他、新たに3つの道跡を想定することができ、道跡は合わせて1～5までとなった（第18図）。これらは昭和20年に撮影された航空写真（図版46）にみえる道と方向が一致している。

遺物については、沖縄産陶器を中心に、本土産陶磁器、中国産陶磁器、金属製品、瓦等が出土しており、近代の遺物が主体である。陶磁器の中で最も多くみられた沖縄産は、碗、皿、壺を中心に鉢、擂鉢、瓶、急須、鍋、火炉、甕等の様々な生活用品がある。特徴的な事項としては、本地区で出土した沖縄産陶器の多く

は17世紀以降に生産されたと考えらえる製品であること、また本土産陶磁器では、18世紀第2四半期頃から出現し、18世紀後半以降流行するとされる肥前産の蛇の目凹型高台皿がみられること、中国産陶磁器では、18世紀後半～19世紀と考えられる徳化窯製品が主体を占めること等が挙げられる。以上のことより、主体は18世紀以降と考えられる。

小結（Ⅲ・Ⅳ地区）

今回調査対象地となったⅢ・Ⅳ地区は、縄文時代、グスク時代、近世～近代の遺構及び遺物が確認された。前者2時期については、存続時期は短く、各時期とも断絶していると考えられる。主体である近世～近代については、前回調査された普天間古集落遺跡（Ⅰ・Ⅱ地区）と同様な遺構がみられたものの、Ⅰ・Ⅱ地区に比べ、本地区では遺構密度が低いこと、建物跡が少ないこと、Ⅰ・Ⅱ地区ではセットでみられた井戸や方形石組遺構がほとんどみられない等、遺構の出方に違いがみられた。

また遺物については、Ⅰ・Ⅱ地区に比べ、出土量が少ないという違いがみられたものの、内容にはほとんど大きな差はなく、主体となる年代についても18世紀以降と共通した傾向がうかがえた。

Ⅴ・Ⅵ地区

Ⅴ・Ⅵ地区は普天間石川原遺跡を中心として、一部普天間古集落遺跡に調査区がまたがる範囲で、縄文時代、グスク時代、近世～近代の遺構が確認されている。

縄文時代

縄文時代の遺構は、Ⅵ地区2地点において深く落ち込む形状の土坑（SP103）が検出されている。この土坑からは遺物は出土していないが、Ⅰ・Ⅱ地区で類例があり、縄文時代後期～晩期頃の遺構と考えられる。遺物は包含層やグスク時代、近世～近代の遺構から土器や石器が少量出土するが、ほとんどが小破片で、Ⅴ地区のグスク時代の遺構SK 4からチャート製のスクレイパーが出土している。

グスク時代

グスク時代の遺構は、ピット群、土坑、溝状遺構が確認されている。ピットは、Ⅰ～Ⅳ地区と同様近世～近代の遺構と混在する形で検出されており、特にⅥ地区5地点M15グリッド（2面目）にピット群が認められる。掘立柱建物のプランとして認められるものは無い。ピットからはグスク土器の胴部片や石材が少量出土する。

土坑と溝状遺構はⅤ地区において確認されている。土坑（SK 3）は長軸2.3m・短軸1.2mの不定形な遺構で、遺物は土器片や石材が出土している。溝状遺構（SD 8・9）は北東－南西方向に延び土坑（SK 5）に切られる。遺物はグスク土器、中国産白磁等が出土している。

近世～近代

近世～近代の遺構は、ピット、土坑、溝状遺構、窯跡などの古集落に関連する遺構と考えられるものがある。

溝状遺構はⅠ～Ⅳ地区の調査において、軸が一定方向に延びる状況で検出されていることから、屋敷や畑の区画を示すものと考えられる。検出された溝状遺構の多くが北西－南東方向あるいは北東－南西方向に延び、Ⅰ～Ⅳ地区における道や区画の配置する方向と対応する。Ⅵ地区6地点のSD19・20については、平成20年米軍撮影写真と調査区重ね図（図版46）の状況から北西－南東方向へ続く道跡の可能性がある。

ピットは多数検出された。その多くは屋敷跡に関連するものと考えられるが、明確な建物プランは認められなかった。土坑もピットに次いで多く、SK14（Ⅵ地区3地点）は底が岩盤となる。

窯跡（SL 1）はⅥ地区4地点で検出されている。燃焼部は円形で、燃えカスを焚口から掻き出す灰原部分は不定形に掘り込み、焚口部分は岩盤を削り構築している。燃焼部の壁面は火熱により赤みを帯びる。燃

焼部と灰原には炭層が検出された。SL 1より採取された炭化材の放射性炭素年代測定からは17～18世紀代の年代が示されている。また、埋土中からはイネ科の炭化材が同定され、イネ科にはサトウキビも含まれることから、製糖に関連する窯である可能性がある。類似する窯跡がⅠ地区においても確認されており（SY 1・Ⅰ地区区画7）、埋土中から抽出された炭化材の樹種はリュウキュウマツの可能性が指摘されている。

遺物は、沖縄産施釉陶器、沖縄産無釉陶器が主体をなし、本土産陶磁器や中国産陶磁器、陶質土器、瓦質土器、円盤状製品、瓦、金属製品、銭貨、ガラス製品等、多様な遺物が出土しているが、Ⅰ～Ⅳ地区と比較すると出土量は少ない。

小結（Ⅴ・Ⅵ地区）

Ⅴ・Ⅵ地区は地点ごとの飛び地による調査のため、Ⅰ～Ⅳ地区のように近世～近代の道や区画の配置など全体をつかむことが難しい状況であった。縄文時代からグスク時代、近世～近代の遺構が確認されている。縄文時代、グスク時代の遺構は局地的に確認される状況で、近世～近代の遺構はⅠ～Ⅳ地区と比較すると遺構密度が低いこと、遺物の出土量が少ないこと、Ⅰ・Ⅱ地区でみられた井戸や方形石組遺構など建物に関連する遺構が少ない点で、普天間石川原遺跡の特徴が示されている。

まとめ

以上、平成21年度及び平成22年度調査における成果を地区別に整理した。最後に、前回調査の成果も踏まえて全体を概観する。これまでの調査によって、縄文時代、グスク時代、近世～近代の遺構及び遺物が確認されている。

縄文時代後期から晩期にかけての遺構や遺物が局地的に確認されており、普天間後原第二遺跡や普天間古集落遺跡の範囲であるⅠ～Ⅳ地区に比較すると、普天間石川原遺跡を中心とするⅤ・Ⅵ地区では少ない。特に竪穴遺構はⅠ・Ⅱ・Ⅳ地区に確認されている。このことは、縄文時代後期・晩期の居住域と関連も示唆される。今後は、竪穴遺構や土坑が検出される位置関係や、遺構出土の遺物との関係性を分析していくことで、普天間における縄文時代後期・晩期頃の人々の生活址の様相やその変化の状況を窺うことができる。

グスク時代の遺構はピット群を中心として、Ⅰ～Ⅵ地区の中で局地的にみられる。明確な建物プランは少なく、建物の構造やその配置などの状況は不明瞭である。縄文時代と比べると遺構は多く、当該時期には生活居住域が拡大している可能性がある。遺物は11～12世紀代のものが多く得られているが、遺構からの出土は少なく、グスク時代の包含層からの出土が殆どであるが、遺構と遺物の関係についても今後検討していく必要がある。

主体である近世～近代については、近世後期頃に地割状の区画が設定され、当初は農地として利用されていた当該地域は、近代にかけて普天満宮側から居住域が拡大してきたものと考えられる。平成20年度に調査を行った普天満宮周辺地にあたるⅠ・Ⅱ地区では、遺構密度が高く、出土遺物の量も多いのに対し、本調査対象地では遺構密度が低く、人の居住を示す建物跡がほぼみられなかった。このことから、居住域の中心は普天満宮周辺にあり、今回の調査対象地は居住域の西側辺縁部を示しているものと考えられる。

引用・参考文献

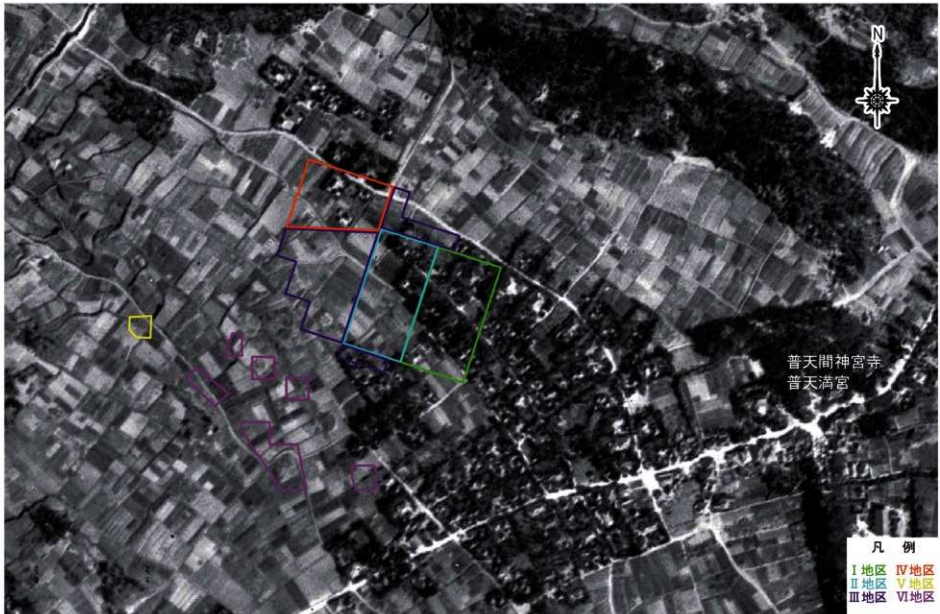
うるま市教育委員会 2014『平敷屋トウバル遺跡－ホワイトビーチ地区燃料施設建設工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書－』うるま市文化財調査報告書第22集　うるま市教育委員会

うるま市教育委員会 2012『楚南村跡ほか－嘉手納地区（18～23）運動施設移設工事に係る文化財発掘調査－』うるま市文化財調査報告書第17集　うるま市教育委員会

沖縄県立埋蔵文化財センター 2012『中城御殿跡―県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（3）―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第63集　沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター 2011『中城御殿跡－県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（2）－』沖

縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 58 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2011『鏡水箕隅原 A 遺跡－那覇西道路建設に伴う発掘調査報告書－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 57 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2010『首里城跡―御内原北地区発掘調査報告書（Ⅰ）―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 54 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2007『渡地村跡－臨港道路那覇 1 号線整備に伴う緊急発掘調査報告－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 46 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2006『西長浜原遺跡－範囲確認調査報告書－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 39 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2006『新城下原第二遺跡－キャンプ瑞慶覧内整備工場建設に係る緊急発掘調査報告－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 35 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2004『後兼久原遺跡－米軍送油管移設に係る緊急発掘調査報告書－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 22 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2001『首里城跡―管理用道路地区発掘調査報告書―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 1 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2001『天界寺跡（Ⅰ）―首里杜館地下駐車場入り口新設工事に伴う緊急発掘調査―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 2 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県教育委員会 1999『喜友名貝塚・喜友名グスク－宜野湾北中城線（伊佐～普天間）道路改築事業に伴う緊急発掘調査報告書（Ⅰ）－』沖縄県文化財調査報告書第 134 集　沖縄県教育委員会
沖縄市教育委員会 1997『室川貝塚－沖縄市総合庁舎建設に伴う崖下地区記録保存発掘調査の報告書－』沖縄市文化財調査報告書第 20 集　沖縄市教育委員会
宜野湾市教育委員会 2011『普天間フィールー丘陵古墓群－平成 22 年度　キャンプ瑞慶覧内米海軍病院移設予定地区発掘調査報告書－』宜野湾市文化財調査報告書第 48 集　宜野湾市教育委員会
宜野湾市教育委員会 2006『基地内埋蔵文化財調査報告書Ⅱ　基地内遺跡ほか発掘調査事業－普天間飛行場基地内－野嵩タマタ原遺跡範囲確認調査・上原同原遺跡範囲確認調査・遺跡発掘事前総合調査』宜野湾市文化財調査報告書第 38 集　宜野湾市教育委員会
宜野湾市教育委員会 2012『ぎのわんの地名－内陸部編－』市民民俗芸能調査報告書　宜野湾市教育委員会
読谷村教育委員会 2003『ウガンヒラー北方遺跡』読谷村教育委員会
北谷町教育委員会 2010『伊礼原 E 遺跡－桑江伊平土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査事業（平成 16・17 年度）－』北谷町文化財調査報告書第 31 集　北谷町教育委員会
北谷町教育委員会 2012『小堀原遺跡－桑江伊平土地区画整理事業に伴う発掘調査事業（平成 17 ～ 20 年度）－』北谷町文化財調査報告書第 34 集　北谷町教育委員会
上江洲均 1973『沖縄の民具』考古民俗叢書 12　慶友社
沖縄タイムス社 1983『沖縄大百科事典　上巻』
九州近世陶磁学会 2000『九州陶磁の編年－九州近世陶磁学会 10 周年記念－』九州近世陶磁学会
早坂優子 2000『日本・中国の文様事典』視覚デザイン研究所編



図版 46　昭和 20 年撮影航空写真調査箇所重ね図

（宜野湾市教育委員会文化課提供）

第 17 表　Ⅲ～Ⅵ地区遺物出土状況

種類 / 出土地		青磁	白磁	染付	青磁染付	色絵	瑠璃釉	褐釉陶器	中国産褐釉陶器	タイ産褐釉陶器	本土産染付	本土産陶器	本土産陶器	本土産近代陶器	本土産近現代磁器	本土産近現代陶器	沖縄産施釉陶器	沖縄産無釉陶器	カムイヤキ	陶質土器	瓦質土器	土器	近代陶器	産地不明	円盤状製品	玉	煙管	簪	銭貨	石器	石製品	滑石製品（石鍋）	土製品	青銅製品	鉄製品	金属製品	ガラス製品	碗子	タイル	石材	漆土	瓦	レンガ	巻貝	二枚貝	脊椎動物遺体	不明	合計
Ⅳ地区	縄文の遺構																					31							5									10								46
Ⅲ地区	グスクの遺構																					10																3								13
Ⅲ地区	近世～近代の遺構	11	27	106	2	3	1	1	9	7		20	1	23	627	2265	2033	14	383	2		30		50	55	1	6	5	3	8	5		1	19		12			13	4	719		69	176	2656	3	9370
Ⅳ地区	近世～近代の遺構	4	7	26			1		1	1		5	6	9	331	491	612	4	75			14		13	20			3	2	5	3		1	11		6			10		282		84	75	62		2164
Ⅲ地区	包含層	6	16	60	1		1		3	1		9	2	6	254	768	699	17	111	3		436		29	19		2		4	11	1	1		1	3	1	4			31	3	31		5	3	26		2568
Ⅳ地区	包含層		2	6											8	50	39		5			3		8	1		1			1									7		33		9	8	1		182
Ⅴ地区	グスクの遺構																					4									1									3	2							10
	近世～近代の遺構														1	1	1					7								2											1		6				19
	包含層														2	4	4	1	4			3		2																	3						23
	グスクの遺構																					19																		3							22
Ⅵ地区	近世～近代の遺構	1	5	14							4	1	2		44	194	166	1	40			40		7				1	7			2	6	3		8	10			10	3	74	1	4	7	4		659
	包含層		1	1											2	14	18		6			110						1								4				6	3	10			1			177
Ⅰ層・撹乱		7	13	45		1	1	1	4	3	2	10	11	17	557	761	965	9	106	4		119	2	32	25		4	1	9	9	4		1	2	8	1	8	10	2	41	8	454	1	97	49	23	1	3428
合計		29	71	258	3	4	4	2	17	12	6	45	22	55	1826	4548	4537	46	730	9		826	2	134	127	1	13	9	20	48	14	1	3	11	44	2	42	20	2	137	23	1607	2	268	325	2772	4	18681

報告書抄録

ふりがな	きゃんぷずけらんないびょういんちくにかかるぶんかざいはっくつちょうさほうこくしょ
書　名	キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書２
副書名	普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡・普天間下原第二遺跡・普天間石川原遺跡
巻　次	—
シリーズ名	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第79集
編著者名	知念隆博、金城貴子、具志堅清大
編集機関	沖縄県立埋蔵文化財センター
所在地	〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原193-7　TEL 098-835-8752
発行年月日	平成27(2015)年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積	調査原因
ふてんまこしゅうらくいせき 普天間古集落遺跡	おきなわけんぎのわんし 沖縄県宜野湾市 しもあざふてんま 字普天間	472051	—	26° 17′ 37″	127° 46′ 26″	2009.07.22～ 2010.03.11 2010.08.15～ 2011.02.25	16,700㎡ Ⅲ地区： 7,700㎡、 Ⅳ地区： 4,600㎡、 Ⅴ地区： 400㎡、 Ⅵ地区： 4,000㎡	記録保存調査

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
普天間古集落遺跡 普天間後原第二遺跡 普天間下原第二遺跡 普天間石川原遺跡	集落	縄文時代	竪穴状遺構、ピット	土器、石器	平成20年度の調査で確認された近世～近代期の屋敷や畑等の区画に連結する、新たな区画を確認することができた。また、道跡についても、前回調査時に確認された道跡の続きを確認することができた。
		グスク時代	ピット、溝状遺構	土器、カムィヤキ、白磁、滑石製石鍋	
		近世～近代	建物跡、土坑、方形石組遺構、溝、道、井戸、窯跡、炉跡	中国産陶磁器、タイ産陶磁器、本土産陶磁器、沖縄産陶器、土器、石製品、円盤状製品、煙管、銭貨、青銅製品、鉄製品、瓦、塼、ガラス製品、石材、貝類・脊椎動物遺体	

要約	米軍の海軍病院建設に伴う記録保存調査を行った結果、縄文時代、グスク時代及び近世～近代の遺構や遺物を確認した。縄文時代の遺構には竪穴状の遺構やピット、グスク時代の遺構にはピット群や溝状遺構がみられた。近世～近代の遺構は最も多く、屋敷や畑等の区画を示す溝跡をはじめとして、建物跡、土坑、方形石組遺構、井戸、窯跡、炉跡などの様々な遺構が見つかった。また、出土遺物は、生活用品を中心に様々なものが得られた。今回の調査は、当時の生活の様相をうかがい知るだけでなく、土地利用の実態等を考える上でも重要な成果といえる。

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第79集

キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書2

－普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡・普天間下原第二遺跡・普天間石川原遺跡－

発行年　平成27（2015）年3月
発　行　沖縄県立埋蔵文化財センター
編　集　沖縄県立埋蔵文化財センター
〒903-0125　沖縄県中頭郡西原町字上原193－7
TEL　098（835）8751・8752

印　刷　有限会社 福琉印刷
〒900-0012　沖縄県那覇市泊2-19-8
TEL　098（867）1989

© 沖縄県立埋蔵文化財センター　2015　Printed in Japan
許可なく本書の無断複製、転載、複写を禁ずる

9
8
16
15
Ⅳ地区
Ⅲ地区
Ⅴ地区
Ⅵ地区
Ⅰ・Ⅱ地区
1 地点
2 地点
3 地点
4 地点
5 地点
6 地点
道1
道2
道3
道4
道5
道6
区画1
区画2
区画3
区画4
区画5
区画6
区画7
区画8
区画9
区画10
区画11
区画12
区画13
区画14
区画15
区画16
区画17
区画18
区画19
区画20
区画21
区画22
区画23
区画24
区画25

口縁部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	底部	口縁部	底部	胴部	胴部	口縁部	胴部	底部	底部	口～底部	胴部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	胴部	口縁部	胴部	口縁部	胴部	底部	胴部	口縁部	胴部		胴部
								1	4				1	1		1									1		1					1						1		
									1	1																														
									1																															
1							1		1																															1
		1		1																																				
																												1												
																												1												
																										1														
		1					1		2																															
				1					1																															
	1	4	5				3	6	4	1		1		2						5	2							2		2			1	1						
			1				1	1																						1										
							1																																	
								2		1							1		1									1											1	
											1									1																				
																				1																				
								1																				1												
							1	5	3	1		1		1																1	1									
1		2					1	1		1					1																					1				
										1																														
							1	1	3													1							1				1							1
				1				1						1																1				1						
	1	1		1		1	1	3	4					1				1					1							1				2			1			
							1																										1							1
																														1								1		
		1																																						
									2																															
					1																																			
	1							1																																
							1	1	2					1										2									1		1					
		1						2	1																															
2	3	11	6	4	1	1	13	26	29	6	1	2	1	7	1	1	1	1	1	7	2	1	1	2	1	1	1	6	1	7	1	1	4	4	1	1	1	2	1	3

口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	底部	胴部	口縁部	胴部	底部	口縁部	口縁部		口縁部	胴部	底部	口縁部	口～底部	口縁部	胴部	底部	底部	口縁部		口縁部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	胴部
			1	9	10	5	5	8	2	3	1	1				3								2		9	1						1				3	23	44	31		3	1
			1		1			1		1		1																										1	1	1			
				2	2		1	1									2					1				2												8	9	4		4	1
																																						1					
				1		1			1							2										1												4	6	5			
																																								2			
								1			1	1		1																								2	4	5	1		2
										1																														1			
																																							1				
1		1								1		1									1																	1	2	4			
																																						1		1			
																																						1	2				1
																																							2				
																																						1	2	1			
1												1				1	1																					1	7	6		3	2
		1		1	1			1																		1												2	2	1		3	
4	5		1	5	1		5	6	3	1	3	2	2	1	2	3					1					7								1			2	36	40	40	7	13	4
																																								1			
	1						1	2																	1	1													2	4			
																																							1			1	
																																						3	3	3			
				1																																		1	1	1			
																																						4		1		1	
																																						4	4	1		1	
				1				3		1	1					1																						12	13	9		4	2
																																						2	2				
			1	1											1								1																1				
							2					1									1																	3	5	6			1
				6	3			6	3	4		2		1		2			2						1	1				1		1						24	30	21	1	9	2
2				2				3		1		1														1												17	16	6	1	3	1
																																						1	2	1			
																																						1					
																																						1	1				
				3	4	2		1		6				1	1			1								6	1								2			11	24	22		1	3
		1		1	3			2	4	1		1														4												7	8	4	1		
								1		1																													1	1			
1		1	5	15	10	5	13	17	3	7	4	4		9	3	5	3		2	2				3		17	2	1		2							11	58	36	43	4	8	6
																																				2		4	6	1			
								1																														1	1	3			
1				2		1		2		4					1				1					1		3											1	3	3	1		2	
																																						1					
																																							1	2			
				4	3	1	3	6	2		1				1		1		1	3						4											1	4	2	11	1	2	1
																	1																						1				
			1	22	1	2	24	32	6	8	5	3	5	1	2	7	1		8	11	4			1		9			4	5	3						13	73	63	53	12	24	4
1										1									1							2				1							1	4	3		1		
																																						1					
11	6	4	10	76	39	17	54	94	24	41	16	19	7	14	11	24	9	1	15	16	7	1	1	7	2	68	4	1	4	9	3	1	1	1	2	2	32	328	352	297	29	82	31

口縁部	胴部	底部	口～底部	底部	口縁部	胴部	底部	胴部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	耳	注口	把手	胴部	底部		口縁部	注口	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	注口	把手	胴部	底部	口縁部	底部	口縁部
					2	3	1				1			3		6						2			2		8				1	1			1	1	3		2				26	3		2	
						1																																						1			
																																					1	2					8				2
																									3	2																	8	1			
																						1																					1				
						1				1	1					1									1	2	1													1			6	2			
1		1			1	1								1																													2				
																																											2				
																																											2				
																		1									1																3				
																																											5				
																																											4				
1					2		1					1							1								1			1		1		1					1		1		11	1			
		1																					1		1		2																8				
4	5				12	19	3			1	2	1	1	1		1					4		1	1	18	9	6	1			2	2		1			2	2				1	83	8			
					1																																								1		
	1																										1																1				
																																											1				
														1																													1	1			
														1																													3				
					1																1																						4				
			1		1	2								1		1														1							1						17	1			
																									1																		1				
																																											3				
																																											1				
					4											1																											3				
					2	4	5			1		1			1		1				1	1	1			1	1			3									2	1			49	12			
2								2			3												1		1					1							1						16	2			
																																											1	1			
					2	7	3					1			1						1				2		4			2	1	1											30	4			
		1				3	1				1	1		1							1				3		1			1													16	2			
																																											2	1			2
1		1			3	4	2			1				2						1	4	1		1	5	10	1	1		1	2	1	2	1				1		1			31	9			
																																								1			1	1			
																											1																				
																								1														1									1
1																									1					1													3				
																																											1			1	
																																											3				
												1				2					1	1			3	1				1													7		1		1
																																											1				
																																											2				
			1		9	14	4		1	1	2			1		1					16	1			32	12	6	1	1	6	5	3		1			2	6	2	2	1		28	3	1		
1			1	1	1																					1	1																1				
																																											1				
11	6	4	3	1	41	39	20	2	1	5	10	6	1	12	2	13	1	1	1	1	29	7	4	3	73	38	35	3	1	18	11	9	2	4	1	1	10	12	7	6	2	1	397	53	3	3	6

口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	耳	胴部	底部	口～底部	口縁部	胴部	口縁部	口縁部	胴部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	耳	胴部	口縁部	耳	注口	胴部	口縁部	胴部	底部	口縁部	耳	胴部	底部			口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	口縁部	底部	胴部	胴部	底部	胴部
			16	19	6	15		279	26		1	2				5	6	2	1			1		2	1			1	5			2	1	1	1		3		17	8								
			1					8	3								5																															
			5	5		1		22	2							3	12	6																			1		1		1	1						
								1																																								
				1	1			25	2			1					4	2																					1									
			1	1				6	1						1																																	
				3	2	2		20	2		1	1					7	2				1						4						1	1		1		5	4		2		1				
1		1						2	1																																							
				2				2																																						1		
								1														1																	1									
																	3																						1	1					4			
						1											2																						1									
																	1																						3									
1				2		1		21	4							1	4	2											1									1	4									
		1		4			1	8	1							1																							1									
4	5		11	30	8	9		159	9		5	2	2	1		9	33	3	2	1	1	9	1	2				1	7	1	2	9		2	2		1	1	30	13		2						
					1			2	4								1	1																														
	1		1					5	1								2																						3	1								
								3	1																												1		1									
								7									3																						2			1						
																	1																															
								4								2																							1			1						
								1						1			2	3						1													1					2						
			1	12	1	2		23	3							4	2	1	1	1		1										1	1	1					6								1	
								2									2																															
								7									3																															
														1																																		
			1	1		1		26	5		1	1				2	6	1	1															1					3				1					
			5	24	4	2		82	3		1	3	2			5	18	6				1	1		1		1		1			1					1	2	23	8					1			
2				8	1			19								1	17					1																1	10	4								
				1	1			4									1																						1									
			3	24	5	1	1	192	9		2	1			1	4	24	2						1		1		1	1			2					1	2	18	7								
		1	1	2		2		30									14									1			1						1				10	1								
				1				3										1																														
1		1	3	4	6	4		83	9	1	11	10				1	3		2			1						1			1	4			1				10	1		1						
					1			4	1								2					1																				1						
								1																																								
				1	1			12	2																				1										1									
1								9	1		1						1	1																														
				2				6									1	3	1																	3												
				1				2									2																															
			2	3				22	1							3	3										1												5	1		1						
																	1																															
			5	9	2	5	1	96	11		2	4				5	6	1	5			3			1				4	6	2	1							15									
1			1					22	1			1					2		1																				4									1
																																							1									
								2																															2									
																																							1									
11	6	4	57	160	40	46	3	1133	103	1	25	26	4	3	2	46	194	37	14	2	1	20	2	6	3	2	2	8	21	7	5	20	2	6	6	3	10	7	182	49	1	12	1	1	5	1	1	1

口縁部	胴部	底部										不明	[illegible]				不明	口～底部	底部							
			5					1													57	1		4		748
														1							11					40
			2																		18					142
																										1
																										1
			2	1				1													13	2				95
																										16
			3																		5	1				110
																										2
																										1
1		1																			12					33
																										10
																					2					7
																										20
																										13
																					1					16
1			3																		25	1				128
		1			1	1															5					50
4	5		15				1			1					1						120	2		3		951
																										13
	1		1											1							4					40
																										11
																										28
																					1					11
																										15
																					1					30
			2		1																9			1	3	163
																										11
																										24
																										3
									1												2					85
			6		1		2				1										55	8	1			509
2			3														1				5					168
																										14
																										1
																										4
			2					1								1					24	3				409
		1																			2					147
																					10					26
1		1								1								2			34					619
							1						1								1					32
																										2
																						2		1		35
1																					28					74
																					3					27
																					9					21
			1																		30					149
																										3
																								1		4
			9			1		1			2	1						3	1	1	64	1		1		883
1					1		1				1							3			56			1		122
																										1
																					4					10
																										3
11	6	4	54	1	4	2	5	4	1	2	4	1	1	2	1	1	1	8	1	1	611	21	1	12	3	6080

近畿	口縁部	胴部	近畿	近畿	胴部	口縁部	胴部	近畿	胴部	胴部	胴部	近畿	口縁部	近畿	胴部	口～近畿	口縁部	胴部	近畿	口～近畿	口縁部	胴部	近畿	口～近畿	口縁部	胴部	近畿	口～近畿	口縁部	近畿	口縁部	胴部	近畿	口～近畿	口縁部	底	胴部	近畿
2	3	2	5	3	1	1	2	1				1	1	1	1			5	28	18	16	14	36	9	13	7	2	2	7	1	3		2	3	2	1	3	1	1	32	1
			1	1							1							1	1						1				1												
																				1			2	1	2							1					1				
		1					3												3	5			6	2	2				1		4								5	
			1						1									1	1		1	1			2		1	1												2	
																1			1			1							1												
2	3	3	7	4	1	1	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1		7	34	24	17	16	44	12	20	7	8	3	10	1	7	1	2	3	2	1	4	1	1	39	1

近距	口接距	解距	口接距	解距	口接距	近距	口～近距	口接距	解距	口～近距	解距	口～近距	口接距	解距	近距	口～近距	口接距	解距	近距	口接距	解距	近距	口～近距	口接距	口接距	解距	近距	口接距	解距	口接距	解距	近距	口接距	解距	近距	口接距	解距	近距	口接距	解距	近距	口接距	解距	近距
2	3	2	2	3	1	1	1	1	2	1		2	32	47	50	4	6	4	9	1		4	1	1	4	4	2	1	1	1	1	2	1		2	9	2	3		6	1
													8	6	2		3		2																	1			1			
													1	5	4		1				1	1							1													
		1		1									18	18	22		5	4	3					1	3	3					1			1				2	1		1
											2		4	7	13		1		1						1												1	1			
													6	2	1		1																			1					
													1	1																						1					
2	**3**	**3**	**2**	**4**	**1**	**1**	**1**	**1**	**2**	**1**	**2**	**2**	**70**	**86**	**92**	**4**	**17**	**8**	**15**	**1**	**1**	**5**	**1**	**2**	**8**	**7**	**2**	**1**	**2**	**1**	**2**	**2**	**1**	**1**	**3**	**11**	**3**	**7**	**1**	**6**	**2**

出版	行政院	衛生院	行政院	衛生院	出版	出版	行政院	衛生院	行政院	行政院	出版	行政院	衛生院	出版	衛生院	行政院	衛生院	出版	行政院	衛生院	行政院	衛生院	出版	行政院	衛生院	出版	行政院	出版	衛生院	行政院	出版	衛生院	行政院	出版	衛生院	出版	行政院	出版	行政院	衛生院	出版	衛生院	衛生院	衛生院	行政院	衛生院	出版
2	3	2		44	6			1	4	5	10	34	7		7	263	37	3	8	4	13	7	4	1	4	3	2	1	1		3	1	1	3	1	14	9	1	1				2	4	1
				16	1		1		1		1		1	1	1	25	2				7	2													4	2	1							
				10						1		1	1	1	1	12	1	1		1	1		1			1								1	1								1
		1		6								7	1	1	1	43	2		1						1					2	1	1		1	1	1						3	
				6	2	1			1	3	1	4	4	1	2	32	3	1	1		4							1						3	1			1					
			1	1	2							2				2					1													4						1			1	
				1												1																			1								
2	3	3	1	84	11	1	1	1	6	9	11	49	13	4	12	378	45	5	10	5	26	9	5	1	5	4	2	1	1	1	5	2	2	3	1	27	15	3	1	1	1	2	8	2

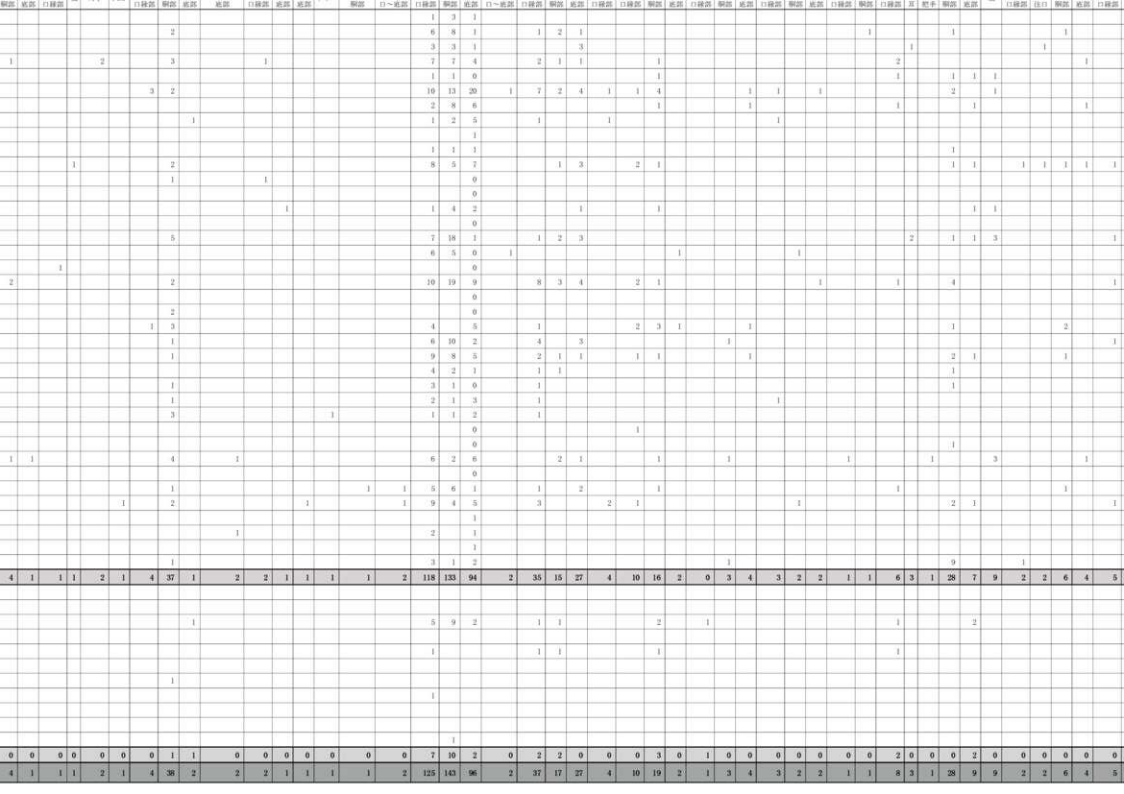
2	3	2	15	4	3		1	1	1	1	2		1	150	11	2	5	1167
						3						1		1	2			104
			2											4	2		2	69
		1	1					1						42	3		1	239
			1	1										35	2	1	2	157
			1											11				42
																		6
2	3	3	20	5	3	3	1	2	1	1	2	1	1	243	20	3	10	1784

縁部	胴部	口縁部	胴部	底部	口縁部	口縁部	胴部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	底部	口～底部	口縁部	口縁部	口～底部	胴部	底部	胴部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	底部	胴部
								1			1																1											
1													1															1			1							
									7				2	1		2			1															5				
					1	1																			1													
																											1	1										
																											1											
																											1											
				1					1						1												1		1							1		
																												1										
																											1											
																											2											
		1						1				3	3		1											1	5	3	1			1	1					
							1																				3											
									1				2		1										1		2	2						1				
																			1	1																		
																													3	1			1		1	1	1	
															1											1	4	3	3									
									1	2	1	4						2										1	1									
																											1		1									
									1			1										1																1
1	0	1	0	1	1	1	1	2	11	2	2	8	8	1	4	2	0	2	2	1	0	1	0	0	2	2	23	12	10	1	1	1	2	6	1	2	1	1
												1																										
																1											1											
																											1											
																					2						1	1										
																												1										
	1																											1										
														1																								
									1				1												1			1										
			1					2	16	5	2	6	7	2	3	3	2	1					3	2	3	1	3	4	3		1		1					
0	1	0	1	0	0	0	0	2	17	5	2	6	10	3	3	4	2	1	0	0	2	0	3	2	4	1	6	8	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1	4	28	7	4	14	18	4	7	6	2	3	2	1	2	1	3	2	6	3	29	20	13	1	2	1	3	6	1	2	1	1

胴部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	胴部	底部	口～底部	口縁部	口縁部	胴部
														2					2
						1								1					
																			1
												1		2					
				1															
												1							
			1		1									2					
																			1
																			11
														1					
					1														1
															1				
									1	1									
	1				2					2				1	1				1
																		1	1
					1										2				
													1						
						1				1				9	1				
																			1
					2									9	1		1	1	3
														1					
													1		1				
0	1	0	1	1	7	2	0	0	1	4	0	2	2	28	7	0	1	2	22
																1			
														1					
1					2									2					
																		1	
																		1	
		1					1	1		2	1			14					1
1	0	1	0	0	2	0	1	1	0	2	1	0	0	17	0	1	0	2	1
1	1	1	1	1	9	2	1	1	1	6	1	2	2	45	7	1	1	4	23

胴部	口縁部	胴部	胴部	口縁部	胴部	胴部	胴部	底部				口～底部							口～底部
							1						2						
													1						
		1																	
											3			1				2	
															1				
							1												
						1												1	
		1							1										
				1	4	3													
					1	1													
1			1		1														
																	1		
																1			
					3			1											
	1																		
										1									
1	1	2	1	1	9	5	2	1	1	1	3	0	3	1	1	1	1	3	0
												1							
							1												
											8								2
						5													
0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	2
1	1	2	1	1	9	10	3	1	1	1	11	1	3	1	1	1	1	3	2

口縁部	底部	胴部	口縁部	口～底部	口～底部	口～底部	口縁部	底部	胴部	底部	口縁部	胴部	胴部	胴部	胴部	底部	口縁部	胴部	胴部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	蓋	口縁部	胴部	胴部	石製品	一銭	釘
																															1	
																										1					1	
																					2											
																									1							
																				1							1	2				
									1																							
														1																		
										1	1												1									
	2		1								2			1	1	2		1	1	2		9	2		3					1		
		1							1	1	1		1			2	2									1						1
																										1						
	2	**1**	**1**					**1**	**2**	**5**		**1**	**1**	**1**	**5**	**2**	**1**	**1**	**2**	**1**	**11**	**2**	**1**	**4**	**1**	**1**	**1**	**2**	**0**	**1**	**2**	**1**
																												6				
1																																
					1	2	1	1				1																					
1	**0**	**0**	**0**	**1**	**2**	**1**	**1**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**6**	**0**	**0**	**0**	**0**
1	**2**	**1**	**1**	**1**	**2**	**1**	**1**	**1**	**2**	**5**	**1**	**1**	**1**	**1**	**5**	**2**	**1**	**1**	**2**	**1**	**11**	**2**	**1**	**5**	**1**	**1**	**1**	**8**	**0**	**1**	**2**	**1**



脚部	底部	口縁部	口縁部	注口	耳	脚部	底部	口縁部	底部	口縁部	脚部	底部	口縁部	脚部	底部	口縁部	耳	脚部	底部	口縁部	脚部	口縁部	口縁部	脚部	口縁部	脚部	底部	口縁部	耳	注口	口縁部	口縁部	口縁部	口縁部	口縁部	脚部	口縁部	脚部	口縁部	脚部	底部	脚部	脚部
																1		10	1									3	1																
						8	1					1	5			1	1	11	1									1												1	4			
						5							7					4	2						1	8															2		
1						4	1			3			4	2		2		29				1			2	1				1	1					2				1		
						2						1	1					3								2																
				1		21	5			3		1	1	1			4	65	3			1			6		1	2								1	6	2		1		
			1			5	1					2	2					3	1						11											1	3	1				
						10	3						3				1	12	1	2					11	2														1		3
												1						2																								
						2	1											1							2	1																
						11	2						4		1		1	21							8	2				1		1				1			5		
						2				1				1				7						1														1			
			2			5				2	1	1	1	2				17							3			1								1					
						1							1																		1										
						15							9			3		1	11	2		1			1	12					3						11			1		
						1	3						1			1			6							3						1				1		1	1		
		1												1																												
2						10						3	6				1	43	2	2										3	3					10	1				
						5												1							1																	
			1			9	2	1	2				7		2	1	1	30	7					2	8	1				2					1	7	2				
			1			3	1					1	2	1			2	3							2											2	1				
						9						1	2	1				12	2					1	5	1										4	2				
						3							1					3							2	2										1					1
						4							1					4							4										2					
						6							1	1				7							3	1				1											
						2	1											14							3	1															
			1			1						2	1	1			1	9						1	1	1				1	1	1									
						1												2																								
1	1				1	18	1					1	2	3	1		1	23		3					13				1	1						8	2				
																																								1			
						5							1	1			2		20						1																
						9								1		1	1	8							2											1					
						2												3																		1					
						6												5							1										1			1			
4	**1**	**1**	**6**	**1**	**1**	**185**	**22**	**1**	**2**	**9**	**1**	**1**	**16**	**64**	**14**	**3**	**9**	**1**	**17**	**1**	**369**	**42**	**7**	**1**	**1**	**1**	**7**	**118**	**14**	**1**	**2**	**1**	**1**	**11**	**7**	**2**	**1**	**1**	**6**	**65**	**13**	**2**	**12**	**2**	**1**	**3**
						6							1	4				15		1													1									
														1																												
			2			9	1						1					3							5										2	1					
														1																												
																		2																		1					
						1												5																								
0	**0**	**0**	**2**	**0**	**0**	**16**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**7**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**25**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**5**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**3**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
4	**1**	**1**	**8**	**1**	**1**	**201**	**23**	**1**	**2**	**9**	**1**	**1**	**17**	**71**	**14**	**3**	**9**	**1**	**17**	**1**	**394**	**42**	**8**	**1**	**1**	**1**	**7**	**123**	**14**	**1**	**2**	**1**	**1**	**11**	**7**	**2**	**1**	**2**	**6**	**68**	**14**	**2**	**12**	**2**	**1**	**3**

胴部	底部	口縁部	胴部	胴部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部																口～底部	口縁部						
													1				2																						27
															2																						1		77
															3	1																							49
1																																	1						114
																																							18
															1		1																		2		4		237
																1																							66
														1			3																				1		74
																																						1	6
																																							17
									2						3		1																						123
								22	69	1		80									2		1												10		5		211
												3																							1				4
															1																	1					4		65
								1	15			1												1											4				25
															2				1								1		1						2			1	136
															2		1									1											1		45
		1						2				7									2																2		15
2				2		5	1				1						3																		1		2		199
			10		1	2																												3	1	3			20
																																					1		13
																																							118
															3																						1		55
																1	1	1				1								1									89
															1																								30
																																							24
																																					1		32
															1														1								1		39
																																1							28
								1	2																														8
1	1							1					2		3	1	7											1			1	1					3		146
								4	7			12									1														2		1		29
																1																							60
															1																								74
								9	41	8		119								3					1										7				194
																																							12
									4																										1				6
																																						1	49
4	1	1	10	2	1	7	1	40	140	9	1	222	3	1	23	5	19	1	1	3	5	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	3	1	3	31	3	28	3	2534
																																			3				3
																																			1				1
															4		1	1																			12	1	80
												1																							3				5
														1	2																						7		40
																					1																		1
																																					10	1	18
																																					1		5
										1																													1
												1																											1
															1																						1		9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	7	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	31	2	164
4	1	1	10	2	1	7	1	40	140	10	1	224	3	2	30	5	20	2	1	3	6	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	3	1	3	38	3	59	5	2698

小碗		皿	碗		鍋	器種不明	擂鉢	壺		器種不明		壺	鍋	器種不明		器種不明	スクレイパー	不明	不明	石材	焼土	平瓦
部	胴部	口縁部	口縁部	底部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	胴部	底部	胴部	口縁部	胴部	底部	胴部						
																2				1		
																			1	1		
																					2	
																2				1		
																	1					
																3		1				
1				1				1														
																4						
		1									1											
	1		2		1	1	1	2	1	1		1	1	2	1	3						
1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	2	1	14	1	1	1	3	2	

																								1
																								6
																								1
																								2
																		3						**3**
																								1
																								5
																								3
																								27
																						1		**8**
																								2
																								1
													1								1			**30**
																								4
																1				1	1			**13**
																					1			**29**
																								2
																						6		**28**
																	3				1	1		**24**
					1																	3		**16**
																								4
																								6
1		1	2			1	2								1			1		2	14	16		**124**
			2															1		1	1	4		**72**
																								2
																		1	2					**9**
												1												**1**
											1		1								1			**3**
																						1		**4**
												1												**11**
									2		1						7				1	4	1	**29**
																								4
																					1			**8**
			2															1				2		**12**
																		1						**3**
																								1
								1		1														**3**
																								3
																								3
																		1			1	1		**9**
																					1			**3**
																								2
																								6
																								1
																								1
																								1
																								1
																								1
																		1						**1**
																								1
																								1
																		1						**1**
																								1
																								1
																								1
																								1
				2																				**7**
																								2
																								2
	5													2				2	1	1	3	3		**114**
																								1
																								7
																			1			1		**3**
																			1			1		**2**
																								28
					1											4			1			6		**19**

	I-1-a																																																																	
イ	I-2-a																																																																
ウサルボウ	II-2-c						1																																												1	1	1													
オリ	I-1-a																																																		2	1													
イ	I-1-c																																																																
イ																																																							1										
の一種																								1																													1													
ガイ	II-2-c																																												1																					
ガイ科不明																																																																		
ウザル	II-2-c																																																																
イ	II-2-c																																																																
ガイ	I-2-c																																																																
ガイ	I-2-a																															1									1															3										1
ガイ	I-2-c																																																																
ナミガイ	I-2-a																																			1																	1												
目不明					1																																																													
イ科不明					1																																														1															
ウバカガイ	II-2-c																																																																
グリ	I-1-c																																								1															1									
ウナミノコ	I-1-c																																																																
	I-2-c																														1																																			
ョウシラトリ	III-1-c																																																																	
ウシラトリ	II-1-c																														1						2	5	1		3																									
ザラ	I-2-c																																																																
イ	II-1-c																																				42	31	8	15	20																									
ウマスオ	II-1-c															2																								1																										
ガイ	I-2-c																																																																
	II-1-c																																								1																									
マンガイ	III-1-c																																									2	1										1													
	II-1-c																																																																
マグリ	II-1-c																																																																
の一種	II-1-c																																																																
不明																					1																				1																									
		0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	45	36	9	16	26	3	1	0	1	0	0	0	0	0	2	3	4	1	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

…を個体数とした。但し、破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「1」として数えた。

	Ⅰ-1-a																														1	1	0	0	0																																
イ	Ⅰ-2-a																														0	0	0	0	0																																
ウサルボウ	Ⅱ-2-c						1																								2	1	0	0	1		1															1															
オリ	Ⅰ-1-a																														2	1	0	0	0																																
イ	Ⅰ-1-c																														0	0	0	0	0																																
イ																															0	0	0	0	2																																
ー種																															0	1	1	2	2	1		1	1	2											1										4	2			5		
																															1	0	0	0	0																																
ガイ	Ⅱ-2-c																														0	0	0	1	0																																
ガイ科不明																															0	0	0	0	0																																
ウザル	Ⅱ-2-c																														1	1	0	0	0																																
イ	Ⅱ-2-c																													1	0	0	0	0	1																1																
ガイ	Ⅰ-2-c																														0	0	0	0	0																				1												
ガイ	Ⅰ-2-a																														1	0	0	0	5	1									1												1		1		8	6	3	2	4		
ガイ	Ⅰ-2-c																														0	0	0	0	0					1																											
ナミガイ	Ⅰ-2-a																														1	0	1	0	0																																
目不明					1																										0	0	0	1	0																																
科不明					1																										0	0	0	1	1					2																											
ウバカガイ	Ⅱ-2-c																														0	0	0	0	0																																
リ	Ⅰ-1-c																														2	0	0	0	0																																
ウナミノコ	Ⅰ-1-c																														0	0	0	0	0																																
	Ⅰ-2-c																														0	0	0	0	1																																
ョウシラトリ	Ⅲ-1-c																														0	0	0	0	0																																
ウシラトリ	Ⅱ-1-c																														2	5	1	0	4																											1					
ザラ	Ⅰ-2-c																														0	0	0	0	0																				1												
イ	Ⅱ-1-c																														42	31	8	15	20																																
ウマスオ	Ⅱ-1-c																														0	0	0	1	2																																
ガイ	Ⅰ-2-c																														0	0	0	0	0																																
	Ⅱ-1-c																														0	0	0	0	1										1				1						1									1	1		
マンガイ	Ⅲ-1-c																														2	2	0	0	0	1	1																														
	Ⅱ-1-c																														0	0	0	0	0																																
マグリ	Ⅱ-1-c																														0	0	0	0	0																																
ウ一種	Ⅱ-1-c																														0	0	0	0	0																			1									1				
明																				1					1						0	0	0	0	4					2																				2							
																															0	0	0	0	0																																
		0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	57	43	11	21	44	3	2	1	1	7	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	1	0	1	3	0	1	0	1	2	12	9	4	3	10	0	0

を個体数とした。但し、破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「1」として数えた。

	Ⅰ-1-a																			0	0	0	0	0
イ	Ⅰ-2-a																			0	0	0	0	0
ウサルボウ	Ⅱ-2-c						1													0	2	0	0	0
オリ	Ⅰ-1-a																			0	0	0	0	0
イ	Ⅰ-1-c																			0	0	0	0	0
イ																				0	0	0	0	0
ウ一種																				6	2	1	1	8
																				0	0	0	0	0
ガイ	Ⅱ-2-c																			0	0	0	0	0
ガイ科不明																				0	0	0	0	0
ウザル	Ⅱ-2-c																			0	0	0	0	0
イ	Ⅱ-2-c																			1	0	0	0	1
ガイ	Ⅰ-2-c																			0	0	0	0	1
ガイ	Ⅰ-2-a																			9	7	3	3	5
ガイ	Ⅰ-2-c																		1	0	0	0	0	2
ナミガイ	Ⅰ-2-a																			0	0	0	0	0
綱不明					1															0	0	0	0	0
科不明					1															0	0	0	0	2
ウバカガイ	Ⅱ-2-c																			0	0	0	0	0
グリ	Ⅰ-1-c																			0	1	0	0	0
ウナミノコ	Ⅰ-1-c																			0	0	0	0	0
	Ⅰ-2-c																			0	0	0	0	0
ョウシラトリ	Ⅲ-1-c																			0	0	0	0	0
ウシラトリ	Ⅱ-1-c																			0	1	0	0	0
ザラ	Ⅰ-2-c																			0	0	0	0	1
イ	Ⅱ-1-c																			0	0	0	0	0
ウマスオ	Ⅱ-1-c																			0	0	0	0	0
ガイ	Ⅰ-2-c																			0	0	0	0	0
	Ⅱ-1-c																			1	0	0	2	3
マンガイ	Ⅲ-1-c																			1	1	0	0	0
	Ⅱ-1-c																			0	0	0	0	0
マグリ	Ⅱ-1-c																1			0	0	1	0	0
ウ一種	Ⅱ-1-c																			0	0	1	1	0
不明																			1	0	0	0	0	6
																				0	0	0	0	0
		0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	18	14	6	7	29

を個体数とした。但し、破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「1」として数えた。

	I-1-a																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
イ	I-2-a																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
ウサルボウ	II-2-c						1																			0	0	0	0	0				1				1																		0	0	1	1	0	1	0	0	0	1
オリ	I-1-a																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
イ	I-1-c																			4					1	0	0	0	0	5																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ																										0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
の一種																										0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	1	1	1	0	4
																										0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガイ	II-2-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
ガイ科不明																										0	0	0	0	0												1														0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
ウザル	II-2-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ	II-2-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ガイ	I-2-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガイ	I-2-a																									0	0	0	0	0															1											0	0	0	0	1	1	0	1	0	2
ガイ	I-2-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ナミガイ	I-2-a																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
科不明					1																					0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ科不明					1																					0	0	0	0	0			1																							0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
ウバカガイ	II-2-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
グリ	I-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウナミノコ	I-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	I-2-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ョウシラトリ	III-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ウシラトリ	II-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ザラ	I-2-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ	II-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウマスオ	II-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ガイ	I-2-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	II-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
マンガイ	III-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	II-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
マグリ	II-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
の一種	II-1-c																									0	0	0	0	0																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明																				1						0	0	0	0	1																										0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
																										0	0	0	0	0																		1	1						1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
		0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	2	2	11	6	3	3	27

…を個体数とした。但し、破片でのみ出土した貝種については、最少個体数「1」として数えた。

第27表　魚類出土一覧

目・科・種名	左右	残存部位	出土地		個数
スズキ目 フエフキダイ科 ハマフエフキ	左	前上顎骨	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
不明	―	背鰭棘	Ⅲ地区	SK98　埋土	1

第28表　カニ出土一覧

部位	左右	出土地		個数
可動指	不明	Ⅵ地区	SD17　埋土	1

第29表　トリ出土一覧

部位	左右	残存部位	出土地		個数
脛骨	右	骨体～遠位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	左	骨体	Ⅲ地区	H12　Ⅲ層	1

第30表　ニワトリ出土一覧

部位	左右	残存部位	出土地		個数
烏口骨	左	遠位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
大腿骨	左	遠位部	Ⅵ地区	SX9　埋土	1
中足骨	右	骨体	Ⅳ地区	SD4　埋土	♂1

注　♂：オス

第31表　ネズミ出土一覧

種名	部位	左右	残存部位	出土地		個数
家ネズミ	肩甲骨	右	完存	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	大腿骨	右	近位端～遠位骨端はずれ	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		左	完存	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
			近位端～遠位骨端はずれ	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	寛骨	右	完存	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
			坐骨～腸骨部	Ⅲ地区	SK6　埋土	1
		左	坐骨～腸骨部	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	脛骨	左	完存	Ⅲ地区	SK98　埋土	2
ジネズミ類	上顎骨	左右	—	Ⅲ地区	SK98　埋土	1

第32表　ウサギ出土一覧

部位	左右	残存部位	出土地		個数
頭蓋骨	左右	頭頂骨～上顎骨	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
下顎骨	右	$P_{1,2,3,4}M_1$	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	左	犬切歯、$P_{1,2,3,4}M_1$	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
椎体	—	環椎	Ⅲ地区	SK98　埋土	2
		腰椎	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		軸椎	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
橈骨	右	完存	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		近位端～骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		骨体～遠位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	左	完存	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
尺骨	右	近位端～骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		近位端～遠位部	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
寛骨	右	坐骨～腸骨部	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	左	坐骨～腸骨部	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
大腿骨	右	近位端～骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	2
	左	近位端～骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
脛骨	右	遠位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
踵骨	右	—	Ⅲ地区	SK98　埋土	1

第33表　ネコ出土一覧

部位	左右	残存部位	出土地		個数
椎体	—	腰椎	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
上腕骨	左	近位端～骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		骨体～遠位端	Ⅲ地区	SD60　埋土	1
橈骨	右	完存	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
脛骨	右	近位端～遠位部	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	左	近位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
中足骨	左	Ⅲ	Ⅲ地区	SK98　埋土	1

第34表　ウシ出土一覧

出土地		Ⅱ地区																														Ⅳ地区			Ⅵ地区			Ⅰ層+撹乱			合計		
		SD34			SD35			SD46			SD51			SD60			SK98			SK107			D14			SK3			SD22											
		堆土			堆土			堆土			堆土			堆土			堆土			堆土			覆土			焼土			堆土											
部位		左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明
上顎骨	dm^4																																			1			0	1	0
	P^2	1																																					1	0	0
	M^1										1																													1	1	0
	M^2																																						1	0	1	0
下顎骨	$P_{3,4}$															1																								0	1	0
歯	破片							1			1															1														0	0	3
椎体	頸椎																															1 (11)								0	0	12
	軸椎																																			(1)				0	0	1
	胸椎																	② (1)																						0	0	6
	椎頭																	1																						0	0	1
	椎翼																	5																						0	0	5
	棘突起																	2																						0	0	2
胴甲骨	近位部～骨体																			1																				1	0	0
橈骨	近位骨端のみ																1																							0	1	0
大腿骨	遠位骨端のみ																1																							1	0	0
基節骨																	1	1																						1	1	0
中節骨																	1	1																						1	1	0
末節骨																	1	1																						1	1	0
種子骨																			1																					0	0	1
合計		1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	4	4	15	1	0	0	0	0	1	0	0	12	0	0	1	0	3	0	7	8	31			

注　○：キズあり，(1)：破片

第35表　ウマ出土一覧

部位	出土地	Ⅲ地区																			Ⅳ地区						Ⅰ層・撹乱			合計			
		SD23			SD40			SD45			SK98			B8							SK52												
		埋土			埋土			埋土			埋土			Ⅱ層							埋土												
		左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左右	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左右	左	右	不明
上顎骨	I^1																					1								0	0	1	0
	I^2																				1									0	1	0	0
	M^2				1																			1						0	2	0	0
	P^2					1																								0	0	1	0
	$I^{3,4,5}M^{3,4,5}$																					1								0	0	1	0
	P^4																							1						0	1	0	0
下顎骨	左：$I_{1,2,3}CP_{3,4}M_{1,2}$ 右：$I_{1,2,3}$										①																			1	0	0	0
	I_3																					1				1				0	0	2	0
	M_1																				1									0	1	0	0
	M_2																				1									0	1	0	0
	M_3				1				1												1									0	2	0	0
	P_2																				1									0	1	0	0
	$P_{3,4}M_{3,4,5}$																					1								0	0	1	0
	P_3																				1									0	1	0	0
	P_{3or4}							1	1																					0	1	1	0
	P_4																				1									0	1	0	0
	破片																							1						0	0	0	1
歯	I																							(1)						0	0	0	1
	破片						1		1	1																			1	0	0	1	3
椎骨	胸椎														3															0	0	0	3
	腰椎			1											5①															0	0	0	7
	棘突起														②															0	0	0	2
肋骨	近位端														2③															0	0	0	5
	骨体																			1										0	0	0	1
上腕骨	骨体																					1								0	0	1	0
寛骨	臼部																					1								0	0	1	0
大腿骨	骨体																					1								0	0	1	0
脛骨	近位部																				1									0	1	0	0
合計		0	0	1	2	1	1	2	2	1	1	0	0	16	0	0	1	8	7	2	2	1	1	1	14	11	23						

注　○：キズあり、（ ）：破片

第36表　ウシかウマ出土一覧

部位	左右	残存部位	地区	出土地	個数
歯	不明	破片	Ⅲ地区	SD40　埋土	1
椎骨	—	棘突起	Ⅲ地区	SK98　埋土	3
	—	椎体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	—	破片	Ⅳ地区	SK3　壙内	1
肋骨	右	近位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	4
	左	近位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	2
	不明	骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	3
上腕骨	右	破片	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	左	近位部	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
大腿骨	不明	近位骨端のみ	Ⅳ地区	SK52　埋土	1
脛骨	右	近位骨端はずれ	Ⅲ地区	SK98　埋土	〈1〉
		骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
四肢骨	不明	破片	Ⅲ地区	SD33　埋土	1
部位不明	不明	骨端のみ	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		破片	Ⅲ地区	SD8　埋土	1
				SK104　埋土	1
				SD40　埋土	4
				SK106　埋土	27
				SK107　埋土	10
				SK98　埋土	3
			Ⅳ地区	SK52　埋土	3
				SK3　壙内	1

注〈 〉:半欠。

第37表　ブタ歯出土一覧

部位	左右	残存部位	出土地	個数
上顎骨	右	I^1	Ⅲ地区　SK98　埋土	3
		I^2	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		I^3	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		C	Ⅳ地区　E11　Ⅱ層	1
			Ⅲ地区　SK98　埋土	2
		$dm^{2,3}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		$dm^{2,3,4}M^{1,2}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		dm^3	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		$dm^{3,4}M^1$	Ⅲ地区　SK98　埋土	①
		$dm^3M^{1,2}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		P^2	Ⅲ地区　SD3　埋土	1
			Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		P^3	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		$M^{1,2}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		M^2	Ⅲ地区　SK98　埋土	3
上顎骨	左	C	Ⅲ地区　SK102　埋土	1
			Ⅲ地区　SK98　埋土	1
			Ⅳ地区　SD3　埋土	1
		dm^2	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		$dm^{1,2,3,4}M^{1,2}$	Ⅲ地区　SK101　埋土	1
		dm^2	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		dm^3	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		$dm^{3,4}M^1$	Ⅲ地区　SK103　埋土	1
		dm^4	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		$dm^4M^{1,2}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		I^1	Ⅲ地区　SK98　埋土	4
		I^3	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		M^2	Ⅲ地区　SK98　埋土	6
		$M^{1,2}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		M^2	Ⅲ地区　SD37　埋土	1
			Ⅲ地区　SK98　埋土	2
		$P^{2,3}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		P^4	Ⅲ地区　SK98　埋土	2
	不明	C	Ⅲ地区　SK105　埋土	1
下顎骨	左右	左：I_1CM_3 右：Cdm_4	Ⅲ地区　SK98　埋土	①
		左：$dm_4M_{1,2}$ 右：$dm_{3,2,4}M_{1,2}$	Ⅲ地区　SK102　埋土	1
		左：$I_{1,2}CP_{3,4}M_{1,2}$ 右：$I_{1,2}CP_{3,4}M_{1,2,3}$	Ⅲ地区　SK98 埋土	①
		左：$I_1CP_{3,4}M_{1,2}$ 右：$I_1CP_{3,4}M_{1,2}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
下顎骨	右	I_1	Ⅲ地区　SK6　埋土	1
			Ⅲ地区　SD47　埋土	1
			Ⅲ地区　SK85　埋土	1
			Ⅲ地区　SK98　埋土	2
		I_2	Ⅲ地区　SK85　埋土	1
			Ⅲ地区　SK98　埋土	2
		I_3	Ⅲ地区　SD47　埋土	1
		C	Ⅲ地区　SK98　埋土	3
		$Cdm_{3,4}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		CP_4M_2	Ⅲ地区　SK98　埋土	①
		dm_3	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		$dm_{3,4}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	2
		dm_4	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		P_3	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		$P_{3,4}M_{1,2}$	Ⅲ地区　SK98　埋土	1
		P_4	Ⅲ地区　SK98　埋土	2
		M_3	Ⅲ地区　SK98　埋土	5
		M_3～下顎角	Ⅲ地区　SK98　埋土	1

部位	左右	残存部位	出土地		個数
下顎骨	左	I_1	Ⅲ地区	SD47 埋土	1
			Ⅲ地区	SK85 埋土	1
			Ⅲ地区	SK98 埋土	3
		I_2	Ⅲ地区	SK98 埋土	2
		I_2	Ⅲ地区	SD47 埋土	1
			Ⅲ地区	SK98 埋土	3
		$I_2CP_{1,2,3}M_{1,2}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	①
		I_2	Ⅲ地区	SD47 埋土	1
			Ⅲ地区	SK98 埋土	2
		C	Ⅲ地区	SD47 埋土	1
			Ⅲ地区	SK85 埋土	2
			Ⅲ地区	SK98 埋土	4
		$Cdm_{1,2,3}$	Ⅲ地区	SK104 埋土	2
		$Cdm_2M_{1,2}$	Ⅲ地区	SK104 埋土	2
		$CP_{1,2}M_{1,2,3}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		dm_2	Ⅲ地区	SK98 埋土	2
		dm_4	Ⅲ地区	SD47 埋土	1
			Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		$dm_4M_{1,2}$	Ⅲ地区	SK99 埋土	1
		P1	Ⅲ地区	SD47 埋土	1
		P2,3	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		P_3	Ⅲ地区	SD47 埋土	1
			Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		P_4	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
			Ⅲ地区	D14 Ⅱ層	1
			Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		M_1	Ⅲ地区	SK98 埋土	3
		M_{1or2}	Ⅲ地区	C14 Ⅱ層	1
		M_2	Ⅲ地区	F13 Ⅱ層	1
			Ⅲ地区	SK98 埋土	2
		M_3	Ⅲ地区	D12 Ⅱ層	1
下顎骨	不明	dm_2	Ⅲ地区	SD47 埋土	2
		dm_2	Ⅲ地区	SK98 埋土	2
歯	不明	歯	Ⅲ地区	SK98 埋土	60
		破片	Ⅲ地区	SK98 埋土	15
			Ⅳ地区	SK25 埋土	1
			Ⅳ地区	不明	1

注 ○：ホスホM_1 1 ）：破片。

	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左右	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左右	左	右	不明	左右	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明
																																		(1)	5	1 ①																													
																																		①																															
																																			3																														
																																									1																									
…M³ 右:dn³M^1.2																																														1																			
…M^1.2 右:dn³M^1.2																																					1																													
… 右:Cdn³⁻⁴M^1.2																																																		1															
																																		3	5 ①																														
																																		1																															
																																		1																															
																																		2	2																														
																																			2																														
																																		3 ② (1)	2 ①																														
																																		1																															
																																			2																														
																																		1																															
																																			1																														
																																		2	2																														
																																		2	3																														
																																		(4)	1 (2)																														
																																		3		2																													
																																		1	2																														
																																		3	1																														
																																		3 ①	1 ①																														
																																			1																														
																																		1																															
																																		② (1)	6																														
																																		1	1																														
																																				14																													
												①																																																					
																																		4	10 (1)																														
																																		6	2																														
																				1			1												1																														
																												1					1 ②	1																															
																																		1																															
																																		1 ①	7 ②	5										1																				
																																				2 ⟨1⟩ (3)																													
																																				2 (1)																													
																																				4 ① (22)																													
																																				① (37)																													
																																				(22)																													
																																				1 ⟨1⟩																													
																																		22 ③	29 ⑤																			1										
																																			2																														
											1																						①		38																											1			①
																																		1																															
																																		1																															
	①																																	4 ①	2																														
																																			1																														
																																		1 (①)	3																														
																																		1	1	(2)																													
																																		1																															
																																		2	1																														
															①																																																			
…端はずれ																																		(1)																																
																																		1	1																														
																													1																																						
																																			①																														

名前	年齢	性別	職業	住所	電話番号	備考
佐藤 太郎	34	男	会社員	東京都渋谷区	090-1234-5678	
鈴木 花子	28	女	看護師	神奈川県横浜市	080-2345-6789	
高橋 一郎	45	男	自営業	埼玉県さいたま市	070-3456-7890	
田中 美咲	22	女	学生	千葉県千葉市	090-4567-8901	
伊藤 健二	51	男	公務員	東京都新宿区	080-5678-9012	
渡辺 由美	39	女	教師	東京都世田谷区	070-6789-0123	
山本 翔太	19	男	学生	神奈川県川崎市	090-7890-1234	
中村 恵子	62	女	無職	埼玉県川口市	080-8901-2345	
小林 誠	30	男	会社員	千葉県船橋市	070-9012-3456	
加藤 真理	27	女	会社員	東京都品川区	090-0123-4567	
吉田 大輔	41	男	会社員	神奈川県藤沢市	080-1357-2468	
山田 優子	33	女	会社員	埼玉県所沢市	070-2468-1357	
佐々木 隆	58	男	会社員	千葉県柏市	090-3579-4680	
松本 奈々	24	女	会社員	東京都杉並区	080-4680-3579	
井上 拓也	36	男	会社員	神奈川県相模原市	070-5791-6802	
木村 香織	29	女	会社員	埼玉県越谷市	090-6802-5791	
林 浩二	47	男	会社員	千葉県松戸市	080-7913-8024	
清水 麻衣	26	女	会社員	東京都練馬区	070-8024-7913	
森 雄一	55	男	会社員	神奈川県厚木市	090-9135-0246	
池田 彩	31	女	会社員	埼玉県春日部市	080-0246-9135	
橋本 直樹	44	男	会社員	千葉県市川市	070-1470-2581	
阿部 千尋	23	女	会社員	東京都目黒区	090-2581-1470	
石川 和夫	60	男	会社員	神奈川県平塚市	080-3692-1470	
前田 美穂	32	女	会社員	埼玉県草加市	070-1470-3692	
藤田 剛	48	男	会社員	千葉県我孫子市	090-2580-3691	
後藤 恵	25	女	会社員	東京都中野区	080-3691-2580	
岡田 悠	21	男	会社員	神奈川県鎌倉市	070-4815-9260	
長谷川 瞳	35	女	会社員	埼玉県上尾市	090-9260-4815	
村上 浩	52	男	会社員	千葉県流山市	080-5926-0481	
近藤 舞	30	女	会社員	東京都豊島区	070-0481-5926	
石井 光	40	男	会社員	神奈川県茅ヶ崎市	090-6037-1482	
斎藤 綾	27	女	会社員	埼玉県戸田市	080-1482-6037	
坂本 龍一	59	男	会社員	千葉県野田市	070-7148-2603	
遠藤 沙織	22	女	会社員	東京都北区	090-2603-7148	
青木 勇	46	男	会社員	神奈川県小田原市	080-3814-7025	
藤井 愛	34	女	会社員	埼玉県朝霞市	070-7025-3814	
西村 賢太	42	男	会社員	千葉県習志野市	090-8259-1036	
福田 真紀	29	女	会社員	東京都荒川区	080-1036-8259	
太田 光	54	男	会社員	神奈川県秦野市	070-4702-5813	
三浦 春馬	28	女	会社員	埼玉県鶴ヶ島市	090-5813-4702	
藤原 竜也	38	男	会社員	千葉県八千代市	080-9147-2580	
岡本 夏美	24	女	会社員	東京都板橋区	070-2580-9147	
中島 健人	26	男	会社員	神奈川県大和市	090-3692-5814	
原田 泰造	49	男	会社員	埼玉県ふじみ野市	080-5814-3692	
小川 麻琴	31	女	会社員	千葉県四街道市	070-3692-5814	
竹内 涼真	25	男	会社員	東京都足立区	090-5814-3692	
上田 晋也	50	男	会社員	神奈川県伊勢原市	080-3692-5814	
関 ジャニ	30	男	会社員	埼玉県三郷市	070-3692-5814	
横山 裕	36	男	会社員	千葉県印西市	090-3692-5814	
錦戸 亮	34	男	会社員	東京都葛飾区	080-3692-5814	
丸山 隆平	33	男	会社員	神奈川県座間市	070-3692-5814	
安田 章大	35	男	会社員	埼玉県久喜市	090-3692-5814	
大倉 忠義	32	男	会社員	千葉県白井市	080-3692-5814	
渋谷 すばる	31	男	会社員	東京都江戸川区	070-3692-5814	

	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左右	左	右	不明
																			0	1	5	2
																			0	1	0	0
																			0	0	3	0
																			0	1	0	0
$^{3-4}M^{1}$ 右：$dn^{3}M^{1-2}$																			1	0	0	0
$^{3-4}M^{1-2}$ 右：$dn^{3}M^{1-2}$																			1	0	0	0
右：$Cdn^{3-4}M^{1-2}$																			1	0	0	0
																			0	3	6	0
																			0	1	0	0
																			0	1	0	0
																			0	2	2	0
																			0	0	2	0
																			0	6	3	0
																			0	1	0	0
																			0	0	2	0
																			0	1	0	0
																			0	0	1	0
																			0	2	2	0
																			0	2	3	0
																			0	4	3	0
																			0	3	0	2
																			0	1	2	0
																			0	3	1	0
																			0	4	2	0
																			0	0	1	0
																			0	1	0	0
																			0	4	6	0
																			0	1	1	0
																			0	0	0	14
																			0	1	0	0
																			0	4	11	0
																			0	6	2	0
																			0	0	0	3
																			0	3	2	0
																			0	1	0	0
																			0	2	9	6
																			0	0	0	6
																			0	0	0	3
																			0	0	0	27
																			0	0	0	38
																			0	0	0	22
																			0	0	0	2
																			0	25	35	0
																			0	0	2	0
		1							1		1					1	1		0	2	3	42
																			0	1	0	0
																			0	1	0	0
																			0	6	2	0
																			0	0	1	0
														①					0	2	4	0
																			0	1	1	2
																			0	1	0	0
																			0	2	1	0
																			0	1	0	0
…端はずれ																			0	1	0	0
																			0	1	1	0
																			0	1	0	0
																			0	0	1	0

左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左右	左	右	不明
																					0	6	4	0
																					0	0	1	0
				1																	0	0	3	0
																					0	2	0	0
																					0	1	0	0
																					0	3	0	0
																					0	1	0	0
																					0	3	0	0
																					0	0	1	0
場注千れ																					0	2	0	0
																					0	0	1	0
	1																				0	2	1	1
																					0	1	1	0
																					0	1	0	0
																					0	1	1	0
																					0	2	1	0
																					0	0	2	0
																					0	3	1	0
																					0	1	2	0
																					0	2	1	0
																					0	1	0	0
																					0	1	0	0
																					0	3	0	0
																					0	2	0	0
																					0	0	1	0
																					0	3	5	0
																					0	0	4	0
																					0	1	0	0
																					0	0	1	0
																					0	0	1	0
	1																				0	0	1	0
																					0	2	0	0
																					0	2	2	0
																					0	0	1	0
																					0	3	0	0
																					0	1	0	0
																					0	1	0	0
																					0	0	1	0
																					0	1	0	0
																					0	1	2	0
																					0	3	1	0
																					0	1	0	0
																					0	0	1	0
																					0	3	2	0
																					0	1	2	0
																					0	0	1	0
																					0	0	1	0
																				1	0	3	4	9
																					0	0	2	0
																					0	0	2	0
																					0	1	2	0
																					0	5	3	0
																					0	2	2	0
																				1	0	0	0	1
																					0	0	0	2

第39表　ヤギ出土一覧

		Ⅲ地区																		Ⅳ地区									I層・撹乱			合計			合計
		SD24			SD45			SK6			SK98			SK106			SP275			SD1			SK3			SK25									
		埋土			埋土			埋土			埋土			埋土			埋土			1層			壁内			埋土									
		左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	
頭蓋骨	頭頂骨								(1)		2	3																				2	4	0	6
	前頭骨										2	2																				2	2	0	4
	前頭骨～頭頂骨										1																					1	0	0	1
	前頭骨～涙骨										1																					1	0	0	1
	前頭骨角突起							1	1	1	2	4	1																			3	5	2	10
	前頭骨角突起～眼窩										2																					2	0	0	2
	前頭骨眼窩口									1																						0	0	1	1
	側頭骨							1 (1)	(1)		1	2																				3	3	0	6
	側頭骨鼓室部							2	1		5	3																				7	4	0	11
	側頭骨乳様突起										1	2																				1	2	0	3
	側頭骨岩様部							2	1																							2	1	0	3
	側頭骨頬骨突起											2																				0	2	0	2
	頬骨側頭突起										(1)																					1	0	0	1
	眼窩口												3																			0	0	3	3
	頬骨							1	1		8	3																				9	4	0	13
	上顎骨～頬骨										1																					1	0	0	1
	蝶形骨体												1																			0	0	1	1
	底蝶形骨												1																			0	0	1	1
	口蓋骨水平板										2																					2	0	0	2
	口蓋骨水平板～上顎骨										1																					1	0	0	1
	後頭骨									1																						0	0	1	1
	後頭顆									2	1	2																				1	2	2	5
	後頭顆～後頭骨底部												1																			0	0	1	1
	後頭鱗												3																			0	0	3	3
	後頭鱗～後頭骨外側部											1																				0	1	0	1
	後頭骨底部									1																						0	0	1	1
	岩様部骨胞										3	2																				3	2	0	5
	舌骨？												2																			0	0	2	2
	破片									5																						0	0	5	5
上顎骨	切歯骨										3	6																				3	6	0	9
	骨体(眼窩下孔付近)										1																					1	0	0	1
	骨体～遠位端																							1								0	1	0	1
	破片							1	1		1	4	9																			2	5	9	16
下顎骨	下顎角										①																					1	0	0	1
	下顎間軟骨結合部												2 (1)																			0	0	3	3
	関節突起											1																				0	1	0	1
	関節突起～筋突起										1	3																				1	3	0	4
椎体	環椎									(1)			(5)																			0	0	6	6
	軸椎									(3)			2 (5)																			0	0	10	10
	頸椎									1 (5)			1 ② (36)																			0	0	45	45
	胸椎			1						(15)			1 ① (24)												1							0	0	43	43
	腰椎									3 (5)			1 ⑤ (15)																			0	0	32	32
	尾椎									1																						0	0	1	1
	椎体									2																						0	0	2	2
	仙骨									2			3 (1)																			0	0	6	6
	椎頭									3																						0	0	3	3
	椎窩									1																						0	0	1	1
	棘突起									6																						0	0	6	6
胸骨										5			3 (1)																			0	0	9	9
肋骨	近位～							14	7		18 ③	17 ④																				35	28	0	63
	第一											2 ①																				0	0	3	3
	破片									27	1		4																			1	0	31	32
肩甲骨	近位端										(2)	7																				2	7	0	9
	骨体								2		3	3 (2)															1					3	8	0	11
	骨体～遠位部											3 ③																				0	6	0	6
	骨体～遠位端							2			1 ③	5 ②																				6	7	0	13
	遠位骨端はずれ										1																					1	0	0	1
	遠位端										1 ②																		(1)			4	0	0	4

第39表　ヤギ出土一覧

		Ⅲ地区																		Ⅳ地区									Ⅰ層・撹乱			合計			合計
		SD24 埋土			SD45 埋土			SK6 埋土			SK98 埋土			SK106 埋土			SP275 埋土			SD1 1層			SK3 壙内			SK25 埋土									
		左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	
上腕骨	近位骨端のみ							1	1		3	2																				4	3	0	7
	近位端											1																				0	1	0	1
	近位骨端はずれ										3	1																				3	1	0	4
	近位骨端はずれ～遠位骨端はずれ								1																							0	1	0	1
	近位部										2																					2	0	0	2
	近位部～遠位端								1																							0	1	0	1
	骨体											①																				0	1	0	1
	骨体～遠位部										2																					2	0	0	2
	骨体～遠位骨端はずれ										①																					1	0	0	1
	骨体～遠位端							2			2①	2																				5	2	0	7
	遠位部										1	2						1														1	3	0	4
	遠位骨端はずれ				1			1			1																					3	0	0	3
	遠位端										1	3		1																		2	3	0	5
	遠位骨端のみ								1		2	5																				2	6	0	8
橈骨	両骨端はずれ										(1)																					1	0	0	1
	近位骨端のみ										1	1																				1	1	0	2
	近位端										2	2①																				2	3	0	5
	近位端～骨体											①																				0	1	0	1
	近位端～遠位部							1																								1	0	0	1
	近位骨端はずれ～骨体								1		1																					1	1	0	2
	近位骨端はずれ～遠位骨端はずれ							1																								1	0	0	1
	近位部～骨体											1																				0	1	0	1
	近位部～遠位骨端はずれ								1			2																				0	3	0	3
	骨体										1①	1																				2	1	0	3
	骨体～遠位骨端はずれ										4①	2②																				5	4	0	9
	骨体～遠位端											1																				0	1	0	1
	遠位骨端はずれ											1																				0	1	0	1
	遠位端											1																				0	1	0	1
	遠位骨端のみ							1			2	5																				3	5	0	8
橈尺骨	近位端										1																					1	0	0	1
	遠位端～骨体											1																				0	1	0	1
尺骨	近位骨端のみ								1			2																				0	3	0	3
	近位端										1 ①	1																				2	1	0	3
	近位端～骨体																												(1)			1	0	0	1
	近位骨端はずれ								2		1	2①																				1	5	0	6
	近位骨端はずれ～骨体							2																								2	0	0	2
	近位骨端はずれ～遠位部										1	3																				1	3	0	4
	近位部～骨体											1																				0	1	0	1
	近位部～遠位部										2																					2	0	0	2
	骨体～遠位部											1																				0	1	0	1
	骨体～遠位端											1																				0	1	0	1
	遠位端										1																					1	0	0	1
手根骨	橈側							1			1	5																				2	5	0	7
	尺側										1																					1	0	0	1
	中間										4	3																				4	3	0	7
	第2+3										3	3																				3	3	0	6
	第4											1																				0	1	0	1
中手骨	完存											1																				0	1	0	1
	近位端										3	3																				3	3	0	6
	近位端～骨体										4																					4	0	0	4
	近位端～遠位骨端はずれ										2	1																				2	1	0	3
	近位端～遠位端											1																				0	1	0	1
	骨体～遠位端												②																			0	0	2	2
	遠位骨端はずれ							2	2																							2	2	0	4
	遠位骨端のみ									2			5①																			0	0	8	8
寛骨	腸骨部							1	1		4②	4																				7	5	0	12
	腸骨部端								1																							0	1	0	1
	臼部							1			5 ①	4																				7	4	0	11
	臼部～恥骨										2	2																				2	2	0	4
	臼部～腸骨部								2		2	2																				2	4	0	6
	坐骨										2 ①	4																				3	4	0	7

第39表　ヤギ出土一覧

		Ⅲ地区																		Ⅳ地区									Ⅰ層・撹乱			合計			合計
		SD24			SD45			SK6			SK98			SK106			SP275			SD1			SK3			SK25									
		埋土			埋土			埋土			埋土			埋土			埋土			1層			壙内			埋土									
		左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	左	右	不明	
寛骨	臼骨								1																							0	1	0	1
	臼骨～腸骨部							1	1																							1	1	0	2
大腿骨	近位骨端のみ							2	1		3	8																				5	9	0	14
	近位端										3																					3	0	0	3
	近位端～骨体								1																							0	1	0	1
	近位骨端はずれ										3 ①	5																				4	5	0	9
	近位骨端はずれ～骨体											1																				0	1	0	1
	近位骨端はずれ～遠位骨端はずれ							1				1																				1	1	0	2
	近位部～遠位部							1	1																							1	1	0	2
	骨体																				1											0	1	0	1
	骨体～遠位骨端はずれ										4	3																				4	3	0	7
	骨体～遠位端											1																				0	1	0	1
	遠位骨端はずれ								1		2 ②																					4	1	0	5
	遠位端										2																					2	0	0	2
	遠位骨端のみ								2		5	3 ①																				5	6	0	11
膝蓋骨								1			10	2																				11	2	0	13
脛骨	近位骨端のみ										2 ①	2																				3	2	0	5
	近位端											1																				0	1	0	1
	近位端～骨体										1																					1	0	0	1
	近位骨端はずれ										1 ①																					2	0	0	2
	近位骨端はずれ～骨体								1			4																				0	5	0	5
	近位骨端はずれ～遠位部							1																								1	0	0	1
	近位骨端はずれ～遠位骨端はずれ										1																					1	0	0	1
	近位部～骨体										3	1																				3	1	0	4
	近位部～遠位部										1 ②																					3	0	0	3
	近位部～遠位骨端はずれ											①																				0	1	0	1
	近位部～遠位端								1																							0	1	0	1
	骨体											②	2 ①																			0	2	3	5
	骨体～遠位骨端はずれ								1			3 ①																				0	5	0	5
	骨体～遠位端										1 ②																					3	0	0	3
	遠位骨端はずれ										1	1																				1	1	0	2
	遠位端							1																								1	0	0	1
	遠位骨端のみ										2	3																				2	3	0	5
腓骨	近位端～骨体										1	2																				1	2	0	3
	近位部～骨体										2																					2	0	0	2
	近位部～遠位骨端はずれ																			1												1	0	0	1
	骨体											1																				0	1	0	1
踵骨								2	1		1	3																				3	4	0	7
距骨								1	1		6	3	1																			7	4	1	12
中手・中足骨													5 ①																			0	0	6	6
中足骨	近位端											1																				0	1	0	1
	近位端～骨体										2 ②	1																				4	1	0	5
	近位端～遠位部										1 ①	1																				2	1	0	3
	近位端～遠位骨端はずれ							2	1		1	2																				3	3	0	6
	近位部～遠位部												1																			0	0	1	1
	近位部～遠位骨端はずれ												2																			0	0	2	2
	骨体												3																			0	0	3	3
	骨体～遠位骨端はずれ												3																			0	0	3	3
	骨体～遠位端												5																			0	0	5	5
	遠位部												1																			0	0	1	1
	遠位骨端はずれ												1																			0	0	1	1
基節骨								4	3		11	13 ①																				15	17	0	32
中節骨											3	1																				3	1	0	4
末節骨									1		6	3																				6	4	0	10
栗骨											2	1																				2	1	0	3
合計		0	0	1	1	0	0	56	49	93	247	251	171	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	308	301	269	878

注 ○：キズあり、( )破片、幼：[ ]

第40表　ヤギ歯出土一覧					
部位	左右	残存部位	地区	出土地	個数
上顎骨	右	$dm^{2,3,4}M^{1}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		P^{2}	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		$P^{2,3,4}$	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		P^{3}	Ⅲ地区	SK6 埋土	2
			Ⅳ地区	SK3 横内	1
		P^{4}	Ⅳ地区	SK3 横内	1
		M^{1}	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
				SK98 埋土	3
			Ⅳ地区	SK3 横内	1
		$M^{1,2}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		M^{2}	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
			Ⅲ地区	SK98 埋土	4
		M^{3}	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
				SK98 埋土	1
	左	dm^{2}	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		P^{3}	Ⅲ地区	SK6 埋土	2
				SK98 埋土	1
		$P^{2,3,4}$	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		$P^{2,3,4}M^{1,2,3}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		P^{4}	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		M	Ⅲ地区	SK98 埋土	(1)
		M^{1}	Ⅲ地区	SK6 埋土	2
				SK98 埋土	2
				C12 Ⅱ層	1
		$M^{1,2}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		$M^{1,2,3}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		M^{2}	Ⅲ地区	SK98 埋土	3
		M^{3}	Ⅲ地区	SD3 埋土	1
				SK6 埋土	2
下顎骨	左右	左：C_{1}>$dm_{2,3,4}M_{1,2}$ 右：C_{1}>$dm_{2,3,4}M_{1,2}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		右：$P_{2,3,4}M_{1,2,3}$ 左：$P_{2,3,4}M_{1,2}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	①
	右	i	Ⅲ地区	SK98 埋土	2
		1	Ⅲ地区	SK98 埋土	2
		I_{2}	Ⅲ地区	SK6 埋土	1

部位	左右	残存部位	地区	出土地	個数
下顎骨	右	I_1	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		dm_2	Ⅲ地区	SK6 埋土	2
		$dm_{2,3}$	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		$dm_{2,3,4}M_1$	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		dm_2	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		$dm_{2,4}M_1$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		P_4	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
				SK98 埋土	2
		M_1	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		M_2	Ⅲ地区	SD46 埋土	1
				SK98 埋土	1
		$M_{1,2}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		M_3	Ⅲ地区	SK95 埋土	1
				SK98 埋土	1
			Ⅳ地区	SK25 1・2層	1
	左	I	Ⅲ地区	SK98 埋土	6
		dm_2	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		$dm_{2,3}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	①
		$dm_{2,3,4}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		$dm_{2,3,4}M_{1,2}$	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		dm_3	Ⅰ層・撹乱		1
		$dm_{3,4}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		$dm_{3,4}M_1$	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		dm_4	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		$P_{3,4}M_{1,2,3}$	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		P_4	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		M_1	Ⅲ地区	SK98 埋土	1
		M_2	Ⅲ地区	SK6 埋土	1
		M_3	Ⅲ地区	SD24 埋土	1
				SK98 埋土	3
				H11 Ⅱ層	1
			Ⅳ地区	SK3 壁内	1
歯	不明	破片	Ⅲ地区	SK6 埋土	2
				SK98 埋土	9
				C14 Ⅱ層	1

注 ○：キズあり。( )：破片。歯( )：未萌出。

第41表　ブタかヤギ出土一覧

部位	左右	残存部位	出土地		個数
頭蓋骨	右	鼻骨	Ⅲ地区	SK6　埋土	1
	左	鼻骨	Ⅲ地区	SK6　埋土	1
	一	蝶形骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		破片	Ⅲ地区	SD3　埋土	1
				SK98　埋土	160
下顎骨	右	骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
椎骨	一	腰椎	Ⅲ地区	SK98　埋土	(38)
		棘突起	Ⅲ地区	SK98　埋土	21 ④
		横突起	Ⅲ地区	SK98　埋土	4
		椎頭	Ⅲ地区	SK98　埋土	62
		椎窩	Ⅲ地区	SK98　埋土	124
		椎窩	Ⅲ地区	SK98　埋土	3
		椎体	Ⅲ地区	SK98　埋土	33
			Ⅰ層・撹乱		1
		破片	Ⅲ地区	SK98　埋土	64
肋骨	不明	骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	158
肩甲骨	左	近位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1 ②
上腕骨	右	骨体～遠位部	Ⅲ地区	SK98　埋土	①
	左	近位端	Ⅰ層・撹乱		[2]
		近位端～骨体	Ⅰ層・撹乱		[1]
		近位端～遠位部	Ⅰ層・撹乱		[1]
大腿骨	左	近位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
四肢骨	不明	破片	Ⅲ地区	SK98　埋土	62
部位不明	不明	骨端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1 ①
			Ⅰ層・撹乱		[3]
		骨体	Ⅲ地区	SK6　埋土	1

注　○：キズあり，(　)：破片，[　]：幼。

第42表　ヤギか出土一覧

部位	左右	残存部位	出土地		個数
足根骨	右	第4＋中心	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	左	第4＋中心	Ⅲ地区	SK98　埋土	3

第43表　種不明出土一覧

部位	左右	現存部位	地区	出土地	個数
頭蓋骨	左右	頭頂骨～上顎骨	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	右	頭頂骨	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		側頭骨鼓室部	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	左	頭頂骨	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		側頭骨鼓室部	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
上顎骨	右	破片	Ⅲ地区	SK106　埋土	1
下顎骨	左	下顎角	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
椎骨	—	腰椎	Ⅲ地区	SK98　埋土	3
		仙骨	Ⅲ地区	SK6　埋土	1
		尾椎	Ⅲ地区	SK98　埋土	5
肋骨	不明	破片	Ⅲ地区	SK98　埋土	6
肩甲骨	右	近位端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		近位端～遠位部	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
	左	骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	2①
		近位端	Ⅲ地区	SK6　埋土	1
		骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
上腕骨	右	近位端～骨体	Ⅲ地区	SK98　埋土	(1)
手根骨	右	第2+3	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
脛骨	右	近位骨端のみ	Ⅲ地区	SK6　埋土	1
四肢骨	不明	骨体	Ⅲ地区	SD2　埋土	1
			Ⅲ地区	SK96　2層	1
		破片	Ⅳ区	SD4　埋土	①
			Ⅲ地区	SD14　埋土	①
			Ⅲ地区	SD37　埋土	1
			Ⅲ地区	SD60　埋土	2
			Ⅲ地区	SK6　埋土	1
			Ⅲ地区	SK84　埋土	1
			Ⅲ地区	Ⅰ層・撹乱	1
			Ⅲ地区	E13　Ⅱ層	1
臍骨	不明	近位骨端のみ	Ⅲ地区	SK6　埋土	1
部位不明	不明	軟骨	Ⅲ地区	SK98　埋土	1
		骨端	Ⅲ地区	SK98　埋土	1①
		骨体	Ⅲ地区	SD34　埋土	1
			Ⅲ地区	SD36　埋土	(3)
			Ⅲ地区	SD40　埋土	1
			Ⅲ地区	H12　Ⅱ層	1
		破片	Ⅲ地区	SD20　埋土	1
			Ⅲ地区	SD26　埋土	2
			Ⅲ地区	SD46　埋土	1
			Ⅲ地区	SD47　埋土	1
			Ⅲ地区	SD61　埋土	1
			Ⅲ地区	C7　Ⅱ層	2
			Ⅲ地区	C8　Ⅱ層	3
			Ⅲ地区	C15　Ⅱ層	1
			Ⅲ地区	E13　Ⅱ層	2
			Ⅲ地区	SK96　埋土	1
			Ⅲ地区	SK98　埋土	9
			Ⅲ地区	SK102　埋土	1
			Ⅲ地区	SK106　不明	1
			Ⅲ地区	SK109　埋土	4
			Ⅳ地区	SD4　埋土	1
			Ⅳ地区	SK32　埋土	1
			Ⅳ地区	Ⅰ層・撹乱	1

注　○：キズあり、(　)：破片、[　]：幼。